社団法人 日本建築協会
昭和52年3月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日
第3種郵便物認可

3 建築と社会

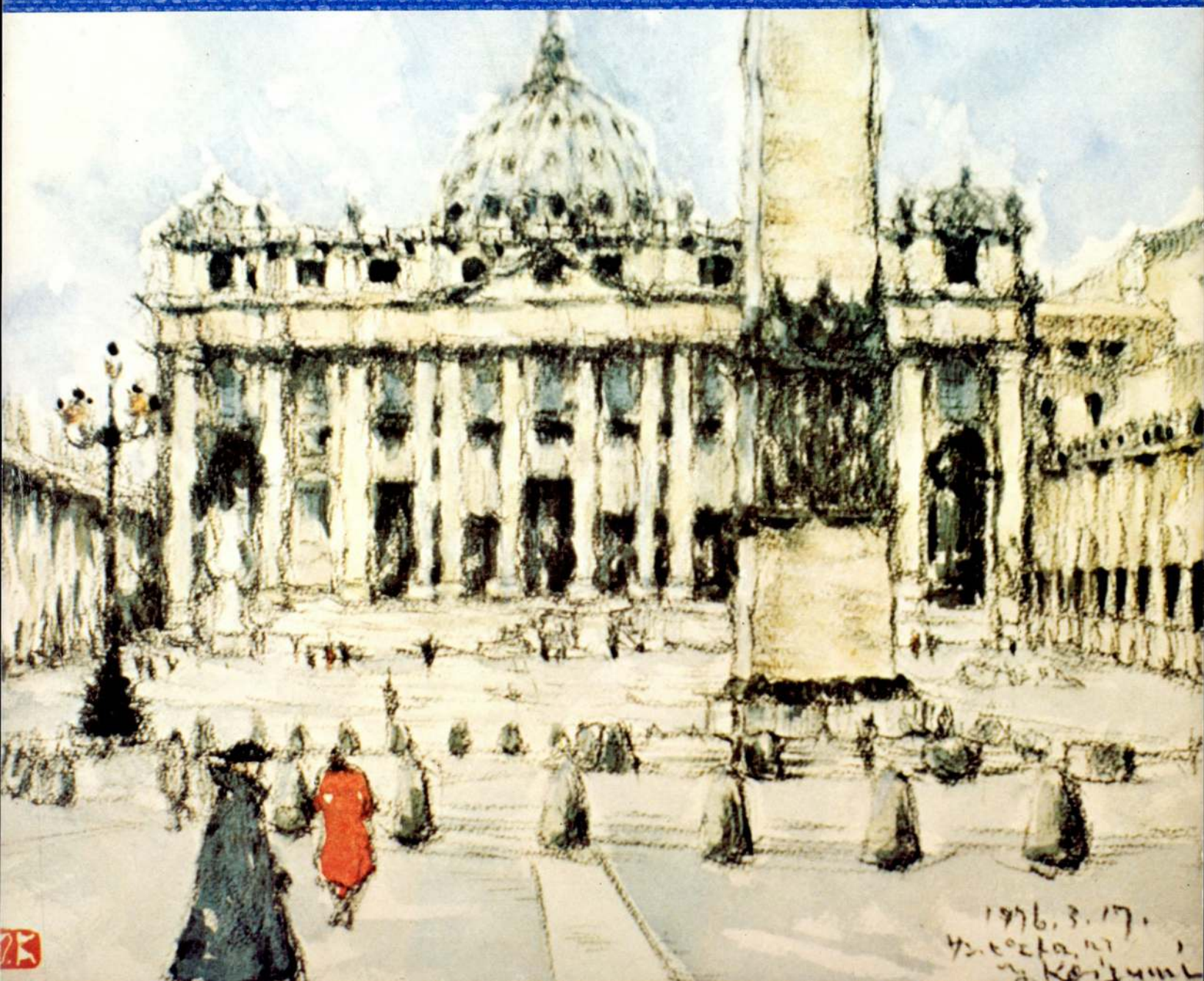
特集●ニュータウンの管理 千里のフォロー

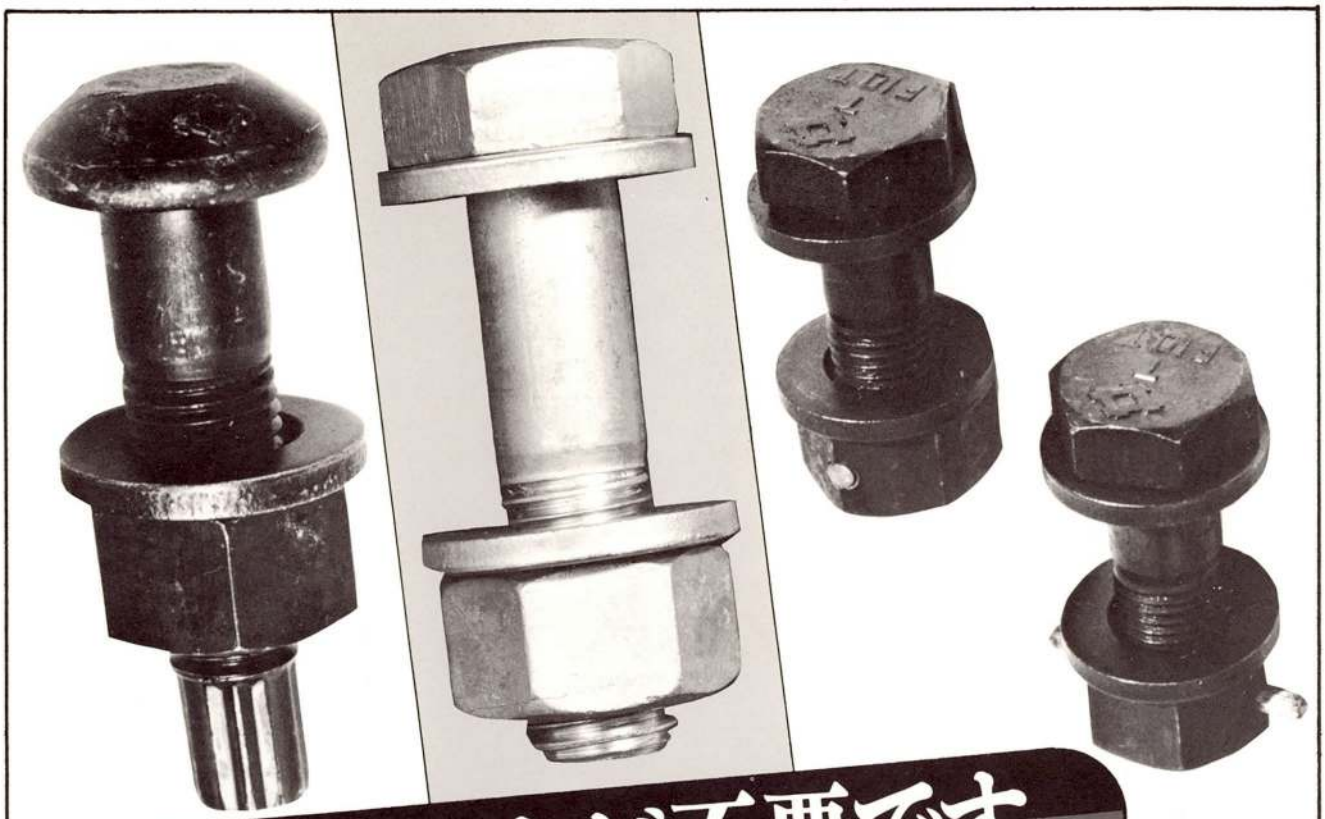
日本建築協会創立60周年・建築と社会660号発行記念

1977
VOL.58
NO.660

ARCHITECTURE
AND
SOCIETY

日本建築協会





トルクチェックが不要です。特殊型高力ボルト「SPボルト」と「SSボルト」

●静か～に、すばやく施工！締付作業に習熟の必要がありません。

建築物が大型化の傾向にある反面、人件費の高騰、熟練工の不足が深刻です。こうした状況に対し、住友では強靱で経済的な「住友ハイテンションボルト」を販売しておりますが、更にこのたび住友独自に特殊型高力ボルト「ＳＰボルト」を開発。同系統の「ＳＳボルト」ともども併せて発売しております。「ＳＰボルト」「ＳＳボルト」はナットの締付けトルクの反力をボルトのピンテールで受け、静的に締付けるもので、ボルトとピンテールは所定のトルクで破断。ボルトに所定の軸力が導入される機構になっています。従来、締付けトルクをコントロールする機能は締付器具にもたせていましたが、ＳＰボルト及びＳＳボルトはボルトセット自体にトルクコントロール機能をもたせてあるわけです。画期的なシステムのＳＰボルト及びＳＳボルトを、ぜひご指定の上ご採用ください。

SSボルトの特長

1．施工管理が容易である。
- ボルトの締付け完了は、ピンテールの破断により目視確認できるので、締め忘れが防止できる。
- ピンテールの破断強度が一定でボルト軸力が安定しているので、トルクレンチによるチャックが省略できる。
- 締付けトルクの制御はボルトセット自体で行われるので、締付器具の調整、検定は一切不要である。

2．工期の短縮・施工費の低減ができる
- 締付器具の調整、締付け後のトルクチェックが不要のため工期の短縮が図れる。
- 締付器具の取扱いなど締付作業に習熟を要せず、工期の短縮による施工費の節減も可能である。

3．騒音が出ない
- 静的な力で締付けるので、インパクトレンチに比べ騒音が少ない。

住友金属
住友金属工業株式会社
大　阪＝大阪市東区北浜５－15（新住友ビル）　電（220）５１１１
東　京＝東京都千代田区丸の内１－３－２（新住友ビル）　電（282）６１１１
営業所＝船橋・福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・宇都宮・仙台・札幌

会員各位へお詫びとお願い
・昨年来より会誌の発行が遅延続きでご迷惑をおかけし、恐縮に存じております。この号も大へん遅れましたが、催しなどについては下記申込方法により至急にお申込下さるようお願い申しあげますとともに深くお詫びいたします。

◀通常総会結果報告

昭和52年２月25日開催の通常総会におきまして監事１名、並びに本部所属評議員24名の選挙を行いました結果、下記の方々が当選せられましたのでご報告申し上げます。

記

監事
宮武伊三郎君（大阪建設業協会）

本部所属評議員

（技術部門）
奥山清治郎君（都島工業高校）
斎藤　誠君（錢高組建築課）
勢川　和則君（セガワ建築設計事務所）
野村　裕二君（赤松菅野建築設計事務所）
村井　三郎君（大阪鉄道管理局建築課）
八木　常美君（大阪府建築部建築指導課）

（総合部門）
井上　司郎君（松　村　組）
一志　淳夫君（西松建設）
樫原　章雄君（鴻　池　組）
金月　博輔君（鉄建建設）
志賀　修一君（フジタ工業）
滝口　開君（三井建設）
野口　清君（安藤建設）
野津　健治君（大日本土木）
金剛　利隆君（金　剛　組）
水間　義雄君（水　間　組）

（電気部門）
岡本　繁一君（近畿電気工事）
杉村正三郎君（阪急電気工事）
鳴尾　源蔵君（大阪電気暖房）

（管工部門）
斉藤　久範君（斉久工業）
仙田　四郎君（カンダン）
山田　光次君（山田工業）

（建材部門）
中尾　忠雄君（筒中プラスチック）
原田　重信君（原田セメント化工）

◀創立60周年記念の会開催

日本建築協会では去る３月30日をもって創立60周年（大正６年創立）の記念日を迎えましたが、時節柄、一連の記念行事は行わず、ささやかな祝賀会のみを下記のとおり開催しました。

記

日　時　昭和52年３月30日（水）午後６時～７時
場　所　太閤園（都島区網島町９・351―8201）

◀第７回新建築講演会のお知らせ

日　時　昭和52年４月20日（水）５時30分（開演）
場　所　朝日生命ホール
入　場　無料（定員430名）
テーマと講師
「建築ともの」村松貞次郎（東京大学教授）
「建築と人間との関係」芦原　義信（東京大学教授）
主　催　㈱新建築社ほか
後　援　㈳日本建築協会ほか

寄附金の受領

このたび名誉正会員白石登喜男氏より、事業資金の一部として金壱封のご寄附を頂戴いたしました。ここに誌して厚く御礼申し上げます。

社団法人日本建築協会

外壁保存の現場を見る

◀…京都・中京郵便局と同志社大学ハリス理科学館の見学……

京都には神社佛閣をはじめとして限りなく多数の古建築が現存しているが、赤い煉瓦造りの明治開化期の建物も平安博物館（旧日本銀行京都支店）をはじめかなり残っております。

その明治の建築様式の美観をそのまま保存し、内部を一新して優れた機能をもつ近代的な建物として使用する特殊な工法で建築中の中京郵便局と同志社大学ハリス理科学館を見学することにいたしました。

これは、すでに昨年の「建築と社会」誌11月号のニュース欄でも、ご紹介いたしましたが、これまでの古建築の解体修理、復原、新築の計画を一体化した画期的な工法で最近注目されております。

古都・京の街の文化財的建造物の新しい保存方法として話題の外壁保存の現場を見学できるよい機会だと思います。多数ご参加下さい。

今回は、郵政省ならびに同志社大学殿の特別のご配慮をいただき、大林組殿のご協力により見学いたします。

日　時　４月９日（土）集合13：30→解散17：00（現地）
集合場所　京都・烏丸通
「烏丸三條」のバス停前（北方面行、住友銀行京都支店の前）・目標会旗
〔参考〕集合場所までの交通費は各自負担
大阪からは→阪急電車が便利です（京都行特急にて「烏丸」で下車、地上を北に向って１ツ目の左側の停留所です。徒歩８分～10分位）
定　員　30名
会　費　300円
見学建物及行程

(1)　13：40→15：00
中京郵便局
（京都市中京区三條通東洞院東入ル菱屋町30）
Ⓐ　設計・監理　郵政大臣官房建築部
施　工　株式会社　大林組
概　要　ＲＣ造（１部ＳＲＣ造）Ｂ１→３Ｆ
外壁レンガタイル貼・一部旧レンガ壁保存
延床面積8,900㎡

(2)　15：30→17：00
同志社大学ハリス理科学館
（京都上京区今出川通烏丸東入玄武町）
Ⓑ　設計・施工　株式会社　大林組
概　要　外壁全面保存、内部ＲＣ造に改造
２Ｆ・延床面積1,105㎡

上記見学場所の移動は京都市バスを利用いたします。（バス代90円は各自負担）なお、時間があれば大学内のクラーク神学館、礼拝堂など一連の明治建築も見学いたします。

申込みについてお願いとお詫び
・上記見学会の申込〆切日は４月６日(水)までとし、電話受付をいたしますので至急にお申込み願います。
・定員超過のときは抽せんで決定し、ハガキにて４月９日（土）午前中までにお知らせいたします。
・申込み先→建築協会事業課（TEL.06-231-9640、5936）へ氏名・勤務先名・連絡電話番号、返信用宛名・郵便番号を明確に電話でお申出下さい。
・なお、地域によっては〆切後に会誌到着となり、ご参加願えない場合もありますことを深くお詫び申しあげます。

ＡＳＴＭ研修会

◀芦屋浜シーサイドタウンの建設現場をたずねて

静かなる芦屋川が大阪湾に注ぐ芦屋の浜に、建設省、兵庫県、芦屋市、日本住宅公団、兵庫県住宅供給公社、日本建築センターの主催で「工業化工法による芦屋浜高層住宅プロジェクト提案競技」が実施され、皆様ご承知の通りＡＳＴＭ案が１位に入選いたしました。

この競技設計は「良質で適正価格の高層住宅の開発」と「高層住宅団地における良好なる住環境の整備」がメーンテーマとして行われ、住宅の生活関連諸施設の企画から設計、生産、販売、維持、管理運営に至るまでの非常に広範囲なものであり、現在すでに国際文化住宅都市「芦屋市」にふさわしい新しい街「芦屋浜シーサイドタウン」の中央部20*ha*に3,400戸の高層住宅を建設中であります。

そこで本会では、ＡＳＴＭ共同企業体の特別のご配慮とご協力をいただき、豊富な経験をお持ちの各メンバーによる新しい芦屋浜シーサイドタウンについての各分野における説明と現地の見学について、スライドをまじえながらの研修会を企画いたしました。

会員諸氏の日頃の業務の一助になれば幸いと考えます。多数ご参加下さい。

なお今後ＡＳＴＭ企業体についての見学はシリーズ的に企画する予定にいたしております。

日　　時　昭和52年　**4**　月　**14**日(木)　集合13：30→解散17：00

集合場所　阪神電車　神戸線「芦屋」駅　南側改札出口付近・目標会旗

〔**参考**〕大阪より……阪神電車　神戸方面行　特急乗車（０時～12分間隔発車）→「芦屋」駅下車（所要約20分）※集合場所までの交通費は各自負担（大阪より150円）なお、芦屋から現地までは、ＡＳＴＭ共同企業体ご提供のマイクロバスでまいります。

定　　員　50 名

会　　費　500 円

申　　込　往復はがきに限ります。はがきは１名に１枚限りとし、氏名・勤務先名及役職・所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「ＡＳＴＭ研修会」と明記の上４月８日（金）までに建築協会事業課へ。ただし定員を超過した場合は抽せんにて決定し、ご通知いたします。

●スケジュール

(1)　スライド上映（14：00→14：20）

(2)　研　修　会（14：20→15：50）

講師　ＡＳＴＭ共同企業体総合工事々務所長　　山野　浩氏　外ご担当者数名

説明内容

① 工業化工法による芦屋浜高層住宅プロジェクト提案競技の経過とその後（ＡＳＴＭ着工時の特徴と背景）

② 配置計画

イ．社会的環境（社会階層の混合 etc）

ロ．物理的環境（オープンスペース etc）

③－(1) 建築計画

イ．セミパブリックスペースの説明と問題点

ロ．防災及び避難計画

ハ．良好な居住性の追求

ニ．各種実験調査（風洞実験 etc）…発表可能なもの

(2) 構造計画

イ．骨組形式　ロ．住戸ユニット　ハ．地盤改良と大口径鋼管杭

(3) 生産システム

イ．組織と管理

(4) 設備計画

イ．設備ユニットと電気、給排水システム

ロ．真空ゴミ収集システム

ハ．地域暖房給湯システム

ニ．地区防火監視システム

④ 品質管理体制

イ．位置づけと分掌

⑤ 質　疑

(3)　現場見学（15：50→16：50）

(4)　解　　散　阪神芦屋駅前（17：00）

◀日本経済新聞社大阪本社新館新築工事の見学会

大阪の新しい都心を目指す天満橋にあって、建築地の北辺に寝屋川、交通量の頻繁な東野田、河堀口線を冠し、東部には大阪城、西南部には各種企業法人に擁された立地条件の中で、新しい日経新聞社ビルの工事が進められております。

この建物は地中障害物、河川、爆発物、地下工法、交通量とさまざまな難題がありましたが、「みんなで考え、みんなで決めて、みんなで実行しよう」をモットーにして、種々の新しい工法を計画、実施し、無災害のうちに完成に近づいております。

また、印刷機械設備としましては、　日本で初めての平版直刷り（ＤＩＰＰＳ）専用機であり、各所に電子計算機による自動化が採用されており、完成すれば巻取紙の搬入に始まって印刷、折畳、運搬、梱包、トラックへの積み込みまでがすべて自動化された、世界でも最新の新聞社ビルとなります。

今回は（株）日本経済新聞社殿のご厚意と、（株）竹中工務店殿のご協力により見学会を開催いたします。多数のご参加をお待ちいたします。

日　　時　**4**月**19**日（火）集合14：00→解散16：30

集合場所　日本経済新聞社大阪本社新館　１Ｆ・西側入口前付近（トラックヤード）・目標会旗

ただし、大阪・地下鉄、谷町線「天満橋」駅または京阪電車「天満橋」駅より地上に出て東へ100ｍ位の右側。

定　　員　40 名

会　　費　300 円

申　　込　往復はがきに限ります。はがきは１名に１枚限りとし、氏名・勤務先名・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「日経新聞社の見学」と明記の上４月11日（月）までに建築協会事業課へ。定員を超過した場合は抽せんで決定の上お知らせいたします。

建築概要

所在地	大阪市東区京橋前之町
設計・施工	株式会社　竹中工務店
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート＆鉄骨造　地下２Ｆ→地上８Ｆ　塔屋２Ｆ
敷地面積	4,456.99 ㎡
建築面積	3,717.13 ㎡
延面積	28,282.59 ㎡
軒高	31.0ｍ
最高高さ	39.5ｍ
外装	焼過レンガ調打込タイル
工期	昭和50年６月15日→昭和52年４月30日

建設中のＡＳＴＭ高層住宅



日本建築協会 60周年 建築と社会 660号発行記念

お祝いのことば

社団法人　日本建築協会
会長　塚　本　猛　次

わが日本建築協会は、本年３月をもって創立60周年を迎えることになりました。ご同慶のいたりであります。

かえりみますと、大正６年、初代会長片岡安先生のご指導のもとに、本会が大阪において産声をあげてより、満60年の歳月をへました。その間、第一次世界大戦、昭和初期の不況期、日中戦争、第二次大戦、戦災、戦後の復興期、高度経済成長期など、かずかずの世相をのりこえて、こんにちを迎えたわけでありますが、これひとえに、片岡先生、竹腰健造先生、尾崎久助先生、東畑謙三先生の歴代会長のご指導をはじめ、先輩たち、会員諸子のご努力とご協力によるものであり、あらためて感謝の意を表する次第であります。

この60年の歴史は、また、日本の近代建築の歩みを示すものでもあります。とくに、関西の建築界の歴史を語るとき、日本建築協会の名を逸するわけにはいかないと存じます。本会は、15周年(昭７)、25周年(昭17)、35周年(昭27)、45周年(昭37)、50周年(昭42)とかずかずの大きな記念事業を開催し、斯界のため尽してきたわけでありますが、これらの行事の内容は、近代建築発展の歩みの様相をあらわしています。

とくに、昭和42年に、50周年を迎えました折は、日本全体が高度経済成長期の絶頂期でもあり、建築界の未曽有の発展期のなかで、盛大に記念事業が挙行されましたことは、記憶に新しいところであります。

その後、昭和48年頃よりオイルショックに見舞われ、地球的規模においても資源の有限時代を迎え、世界的にも不況の色を濃くし、減速経済とか低成長時代とかいわれる時期にはいりました。国土、都市問題、住宅問題においてももちろん、建築のすべての部門においても、従前のような開発すべてが進歩であったという状況から、環境をどう保全し、どうよくしていくかという環境アセスメントをともなった建設へと転換をはからねばならぬ時代となりました。

この点が、50周年の時代と根本的にちがう60周年を迎えた時代の特徴であります。このようなきびしい時節でもありますので、今回は、50周年の折のような盛大な記念行事は一切さけて足元をみつめ、最少限きりつめたものにしたいと存じます。

会員の皆様方におかれましても、本会の特色でありますところの、各職種・職域の横のつながりを更に緊密にして、建築界の正しい進路を誤りなくみつめ、斯界の発展に尽していきたいものと希求いたします。

東畑前会長は、本誌50周年記念号(昭和42年３月号)に、「本日発会した位の新鮮味をもたしたいものである。それには日々新たな建築界の進路を十分見極めて、それに対応できる初心の発展をはかるべきである」とのべられていましたが、このことを、こんにちの新たなきびしい世相を迎えたときこそ忘れずにお互いに肝に銘じていきたいと存じます。

なお、ひとことつけ加えておきたいことは、本会誌「建築と社会」も、この３月号をもってちょうど660号を迎えたことであります。昭和47年２月に600号記念号をだしましたので、それをみていただければ、本誌創刊当時の精神など収録されております。「建築と社会」と誌名更改したとき、「一層、社会的触接を期するの名実相充当せむことを冀うと共に、駸乎たる飛進的機運に先むぜんことを欲す」とありますが、この精神も忘れずに新たな状況に応じて持続していきたいものであります。

以上、日本建築協会60周年および「建築と社会」660号発行を記念して、お祝いのことばといたします。

祝60周年 建築と社会 1917～1977

五　日　会

青木建設	鴻池組
淺沼組	佐藤工業
新工務所（アタラシ）	島藤建設工業
安藤建設	清水建設
大林組	住友建設
大本組	錢高組
奥村組	大末建設
鹿島建設	大成建設
神崎組	大鐵工業
熊谷組	大日本土木

祝60周年 建築と社会 1917～1977

五　日　会

竹中工務店	不動建設
鉄建建設	藤木工務店
東海興業	フジタ工業
東急建設	前田建設工業
戸田建設	真柄建設
飛島建設	松井建設
中野組	松村組
西松建設	三井建設
日産建設	森組
間組	森本組



本会主催第１回大会通俗講演会



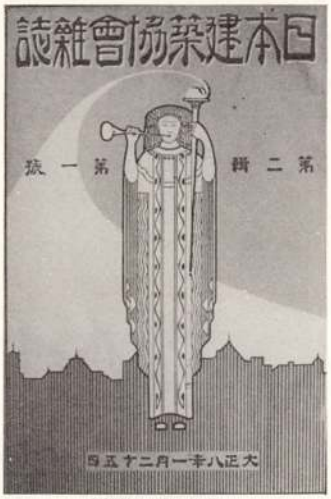
桜ケ丘住宅改造博覧会本館



初代会長・片岡安



会誌第１輯第１号



会誌第２輯第１号



会誌第３輯第１号

- 1917年（大正６年）３月30日、日本建築協会創立。事務所を片岡建築事務所内におく。「関西建築協会雑誌」発刊。
- 大正７年、第１回大会通俗講演会を大阪市中央公会堂で開催。
- 大正８年、「日本建築協会」と改称。会誌も「日本建築協会雑誌」と改題。
- 大正９年、会誌を「建築と社会」と改題。改良住宅設計展覧会開く。
- 大正10年、建築材料規格統一宣伝講演会。
- 大正11年、桜ケ丘住宅改造博覧会。
- 大正12年、都市計画委員会を発足させ帝都復興案を検討。
- 大正13年、春季大会通俗講演会「日本における住宅の変遷とその将来」（武田五一）
- 大正14年、大阪記念博覧会。
- 大正15年、社団法人の認可がおりる。

目でみる

日本建築協会60年 近代建築60年のあゆみ

大正（1913～1926）



―大正８年10号より―



朝日新聞社／竹中・藤井厚二　大正５年



懸賞改良住宅設計案１等当選図案―大正９年４号―



道頓堀―大正７年12号―



原敬が暗殺された頃の諷刺漫画―大正10年１号―



三越呉服店の「栄へ日」に殺到する群衆
―大正８年10号―



千日前―大正７年10号―

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

設計事務所有志

▼建築事務所

株式会社 坂倉建築研究所 大阪事務所

取締役大阪事務所長　山西喜雄

大阪市西区京町堀1丁目15番7号　電話06－443－0021(代)

株式会社 アール・アイ・エー 建築綜合研究所大阪支店

代表取締役 大阪支店長　山家啓助

大阪市北区太融寺町33大阪合同ビル　電話06－312－9154(代)

株式会社 IDE(イデ)建築事務所

代表取締役　朝野博文

大阪市東区北久太郎町5-18　新中央ビル

電話06－252－7821～3

株式会社 赤崎建築事務所

代表取締役　赤崎尚信

大阪市西区立売堀北通り1-90　第三富士ビル

電話06－541－7625

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹原永一郎

大阪市浪速区幸町通2丁目6番地　清光ビル

電話06－562－4343(代)～5

株式会社 赤松菅野建築設計事務所

代表取締役　赤松修

大阪市北区梅ヶ枝町123 瑞穂ビル　電話06－364－5651

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役　伊藤鑛一

名古屋市中区錦3丁目3番6号（日本経済新聞ビル）〒460 電話 052－951－1110
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7（久保ビル）　〒101 電話 03－294－6061
大阪出張所　芦屋市山手町69　〒659 電話 0797－22－2163

株式会社 浅井建築設計事務所

代表取締役社長 浅井潤一　代表取締役所長 浅井謙

大阪市南区安堂寺橋通3丁目52番地　第二農林会館ビル5階

電話06－245－4651(代)

株式会社 井上建築設計事務所

代表取締役 井上昭夫　取締役 森章

大阪市天王寺区上本町5丁目1番8号　佐伯ビル

電話06－762－2280・2289



大阪市中央公会堂屋上より赤レンガの大阪高等裁判所/山下・横浜方面をのぞむ－大正8年7号－



日本郵船神戸支店／曽弥・中条　大正7年



大阪市中央公会堂／辰野・岡田に集まった群集－大正7年14号－

株式会社 旭設計事務所

代表取締役　中尾義昭

大阪市西区靱本町1丁目9番15号　電話06－445－2050(代)

株式会社 井上久雄建築設計事務所

代表取締役 井上久雄

大阪市西区京町堀1丁目4番4号（千島ビル）電話 06－443－7386

一級建築士事務所 株式会社 A.R.I建築事務所

代表取締役所長 亀井晃治

大阪市南区谷町7丁目12の1　電話 06－768－1771(代)

株式会社 上田建築事務所

代表取締役 上田良治

寝屋川市本町17の18　電話0720－21－2483　0320

株式会社 池田宮彦設計事務所

代表取締役社長 池田昭

大阪市南区瓦屋町三番丁六八　電話 06－761－0360(代)

株式会社 牛場建築設計事務所

代表取締役 牛場栄一郎

大阪市西成区天下茶屋3丁目21番13号　電話 06－661－3636(代)

株式会社 板垣建築事務所

代表取締役 板垣精治郎

大阪市浪速区日本橋筋4丁目3の29番地　電話 06－633－7535(代)

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役 浦辺鎮太郎

大阪市北区梅田8番地　新阪急ビル 電話06－341－1727・1680

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

設計事務所有志

株式会社 浦野設計事務所
取締役社長 浦野三男
名古屋市西区上小田井2丁目10番地 電話052−502−1991(代)

株式会社 河井建築事務所
代表取締役 河井覚弘
奈良市登美ヶ丘４丁目８−10 電話 0742−45−4378

株式会社 遠藤剛生建築設計事務所
代表取締役 遠藤剛生
大阪市東区伏見町２丁目22番地 電話 06−203−0888(代)

株式会社 環境開発研究所
取締役社長 小川正
大阪市東区北久太郎町4丁目68番地の3 電話06−252−2507

株式会社 大井建築設計事務所
代表取締役 大井弘治郎
大阪市西区京町堀１丁目10番８号 電話06−444−4521〜２

株式会社 関西建築事務所
代表取締役 小林清
大阪市東区北浜３丁目11番地 北浜永和ビル 電話 06−231−1025

株式会社 大阪雑賀建築事務所
代表取締役 雑賀幸夫
大阪市天王寺区東平野町5丁目9番地吉盛ビル 電話 06−772−4426

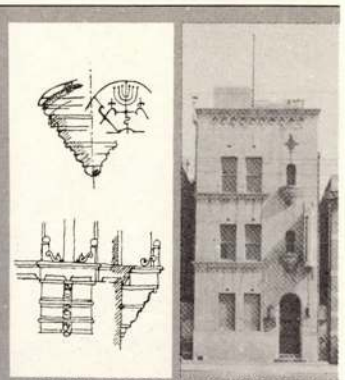
株式会社 企画設計社
代表取締役 進藤汎海
大阪市浪速区日本橋東４−16 電話 06−643−3631(代)

株式会社 小笠原浜田建築事務所
代表取締役 浜田重朗
大阪市東区伏見町２丁目22番地 電話06−231−7096・0749

有限会社 木村建築設計事務所
代表取締役 木村俊雄
広島市宝町５番２７号 電話 0822−(43) １９５５(代)


大阪市庁舎／市建築部 大正10年


住友ビルディング／住友合資工作部 第１期大正15年４月，第２期昭和５年４月―大正15年６号―


元伊藤邸とその設計者大倉三郎氏のスケッチ。現在、日本建築協会の会館として４階増築。

岡澤建築設計事務所
所長 岡澤勇
大阪府茨木市大字清水４４３ 電話0726−43−5230
大阪事務所 大阪市北区梅ヶ枝町146梅ヶ枝ビル2階 電話06−362−6082(代)

株式会社 城戸武男建築事務所
代表取締役 城戸武男
名古屋市中区栄１−22−27 電話052−231−5451(代)

株式会社 小川建築事務所
代表取締役 小川恵章
大阪市浪速区幸町通１−58(幸ビル) 電話06−568−6522(代)

株式会社 共同建築事務所
代表取締役 佐藤善弘
大阪市南区谷町7丁目12番地新谷町第3ビル317-1号 電話06−763−3277

株式会社 海上静一建築事務所
所長 海上静一
大阪市東区博労町２−41中博ビル 電話06−261−4428〜9

株式会社 近畿建築構造研究所
代表取締役 須賀好富
大阪市天王寺区椎寺町76 天王ビル 電話 06−771−3216(代)

有限会社 兼高設計事務所
代表取締役 兼高勇
堺市翁橋１丁４番５号 電話0722−22−１６４３

株式会社 久米建築事務所
取締役社長 永井賢城
東京都港区西麻布１丁目13番11号 電03−403−0251(大代)

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

設計事務所有志

クロアキ１級建築士事務所
所長　黒明澄夫
大阪市城東区蒲生３－11－11　電話 06－931－2097

株式会社　佐藤武夫設計事務所
代表取締役社長　佐々木群
東京都港区新橋4丁目6番15号DKB新橋ビル6階　電話 03－436－3511(代)

株式会社　建設技術センター
取締役社長　福永薫
大阪市北区岩井町2丁目49番地古林ビル5階　電話06－353－0651

設計事務所　ジェネラル・ドラフティング
代表取締役　神出津嶺雄
大阪市東区備後町１－22藤井ビル　電話06－202－0564

小泉劇場技術研究所
劇場コンサルタント
工学博士　小泉嘉四郎
東京都世田谷区世田谷２－23－15　電話 03－429－2882

株式会社　三座建築事務所
代表取締役　徳永恒夫
大阪市北区中之島４－３３　電話 06－443－0051(代)

有限会社　小島勝巳建築事務所
取締役社長　小島勝巳
大阪事務所　大阪市東区南本町４丁目41番地(イヨビル)　電話 06－252－8088(代)
東京事務所　東京都千代田区岩本町２丁目９番地(藤野ビル)　電話 03－861－9538

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所
代表取締役社長　四方靖郎
京都市伏見区深草関屋敷町32－2　電話075－641－6091(代)

コータケ建築設計事務所
所長　高武主計
大阪市西区江戸堀３丁目６番23号(末弘ビル)　電話 06－448－0178

島村建築事務所
所長　島村佐次郎
〒640 和歌山市４番丁４　電話0734－22－３３３８



株式会社　小林得志建築事務所
代表取締役　小林得志
大阪市北区堂島北町20藤田ビル　電話06－341－5658

株式会社　清水和彌設計事務所
代表取締役　清水和彌
大阪市北区万才町43(浪速ビル)　電話06－312－7278

株式会社　雑賀建築設計事務所
代表取締役　雑賀孝夫
和歌山市西汀丁１番地　電話0734－31－1371(代)～５

株式会社　昭和設計
取締役社長　岡本行善
大阪市西区西長堀北通1丁目8番地　電話06－532－3421(代)

坂本鹿名夫建築研究所
取締役社長　坂本鹿名夫
東京都渋谷区神南１－５－７　電話 03－476－2131(代)

株式会社　新建技術研究所
代表取締役　小泉昇
大阪市北区伊勢町11番地の1 コーポ伊勢町　電話 06－312－1776～７

株式会社　佐々木建築事務所
代表取締役　佐々木新一
大阪市西区京町堀1-3-22 東亜ビル　電話 06－443－0675

株式会社　双建設計事務所
代表取締役　常石勝世
大阪市東淀川区山口町314番地幹線東ビル801号　電話06－321－0278(代)

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行
設計事務所有志

株式会社 創研設計事務所
代表取締役 中野順次郎
大阪市北区堂島上２丁目39番地 電話 06−345−1300(代)

東電設計株式会社
取締役社長 石亀力
東京都千代田区内幸町2-1-4 日比谷中日ビル内 電話 03−506−6000

株式会社 総合設備コンサルタント大阪事務所
大阪事務所長 倉本武二郎
大阪市西区西本町２丁目１の30 電話06−532−1274〜６

株式会社 東畑建築事務所
代表取締役 東畑謙三
大阪市東区伏見町５丁目１９ 電話06−202−0391

株式会社 双星社竹腰建築事務所
竹腰健造
代表取締役 福田朝生
代表取締役 浅井貞治
大阪市北区豊宮町３−２豊崎ビル 電話06−373−2281

株式会社 東洋建築設計事務所
代表取締役 久田良吉
大阪市南区上本町４丁目610番地 昭和ビル３階 電話06−(768)2029(直) 2020(直)

株式会社 創美設計
代表取締役 中原英雄
大阪市北区末広町17星和地所扇町ビル 電話06−312−3587

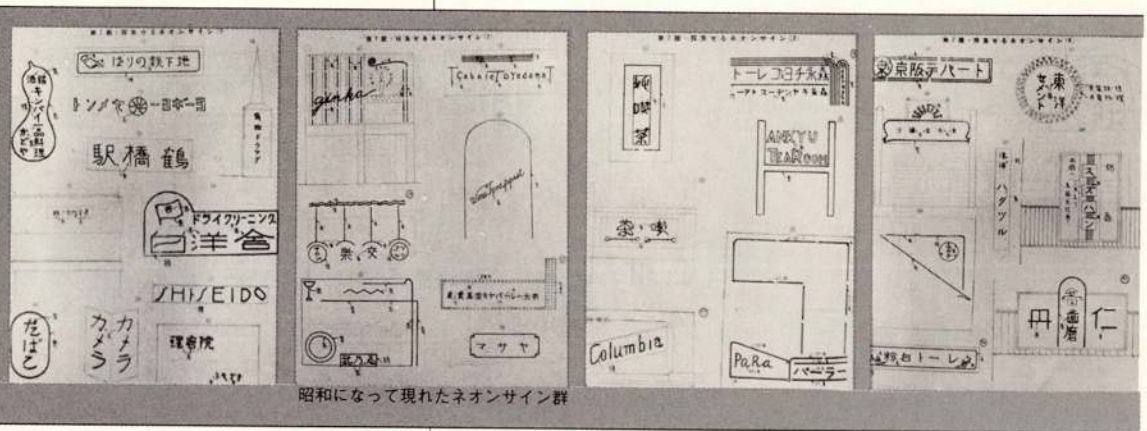
株式会社 東洋設計事務所
代表取締役 斉藤隆三
京都市下京区四条烏丸西入(住友生命ビル) 電話075−221−7078(代)

株式会社 大建設計
取締役社長 高橋慶夫
大阪市西区江戸堀１丁目12番８号 電話06−441−9351

株式会社 栂野建築事務所
社長 栂野正春
和歌山市五番丁４ 電話0734−22−２８２６



日本インターナショナル建築会(昭和２〜８年)の機関誌



昭和になって現れたネオンサイン群

株式会社 田賀建築設計事務所
取締役社長 田賀勉
大阪市西区北堀江通４丁目33番地 電話 06−531−7193(代)

株式会社 徳永・田村建築事務所
徳永正三・田村又夫
〒541 大阪市東区博労町２−41(中博ビル) 電話 06−262−2310
〒103 東京都中央区日本橋兜町２−38(太洋ビル) 電話 03−668−3056(代)

株式会社 田中小西建築事務所
取締役社長 小西岬
大阪市西区阿波座南通２の60 電話06−532−4051(代)

株式会社 都市問題・経営研究所
代表取締役 藤田邦昭
〒530 大阪市北区太融寺町98−5 阪急東ビル 電話06−312−3918

株式会社 東海設計
代表取締役社長 小坂忠勝
名古屋市中区栄３丁目７番１号(伊勢町ビル) 〒460
電話052−261−２６５１(代)

株式会社 内藤建築事務所
代表取締役会長 内藤資忠 代表取締役社長 片山光生
京都市左京区田中大堰町189 電話075−781−６１９５

東西建築サービス株式会社
取締役社長 布袋國雄
〒541 大阪市東区横堀２丁目48番地 電話 06−202−3626(代)

株式会社 内藤建築設計事務所
代表取締役社長 内藤正克
兵庫県小野市上本町240−4 電話07946−2−4757(代)

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行
設計事務所有志

合資会社 中建築設計事務所
代表社員 広谷嘉秋
名古屋市中区西瓦町11番地の1(広瀬ビル)電話052－262－4411(代)

株式会社 能勢建築構造研究所
代表取締役 能勢善樹
〒550 大阪市西区西本町1－13－38 新興産ビル 電話 06－538－0378(代)

中川匠建築設計事務所
所長 中川匠
大阪市北区浪花町38新興ビル 電話 06－371－3651

株式会社 林設計事務所
代表取締役 林茂
大阪市大淀区長柄中3丁目1番8号 電話06－351－6831

株式会社 中原茂建築事務所
代表取締役 中原茂
大阪市西区靭本町2丁目9番11号(岡崎橋ビル) 電話06－445－0039

阪急エンジニアリング株式会社
取締役社長 七里清一
大阪市北区角田町31(阪急航空ビル内) 電話 06－373－5483(代)

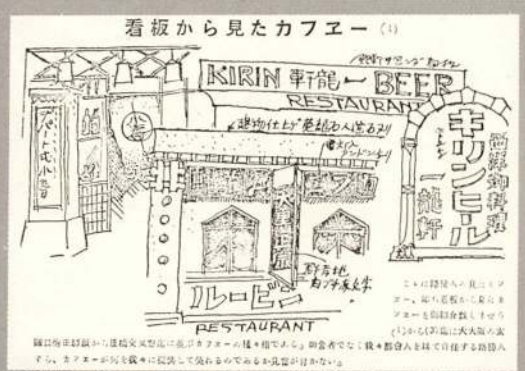
株式会社 西村建築事務所
取締役社長 数井利美
神戸市兵庫区荒田町2丁目1番地旭ビル 電話078－521－0205(代)

株式会社 桝谷設計
代表取締役 桝谷博行
奈良市大宮町1丁目6番21号 電話0742－34－1461(代)

株式会社 日建設計
取締役社長 塚本猛次
大阪市東区横堀2丁目38番地 電話06－203－2361

株式会社 松浦構造設計事務所
代表取締役 松浦潤一郎
神戸市灘区八幡町4丁目9-27六甲ビル 電話078－861－3304


吉村邸調査（昭和３年５月27日）に行った建築協会会員と吉村邸主人とのスナップ



この当時、カフェーやレストランの建築が盛んだったのか、「レストランとカフェー号」の特集が組まれている―昭和４年３号より―


サンマー・ハウスの、67点の応募図案より第２等に当選したひとつ。健在の建設会社社長M氏の作品。―昭和４年５号より―

日積工務株式会社
代表取締役 生島道春
大阪市南区大宝寺町東之丁20番地宇野ビル 電話06－251－3195

株式会社 松田平田坂本設計事務所
代表取締役 坂本俊男
本 社：東京都港区元赤坂1丁目5番17号 電話 03－403－6161(代)
大阪事務所：大阪市北区堂島上3丁目10番地 電話 06－344－7821(代)

日本設計事務所
代表取締役 池田武邦
東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル 電話03－344－2311

株式会社 丸山建築事務所
代表取締役 丸山信
東京都港区北青山3丁目5番25号 電話03－401－2287, 6703

株式会社 日本総合建築事務所
代表取締役社長 中田亮吉 取締役大阪支所長 後藤寛次
東京都渋谷区神南1丁目12番16号 アジアビル 電話03－463－5020(代) 〒150
大阪支所 大阪市東区玉堀町557－5電電共済ビル 電話 06－942－0791(代) 〒540

株式会社 三谷設計
代表取締役 三谷忠義
島根県大田市久手町波根西777の1 電話08548－2－8121(代)

株式会社 榆建築企画設計
代表取締役 科埜秋美
大阪市西区北堀江上通1丁目28番地 電話06－532－3781(代)

宮地建築設計事務所
宮地米三
〒565 吹田市尺谷18－10 電話 06－878－0672

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

設計事務所・建設業者有志

村野・森建築事務所
大阪市阿倍野区阿倍野筋２丁目３番８号
電話06—624—０９２６㈹

株式会社 あめりか屋
取締役社長 前野慶太郎
大阪市北区常安町１７ 電話 06—444—１５０１

株式会社 安井建築設計事務所
取締役社長 佐野正一
大阪市東区島町２丁目７番地 電話 06—943—1371㈹

株式会社 井上組
取締役社長 井上福蔵
本社 大阪市都島区網島町６番25号 電話 06—351—0530
出張所 神戸市生田区加納町３丁目２番地 電話 078—33—1780

株式会社 和光建築設計事務所
代表取締役社長 奥野晴弘
大阪市浪速区新川３丁目630 電話 06—633—0141～３

イマイ建設工業株式會社
代表取締役 今井忠臣
大阪市平野区平野北２丁目９番15号 電話06—792—4425㈹

藪本一級建築士事務所
藪本芳一
和歌山市東長町10丁目13 電話0734—22—９９３０

株式会社 今西組
取締役社長 今西壽雄
大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1(上六ビル内) 電話06—779—3361㈹

株式会社 吉田建築事務所
取締役社長 吉田信武
〒550 大阪市西区北堀江上通3—22 電話 06—538—2991㈹

株式会社 恵美須建設
代表取締役 田口信夫
京都市左京区浄土寺馬場町151番地 電話075—761—1151㈹～1153



昭和７年に日本建築協会15周年記念として、この大美野田園都市に建つ理想的住宅設計案を募り、「大美野田園都市住宅博覧会」を後援した。４年後には、住宅 170戸、商店30戸、上下水道完備の田園都市を形成している。



昭和９年、室戸台風による大阪駅前の浸水





上は、一世を風靡した女優栗島すみ子。下は今和次郎「服装史」より。

▼建設業者(五日会は別掲・十日会を含む)

大木建設株式会社大阪支店
取締役支店長 藤原茂博
大阪市西区南堀江通３—３ 電話06—538—3075

アイサワ工業株式会社
取締役社長 逢沢潔
岡山市表町１丁目４番10号 電話 0862—25—2151(代)

株式会社 岡田組
代表取締役 岡田昌治
大阪市西区南堀江大通５の５ 電話06—538—３２８５

株式会社 淺川組
取締役社長 長井謙介
和歌山市小松原通３丁目３番地 電話0734—23—7161㈹

株式会社 岡野組
取締役社長 岡野武司
京都市左京区南禅寺草川町73 電話075—761—1261～３

安部建設株式會社
取締役社長 安部恒夫
大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06-678-3212㈹

株式会社 奥田組
代表取締役 奥田正治
豊中市岡上の町1丁目9番8号 電話06—853—0332(代)

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

建設業者有志

奥村組土木興業株式会社
取締役社長　奥村安太郎
大阪市港区市岡３丁目５番18号　電話 06－572－5301(代)

株式会社 金剛組
代表取締役　金剛利隆
大阪市天王寺区椎寺町66番地　電話 06－779－7731(代)

筧組建設株式会社
代表取締役社長　岡本全男
大阪市天王寺区東高津町14番地の５　電話06－768－1515

株式会社 笹川組
取締役社長　藪本弦三
滋賀県大津市打出浜13番15号　電話0775－23－2314

加藤建設工業株式会社
取締役社長　加藤佐武郎
京都市右京区常盤山下町８番地　電話075－871－5222(代)

新御堂建設株式会社
代表取締役　城山和則
大阪市東区南久宝寺町５丁目19　電話 06－251－4238(代)

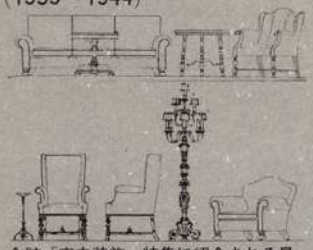
春日建設株式会社
代表取締役社長　伴仲信次
東京都千代田区飯田橋2丁目9番3号　電話03－264－4011(代)

株式会社 生建社
代表取締役　田中功
大阪市西区京町堀１丁目14番32号　電話06－443－4921

協和建設工業株式会社大阪支店
取締役支店長　西坂幸男
大阪市西区西本町1丁目13番11号 信濃橋産業ビル　電話06－541－8357 531－0101

大和ハウス工業株式會社
代表取締役社長　石橋信夫
〒550 大阪市西区阿波座中通1丁目40番地　電話06 (532) 大代表6351 夜　間6312

昭和10年代
(1935～1944)



会誌「室内装飾」特集に紹介される最新室内装飾の一例。グリル談話室用家具として高島屋装飾部で設計されている。－昭和10年１号より



新大阪ホテル／竹腰健造　昭和９年　今は取り壊されてしまった。



十合百貨店／村野藤吾　昭和10年



大阪市立美術館／大阪市建築課　昭和11年
今、内部が改造されようとしている。

株式会社 近畿建設
代表取締役　川崎敬三
大阪市西区江之子島１丁目２番２号 電話06－448－5601(代)

東洋土建株式會社
取締役社長　阿部暢
大阪市東住吉区田辺東ノ町6丁目33 電話06－692－1331(代)～５

近鉄住宅建設株式会社
取締役社長　木梨正夫
大阪市南区谷町９丁目１番地　電話06－763－2581(代)

株式会社 東和組
代表取締役　和田眞一
大阪市北区梅ヶ枝町175番地　電話 06－363－4051

甲南建設工業株式会社
代表取締役　原精一
大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号 電話 06－308－1551(大代)

永濱建設株式会社
永濱利徳
大阪市北区浪花町３５　電話06－371－6760・7063

株式会社 小坂井組
代表取締役　小坂井正夫
大阪市北区太融寺町56番地　電話06－311－9331(代)

南海建設株式会社
取締役社長　今井延雄
大阪市浪速区馬淵町23番地　電話 06－644－1212(代)

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

建設業者・設備業者有志

日新ビルダーズ株式会社
代表取締役　真鍋恒憲
大阪市南区久左エ門町６０　電話06－211－6843～５

村本建設株式会社
代表取締役　村本豊嗣
奈良県北葛城郡広陵町大字安部547番地　電話0745－55－1151

日本建設株式会社
取締役社長　生田重政
大阪市東区安土町４丁目５番地　電話 06－261－7591

▼電気設備業者

野村建設工業株式会社
取締役社長　岩本義心
大阪市東区高麗橋２－９　電話 06－ 202－ 4791㈹

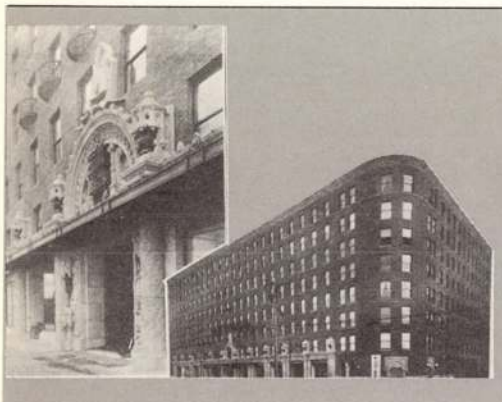
近畿電気工事株式会社
取締役社長　岡本繁一
大阪市北区南扇町11番地　電話06－312－1281

株式会社 橋詰工務店
代表取締役　橋詰一雄
京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326電話075－801－2356㈹

近畿電気工事株式会社神戸支店
取締役支店長　谷垣丹治
神戸市生田区楠町５丁目15番地　電話078－341－7591

不二建設株式会社
取締役社長　山口吾郎
大阪市西区西本町３丁目１番９号　電話 06－541－5534㈹

近畿電気工事株式会社広島支社
支社長　竹村通世
広島市稲荷町４番１号(住友生命広島ビル)　電話0822－62－1471





阪神地方大風水害　昭和13年７月
神戸・住吉川上流附近。このとき、建築協会は災害強度委員会を設け調査し、その報告書が46頁にわたって昭和13年９号に掲載されている。



同潤会此花住宅は、同潤会の大阪市における初めての仕事としてある会社の労働者向けに建設された。関西風に、２戸建、立体、４戸建の３形式のものが130戸ほど建った。この頃、議会で住宅営団法と貸家組合法が通過し、住宅営団は３万戸建設を目ざして胎動しはじめた。－昭和16年４号－

株式会社 米田建設工務店
取締役社長　米田芳松
大阪市鶴見区茨田諸口町1420ノ１　電話 06－912－0001

栗原工業株式會社
取締役社長　栗原信英
大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)　電話06－313－1101(大代)

水野建設株式会社
取締役社長　水野喜一郎
京都市下京区西七条市部町77番地　電話075－312－0431㈹

三宝電機株式会社
取締役社長　嘉納伝三
大阪市北区絹笠町50(堂ビル)　電話06－364－１４７１

株式会社 水間組
取締役社長　水間義雄
大阪市都島区東野田町１丁目1番4号　電話06－352－3121㈹

大栄電気株式会社大阪支店
専務取締役 支店長　伊藤三郎
大阪市西区京町堀１－12－14　電話06－ 443 －0631

株式会社 山田工務店
取締役社長　山田恒治
神戸市生田区北長狭通３丁目13番の１　電話078－321－6451㈹

太陽工藤工事株式会社
取締役社長　小林四郎
大阪市福島区福島７丁目22番８号　電話06－ 452 －1151

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

設備業者有志

髙千穂電機株式会社
取締役社長　岩崎久雄
大阪市都島区中野町4丁目8番10号　電話06－358－1171(代)

森井電業株式会社大阪支店
取締役副社長　佐野春吉
大阪市北区玉江町1-17 正宗ビル　電話06－443-8381(大代)

中央電気工業株式会社
取締役会長　今村騰
大阪市北区梅ヶ枝町56　電話06－312－８８８１

ヤマト電気エンジニアリング株式会社
取締役社長　山本永造
大阪市北区西堀川町15番地　電話06－364－3056

中国電気工事株式会社大阪支店
支店長　出口栄幸
大阪市北区東堀川町10番地　電話06－362－8651(代)

八千代電設工業株式會社
取締役社長　梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町392番地　電話06－941－6531

朝陽電気株式会社
代表取締役　山本博三
大阪市北区中之島３－３朝日ビル　電話 06－385－1361(代)

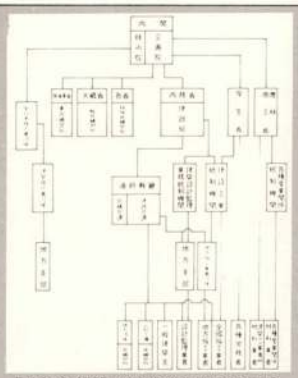
▼空調・衛生設備業者

東光電気工事株式會社
常務取締役支社長　姉川正男
大阪支社　大阪市東区高麗橋5-28　電話06-202-0325(代)

株式会社 朝日工業社大阪支社
取締役支社長　平城勧
大阪市淀川区加島1丁目58番59号　電話06－302－2271～9



日本建築協会25年記念菖蒲池住宅展のための設計応募入賞図案のひとつ。－昭和16年10号－

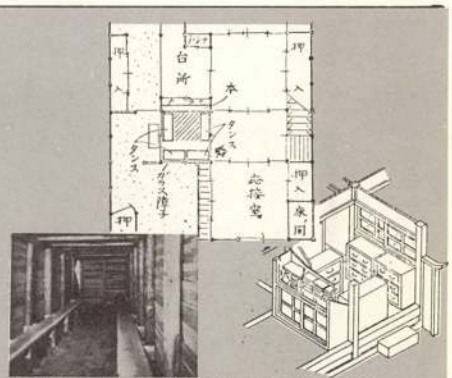


「建築各部門ノ組織系統及監督関係要図」－昭和18年１号－

日本建築協会・建築学会・日本建築士会・建築業協会の４会連合のもと、建築聯合協議委員会を設置し、佐野利器を委員長として協議を79回重ね、「建築新体制要綱」をまとめ、関係筋に建議を申し入れた。(終戦のため解消)



映画「愛の設計図」のワンコマ。「殺人の暴風雨」に対するＰＲ。戦時中、建築協会が製作した。



昭和18年４号「家庭の待避所と工場の待避所に就て」の一部

野里電気工業株式会社
取締役社長　池内文夫
大阪市西淀川区柏里２－４－１　電話06－472－1101～９

大阪電気暖房株式会社
取締役社長　管谷健児
〒550 大阪市西区江戸堀1丁目10番17号　電話06－441－8231(大代)

阪急電気工事株式會社
取締役社長　杉村正三郎
大阪市淀川区新北野１丁目４番21号　電話06－302－0231(代)

春日設備工業株式会社
代表取締役　知見義夫
京都市南区西九条春日町48　電話075－691－9228

宏電工業株式会社
代表取締役　森馬健次
大阪市南区安堂寺橋通１丁目７番地　電話06－261－2095

株式会社 カンダン
取締役社長　仙田四郎
大阪市住吉区万代東６丁目３番地　電話 06－672－1281

松下電器産業株式會社 近畿電設営業所
所長　村本勝男
大阪市東区高麗橋1-12(和幸ビル)　電話 06－201－1421

斎久工業株式会社 大阪支店
代表取締役会長　南長吉　専務取締役支店長　齋藤久典
大阪市北区常安町11番地　電話06－443－5041(代)

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

設備業者有志

株式会社 齊藤工業所
斉藤国義
大阪市西成区岸里２丁目６番５号 電話06－661－3325(代)

髙砂熱学工業株式会社大阪支店
取締役 大阪支店長 吉岡源治郎
大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル) 電話06－372－2511(大代)

三機工業株式会社大阪支店
取締役 支店長 藤田初藏
大阪市東区北浜２丁目22番地 電話06－202－3051(代) 3071(代)

株式会社 西原衛生工業所大阪店
取締役社長 伴一郎
大阪市大淀区中津6丁目8番4号 電話06－458－3531(代)

三建設備工業株式會社大阪支店
支店長 鴨田守
〒530 大阪市北区紅梅町65番地 電話06－352－1131(大代)

日本管工業株式会社
取締役社長 市川繁雄
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075－681－5101(代)

株式会社 三晃空調
取締役会長 尾亀清四郎
取締役社長 斎藤博
大阪市北区富田町１６番地 電話 06－363－1371

日本冷熱工産株式会社
代表取締役 石川良興
吹田市豊津町40番38号 電話 06－384－1201(代)

株式会社 清水工業所
代表取締役 清水愛明
大阪市大淀区豊崎１丁目11番19号 電話 06－372－2851

株式会社 藤井工業所
取締役社長 藤井章
大津市本宮２丁目２番９号 電話0775－23－0119(代)

昭和20年代
(1945～1954)


竹腰健造氏が昭和21年に日本建築協会第２代会長に就任


戦時中の大阪駅前。後方左側は阪急ビル


「建築と社会」昭和23年１号より


大阪駅前のヤミ市

新日本空調株式会社大阪支店
取締役 支店長 河原義夫
大阪市北区堂島浜通1-25-1(新大ビル) 電話06－344－6031

扶桑管工業株式会社
代表取締役 川瀬啓一郎
京都市右京区太秦和泉式部町12番地 電話075－861－1157
支店：大阪 東京

須賀工業株式会社
取締役社長 須賀孝
大阪市西区土佐堀１丁目２番30号 電話 06－441－5171

株式会社 増島製作所大阪出張所
所長 亀田六夫
大阪市北区富田町18番地 島根ビル内 電話 (06) 364－1951～3

株式会社 大気社
取締役大阪支店長 藤井静光
大阪市北区中之島2-22新朝日ビル５階 電話06－203－3721(大代)

マツダ工業株式会社
代表取締役 松田郎三
京都市中京区高倉通二条下ル瓦町551番地 電話075－231－2869 2597

ダイキン工業株式会社
取締役社長 山田稔
大阪市北区梅田8 新阪急ビル 電話06－346－1201(代)

吉嶺汽罐工業株式会社
取締役社長 吉嶺一徳
大阪市東区安土町4丁目10番地(ホースビル) 電話 06－271－8731(代)

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

設備業者・建材業者有志

菱和調温工業株式会社
常務取締役大阪支店長　八木俊一
大阪市北区金屋町1丁目17番地　電話06－352－4881

井上窯業株式会社
井上秋次
大阪市天王寺区生玉町40番地　電話 06－771－2825

▼消防設備

株式会社 赤尾
取締役社長　赤尾勝策
大阪市東区安土町2－12 トヤマビル 電話06－252－1551㈹

株式会社 梅彦
代表取締役　松永嘉一郎
大阪市北区舟場町20番地　電話 06－312－6171㈹

▼搬送設備

旭リフト株式会社
代表取締役　黒川ユリ枝
大阪府守口市大久保町1丁目28番地　電話06－901－2877㈹

エスエム工業株式会社
取締役社長　三木清経
大阪市住之江区東加賀屋1丁目8番16号　電話 06-685-1661

三精輸送機株式會社
代表取締役　小島政吉
大阪府吹田市江坂町1丁目13番18号　電話06－385－5621

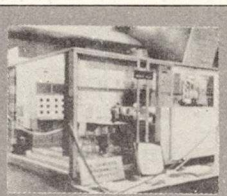
大阪機工株式會社
取締役社長　原千秋
大阪市大淀区豊崎3丁目21番9号　電話06－371－2135

▼環境設備

株式会社 タクマ
取締役社長　川嶋昌雄
大阪市北区堂島中1丁目16-1　電話 06-346-5161(大代)

大阪セメント株式會社
代表取締役　北川欣一
大阪市北区堂島浜通1丁目57番地 電話06－345－1231(大代)

建築協会35周年記念羽衣住宅展示会開催　昭和27年▶



▼大阪スバル座／東洋木材㈱
－昭和22年9～12号よりこの頃、メトロダンスホールなども竣工し、会誌に紹介されている。



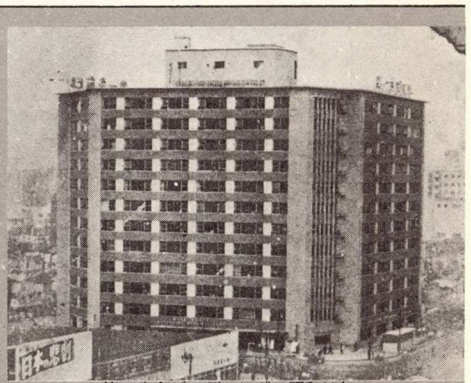


グロピウスの講演会「建築家と環境」昭和29年

昭和28年７月18日、和歌山をおそった風水害は、当時（８月２日）の発表によれば、死者・行方不明 1,066名、重軽傷10,939名、全壊流出家屋8,600戸、半壊浸水46,000戸、罹災者 262,000人であった。近畿大学連合水害科学調査団では８月11日から17日に調査を行い、その報告書が「建築と社会」昭和28年10・11月号に掲載されている。



和歌山県日高川にかかる天田橋。この鉄橋で一昼夜数十人が助けを求めていたという。



第一生命ビルディング　昭和28年
潜函工法で注目された。

大阪装飾株式会社
取締役社長　蜷川智造
大阪市西区京町堀１丁目13番24号　電話06－441-0931㈹

▼建材業者

青盛建材株式会社
取締役会長 青盛繁男　取締役社長 青盛巌
広島市舟入幸町19－10　電話 0822－92－3200

奥村重兵衛株式会社
代表取締役　奥村嘉正
大阪市北区伊勢町22番地　電話06－312－4131

浅野スレート㈱大阪支店
支店長　河村二郎
大阪市大淀区中津3丁目29番23号　電話06－372－5351

大島応用化学工業株式会社
代表取締役社長　田中政二
東大阪市新庄114番地　電話06－745－5121(代)

株式会社 井上冷熱
井上良昭
大阪市西区江戸堀１－９－６　電話06－441－8531

小俣（オマタ）シャッター工業株式会社
取締役社長　小俣茂
東京都北区東田端1丁目4番1号　電話03－893－5211㈹

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

建材業者有志

オリエンタルメタル製造株式会社
代表取締役　津　村　健　児
尼崎市昭和南通り３－２６　電話06－412－5131(代)

株式会社 工盛社　ライオン
藤本庄之助
大阪市城東区鴫野西５丁目16－43　電話06－961－4460 962－1288

大阪アスファルト事業協同組合
理事長　富　田　覚

株式会社 片山鉄工所
代表取締役社長　島　田　孝　治
大阪市大正区南恩加島6丁目2番21号　電話06－552－1231(大代)

甲南建材興業株式会社
代表取締役　小　林　一　夫
大阪市淀川区十三本町２丁目４番28号　電話 06－309－0841(代)

株式会社 川岸窯業商店
代表取締役社長　川　岸　繁　夫
大阪市西区西本町１丁目13番33号　電話 06－532－0461

合同特許建材工業株式会社
代表取締役　山　下　密　男
大阪市東住吉区駒川町３丁目54　電話 702－7814～６

協同金属工業株式会社
取締役社長　西　島　修　吉
大阪市東成区大今里２丁目22番15号　電話 971－8731

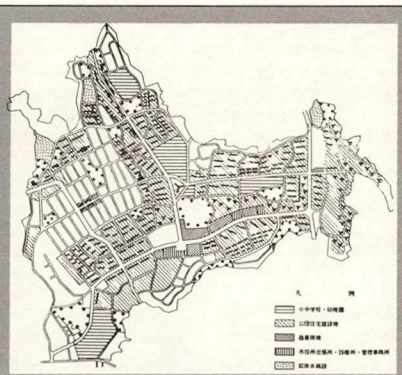
セメント分散剤リグナールの
神戸材料株式会社
取締役社長　堀　元　也
神戸市葺合区熊内町２丁目１－37　電話078－222－2251

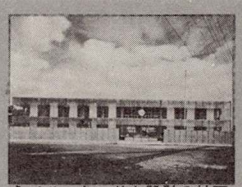
近庄化学株式会社
代表取締役　山　内　栄　一
京都市中京区壬生賀陽御所町77番地　電話075－821－2111(代)

合資会社 佐村木商店
代表社員　佐村木　博
大阪市東住吉区西長居町81番地　電話06－699－6123(代)

昭和30年代
(1955～1959)


昭和30年頃の梅田繊維街
今は取り払われて、大阪駅前市街地改造ビル工事が続々行われている。


香里ニュータウン完成図－日本住宅公団61年報より


ミノル・ヤマサキ設計の神戸米国総領事館　昭和31年


神戸市庁舎　昭和32年


新大ビル（設計：村野藤吾）。昭33年竣工（第一期）、その後増築。


関電ビル（設計：竹中工務店）昭35年竣工。高さ45m12階建出現。右の建物は新大阪ホテル（その後解体）。

久保田鉄工株式会社住宅建材事業部
事業部長　平　岡　幸　夫
大阪市南区末吉橋通り４－10　電話 06－252－7961

株式会社 シェル石油大阪発売所
本部長　栗　山　和　三
大阪市北区堂島浜通1丁目25番地ノ1(新大ビル9階)　電話06－343－0441

桑田硝子株式会社
取締役社長　桑　田　正　造
神戸市生田区多聞通４－９　電話078－371－1861(代)

三愛美装株式会社
代表取締役　宅　間　豊　重
大阪市西区江之子島１丁目７番５号　電話 448－6568

株式會社 小池商店
代表取締役　小　池　章　元
大阪市西成区出城2丁目2番29号　電話06－562－3038

三友工業株式會社大阪支店
常務取締役支店長　細　野　松　雄
大阪市西区南堀江大通１の19　電話 06－532－3321(代)

株式会社 工英社
取締役社長　横　田　克　彦
大阪市西成区橘３－18－27　電話 06－661－8861(代)

塗装一般工事請負
四国竹林塗装工業株式会社
代表取締役　池　田　正
新居浜市泉池町３番２４号　電話0897－33－9381

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

建材業者有志

渋谷金属産業株式会社
取締役社長　渋谷幸雄
大阪市南区鍛冶屋町５２　電話 06－211－7333(代)

淡陶株式会社大阪本部
取締役社長　田中弘
大阪市西区江戸堀１丁目12番８号　電話06－448－6251(代)

シールテックス工業株式会社
社長　杉田新三郎
和歌山市橋丁11番地 城北ビル４F　電話0734－32－2581(代)

東興アスファルト工業株式会社
所長　池田三雄
大阪市西区西本町１丁目５番９号　電話大阪06－541－7583～4

株式会社 新興建材工業所
取締役社長　福頼圭藏
大阪市西区南堀江通６の３９　電話 06－538－2951(代)

東陶機器株式会社大阪支社
取締役支社長　伊藤智康
大阪市北区曽根崎上２丁目31番地の６
梅新第一生命ビル東館　電話 364－1181

株式会社 大佛
取締役社長　佐藤四郎
京都市東山区今熊野大佛池田町9番地ノ9　電話075－541－3344(代)

東洋建装株式会社
取締役社長　二四岡久男
大阪市城東区古市３丁目13番14号　電話 06－932－4321(代)

辰巳興業株式會社
取締役社長　山崎敏明
神戸市生田区栄町２丁目21番地　電話078－321－0655(代)

東洋シヤッター株式会社
取締役社長　岡田敏
大阪市東区両替町１－１２　電話 06－943－6571(代)



東経 135 度……明石天文科学館／京大建築研究会・竹中　昭和35年



京都会館／前川國男　昭和35年



日本建築協会創立45周年記念として「ふるさとのすまい」を刊行。毎日出版文化賞受賞。



日本建築総合試験所財団法人として設立。昭和39年



上、日本建築協会第３代会長故尾崎久助氏（昭和33年就任）



下、日本建築協会第４代会長東畑謙三氏（昭和39年就任）

- 35年　テレビ放送実施。建築協会企画のテレビ放送「建築の広場」は毎日テレビ午前11時10分から20分間、６カ月間毎日曜日に放映された。建築協会主催欧米建築視察団出発
- 36年　第二室戸台風

タカラスタンダード株式会社大阪支店
支店長　吉川武弘
大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号　電話 06－968－1671代

友田工業株式會社
代表取締役　友田俊夫
大阪市都島区都島中通３丁目３番６号　電話 921－0331

株式会社 タテバヤシ商店
代表取締役　舘林彦四郎
京都市南区西九条大国町37番地　電話075－681－7221(代)

内外木材工業株式会社
専務取締役　梶山苞夫
大阪府大東市谷川2丁目100　電話0720－72－2161(大代)

田島応用化工㈱大阪営業所
所長　小山年光
〒550 大阪市西区京町堀１丁目10番５号　電話 06－441－5951

中村タイル株式会社
代表取締役　中村正一
大阪市西区南堀江通１－１１　電話 538－7101(代)

大日本塗料株式會社
取締役社長　池田悦治
大阪市此花区西九条6丁目1番124号　電話06－461－5371

株式会社 ナニワ
代表取締役　吉田廣助
大阪市天王寺区烏ヶ辻町６１　電話06－771－９１２３

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

建材業者有志

浪速合板株式会社
取締役社長　村石　全
大阪市浪速区幸町３丁目２番地１　電話06−561−2201

原田セメント化工株式会社
代表取締役社長　原田孝太郎
大阪市此花区西九条４丁目３−34　電話 06−462−1212㈹

日亜金属興業株式會社
取締役社長　廣野仁利
大阪市北区木幡町８２番地　電話06−364−2771㈹

美工装飾株式会社
取締役社長　小早川美武
大阪市西成区玉出東２丁目９−41　電話06−651−0105㈹

日泉化学工業株式会社
代表取締役　一宮亀久雄
新居浜市新田町３丁目７番17号　電話0897−33−4171

株式会社 平川鉄工所
取締役社長　平川恵一
大阪市大淀区大淀北１丁目９番36号　電話 06−458−8681

日本アルミニウム工業株式会社
取締役社長　山尾忠一
大阪市淀川区西中島1-11-16-301　電話 06−304−1231(大代)

株式会社 平田タイル
取締役社長　加藤忠三郎
大阪市西区阿波座中通1丁目5番地　電話06−532−1231㈹

日本化成株式会社
取締役社長　浅井信通
大阪市北区末広町17 星和地所ビル　電話 06−312−6694

二葉屋装備工業株式会社
取締役会長　若林繁吉
大阪府摂津市東別府３丁目７番８号　電話 06−349−9193㈹

昭和40年代
(1965〜1974)



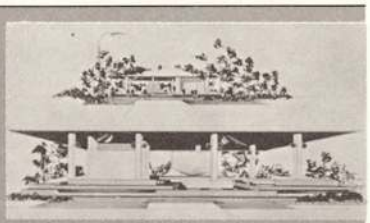
昭和40年、人間初めて宇宙を泳ぐ。



京都国際会館／大谷幸夫　昭和41年



昭和42年５月24日に日本建築協会創立50周年事業のひとつとして企画された65名のモントリオール万国博視察団が、羽田を出発した。



50周年記念事業「大阪城公園内に建つ休憩所」のデザインコンクールの当選作。安藤忠雄氏。今、大阪城公園の木立の中に建っている。

● 日本建築協会50周年記念出版として、データシートが発刊された。今、継続して出ている。また単行本「鉄骨のデザイン」も発刊された。

日本陶管株式会社大阪営業所
所長　加藤輝男
大阪市西区西本町1丁目3番4号　電話06−532−4721

フドウ建研株式会社
代表取締役　諫早信夫
東京都台東区台東１丁目２番１号　電話03−835−2661

日本ハードボード工業株式会社
取締役社長　大本良一
名古屋市港区汐止町１２　電話 052−381−2811

松本金物株式会社
取締役社長　松本六郎
大阪市天王寺区上綿屋町６　電話 06−779−1581（大代）

株式会社 ノザワ
取締役社長　野澤太一郎
〒651-01 神戸市生田区浪花町15番地　電話 神戸078−391−7221(大代)

万年スレート株式会社
代表取締役　長谷川五郎
大阪市西成区千本南２丁目14番20号　電話 06−661−8181㈹

原田今商事株式会社
代表取締役　原田守蔵
大阪市西区西長堀南通３丁目８番地 鶴崎ビル　電話 06−541−7455

三井プレコン株式会社大阪支店
常務取締役支店長　一坪古寿
〒541 大阪市東区博労町２丁目41(中博ビル406号)　電話 06−271−7936〜8
本社　東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番地(太陽堀留ビル)電話03−663−1311

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

建材業者・出版、印刷等有志

株式会社 三国タイル店
代表取締役 東 輝夫
吹田市津雲７丁目20番地 電話 06—832—1101(代)

株式会社 関西廣済堂
取締役社長 枝本 実
豊中市箕輪２丁目11番15号 電話 06—841—２９９１(代)

ムツミ産業株式会社
代表取締役 傳馬正明
〒550 大阪市西区靭本町１丁目17番15号 電話 06—441—0378番(大代)
出張所／広島 工場／大津・竹原

株式会社 研文社
代表取締役 網野 榮
大阪市北区堂山町６６ 電話 06—314—０１５１

室谷商事株式会社
取締役社長 室谷山水
神戸市生田区北長狭通４丁目１ 電話078—331—0881

株式會社 新住宅社
代表取締役 小林 清
大阪市北区常安町１７番地 電話 06—443—６６４１(代)

長堀安田ビル
テナント募集中

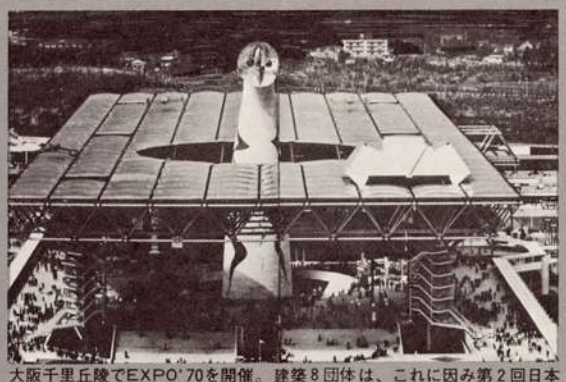
建築金物，アルミ型材
安田株式会社
〒542 大阪市南区末吉橋通１丁目１７
電話 06—251—７０９１

建築写真・カラー撮影
合名会社 つねなりすたじお
代表者 恒成一訓
大阪市東区北浜３—40 電話 231—0141・7781

株式会社 山中製作所
取締役社長 山中啓市
大阪市南区大宝寺町中之丁17番地の３ 電話 06—253—0855(代)

凸版印刷株式会社関西支社
専務取締役支社長 田中貞司
大阪市福島区海老江3-22-61 電話 06—458—2251(大代)


大阪マーチャンダイズマートビル／竹中 昭和44年
大阪にもタカァーイビルが建ったそうな、一度屋上へ上がってみないと…


大阪千里丘陵でEXPO'70を開催。建築８団体は、これに因み第２回日本建築祭を開催。これを記念して、万博写真集「架構・空間・人間」も刊行。


神戸商工貿易センタービル／日建・鹿島 昭和45年

株式会社 リッケン
代表取締役 清水伸保
本社 広島市舟入中町３番31号 電話0822—93—2803

(株)日刊建設産業新聞社大阪支社
常務取締役 大阪支社長 山邊敏郎
大阪市東区淡路町1-14(八千代ビル) 電話 06—231—8171(代)

紙製品のコンサルタント！
株式会社 三浦商事
取締役社長 三浦喜三九
大阪市東区鎗屋町２丁目26番地 電話 06—941—2067

▼出版・印刷・報道関係者
▼一般・銀行・学校・団体

▼出版印刷・報道関係

朝日出版印刷株式会社
代表取締役 大橋武通
大阪市東区玉造町３９５ 電話 768—７５８５(代)

有限会社 柳々堂
代表取締役 立田清
大阪市西区京町堀１丁目12番3号 電話 443—０１６７

アポロ印刷株式会社
取締役 中川真佐吉
大阪市東区北新町２丁目７ 電話 942—２９５１

株式会社 三和地質
代表取締役 時岡保雄
大阪市西区靭本町3丁目8番6号 電話 06-443-7606(代)4157

▼一般・銀行・学校・団体

祝・日本建築協会６０周年・「建築と社会」６６０号発行

団体・銀行等有志

株式会社 団地サービス 西部支社
取締役支社長 太田 儀一
大阪市城東区森之宮1丁目5番101号 住宅公団森之宮市街地住宅5号館内 電話 06—969—1001

京都建築専門学校
校長 大鉢長清
京都市上京区下立売通堀川東入東橋詰町172 電話075—441—1141

阪神不動産株式会社
取締役社長 有野康彦
大阪市北区梅田町47番地 電話06—346—1171

修成建設専門学校
校長 鎌谷秀男
大阪市西淀川区大和田5丁目19—30 電話06—474—1644

ビル総合管理 株式会社 レイビ
代表取締役 椎尾市郎
大阪市東区横堀2丁目29 電話06—231—1466(代)

財団法人 大阪府千里センター
理事長 宮脇和正
大阪府豊中市新千里東町1丁目2番1号 電話06—871—3377

大阪瓦斯株式会社
代表取締役社長 安田博
大阪市東区平野町5—1 電話06—202—2221

西日本建設業保証株式会社
取締役社長 島村忠男
大阪市東区上町5番地 電話06—762—5701

関西電力株式会社
取締役社長 森岡俊男
大阪市北区中之島3—5 電話06—441—8821

財団法人 日本建築総合試験所
理事長 坂静雄
大阪府吹田市藤白台5丁目125番地 電話06—872—0391



大阪の新しい建築写真展示窓が昭和44年11月より、北浜の地下道で開設され、2～3ヵ月ごとに、「新しい建築」の紹介や、「街を緑に」、「大阪の建築・今と昔」、「大阪にも超高層ビル時代」（写真）など、昭和52年初頭までに35回展示し、一般公衆にPRした。昭和48年に、大阪国際ビルと大阪大林ビルが竣工し、つづいてロイヤルホテル、データ通信局庁舎、中之島センタービルなどが竣工して大阪にも超高層が建った。

日本最古の農家の「皆河の千年家」昭和46年3月復原。

昭和46年11月建築学会を中心に「山邑邸」保存運動起こる。

昭和47年解体された「松岡外科病院」

昭和46年3月明治村に移築保存された「呉服座」。

昭和47年 山陽新幹線岡山まで開通。「新神戸駅」

キタの阪急三番街完成。同じ頃、ミナミに「虹のまち」完成 昭和47年

昭和47年5月13日大阪ミナミの千日デパートで火災起こる。死者118人。ほとんど新建材による窒息死だった。

株式会社 三和銀行瓦町支店
支店長 飯田喜久夫
大阪市東区瓦町2丁目55 電話06—203—3041

社団法人 日本建築積算協会関西支部
支部長代行 生島道春
〒542 大阪市南区安堂寺橋通1—34—14 第2幸福相互ビル 電話06—261—0823

株式会社 大和銀行
頭取 古川進
大阪市東区備後町2丁目21番地 電話06—271-1221（大代）

昭和石油アスファルト株式会社大阪営業所
所長 笠原昭治
大阪市北区梅田町27番地（産経ビル7階） 電話06—34—6395

中央信託銀行株式会社大阪支店
取締役支店長 本橋吉雄
大阪市東区北浜3丁目1番地 電話06—202—7121



大阪駅前市街地改造事業第1号棟（駅前第1ビル）が12階建で昭和45年に完成（東畑建築事務所設計、写真では左向こう側）し、16階建の第2号棟ビル（駅前第2ビル）が昭和51年に完成した(安井建築設計事務所設計)。工事中、道路陥没事故があり、完成が予定よりおくれた。手前に34階建の第3号棟が建つ予定で工事中。
右前方の超高層は30階建のマルビル（フジタ工業設計）で、昭和51年竣工。
いずれも地下は数階に達し、阪急三番街の地下街商店とならんで、地下に大きな商店街・地下道が現出しようとしている。地上に地下に、変貌のいちじるしい大阪駅前の再開発地区である。

株式会社 住友銀行高麗橋支店
支店長 金田圭壮
大阪市東区伏見町2丁目2番地 電話06—203—2941

現地再開発(増・改装含む)の近代建築

京都朝日会館







大阪高等地方簡易裁判所





倉敷紡績工場



倉敷アイビースクェアー再生



堂島ビルディング改装





大 9

阪急百貨店増築







曽根崎警察署






建設中の泉北ニュータウン内に試行建設されたパイロットハウス入選作のひとつ「大林組テラスハウス'70」昭和47年


日本建築協会建築クラブは昭和7年設立、戦時中に自然解消の形となったが、昭和47年再度発足。


昭和48年8月、芦屋浜高層住宅プロジェクト提案競技入選発表。上は第1位「ASTM」提案プラン。


◀日本建築協会第5回「ヨーロッパの都市と建築調査団」昭和43年6月12日、23日間の旅へ出発。


日本建築協会
第5代・現会
長塚本猛次氏
(昭和46年より)


昭和49年7月「枠組壁工法技術基準」建設省告示。


大阪市身体障害者スポーツセンター
昭和49年

近鉄上六ターミナルビル





大阪ガスビルディング増築





伊藤萬ビル





朝日新聞社ビルディング







京都・中京郵便局庁舎の増改築(外観保存)



大阪・日本銀行大阪支店増改築(外観保存)



神戸・東京銀行神戸支店(元 横浜正金銀行 神戸支店)の市立博物館への転用

1967年(昭42)以降年表(建築界・日本建築協会関係)

日本建築協会の50周年記念号(昭42)には、50年間の詳しい年表を記録したが、今回は、その後の10年間の主要な事柄を以下に列挙する。大事な点が抜けているかも知れないが、詳しい記録については、別の機会にゆずりたい。なお、日本建築協会関係の主要事業には●印を付した。(見学会・講習会などは多数であるため省略)

1967年(昭42)

昭和元禄　いざなぎ景気
千里ニュータウンに高層住宅
面開発市街地(森の宮)
日本建築総合試験所本所開設(開設昭39)
●第13回工高生デザインコンクール(以下毎年開催)
●よろず相談住宅展(毎年)
●日本建築協会50周年記念
●モントリオール万国博視察団
●大阪城公園に休憩所設計寄付
●物故者慰霊祭
●関西の建築回顧展
●建築と社会大型化
パイロットハウス入選発表・試行建設
日中外交樹立
中之島をまもる会発足
山陽新幹線(岡山まで)
千日デパート火災事故
日本列島改造論
京都市市街地景観条例発表
中之島東部再開発に対し、学会近畿支部、新建、中之島を守る会などが保存要望書
●建築基礎工法と実例出版
●建築と社会600号(2月号)
●日本建築協会に建築クラブ発足

1968年(昭43)

大学紛争激化
十勝沖地震
●関西都市住宅会議(毎年)
●建築データシート刊行
●鉄骨のデザイン出版
●建築基準法改正に対する建築各団体の意見書

1969年(昭44)

新全国総合開発計画発表
建築基準法改正案閣議決定
●ブルース・ガフ講演会
●万博建築講演会
●建築基準法改正案の成立促進陳情書
●台湾建築事情視察団
●展示窓の開設

1970年(昭45)

日本万国博(Expo '70)千里
公害問題激化
大阪天六ガス爆発
法円坂の市立教育青少年センター建設工事再開に対し、

1973年(昭48)

日中建築技術交流会発足
石油化学事故　オイルショック　住民運動激化
建設省、工事請負契約書のインフレ条項適用
芦屋浜高層住宅プロジェクト入選発表
熊本・大洋デパート火災
中之島まつり(第1回)
●ヨーロッパの都市と建築調査団

1974年(昭49)

国土利用計画法
国土庁発足
人口1億1千万こえる
インフレ、不況
ビル爆破事件続発
枠組壁工法技術基準建設省告示
中華人民共和国展覧会(万博跡地)開催

昭和50年代

(1975～　)



沖縄海洋博のアクアポリス
昭和50年



協会主催「竹腰健造先生米寿を祝う会」昭和50年2月1日



人間居住会議宣言案など要旨

「人間居住会議」(HABITAT)が昭和51年5月31日から6月11日までカナダのバンクーバーで開催された。それに先立ち、5月18日から5日間にわたった神戸県民会館でのIFHP兵庫国際会議は住民参加をうたった決議案と兵庫宣言案を全会一致で採択し、HABITATに送付した。



大阪南港ポートタウンは現在2800戸を建設中で、今年の秋から入居が始まる。



日本建築協会「よろず相談住宅展」風景。毎年、百貨店で開催され、昭和51年で第13回目を迎えた。

1971年(昭46)

環境庁発足
札幌オリンピック
ニクソンショック
日照問題紛争
建設省建築協定の普及はかる
日本の国土と国民生活の未来像の設計「21世紀の未来像」入選作発表
●21世紀の日本未来像講演会
北摂・西神ニュータウン着工
平城ニュータウン起工
山邑邸保存運動
皆河の千年家(姫路)復原
大阪から公害をなくす会発足
大阪市庁舎建て替えに伴う中之島東部再開発構想公表
●東畑会長より塚本新会長就任

1972年(昭47)

"難波宮址を守る会"が文化財保存問題で、初の住民訴訟を大阪高裁に提出
新建築家技術集団全国組織発足
●第2回日本建築祭(於万博会場)で、日本建築協会が建築8団体の事務局センターとなる
●日本万国博建築写真集刊行

1975年(昭50)

沖縄海洋博開催
入浜権主張の住民運動起こる
ベトナム解放統一なる
●みどり学習会(若い会員の集い)
●竹腰健造先生米寿を祝う会

1976年(昭51)

ロッキード疑獄事件
大阪都市文化会議1976開催
IFHP兵庫国際会議
ハウス55入選作発表
建築基準法改正(日影規制)
大阪建築士事務所協会設立
大阪設監協会設立
大阪住宅センター発足
●第13回よろず相談住宅展
●クセナキス建築と音楽講演会
●復刻版ふるさとのすまい

1977年(昭52)

200海里時代迎える
ルーマニア大地震
●日本建築協会60周年
●建築と社会660号

大阪建築防災センター発足
●第11回よろず相談住宅展(そごう)
●工高生デザインコンクール(第20回)

1978年(昭53)

●建築と社会680号

おわりに：

「目でみる日本建築協会60年、近代建築60年のあゆみ」を編集する上で、50周年記念号とできるだけだぶらないようにして、写真などで年代順に整理、選択、割付してみたものです。その点、記録的に不充分なところがでてきてます。また、町並みや建物群としての歴史的な変遷をうきぼりにすべきところですが、今回は紙面の都合もあってそれができませんでした。お許しねがいたいと存じます。(松井、吉崎)

SOME OF RECENT WORKS BY FOUR ARCHITECTURAL OFFICES

関連広告目次

田島応用化工株式会社(表３)
田島ルーフィング株式会社(表３対向)…… 130
三星シングル会(目次対向)……66
近畿電気工事株式会社……34
東洋基礎工業株式会社……35
旭ダウ株式会社……36
鐘淵化学工業株式会社……37
昭和石油アスファルト株式会社……38
住友スリーエム株式会社……39
昌光産業株式会社……39
三星産業株式会社……40
東芝シリコーン株式会社……41
電気化学工業株式会社……42
株式会社ＡＢＣ商会……43
神東塗料株式会社……44
フジモリ産業株式会社……45
立川ブラインド工業株式会社……46
日米ブラインド販売株式会社……47
伊奈製陶株式会社……48
東洋リノリューム株式会社……49
日本エヤーブレーキ株式会社……50
日本電気硝子株式会社……51
株式会社北沢バルブ……52
株式会社岡村製作所……53
株式会社ダスキン……54
積水化学工業株式会社……55
株式会社大阪熊平金庫店…… 117
新日鉄化学工業株式会社…… 117
東亜工業株式会社…… 118
東亜アスファルト防水事業協同組合…… 118
東レ、シリコーン株式会社…… 118
日本アスベスト株式会社…… 119
日鉄カーテンオール株式会社…… 119
三菱樹脂株式会社…… 120
不二サッシ販売株式会社…… 120
株式会社矢橋大理石商店…… 121
株式会社油脂化工社…… 121

株式会社
日建設計



◀広島テレビ本社(第1期)

施　　工　増岡組
所 在 地　広島市中町6番地の1－10
建築面積　1,122㎡
延 面 積　9,862㎡
構造規模　SRC B2、12F
工　　期　昭和49年12月～昭和51年9月

▼御堂筋ビルディング

施　　工　大成建設
所 在 地　大阪市東区備後町5丁目
建築面積　2,167.16㎡
延 面 積　28,766.83㎡
構造規模　SRC B3、12F、P2
工　　期　昭和50年3月～昭和51年12月



▶堺市郷土博物館計画案

所在地　堺市百舌鳥夕雲町２丁（大仙公園内）

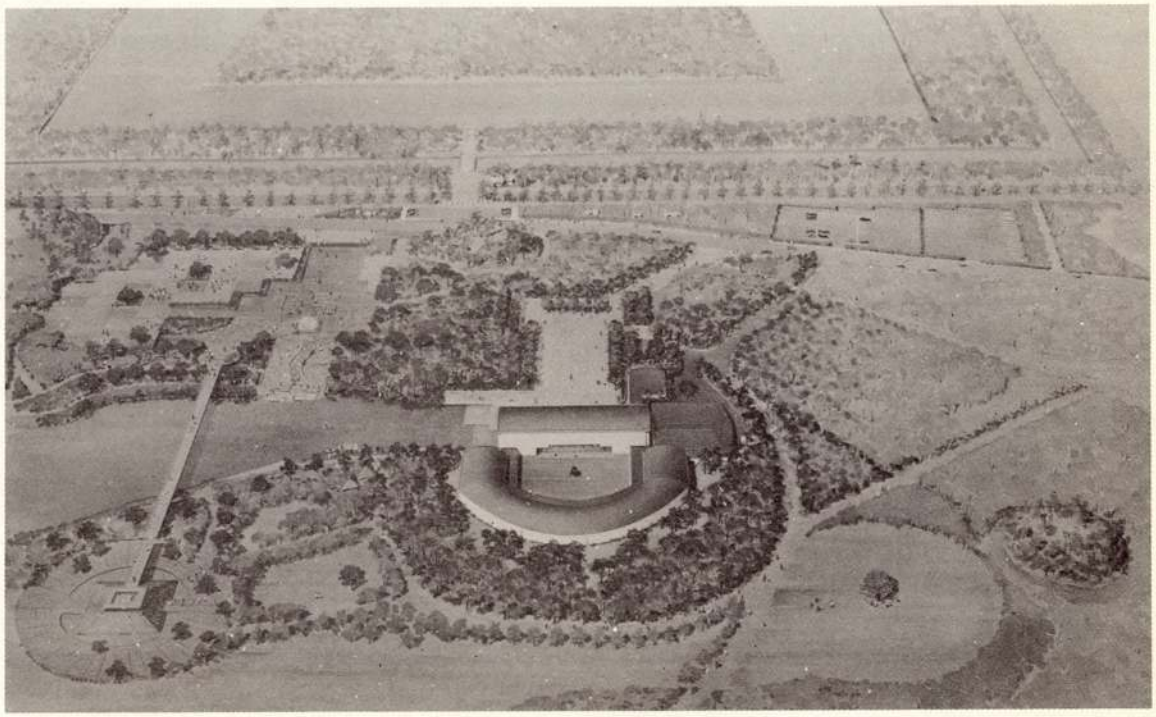
堺市民の久しく待ち望んだ郷土博物館が、百舌鳥古墳群の一隅にやがて実現される運びとなった。私達は千数百年の歴史を誇るこの地に、自らの文化を語り合う市民の場を提案するにあたり、構想の出発点としたのは、次の通りである。

１）古墳群を充分生かした大仙公園の将来の姿の中に、静かにとけこんだ、おおらかな造形と豊かな空間の創造。

２）いにしえの同郷人とのかたらいの中に、市民自らが明日の姿をはぐくむ充実した場の計画。

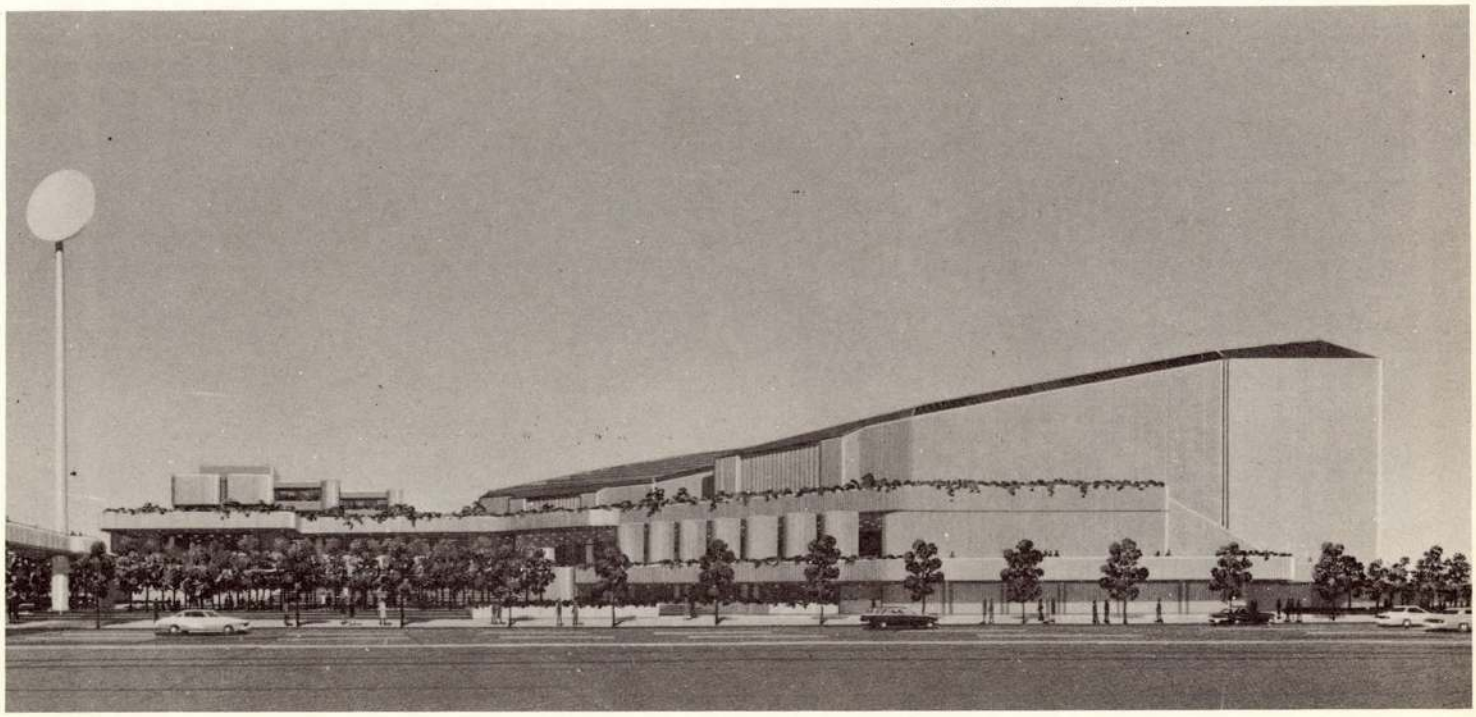
３）それらを支える機能性の追求。

なお、この計画案は、私達が指名設計競技に参加し、提案採用されたものである。



▼和歌山市市民会館(基本計画)

所 在 地　和歌山市湊紺屋町３丁目45ブロック
建築面積　8,136.00㎡
延 面 積　18,565.00㎡
構造規模　RC B1、4F
内　　容　大ホール1,500席、小ホール700席、市民ホール400席



株式会社

東畑建築事務所



▲小林ビル

施　　主　(株)泉屋商店
施　　工　戸田建設(株)
構造規模　SRC B2、14F、19,409㎡
竣工予定　昭和54月３月

大阪、南、道頓堀に近く御堂筋に面して、コマーシャルビルが着工された。地階から２階迄はファッション関係の店舗など、３階はガーデンフロアのある食堂街、４階は結婚式場と披露宴会場、５階から上部はシティホテルとなっている。繁華街にまたひとつ華やかな灯が加わることになろう。

▼兵庫県新農業会館

施　　主　社団法人兵庫県農業会館
施　　工　フジタ工業(株)
構造規模　SRC B2、11F、20,871㎡
竣工予定　昭和53年２月

兵庫県下の各農業協同組合連合会の総合事務所として、神戸市生田区海岸通りに建設中である。１フロアーの面積が比較的大であるため、中央コアシステムを採用して事務室面積の有効率を高めた。各農協の中枢機構が入るほか、11階には500席の大ホール・貸会議場も設けられている。



▶神戸市立心身障害者センター

施　　主　神戸市
設　　計　神戸市営繕部
施　　工　(株)大本組
構造規模　SRC　B1、8F、7,432㎡
竣工予定　昭和52年３月

心身障害者が診察とテストを受け、専門員の指導の下に社会復帰訓練の方向づけをするための諸施設が設けられており、並行して理学療法、温浴療法、作業療法も受けられるよう配慮された。なお、作業部門では実収入を得るための仕事も行われるなど、身障者の社会復帰を推進するセンターとして間もなく完成する。



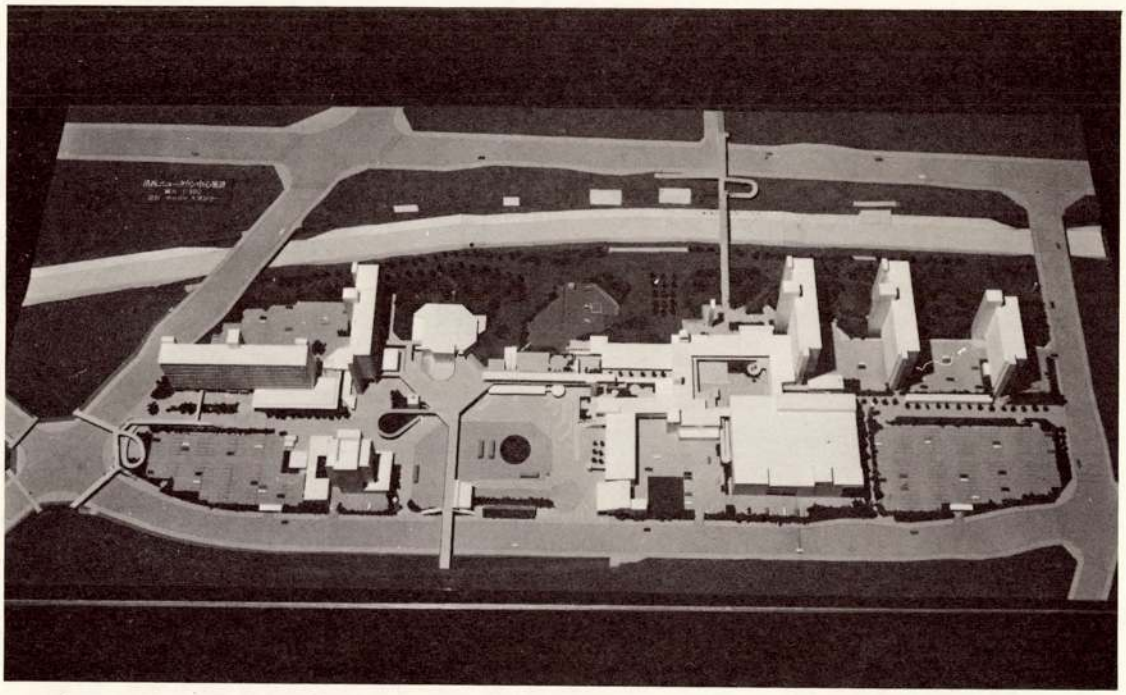
▶日本住宅公団森之宮第2市街地住宅

施　　主　日本住宅公団
設　　計　日本住宅公団関西支社
施　　工　Ⅰ工区　フジタ工業(株)
　　Ⅱ工区　(株)鴻池組
　　Ⅲ工区　(株)竹中工務店
　　(株)熊谷組JV
構造規模
　１号棟　SRC　15F　53,036㎡
　２号棟　SRC　15F　12,123㎡
　３号棟　SRC　8F　5,720㎡
　４号棟　SRC　B1、25F　47,761㎡
竣工予定　昭和52年10月

住棟の集約化により生み出されたオープンスペースには、築山・小川などを設け、緑豊かなものとし、温水プール・温室なども設置される予定である。ごみを真空集塵装置により300ｍ離れた清掃工場へ空気輸送して焼却し、その余熱を利用して住戸と温水プールの暖房給湯が計画されている。



株式会社
大建設計



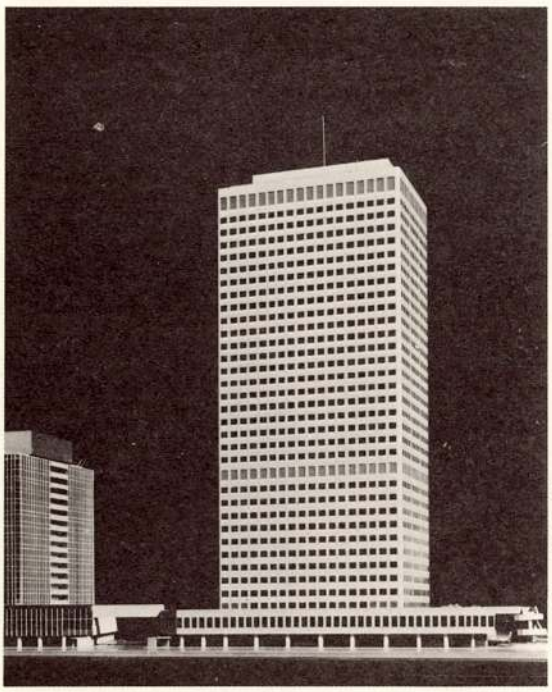
▲洛西ニュータウン中心施設基本計画

所 在 地　京都市西京区大原野東境谷町２丁目
事業主体　京都市開発局
敷地面積　7.3ha
計画施設
　公共施設　合同庁舎・中央公民館・児童館・福祉センター
　　CATV局舎・警察派出所・特定郵便局など。
　　延約9,800㎡
　商業施設　専門店・核店舗・銀行・娯楽施設・サービス施設
　　など。延約20,000㎡
　住　　宅　公団住宅 ３DK 567戸
　そ の 他　バスターミナル(10バース)、駐車場(600台)
　　自転車置場(1,000台)、広場・児童あそび場など

▼西大久保地区再開発事業

施　　主　東京都建設局再開発部
所 在 地　東京都新宿区西大久保４－170
敷地面積　14,019.84㎡
延床面積　50,212.75㎡
構造規模
　A棟－）
　B棟－）権利者住宅　店舗、事務所、教会　－SRC B1、15F
　C棟－）
　D棟－）都営住宅、保育所　－SRC B1、14F
　　－ RC B1、 7F
　住戸数　都営住宅　３DK　207戸
　　権利者住宅　３DK　236戸





◀大阪駅前市街地改造事業に伴う施設建築物第3棟

施　　工　竹中工務店、鴻池組JV
所 在 地　大阪市北区曽根崎上3－30
用　　途　事務所・店舗
敷地面積　10,341.97㎡
建築面積　8,120.00㎡
延床面積　121,276.00㎡
建ペイ率　78.52％
高　　さ　軒　　高　GL＋131.600m
　　最高高さ　GL＋142.000m
容 積 率　1,100.00％
構造規模　B4～2F　SRC
　　3F～34Fおよび P2　S

▶大阪府西淀川警察署

所 在 地　大阪市西淀川区千船東1－15
敷地面積　2,025.50㎡
建築面積　本館 529.47㎡
　　別館 191.64㎡
延床面積　本館 2,505.62㎡
　　別館　600.12㎡
構造規模　本館 RC　6F
　　別館 RC　3F



▼阪和興業(株)大阪南港鉄鋼センター

施　　工　清水建設、鴻池組JV
所 在 地　大阪市住之江区南港中1丁目
敷地面積　58,475.00㎡
建築面積　11,860.52㎡
延床面積　11,781.59㎡
構造規模　S、2F



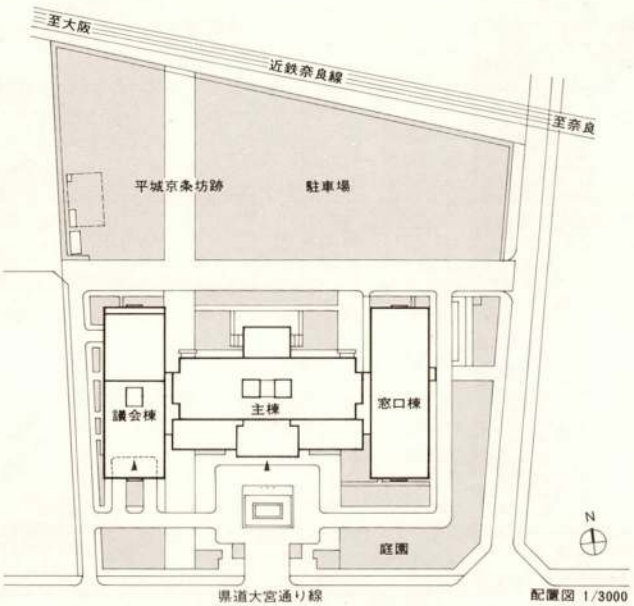
▼サンマルシェ1号館

施　　主　高蔵寺ニュータウンセンター開発(株)
施　　工　(株)熊谷組
所 在 地　愛知県春日井市白山町高森1856－22
　　高蔵寺ニュータウン252街区1番
主要用途　スーパー・店舗(48店)、銀行・文化教室
　　事務所・アミューズメント施設
敷地面積　14,194.79㎡
建築面積　7,735.334㎡
延床面積　19,671.94㎡
構造規模　RC一部S　B2、4F



株式会社
安井建築設計事務所

▶ 奈良市庁舎

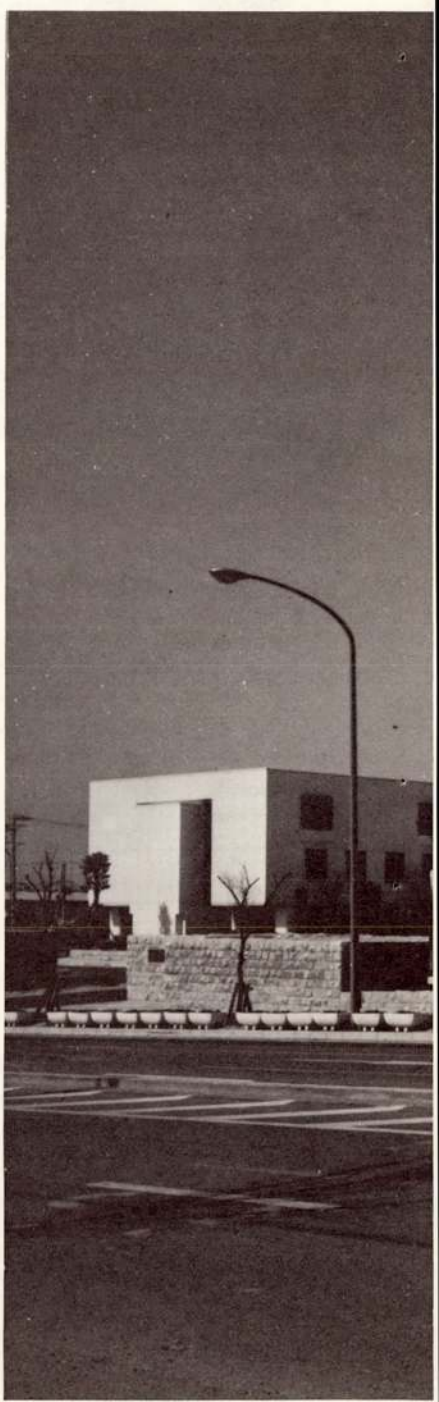


配置図 1/3000









設　　計	安井建築設計事務所
監　　理	奈良市庁舎建設事務所
施　　工	浅沼組
所 在 地	奈良市北新町61番地の 1
建 築 主	奈良市
工　　期	昭和50年 8月11日 ～昭和52年 2月11日
敷地面積	33,427.78㎡
建築面積	6,747.55㎡
延床面積	23,433.29㎡
構造規模	RC B1、6F

新庁舎の位置は、奈良市の既成市街地と、発展の著しい西郊住宅地の中間にあり、奈良市基本構想によって、新しい都市中枢地区の核として性格付けられている。敷地内には平城京条坊跡（左京三条二坊）が発掘調査により確認された。建物配置は中央に鐘楼を持つセンターコア形式の主棟、左右に4階建の議会棟と2階建の窓口棟を配したH型であり、背面には約500台を収容する駐車場を持つ。立面は古代西方アジアにつながる造型を意図し、均整のとれた門型の壁面が特徴的である。主棟1階には1000分の1の平城京復元模型をはじめ、奈良の歴史と文化交流をテーマとした他市に例を見ない充実した展示ホールが設けられている。



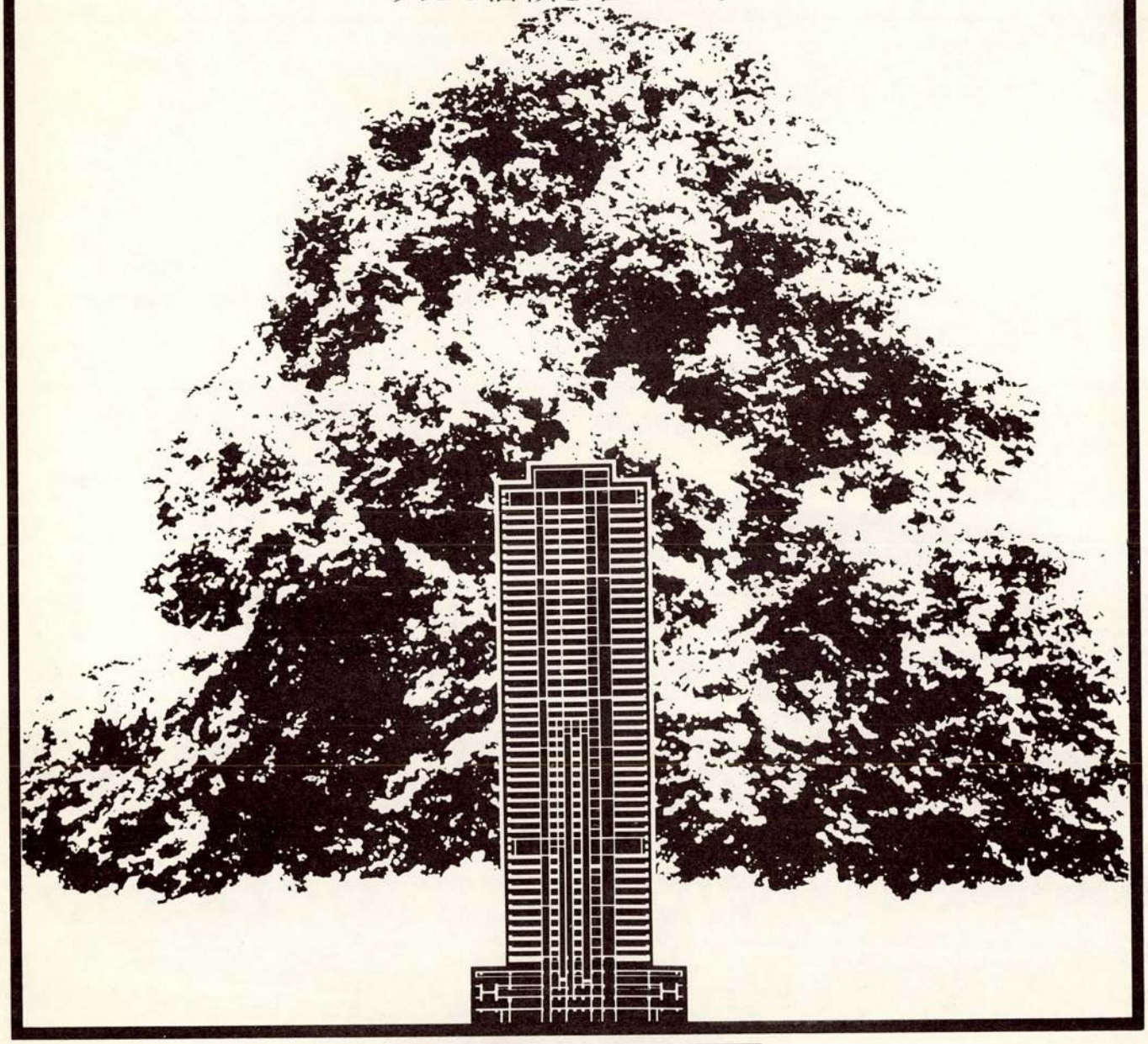
1．窓口ロビー
2．平城京復元模型（部分）
3．展示ロビー
4．外観

写真撮影　つねなりすたじお

近畿電氣工事株式會社

信頼の大きさ…近電工の技術です。

脈動し 呼吸し 成長する都市…
その生命のシステムを支え構築する近電工
きたえあげた技術と組織を集中し
緻密さとパワーで
快適と安全と能率の
大きな信頼を確立します



システムの信頼を高める
近電工

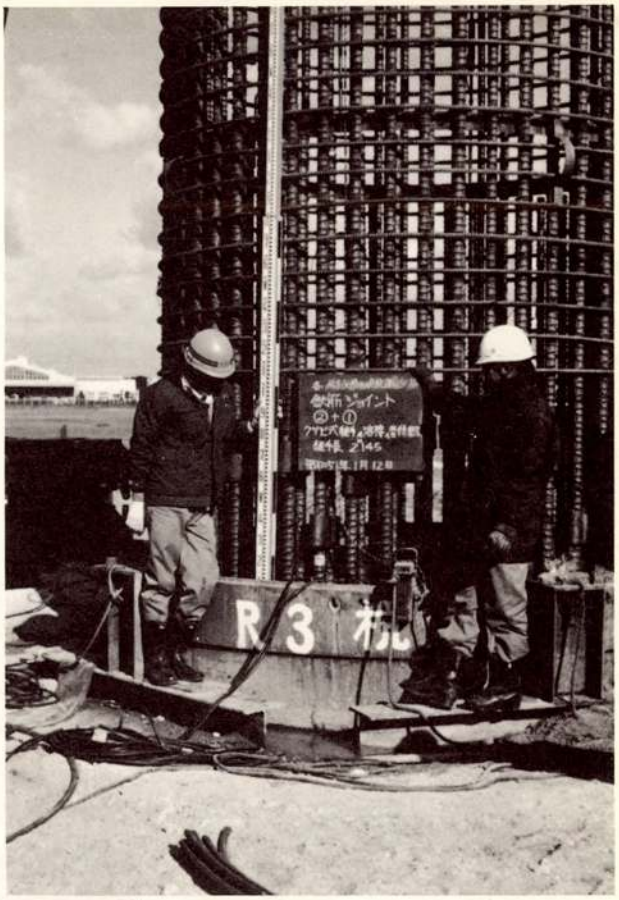
電気・計装・空調・防災・土木●取締役社長 岡本 繁一

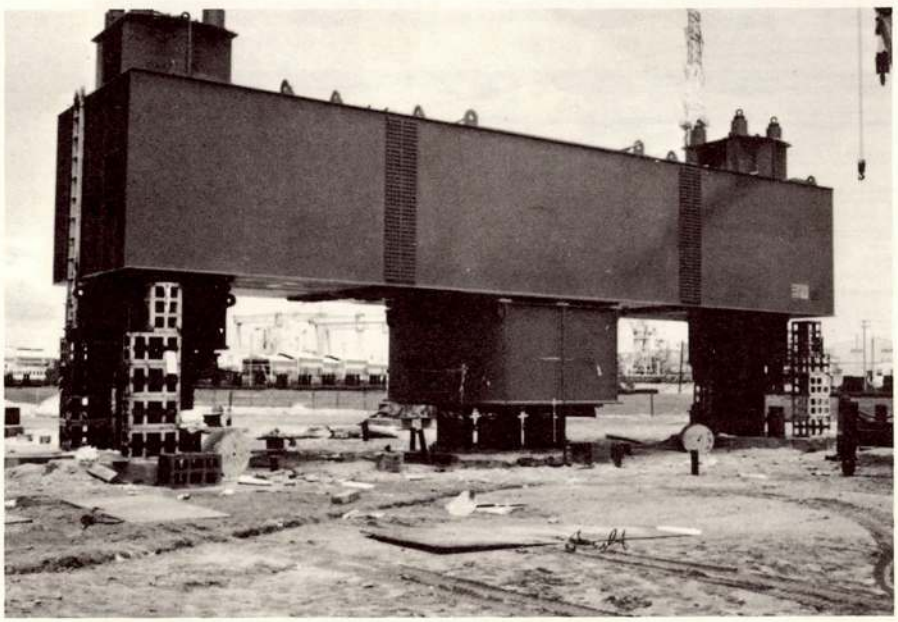
北海道・東北・東京・名古屋・滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・神戸・姫路・広島・四国・九州・沖縄

技術・信用・実績

営業種目

ベノト式杭工事
アース・ドリル式杭工事
リバース式杭工事
その他杭工事
アース・アンカー工事
煙突サイロ工事
地上り対策工事
地盤改良工事



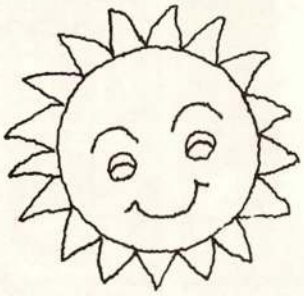


本四架橋
リバース式杭施工実験中
杭径　3,000㎜
杭長　70,000㎜
本数　7本

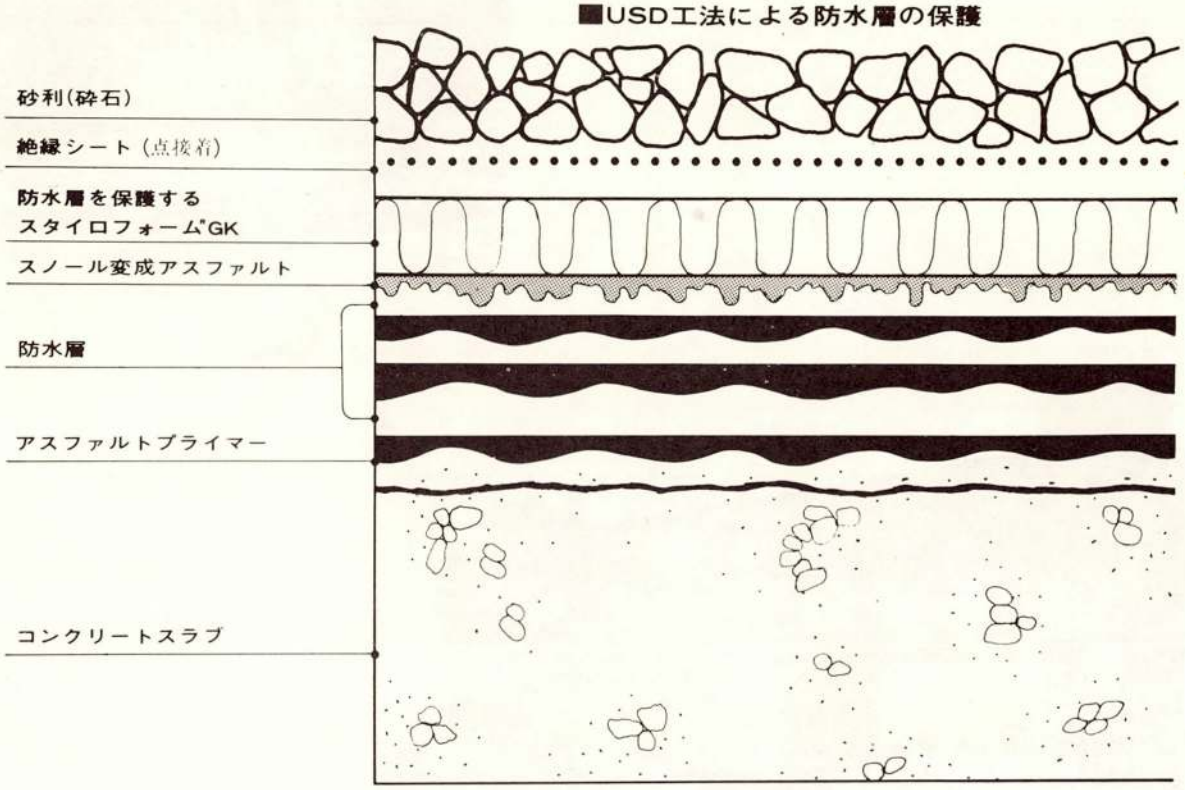
載荷試験4,000t実験中

TOYOKISO
東洋基礎工業株式会社
大阪営業所　大阪市西区靭本町1-6-3（靭ビル）
TEL. 06（441）6678（代）
東京・仙台・名古屋・広島・福岡

屋上断熱工法にスタイロフォーム®GKが最適です



■USD工法による防水層の保護



特長　◎躯体の保護　◎防暑効果　◎防水層の保護

防水十断熱

スタイロ防水

旭ダウ株式会社

大　阪／大阪市北区堂島浜通り1－25－1　☎(06) 347－3970
名古屋／名古屋市中区錦2－2－13　☎(052)211－6171
東　京／東京都千代田区有楽町1－12－1　☎(03) 507－2945

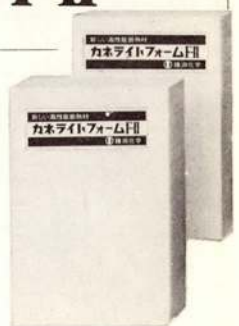


極限への結論

断熱性能の指標「熱伝導率」、カネライトフォームF-IIは、その極限に迫る最小値を実現しました。そのヒミツは、さらに細かくなったポリスチレンの独立気泡、連続押出し発泡法によって生まれる素材体質にあります。相互に独立した気泡がびっしり並ぶ組織構成は、透湿・吸湿性も最小限にくいとめ、優れた断熱性を発揮し続けます。カネライトフォームF-Iですでに定評あるカネカの技術が、いまここに生み出した新素材カネライトフォームF-IIは、「断熱」へのひとつの結論として価値ある断熱材です。

●新しい高性能断熱材

カネライトフォーム F-II



●カネライトフォームF－IIの物性

項　目	性　能	条　件
熱伝導率	0.023Kcal/mhr℃	平均温度 0℃
かさ比重	0.035g/cm³	測定温度20℃
圧縮強さ	3.5～4.0kg/cm²	〃
曲げ強さ	5.0～5.5kg/cm²	〃
引張強さ	6.5～7.0kg/cm²	〃
剪断強さ	4.0～4.5kg/cm²	〃
線膨張係数	6×10⁻⁵cm/cm℃	−30℃～30℃の範囲
比熱	0.27Kcal/kg℃	測定温度 4℃
吸水率	0.01g/100cm²以下	測定温度20℃
水蒸気透過率	0.5g/m²hr	20℃で両側の関係湿度差が50%、厚さ25mm
耐熱性	80℃	加熱変形温度

鐘淵化学工業株式会社

本　社　大阪市北区中之島３－３（朝日新聞ビル）〒530
樹脂製品部　建材課　TEL 06(202)1121
東京支社　東京都港区元赤坂1-3-12（赤坂センタービル）〒107
樹脂製品部　東京建材課　TEL 03(405)1011

Rubberized Asphalt





タフネス防水仕様

フジシール防水PC仕様

昭和石油アスファルト株式会社

東　京　東京都品川区南大井1－7－4　Tel　03-761-4271㈹
大　阪　大阪市北区梅田町27　産経ビル　Tel　06－341－6395
名古屋　名古屋市中区丸ノ内1-17-19 長銀ビル　Tel　052-231－6568
新　潟　新潟市平和町4－1　Tel　0252-74－7561
福　岡　福岡市博多区綱場町2-2 福岡第一ビル　Tel　092-291－0008

建設省東計振発第246号認可

ゴムアスファルト防水工事業協同組合

昭和石油アスファルト株式會社

超高層ビル時代に一躍クローズアップ!

チオコール系シーリング材

"ウエザーバン"

シーラー

■"ウエザーバン"のみがもつ輝く歴史と実績!
■抜群の耐候性、接着力、弾力性、作業性!
■優れた施工技術、綿密な施工管理!



シール施工2箇所
花崗岩スペイン産
ピンクポリノの目地
アルミカーテンオールの目地

池坊(頂法寺会館)

製造元

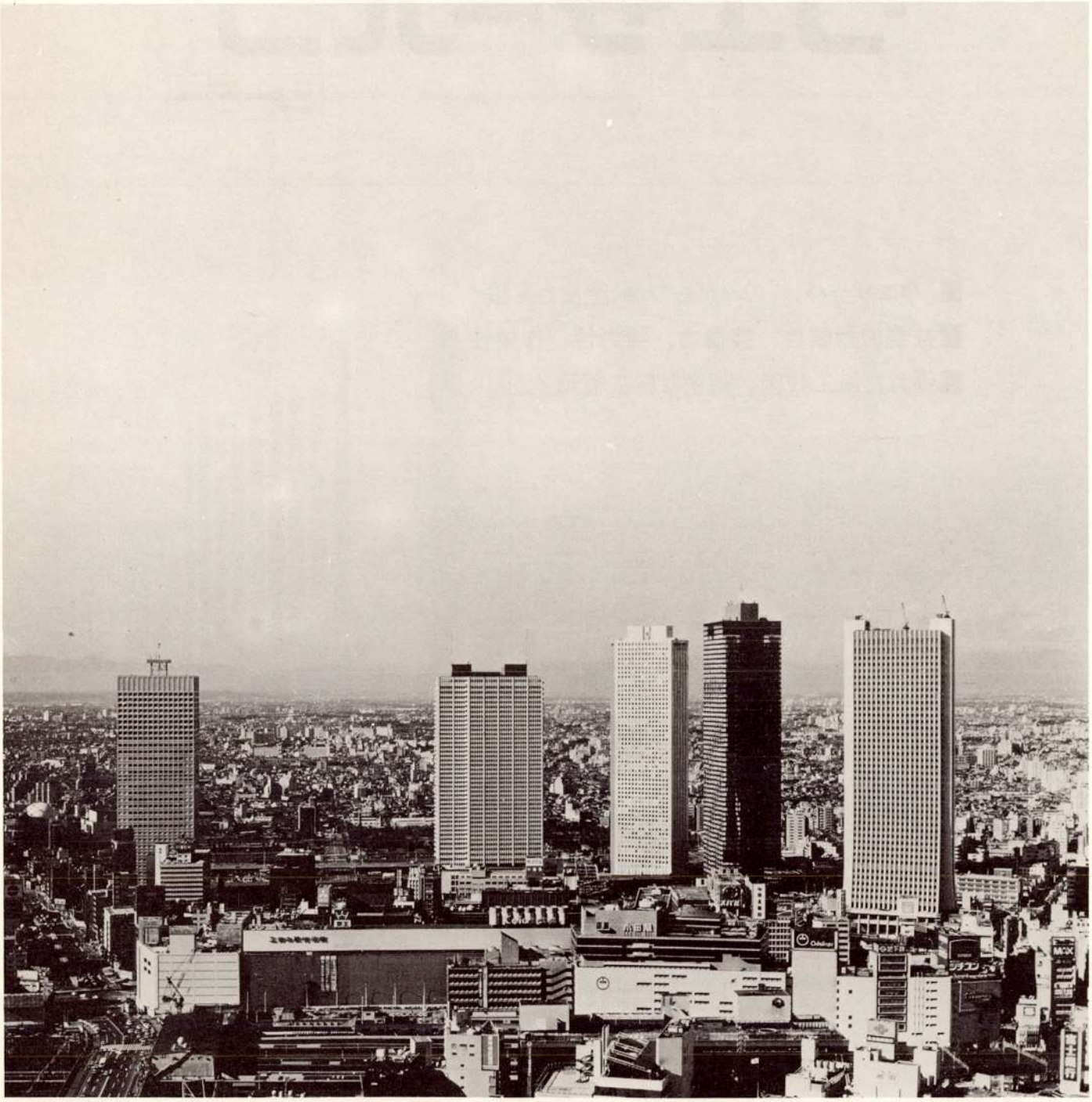
住友スリーエム株式会社 3M

大阪支店　大阪市東区南本町2丁目41（三ツ輪ビル）郵便番号541
電話　大阪(06) 262－1641(代表)

施工代理店

昌光産業株式会社
大阪市北区堂島中2丁目44
電話　大阪06(341)8055番代表　郵便番号530

構造が変っても—
ビニロイド防水
の信頼は変らない



★ビニロイド防水が採用された新宿西口の５超高層（国際通信センター・京王プラザホテル・新宿住友ビル・新宿三井ビル・朝日生命ビル）

★ビニロイド防水が採用された超高層ビル（主要部軒高45ｍ以上のもの）

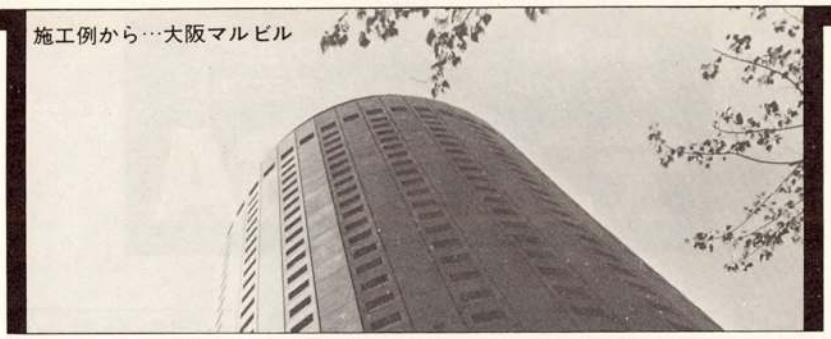
世界貿易センタービル	サンワ東京ビル
霞が関ビル	東京海上火災本社ビル
大阪国際ビルディング	名古屋観光ホテル
朝日東海ビル	北九州市庁舎
神戸商工貿易センタービル	富士銀行本店ビル
ホテルパシフィック東京	仙台第二地方合同庁舎
日本アイ・ビー・エム本社ビル	近畿中央病院
住友生命札幌ビル	他約50件

アスファルト防水に取り組んで58年

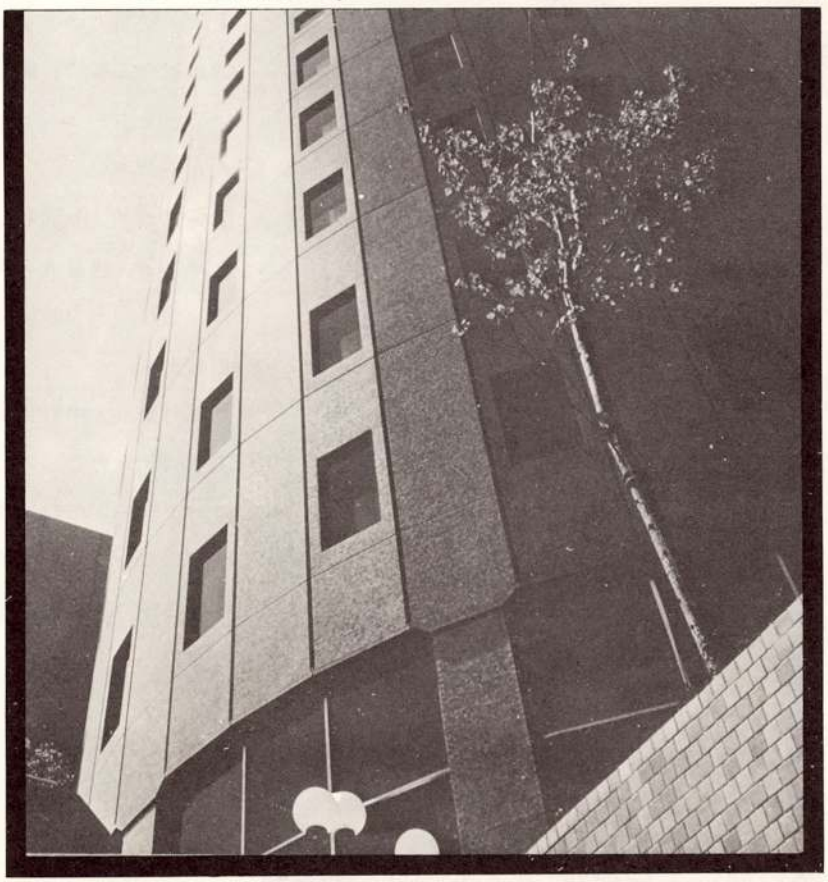
三星産業株式会社

〒101 東京都千代田区神田小川町3-28（三東ビル） TEL〈292〉1961（代）
出張所：札幌〈721〉6031・6307 仙台〈21〉5366㈹ 名古屋〈931〉4574・3390
大阪〈443〉9721㈹ 福岡〈78〉3361㈹

施工例から…大阪マルビル



次々に実績がのびています。



理想のシーリング

低モジュラス2成分型シリコーンシーリング材《トスシール361》は、接着性、耐候性、耐熱・耐寒性に優れ、さらに目地の伸縮に対する追従性がばつぐんで、カーテンウォール工法にはかかせない弾性シーリング材です。

実績は信頼へ

最近は山形県庁舎をはじめ大阪マルビルなど、高層ビルの目地施工に東芝シリコーンの《トスシール361》が採用されました。《トスシール361》その信頼性は確かな実績となって新しい高層ビルの目地設計に採用されました。

理想の弾性シーリング材

トスシール361

Toshiba SILICONE 東芝シリコーン株式会社

大阪支店 大阪市東区本町3-27-1(センバセントラルビル)☎ 06-251-6272
本社・東京支店 東京都港区新橋3－3－9(阪急交通社ビル)☎ 03-503-5561
名古屋支店 名古屋市中区栄2－6－12(白川第一ビル8F)☎052-201-8541
(仙台営業所☎0222－64－7496) (福岡営業所☎092－721－5211) (金沢営業所☎0762－42－3053) (広島営業所☎0822－47－9311) (札幌駐在☎011－221－1048)

■東芝シリコーンは1成分型の建築用シリコーンシーリング材も有ります。

◈資料請求券◈
52年3月
建築と社会

躯体防水、ひび割れ防止、
ケミカルプレストレス工法に

デンカCSA



全国勤労青少年会館「サンプラザ」

コンクリートのひび割れ——これは、屋根スラブ・壁面・地下室・上下水道・水槽・導水路などの工事で、最も注意しなければならないことです——《デンカＣＳＡ》を１度おためしください。

膨張性セメント混和材《デンカＣＳＡ》は、セメントに適量混合すると適度の膨張を生じ、コンクリートの乾燥収縮によるひび割れを防止します。

写真の東京・中野にある全国勤労青少年会館でも《デンカＣＳＡ》を使用することにより、コンクリートのひび割れを防止するとともに緻密なコンクリートをつくり、躯体防水にも大きな偉力を発揮しています。

電気化学工業株式会社

本社●東京都千代田区有楽町1-10　〒100 電話03-502-5511
支店●大阪市北区梅田８新阪急ビル 〒530 電話06-344-1301
出張所●札幌011-281-2301仙台0222-78-2355新潟0252-44-9171長野0262-26-4281横浜045-212-3784名古屋052-571-4541富山0764-31-7641広島0822-28-1517高松0878-33-5545福岡092-771-0531

★

《デンカＣＳＡ》についてのお問い合わせは上記までどうぞ。

世界の一流建材で躍進



エービーシー商会は、ビル建築資材から住宅インテリア・エクステリア材まで、ゆとりある人間環境づくりに貢献する建材の総合商社です。
建材のご相談なら、世界に躍進するエービーシー商会にお任せください。

価値ある建材をあなたのプランに

ABC商会 の 世界の建材

(株) ABC商会

大阪市淀川区西中島４－２－９
〒532 ☎06(303) 1171 (代表)
東京都千代田区永田町２-12-14
〒100 ☎03(507) 7111 (案内)

ソフタイル物語

●合成樹脂エマルション系複層模様吹付材●

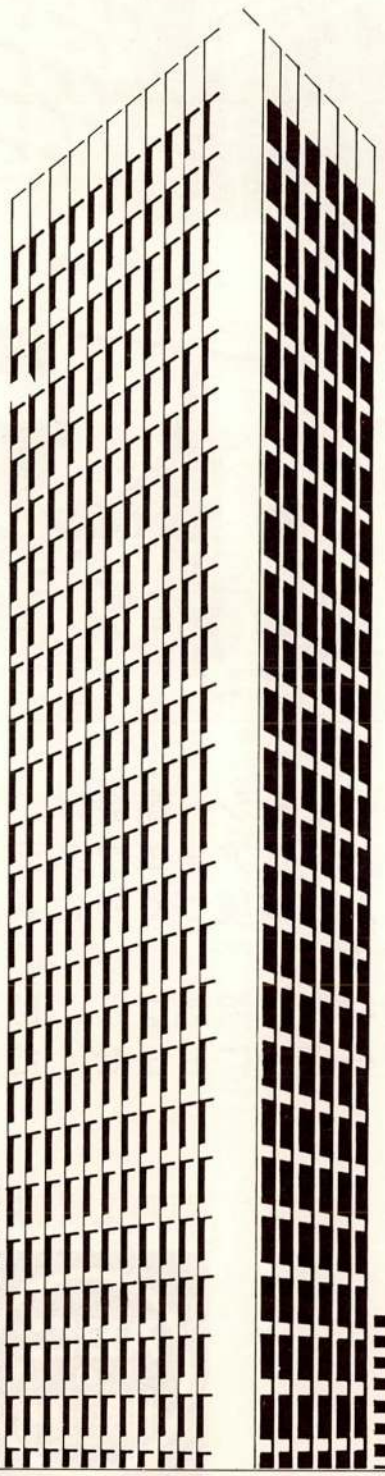
ソフタイルは優れた塗る建材です。

ソフタイルは壁面を飾る内、外装仕上材の多い中で、塗料そのものがソフトな感触と豪華な雰囲気を持ち合せています。



ソフタイルはパブリックなタイル状吹付材です。

ソフタイルは水希釈性の特殊強化アクリル樹脂を主材にしたタイル状の吹付材です。凹凸模様の美しい仕上りと、容易な吹付作業に経済性をプラス、現代にマッチした塗料といえるでしょう。



ソフタイルは格調高い模様吹付材です。

ソフタイルには山谷模様の凹凸仕上げと、カットされたグランドキャニオンタイプのキャニオン仕上げがあります。

●凹凸仕上げ

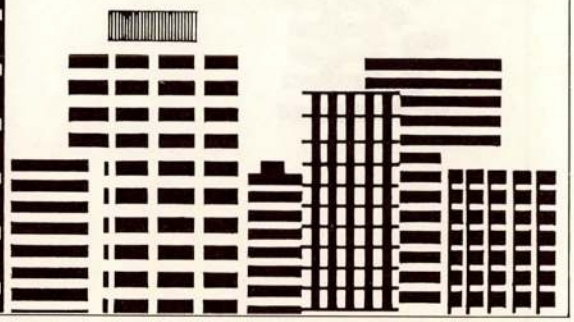


●キャニオン仕上げ



ソフタイルはローコストで豪華な仕上材です。

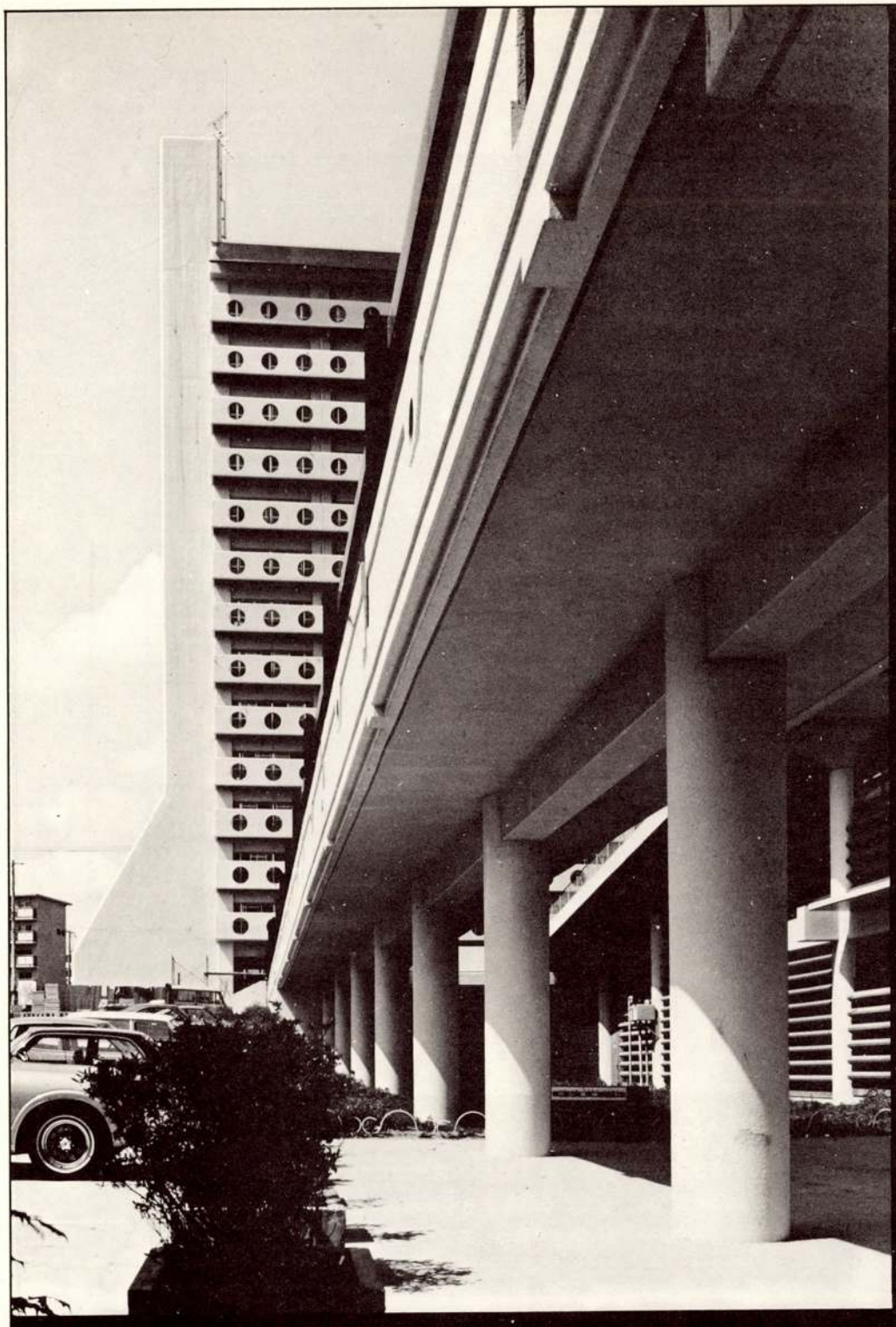
外　壁・オフィスビル、ホテル、レジャー施設、住宅、コンクリート製塀等
内　壁・玄関ロビー、エレベーターホール階段室、廊下等
適性下地・コンクリート面（PC・PF・MF）
モルタル面（鏝押え面・刷毛引き面）
建材面（スレート・フレキシブルボード等）
軽量気泡コンクリート面
木製合板面



塗料で新しい生活空間を演出する——

神東塗料

大阪営業所　大阪市東区北浜５丁目22番地　新住友ビル２号館内
〒541　TEL　06-220-8580(大代)
東京営業所　東京都中央区八重洲1丁目7番20号　八重洲口会館内
〒103　TEL　03-272-4011(大代)



●外装吹付

フジコート
AQタイル
ロールテックス

●型　枠

フジボイド
フジチューブ

●煙　突

ハイスタック
丸型角型

●空調工事

フジスパイラー

●システム防煙ダンパー

甲南式SFD

●中空スラブ

フジスパイラー

フジモリ産業株式会社

建材事業部

本　社	東京都港区東新橋1－2－17(第12中央ビル)〒105	☎03(574)0511
大　阪	大阪市東区博労町2－41(中博ビル)〒541	☎06(271)4131
名古屋	名古屋市中村区上笹島町24(ナカモビル)〒450	☎052(571)8231
広　島	広島市十日市町1－2－11(山田ビル)〒733	☎0822(32)3696
九　州	福岡市中央区天神3－16－21(中村屋第1ビル)〒810	☎092(76)0577
仙　台	仙台市一番町2－3－32(東一ビル)〒980	☎0222(66)4356



シルキー・30色の中から、

このスペースのために選んだのは、赤。いままでのオフィス・工場ホールには見られなかったカラーです。くつろぎの時間をより楽しいものにする、シルキーカラー。しかも、幅25ミリの軽量アルミ製スラットが、まぶしさをカット。光を。明るさに変えてくれます。もうひとつ、見逃せないのは、冷・暖房効果を高める働き。せっかくの、空気の冷たさ、暖かさが、窓ガラスから逃げだすのを防ぎます。いまどき、嬉しい特長。ぜひ、ご検討ください。

- インテリアブラインドシルキー
- シルキーF－1
- アコーデオンカーテン
- アコーデオンスクリーン
- アドブラインド
- バーチカルブラインド
- ハーモニードア
- スライディングドア
- エレコムバーチ
- エレコム25
- エレコムブラッキー
- アウトサイドブラインド

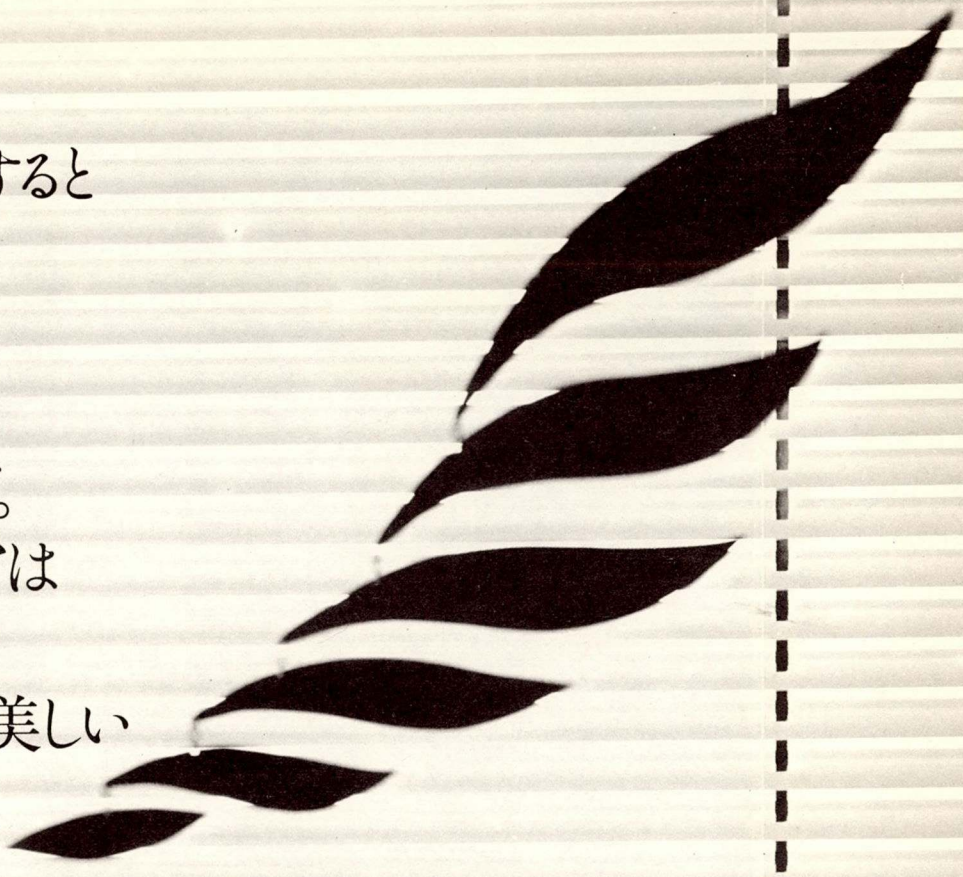
立川ブラインド工業株式会社

大阪営業所 〒542大阪市南区安堂寺橋通り4丁目35 電話(06)251－1821(代表)
本社 〒151東京都渋谷区佐々木4丁目30番7号 電話(03)375－1111(代表)
銀座ショールーム〒104東京都中央区銀座8丁目8番15号 電話(03)571－1373

立川商事株式会社

大阪支店 〒542
大阪市南区塩町通4丁目18
豊田ビル 電話(06)252－3541(代表)

日米のブラインドにすると
不思議に
心がなごんでくる。
光がやさしく
話しかけてくるようだ。
日米のユニコンモアは
すっきりと
鮮やかな光と影が美しい
よこ型ブラインド。

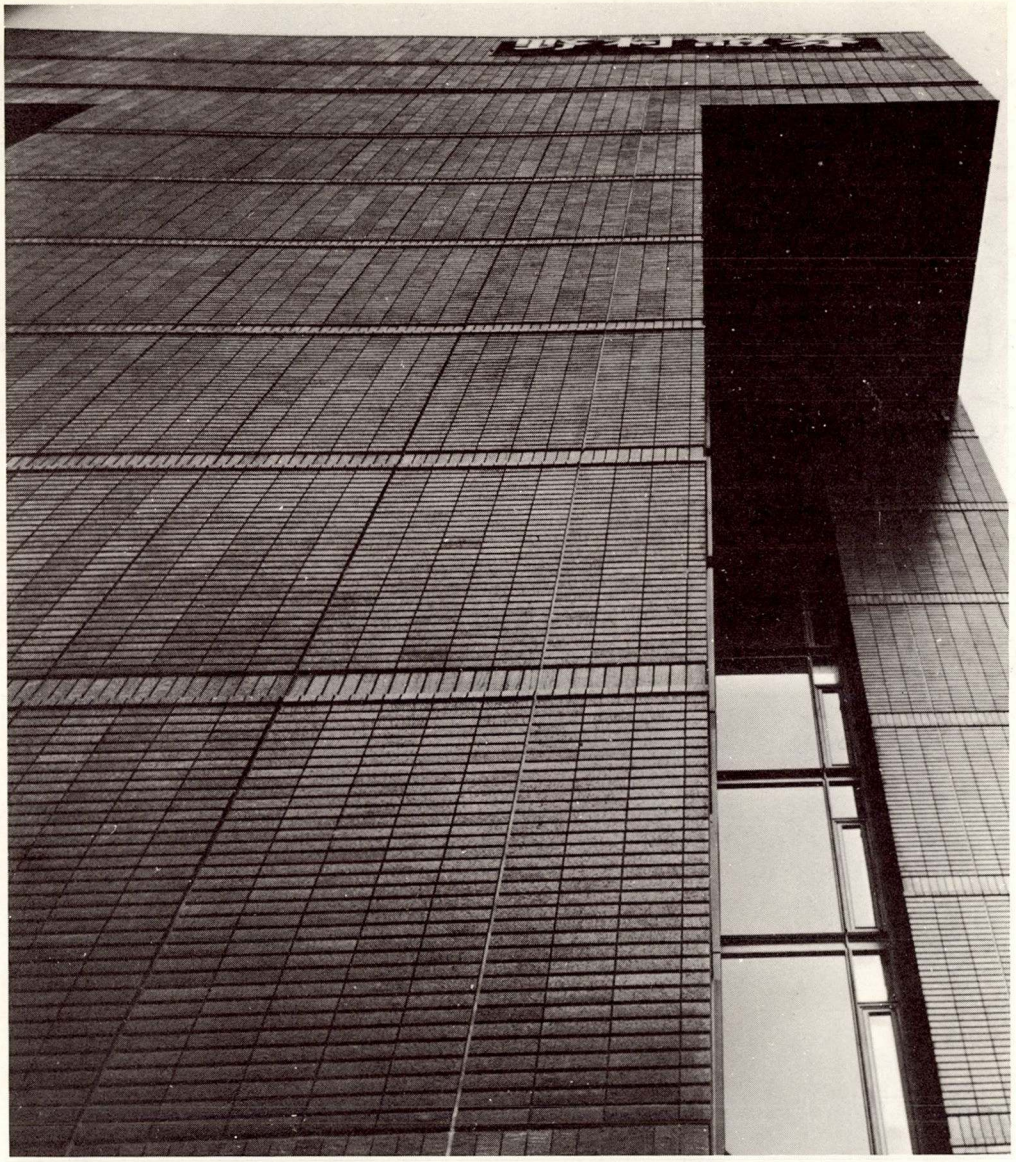


ユニコンモアは1本のコードで操作する、
日米の代表的なよこ型ブラインドです。
スラット巾は50・35・25㎜の3種類。
カラーも豊富です。

お問合せ、カタログ請求は東京(03)272-2011㈹

日米ブラインド販売株式会社

札幌・仙台・盛岡・宇都宮・高崎・長野・新潟・大宮・千葉・東京・立川・横浜・平塚・静岡・金沢・名古屋・京都・大阪・神戸・高松・岡山・広島・福岡・熊本・長崎



施工を考え、タイルを創る——



建築の合理化が進むとともに、タイル工事についても施工の簡易化が要求され、同時に剝離、白華現象などの防止に大きな期待が寄せられています。またタイルについても、色、形状、テクスチュアなどに本物を……との強い希望があらわれています。
伊奈製陶では、そうした要求にお応えすべく、工法およびタイルの研究開発に取り組んでまいりました。銀座対鶴館ビル、日本生命笹島ビルはその成果の一例です。私どもは今後もタイルがより安心して使われるよう、更に研究開発に努めてまいります。ご期待ください。

INA 伊奈製陶株式会社

本　　社	愛知県常滑市扇面新田	電話〈05693〉	5—2700番(代)	〒479
札幌営業所	札幌市北区北9条西3丁目	電話〈 011〉	721—8301番(代)	〒001
仙台営業所	仙台市国分町1丁目8番14号 仙台第2協立ビル2階	電話〈 0222〉	61—3151番(代)	〒980
東京支店	東京都中央区八丁堀2—9—8	電話〈 03〉	551—6371番(代)	〒104
名古屋支店	名古屋市東区東桜1丁目4番16号	電話〈 052〉	962—1271番(代)	〒461
金沢営業所	金沢市彦三町2丁目5番27号 名鉄北陸開発ビル6階	電話〈 0762〉	23—1171番(代)	〒920
大阪支店	大阪市西区新町南通り1—62	電話〈 06〉	532—6081番(代)	〒550
高松営業所	高松市天神前10番5号高松セントラルスカイビル6階	電話〈 0878〉	34—1313番(代)	〒760
広島営業所	広島市田中町5番9号　マルチビル3階	電話〈 0822〉	44—1701番(代)	〒730
福岡営業所	福岡市博多区博多駅南1丁目15番26号	電話〈 092〉	471—1710番(代)	〒812



フロアはよりベーシックに

床材の色彩と機能性の追求

〈マチコスルーチップ〉は、カラーコーディネイト床タイルとして、住空間にやすらぎを与える色調と柄で、床・壁・天井のインテリアデザインによくマッチするビニルタイルです。また、文字通りソフトに練り込まれた模様は、下まで均一に通っていますから摩耗によっても消えず歩行量の激しいフロアにこそ、その特徴を発揮します。〈マチコスルーチップ〉は、その色調と品質において、これからの新建築に是非おすすめしたいフロアタイルです。

■規格：厚み 2.0mm　30.3cm×30.3cm 1ケース50枚入　■色数：15色

■設計単価：1,700円/m²（MV工法による平場300m²以上材工共）

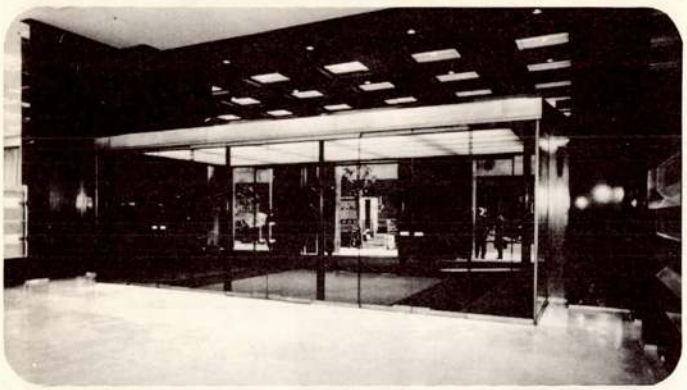
よろこびを敷きつめる

東リ MATICO スルーチップ

東洋リノリユーム

札幌営業所☎(011)271-2561/仙台営業所☎(0222)94-3505/東京営業所☎(03)503-3021/名古屋営業所☎(052)733-3471
大阪営業所☎(06)943-1641/広島営業所☎(0822)28-3361/高松営業所☎(0878)33-4410/福岡営業所☎(092)411-9076

広く建築界にご奉仕するナブコの商品群



タテ多様な

ナブコ自動ドアー

ビルはもちろん、商店からジャンボ機の格納庫まで〝ナブコ自動ドアー〟の活躍舞台はあらゆる建物にひろがっています。
最新の技術を投じ、コンパクトで耐久性にすぐれたエンジンは、油圧・空気圧による動力方式で全部で17機種。ナブコ自動ドアーは、建物を効率的により便利にご利用いただくためのソフトウェアの一つです。ナブコは全国で10万台以上の実績をもっています。



わが国ではじめての空気圧による

ナブコ防災システム

ナブコ空気圧式防災システムは、発煙と同時に確実に作動する十分なパワーを有し、また起動・復帰が容易で大規模な範囲の作動点検も短時間に行える理想の防災システムです。

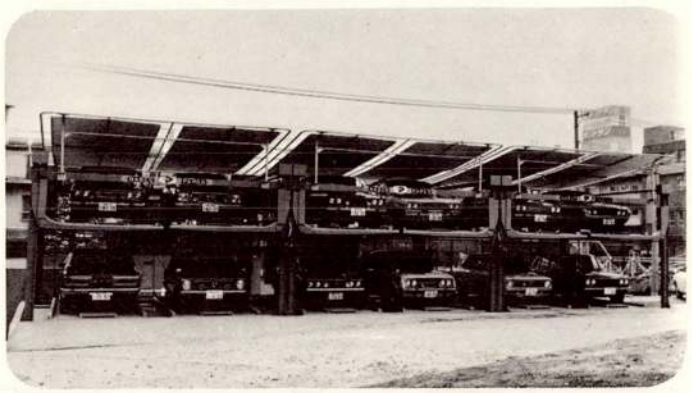
■ナブコ空気圧式防災システム設備構成品

- 防火炉・防煙壁・防煙防火ダンパ・排煙窓・排煙口
- 排煙ダンパ・排煙トップライト・非常口・連動制御盤・動力部

新しい駐車スペースの誕生

ナブコパーク　二段式立体駐車装置

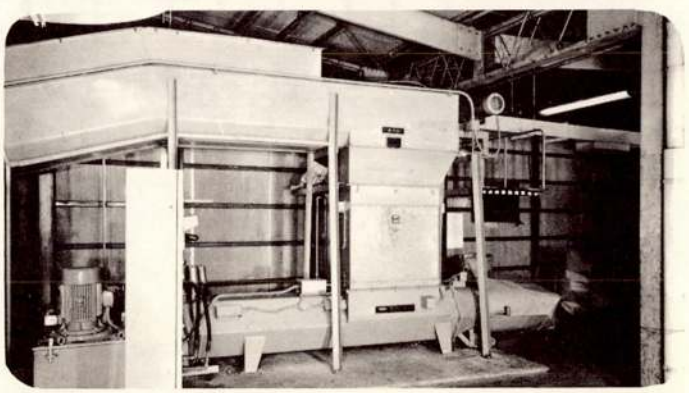
まったく新しい横行機構の採用により、従来の昇降・横行式駐車装置ではなしえなかった。上下2段のすべてを駐車スペースとして有効に利用し、収容能力をより一層高めた画期的な二段式立体駐車装置です。また簡易式駐車装置として車1台分のスペースがあれば、どこにでも簡単に設置できる昇降式タイプのナブコパークもあります。



清潔・スピーディ・コンパクトなゴミ処理

クリーンパック　ゴミ圧縮梱包機

クリーンパックは、ゴミを発生源で圧縮梱包し体積を小さく、清潔で取り扱い易く、しかも連続的な処理ができるため、ゴミの投入法や圧縮ゴミの処理法に関しても種々の自動化、省力化設備と併設が可能なゴミ圧縮梱包機です。



未来建築の夢をひろげる

NABCO 日本エヤーブレーキ株式会社 建築事業部

本　　社　神戸市葺合区御幸通7丁目1番12号(三宮ビル西館)
〒651 TEL (078)251−8080

東京事務所　東京都港区海岸1丁目9番18号(国際浜松町ビル)
〒105 TEL (03) 437−1261

※お求め・お問い合わせは

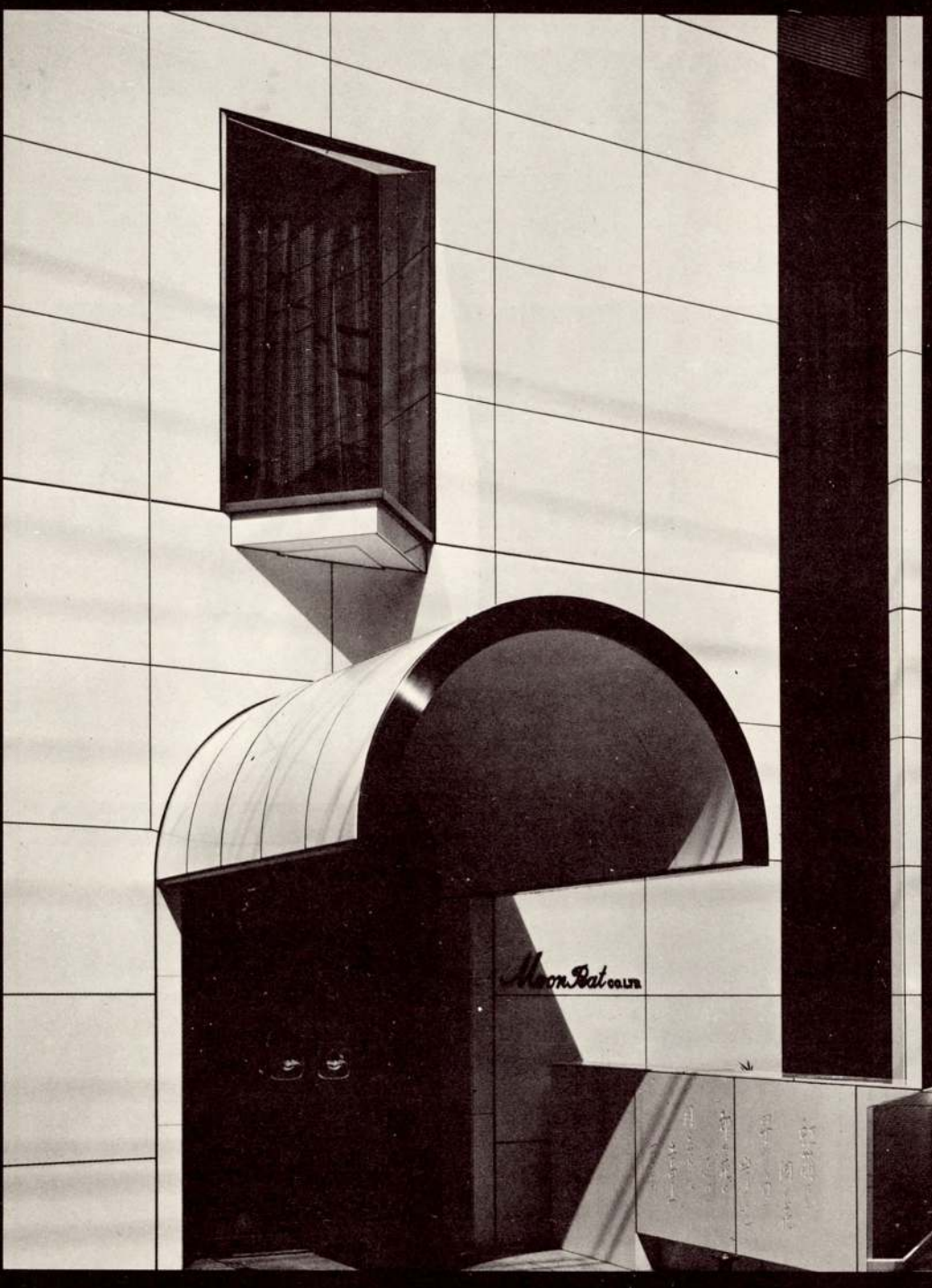
東日本：ナブコシステム株式会社
東京都港区芝西大保桜川町9 〒105 TEL (03) 591-6411

西日本：ナブコドアーエンジン株式会社
大阪市西区西本町1丁目13番8号 〒550 TEL (06) 532-5841

九　州：オリエント産業株式会社
福岡市中央区舞鶴1丁目4番19号 〒810 TEL (092)781-7561

結晶化ガラスの新建材 ネオパリエ

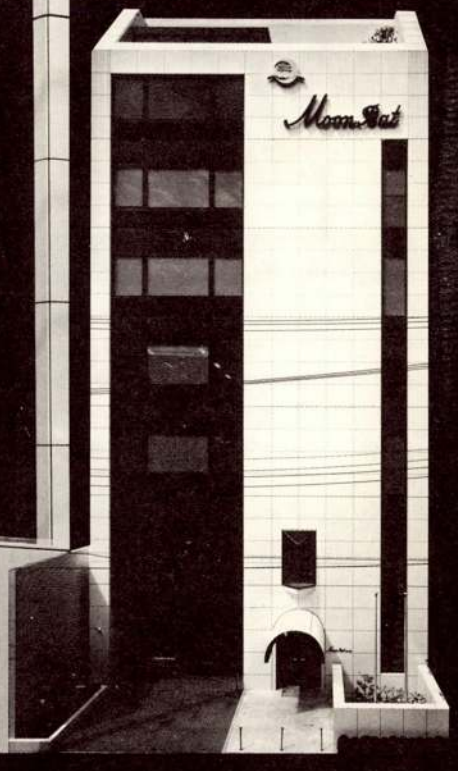
ネオパリエは大理石のようなやわらかい感触と、花崗岩よりも強度、耐風化性及び吸水性などの点で優れた性能をもつ新しい建材です。外壁に使われたネオパリエは、特に耐風化性を有する為、建物の新しい生命をいつまでも守り続けます。



ムーンバット本社ビル(外壁・玄関ホール)
京都市下京区四条室町下ル

設計：(株)日建設計　施工：竹中工務店
撮影：石元泰博

ネオパリエは建築物の外装、内装床などのほか、カウンター、テーブルトップ、及び家具の化粧材などに用いられています。



日本電気硝子株式会社

本社：大津市晴嵐2丁目7-1〈〒520〉Tel.0775-37-1700
大阪営業部：大阪市北区高垣町16〈〒530〉Tel.06-312-2971
東京営業部：東京都品川区東大井1丁目6-1〈〒140〉Tel.03-474-0151
営業所：仙台／名古屋／広島／福岡

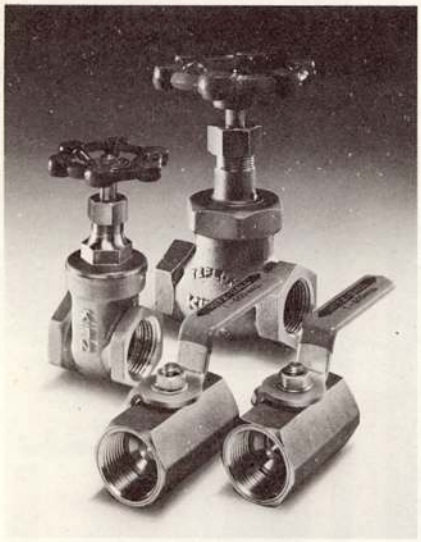
資料
請求券
新建11

設備をより合理的にスマートに…
品質の優れた北沢のバルブ。

KITZ®

建築設備用バルブのメーカーとして、永年の経験をもつ当社の青銅バルブ・鋳鉄バルブ・バタフライバルブは現在、広く全国にわたって使用され、業界より定評をいただいております。

とくに〝KITZ〟バルブの特徴は、原料素材の鋳造・鍛造から製品化まで完全な一貫生産システムを採用。製品機能・品質の安定化を常に、徹底しております。



青銅バルブ

KITZの青銅バルブは創業以来の永い経験に基いて製作され、広く全国で使用されています。各製品ともJIS規格品と経済的で使い易い汎用型の2系列の製作範囲をもっており、各種設備用の青銅バルブとしてあらゆる需要にお応えすることができます。

各製品は原料素材の鋳造から完成にいたるまで一貫した品質管理が行われており、精度はきわめて安定しております。

〔主な用途〕建築設備用、工場・機械設備用、一般家庭用、農水産用、その他



鋳鉄バルブ

KITZの鋳鉄バルブは水・ガス体・油類を扱う各種装置用、パイプライン用に従来より広く使用されてきました。

とくに当社の製品は優れた生産技術から生れるもので品質・機能ともに自信をもってお奨めできるものです。

鋳造より完成にいたるまで専用の自動機械を数多く採用し、一貫生産を行っているために、比較的低コストで製品化が可能になっています。

製品にはユーザーの要望を基にした仕様のものが多く標準化されているので、用途に適したバルブを選んで最適のものをご使用いただけます。



バタフライバルブ

KITZのバタフライバルブはラバーシール型の完全閉止用、および金属シール型の型のダンパー用等各種の製品が標準化されております。

バタフライバルブは鉄鋼、船舶、各種化学プラント、空調関係などに広く使用されていますが、構造・機能面で一般のバルブと異る合理性をもち、流体制御における省力化に広く役立っております。とくに従来の仕切弁、玉形弁に比べ構造的に大型バルブの製作にも適しており、今後、多くの分野での活用が期待されています。

とくにKITZバタフライバルブは流体の制御性、耐圧、耐久性にも優れています。

JIS表示認可工場・API表示認定工場・高圧ガス製造第2種認定工場

バルブの総合メーカー KITZ®

株式会社 北沢バルブ

本社　〒107 東京都港区南青山3-17-9　☎(03)404-1881(代)

工場＝長坂・諏訪・伊那 支店＝大阪 営業所＝名古屋・福岡・仙台・札幌

抜群の遮音性

フェローウォールなら両隣りの部屋でも同時に宴会ができます。



京都国際ホテル
取締役総支配人
松澤正芳氏

想像以上の遮音効果に満足しています。

かねてから、宴会場の間仕切りに問題を感じていた矢先、フェローウォールについての専門誌の紹介記事を読んで、さっそくカタログを取り寄せ、実際に使われている現場も見学に行きました。

お客さまへの心遣いとして、宴会場でもっとも大切な隣りの部屋との遮音性が従来のものに比べてはるかに優れていることを確認して、私どもでも設置にふみ切りました。インテリアとの調和、日に2、3回もの移動にも、一人で楽にできるなど現場の従業員も満足しているようです。

ヨーロッパの一流ホテルでどんどん採用されていると聞いていますが、構造のすみずみまで細心の配慮がなされているなど、さすがドイツ生まれですね。

肝心の遮音効果ですが、想像以上のもので、いままで使えなかった真中の部屋まで同時に使うことができて、中小宴会の多い当地のホテルにはうってつけの間仕切といえるでしょう。（談）



京都国際ホテル全景



京都国際ホテル宴会場

優れた遮音性

隣りの音が聴える部屋は完全な"部屋"とはいえません。フェローウォールは47dBの遮音（ドイツ工業規格）でヨーロッパではすでに一流ホテルでどしどし採用され日本でも結婚式場、宴会場、大会議室、学校など理想の間仕切りとして"静かさ"と"適応性"が高く評価されています。

抜群の堅牢性

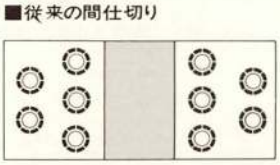
鋼鉄製の外枠パネルにゴムシートを内張りして遮音効果を高めた構造は、堅牢性でも大いに効果を発揮。パネルの壁ぎわ用はクランクで左右上下に、中間用のものはペダルで上下に、密閉フィレットは天井や床面に密着します。これで完璧に密閉、遮音効果をいっそう高めます。

新機軸を駆使した構造

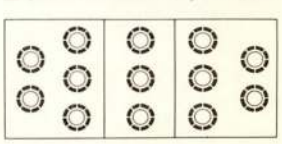
- パネル取付けは、スラブにレール下地材を固定するため、天井に負荷をかけません。
- パネルは2ヶ所で吊り下げられるので傾斜やよじれがなく、さらにシエルター構造で、ねじれや曲がり、反りがおきません。
- 部屋の雰囲気にもっともふさわしい表面仕上げがご希望どうりに可能です。
- ドア付きパネルもあり用途が広がります。

■フェローウォールは西ドイツACORDIAL社との技術提携によりオカムラが製造・販売しています。

■従来の間仕切り



■オカムラ・フェローウォール使用

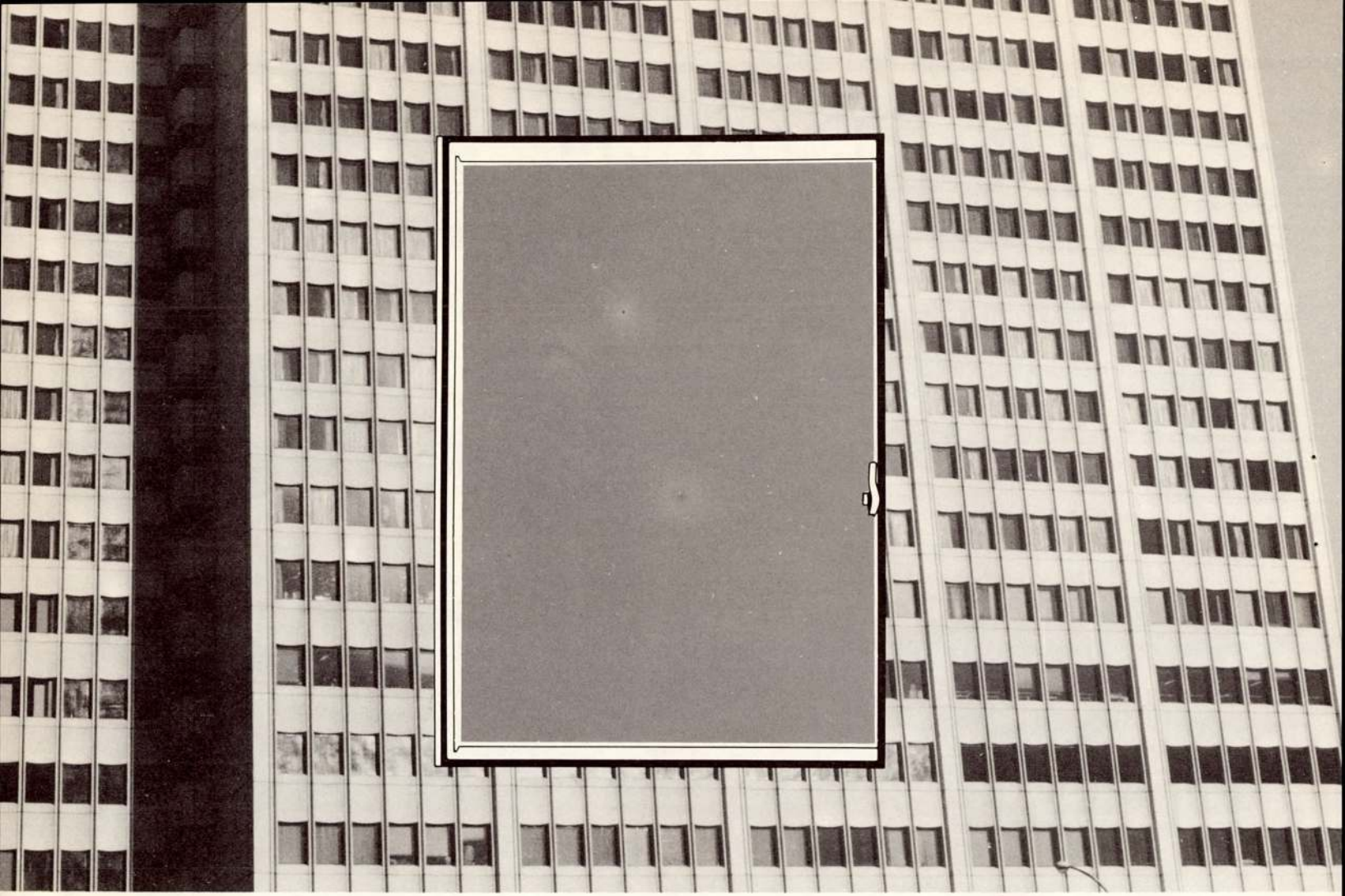


品質と技術で信頼にこたえる　音につよい可動間仕切り

オカムラ フェローウォール

良い品は結局おトクです

株式会社 岡村製作所
〒540 大阪市東区京橋1-7 OMMビル
大阪営業所 TEL.06(942)6141



87%反射。

ダスキン反射フイルムF-80シルバーの可視光線反射率

ダスキンフイルムは、窓ガラスに接着させるだけで、太陽からの可視光線、熱エネルギー、紫外線、赤外線を反射し美しい外観、快適な居住環境をつくります。

冷暖房効果を高めます

ダスキンフイルムは、太陽熱エネルギーの76%を反射します。ですから、建物内部の温度が平均化され、窓ぎわでも温度変化はありません。夏は太陽熱をさえぎり、冷房効果を高め、冬は室内の暖房熱を反射し、室外に逃がしません。

お部屋に適度な明るさをあたえます

イライラするまぶしい光を取りのぞき、窓ぎわでも、おちついてお仕事、勉強ができます。

プライバシーをまもります

ダスキン（反射）フイルムは、明るい外からは鏡のように景色を映し、室内が見えません。

耐久性にすぐれています

ダスキンフイルムの素材は、すべて厳選された一流品です。アルコア社製のアルミニューム、デュポン社製のマイラーフイルム。その品質には、絶対の自信をもっています。

性能比較データ

※於7月21日、午後4時、北緯40度、西窓、気温戸外95°F(20°C)戸内75°F(10°C)、風速7.5哩(12km)／時間

		透過率 %			太陽熱反射率 %	熱伝達係数(U値)	遮蔽率	最大受熱量 BTU/hr/sq.ft. ※
		可視光線	太陽熱	紫外線				
6㎜透明ガラス	ダスキン反射フイルムF-80シルバー	13	10	16	48	0.84	0.22	47
	ダスキン反射フイルムF-60シルバー	34	21	30	38	0.83	0.34	73
	ダスキンクリヤーフイルム透明	80		5				
	ダスキンクリヤーフイルムグレイ	46	50	21	6	1.23	0.73	158
6㎜透明ガラス		90	76	68	7	1.10	0.93	216
6㎜二重透明ガラス		92	84	73	8	1.08	1.00	200
6㎜熱線吸収ガラス(グレイ)		45	46	39	6	1.16	0.67	145
6㎜熱線吸収ガラス(ブロンズ)		51	42	28	6	1.18	0.66	141

データは、サンエックスインターナショナル社の依頼によって、米国アリゾナ州フェニックス市イエロット太陽熱研究所、取締役ジョン・P・イエロット氏によって測定された。

ダスキン SUN-X ®

喜びのタネをまこう ダスキン

株式会社ダスキン・サンエックスプロジェクト
〒564 大阪府吹田市広芝町14-9

株式会社ダスキン江坂配送センター
TEL(06)385-5811(直)

ダスキンフイルムは、サンコントロール業界のトップ企業、アメリカ、サンエックス社とのフランチャイズ独占契約により販売しております。

資料をお送りします。ダスキン・サンエックスプロジェクトまで、ご請求ください。

プラスチックのすべてに精通するセキスイの技術が生きています

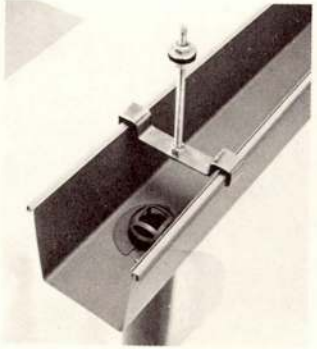
塩ビ雨といはエスロン®

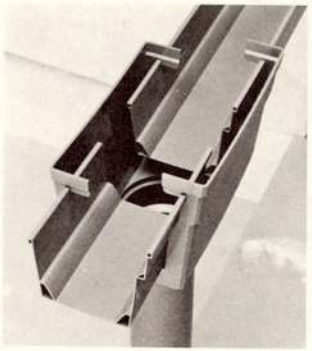
塩ビ成型にかけてはトップクラスの積水化学が、すぐれた技術をフルに生かしてつくりあげるエスロン雨とい。創業以来30年間に蓄積した技術と経験が、製品のすみずみに生きています。



新発売の〈タフ〉シリーズも、その成果のひとつ。特殊リブ構造の採用により、強度は大巾にアップ。割れそり、たわみ、蛇行がなくなりました。受け金具の取付け間隔が広げられますから、工事も早く、確実に美しく仕上ります。

「塩ビ雨といはやっぱりエスロン」に限ります。





プレハブ住宅、工場、倉庫、事務所などに

角といF型

- 軒先をシャープに美しく仕上げます。和風にも、洋風にも調和するデザイン。
- 前部の高い設計です。鼻かくしにもなり、スパンドレールの取付け工事は不要です。
- たわみ強度は、従来品にくらべて、5倍にもアップしました。割れ、そり蛇行の心配がありません。
- サイズは3種類。200型、300型と500型。

ビル・工場・倉庫など折版構造屋根に

角といP型

- 施工が早く、ラクにできる吊り金具方式（実用新案）を採用しています。
- といが、鼻かくしとして装飾的な役割を果します（吊り金具は、下から見えません）。
- 完ぺきなかん合のできる規格部品一式がそろっています。
- サイズは3種類。200型、300型、500型から、建物に合わせてお選びいただけます。

一般住宅・建造物用として広い用途に…

半丸といH型



- 特殊リブ構造の採用で、たわみ強度は、従来品にくらべて、1・5倍にアップしました。
- 色はシンチャ、銅、グレーの3色。住まいの風格を高める落着いた色合いです。
- サイズは、10型、50型、80型、100型の4種類をそろえました。
- どんな大きさの建物にも使用できるようになっています。
- 部品は、セキスイの技術が生んだ精密成型品。

エスロン®雨といタフ

「タフ」はセキスイのエスロン雨といの愛称です。今後とも、「タフ」の名でご愛用をお願いします

セキスイ 積水化学工業株式会社 住宅資材企画室
〒530 大阪市北区網笠町2番地（堂島関電ビル） 電話06（365）2295

資料をお送りします
資料請求券をハガキに貼って、左の積水化学、住宅資材企画室へお申込みください

資料請求券 建築と社会 3月号

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

大阪府下の池田市、箕面市、豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、摂津市、島本町、枚方市、寝屋川市、および能勢町の宅地開発要綱は2月号に掲載した。
3月号では、交野市、四条畷市、大東市、門真市、東大阪市、八尾市、柏原市、松原市、藤井寺市、羽曳野市、美原町、太子町、河南町、富田林市を紹介する。なお、4月号にも引き続き16市町村を紹介する予定である。

（大阪府建築部建築指導課　西尾宗晴）

112
開発指導要綱等の一覧表（その2）

凡例　※…別に規定がある　○…公益負担を要する　　昭和51年11月末現在調べ

市町村名（担当課名）	要綱名	施行年月日	適用範囲	一宅地規模	公園、緑地、広場	公益施設の負担	備考
交野市（建築指導課）	交野市開発指導要綱	48. 3. 1	500m²以上 10戸以上 ※	第1種住居専用地域 150m² その他の地域 100m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	店舗等前面道路より1.5m後退。 高さ10m以上。 日照、電波障害等。
四条畷市（都市計画課）	四条畷市開発指導要綱	48. 7. 20	500m²以上 ※	第1種住居専用地域 150m² その他の地域 100m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	店舗等前面道路より1.5m後退。 高さ10m以上。 日照、電波障害等。
大東市（建設総務課）	大東市開発指導要綱	48. 3. 20	500m²以上 ※	第1種住居専用地域 150m² その他の地域 100m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	大東市中高層建築物の建築に伴う日照確保等に関する指導要綱あり。
門真市（都市計画課）	門真市宅地開発指導要綱	49. 9. 1	500m²以上 ※	80m²以上	3,000m²以上 3パーセント	○	3階以上。10m以上。 標識設置。事前公開。 日照、電波障害等。 日照基準。 門真市中高層建築物に関する指導要綱あり。
東大阪市（開発指導課）	東大阪市開発指導要綱	50. 1. 1	500m²以上 ※	第1種住居専用地域 100m² その他の地域 70m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	3階以上。 日照、電波障害等。
八尾市（建築指導課）	八尾市開発指導要綱	49. 4. 1	500m²以上 20戸以上 ※	第1種住居専用地域 150m² その他の地域 66m²	3,000m²以上 3パーセント	○	一定規模以上の住宅建設。 建築協定締結。 八尾市中高層建築物指導要綱あり。
柏原市（都市計画課）	柏原市開発指導要綱	48. 9. 25	500m²以上 ※	第1種住居専用地域 100m² その他の地域 80m²	1,000m²以上 3パーセント ※	○	高さ10m以上。 日照住民同意。 電波障害等。
松原市（開発課）	松原市開発指導要綱	50. 8. 1	500m²以上 3戸以上 ※	第1種住居専用地域 150m² その他の地域 100m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	高さ10mまたは3階以上。 日照住民同意。 電波障害等。 工場等の周辺緑地帯設置。 店舗等前面道路から2m後退。 市場、遊技場等前面道路から後退。
藤井寺市（都市計画課）	藤井寺市開発指導要綱	48. 7. 20	300m²以上 3戸以上 ※	第1種住居専用地域 150m² その他の地域 80m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	高さ10m以上または3階以上。 事前公開。 日照、電波障害等。 藤井寺市中高層建築物に関する指導要綱あり。
羽曳野市（都市計画課）	羽曳野市開発指導要綱	49. 4. 15	500m²以上 ※	第1種住居専用地域 150m² 第2種住居専用地域 100m² その他の地域 80m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	中高層建築物。日照住民同意。
美原町（開発計画課）	美原町住宅地造成事業等に関する指導要綱	44. 1. 1	500m²以上 ※	70m²以上	3,000m²以上 ※	○	
太子町（計画課）	太子町住宅地造成事業に関する指導要綱	46. 4. 1	1,000m²以上 ※	市街化区域 165m² 市街化調整区域 230m²	3,000m²以上 3パーセント	○	太子町小規模住宅地造成事業に関する指導要綱あり。
河南町（産業経済課）	河南町開発指導要綱	49. 12. 2	300m²以上 2戸以上 ※	第1種住居専用地域 200m² 第2種住居専用地域 150m² その他の地域 120m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	高さ10m以上。 日照住民同意。 電波障害等。
富田林市（都市計画課）	富田林市開発指導要綱	48. 12. 1	300m²以上 ※	第1種住居専用地域 150m² 第2種住居専用地域 100m² その他の地域 80m² ※	3,000m²以上 3パーセント ※	○	住宅地に隣接して工場等の開発、敷地境界線から5m後退。 高さ10m以上。 日照、電波障害等。

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介 No.21》

浸透性錆止塗料『ネオデラスト』

神東塗料株式会社
本　社：〒661 尼崎市南塚口町6-10-73 TEL 06-429-6261
営業所：〒530 大阪市東区北浜5-22（新住友ビル2号館）TEL 06-220-8580

従来からある錆止塗料、鉛丹ペイント、シアナミド鉛錆止、酸化鉄系錆止、ジンクロメート系錆止等の塗料はサンドブラストやショットブラスト等に依りあらかじめ錆を完全に除去してから塗装し、はじめて効果が発揮できるというのが本来の姿で錆発生を未然に防止するための錆止塗料である。従って、錆落しの程度によって塗装性能が左右されることになる。しかし、鉄鋼構造物の完全な錆落しはむずかしく、人件費の高騰に伴って素地調整費の塗装工事費の中で占める比率が大きくなり、むずかしい問題を含んでいる。

特に塗替えの場合には溶接部、ボルトナット部、入隅部などの錆落しが非常に困難であるが、この様なケレンが不可能な表面または不十分な表面で既に錆が発生していても、この上に塗布することによって錆の進行を止め、防せい性能を発揮させる様に設計されたものが、神東塗料の浸透性錆止塗料「ネオデラスト」(JIS K 5621 2種）である。

■ 防せい性能について

「ネオデラスト」は配合されている特殊な金属浸透液の働きと、展色剤に対する顔料容積率を小さくし、塗膜中の顔料粒子間に働く力を弱めるよう塗料設計することにより油性系、合成樹脂系の展色剤と防せい顔料が一体となって錆に浸透する特性がある。「ネオデラスト」に含有されている浸透液は、錆を完全にしめらせて固め、腐食の原因となる空気と水分を錆の中から追いだす機能をもっている。そして発生するかもしれない錆に対して金属下地まで達した防せい顔料が防せい効果を確保する。

更に塗膜が傷を受け水分が浸入しても、防せい顔料が化学的に反応して腐食因子をなくしてしまう。また、展色剤は油性系、合成樹脂系の長所を効果的に組合せてあるので強力な防食効果を継続的に発揮する。

■ 特長

1．錆への塗膜形成成分の浸透性が強大であるので金属表面のケレンの程度を低下させうる。従って素地調整費用が軽減できる。
2．塗料自体に水置換作用があるので多少湿気を含む金属面でも塗装できる。
3．錆を発生させる各種イオンやガス、水分等の塗膜透過の防御性が高く、防食性が大きい。
4．錆止めとしての展色剤のウエイトが大きいために耐候性、耐久性に優れている。
5．油性錆止塗料に比べ著しく乾きが早く、ハケさばきなどの作業性が非常に優れている。

■ 各種試験結果

1．各種錆止ペイントとの比較

試験項目 ＼ 名称		ネオデラスト	一般錆止ペイント		鉛丹錆止ペイント		シアナミド鉛錆止ペイント		ジンクロメートプライマー	
JIS規格		5621	5621		5622		5625		5627	5628
		2	1	2	1	2	1	2	2	
比重（20℃）		1.41	1.69	1.52	3.07	2.57	1.75	1.50	1.50	1.55
乾燥時間 20℃	指触	3時間	6時間	2時間	4時間	2時間	5時間	1時間	30分	30分
	半硬化	7時間	15時間	6時間	15時間	7時間	15時間	6時間	48分	48分
	硬化	18時間	35時間	16時間	30時間	15時間	24時間	15時間	4時間	6時間
防食性	5%塩水噴霧（ミガキ鋼板）	◎	○	△	○	○	○	○	○	○
	5%塩水噴霧（発錆板）	◎	△	×	○	△	○	×	×	×
	塩水浸漬（ミガキ鋼板）	◎	△	×	△	△	△	×	×	×
汚染環境下での黒変性		○	○	○	×	×	△	△	△	×
作業性	ハケ塗り	◎	○	○	×	×	△	○	○	△
	エアレス	○	○	○	△	△	○	○	○	○

2．8%塩水噴霧試験120時間後の防食性

素地調整程度 ＼ 錆止塗料		浸透性錆止塗料（ネオデラスト）	従来の錆止塗料（JIS K 5621 2種）
工種ケレン	ショットブラスト、サンドブラスト等により完全に除錆	異状なし	点錆わずか
II種ケレン	被塗物をハクリ後、黒皮を自然ハクリ、全面ディスクサンダー等にて除錆	点錆わずか	点錆 50%
III種ケレン	スクレーパー、ワイヤーブラシ等にて、黒皮、赤錆、浮錆を除錆	点錆5%以内	全面発錆



素地状態　ネオデラスト（浸透性錆止塗料）　従来の錆止塗料（JIS K 5621 2種）

■ 標準塗装仕様

工程	処理及び塗料系	塗料間隔
素地調整	III種ケレン以上	
下塗	浸透性錆止塗料（ネオデラスト）2回塗	18時間以上
上塗	長油性フタル酸樹脂系上塗塗料 2回塗	18時間以上

■ 施工（塗装）方法

1．ハケ塗り、ローラー塗り、エアレススプレーのいずれも可能。
2．標準塗布量　ハケ塗り……130g／m²
　　エアレススプレー…160g／m²
3．中、上塗り塗料
　アルキッド樹脂塗料、油性塗料、特殊変性エポキシ樹脂塗料。

■ 用途

海岸地帯、工業地帯の橋梁、タンク、その他プラント施設。一般鉄骨。錆落しのしにくい鉄鋼構造物。鉄鋼構造物の塗替え。

建材委員／原　尚弘（クラレエンジニアリング(株)建築課長）

《新建材紹介 No.22》

鉄筋コンクリート用防せい剤『NR-1900』

ポゾリス物産株式会社
本　社：〒106 東京都港区六本木3-16-26 TEL 03-582-8811
営業所：〒530 大阪市東区北浜3-7（信愛ビル）TEL 06-202-3294

鉄筋コンクリートに使用される細骨材は、河川産骨材の枯渇に伴い、海砂の使用度が年々増加している。日本建築学会では海砂に含まれる塩分が鉄筋に及ぼす腐食の影響を考慮して、標準仕様書ＪＡＳＳ　5でⅠ級細骨材の塩分含有量は0.02%以下であることを規定している。

現在一般に使用されている海砂の塩分含有量は0.02%を越えるものが大半であるが、これらの海砂を弊害なく使用できる塩分含有量は、防せい上有効な何らかの措置を講ずれば0.1%以下とされている。また、考えられる有効な措置のうち確実性の高い方法として水セメント比を小さくし、入念に施工して密実なコンクリートをつくると同時に、良質な防せい剤を併用することをＪＡＳＳ　5では提案している。現在市販されている防せい剤のうち、今回は「NR-1900」を紹介する。

■ 一般的性質

「NR-1900」は海砂を用いる鉄筋コンクリートを対象として新たに開発されたニトロン燐酸有機エステル混合系の防せい剤で弱アルカリ性を呈する液状物質である。

■ 特性

1．鉄筋に対する防せい効果
　1）鉄筋表面の初期発せい防止。
　2）長期にわたる有効な防せい作用の持続。
　3）海水、潮風等によってコンクリート内部に侵入する塩類の鉄筋腐食作用に対する低抗性の増大。
2．コンクリートに対する影響
　1）ワーカビリチーには影響しない。
　2）凝結時間はほとんど変わらない。
　3）連行空気量には影響しない。
　4）圧縮および曲げ強度は同等、または多少増加の傾向を示す。
3．その他の特性
　1）水質汚濁防止法に定められた有害物質を含まない。
　2）液状物質のため取扱いが容易である。コンクリートに対する使用量は一定で管理が簡単である。
　3）過剰添加による弊害はない。

■ 使用方法

1．標準使用量
　コンクリート1m³当り添加量は原液で3ℓである。重量計量の場合は、1m³当り原液3.4kgを添加する。
2．混合方法
　練りまぜ水に直接添加するか、または直接ミキサーに投入する。コンクリートの調合は原調合に対して単位水量を3ℓ減じ、他の材料は変更しない。

■ 防せい効果

塩化物含有量が0.1%および0.3%の海砂を用いたコンクリートに鉄筋を埋め込み、屋外に暴露した後、コンクリートをこわし、鉄筋の腐食状況を観察した結果を次に示す。

■ 暴露試験結果（屋外暴露4ケ年）

砂中の塩化物含有量（%）	防せい剤	混和剤	配合条件 W/C (%)	配合条件 S/a (%)	配合条件 C (kg/m³)	発せい状況 かぶり厚さ(cm) 2	3	5
0	0	0	65	42	280	○	○	○
0.1	0	0	65	42	280	×	△	△
	NR-1900	0	65	42	280	○	○	○
		ヴィンソル	60	40	280	○	○	○
		ポゾリスNo.8	60	40	260	○	○	○
	0	0	65	42	280	×	×	×
0.3	NR-1900	0	65	42	280	○	○	○
		ヴィンソル	60	40	280	○	○	○
		ポゾリスNo.8	60	40	260	○	○	○

発せい状況の判定　○錆の発生なし　△直径0.1～0.5mmの錆が多数発生　×直径0.5mm以上の錆が多数発生

（注）1．コンクリートのスランプ：19±1cm
　〃　空気量：混和剤を用いないもの 1±0.5%
　：ポゾリスNo.8およびヴィンソルを用いたもの 4±1%
2．供試鉄筋：SR24，φ19×300mm，表面は黒皮がなくなるまで研磨したものを使用した。
3．コンクリート供試体の寸法：20×20×40cm角柱体

■ 荷姿

200ℓドラム罐入り。

建材委員／堀内成樹（(株)松村組工務部研究室）

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

千里ニュータウン記念事業

大阪府では、千里ニュータウン完成の記念に、千里ニュータウンの南地区、北地区、中央地区の三つの地区において、記念事業を検討してきたが、2月に「南地区文化センター」「中央地区文化センター」の着工をもって、その事業がいよいよ具体化されることになった。

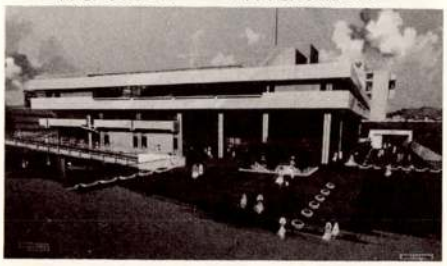
記念事業については、昭年33年、千里ニュータウンが大阪府によってベッドタウンとして、人口約15万人の一大都市建設に着手して以来19年になる。当初の基本計画においては、従来の団地のような母都市一辺倒のベッドタウンではなく、独立した一つの住宅都市を目指して建設されてきた。しかし、現状では若干思った程の独立性は完備されていないので、その欠点を補充すべく、また、住民の要望などを少しでも満たすために、ニュータウン完成の意味もこめて、今回の記念事業となったわけである。

今回、具体的には、南地区の市民センターは、老人いこいの室、貸出し専門のいわば公共貸本屋としての図書室、プラネタリウム、図工室をもった児童室といった構成で、その規模はRC造、地上3階、地下1階である。延面積は約2,600m²で、昭和52年度中の完成を目指している。また、南地区においては、今後、千里センターによる専門店の増築工事、府による「千里保健医療会館の建設」、それに伴う、道路形状の変更といった計画が続々とあり、ここ数年のうちに、南地区は地区センターの一つの核として、名実ともに整備充実する予定である。

千里中央地区は、現在の地区センタービルの南側の敷地に、RC造4階建、延面積約4,900m²の老人関係の諸室、約4万冊の蔵書予定の図書室、その他、児童関係の諸室をもった、総合的な文化施設である。これで、中央地区については、充実した商業施設とともに、今回の文化センターの建設で、千里ニュータウンにおける中心的な位置づけが完成することになる。(鮫島　浩)



▲南地区文化センター　▼中央地区文化センター



大阪府緑化推進構想

大阪府は、このほど、府下の市街化区域の緑を30年後には現在の3倍にふやし、2億本の樹木を公園や学校に植えようという、壮大な「緑化推進構想」をまとめた。

環境条件の悪い府域において、緑をまもり、とりもどすことは非常に困難であるが、すぐれた自然環境を府域に創出し、これを後世に伝えていくことは、府民にとって大きな責務であり、府政の重要な課題である。府民の総力を結集して、自然の根元であり、人間生活の源泉である緑をまもり（保全）、つくり（回復）、ふやす（育成）ことを目標として「豊かさのある緑の大阪」を築こうというもの。

府農林部によると、大阪の市街化区域86,268haのうち、緑被率はわずか5.2％の4,452haにすぎない。とくに100haあたり4,000人以上の人口密集地域は、2.2％と極端に低い。

このため、構想の緑化目標量として、芦屋市や皇居、日比谷公園のある東京都千代田区なみの15％程度に引き上げたいという。また、同時に個々の施設ごとに緑化基準を設けている。例えば、住区基幹公園は30％以上、都市基幹公園は40％以上、学校は20％以上、道路は10％以上、庁舎は20％以上、一戸建住宅は20％以上、共同住宅は30％以上、工場は20％以上、医療施設は30％以上、鉄道は30％以上といった具合である。

これを府の土木事業や建設事業のなかで具体化していくとともに、大阪市、衛星都市、民間企業、団体、地域住宅にも協力を求めて、府民総ぐるみで〝グリーン大阪〟をめざしていく。

樹の話シリーズ・30

あらかし

Quercus acuta Thunb.
ぶな科

カシは馴み深い樹でよく知られているが、種名まで知っている人は少ない。各地で一般的にカシと呼んでいるものに、シラカシ、アラカシ、ウバメガシ、アカガシ、イチイガシなどがある。しかし、その種類は地方別にほとんど決ってくることから、地方によって、どのカシであるかは推測できる。例えば、関東地方ではシラカシであり、関西ではアラカシということになる。

カシの樹の特徴はドングリの実のなることである。その他にも、ぶな科の植物にはドングリがなり、常緑ではカシ類とシイ類があり、落葉にはクリ、コナラ、クヌギ、アベマキなどがある。ドングリの木の実拾いが、自然に親しむことの代表にあげられるように、カシ類は日本の古来の植物で、野趣に富んでいることから、現存の植生を保存したり、新しく緑を復元しようとするときによく植えられている。

カシの語源は別名カタギと呼ばれるように、もともと堅木と書かれたものが組み合わされて、樫(カシ)となり、また、材質が堅いことから、カタシといわれたものがなまって、カシと呼ばれるようになったと言われている。

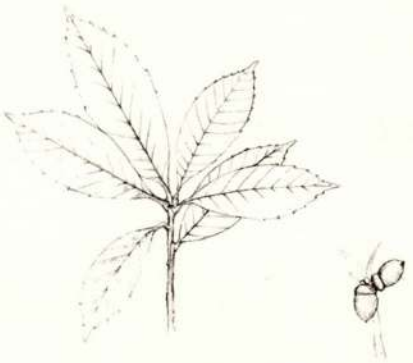
カシは古くから、庭園・生垣用樹として用いられ、神社では神木として扱われたりしている。信仰との関連もあるようで、四国のある地方では、旧正月の行事の一つに豊作を祈願して地鎮祭を行うとき、アラカシの芯の真すぐな枝を切ってススキの穂とともに、ご幣をつけて祭る風習のあったことを記憶している。

ローマの農民が収穫にかかる前に、カシ葉の冠をかぶったり、実つきのカシの枝が結婚式に使われたりするのは、豊産を意味するということを聞いて、共通するところがあって興味深い。いずれもドングリの実が群がって、よくなるカシの木にあやかったものだろう。カシは雌雄同株であるのでどの木にも実がなる。また、屋敷にカシとカリンの木を植えるのは、縁起をかついで「金をカシ（貸し）ても、金をカリン（借りん）」ということらしい。カシは生垣などに使われる他、木材は鍬、犂などの柄や、舟の櫓に用いられたり、大工道具類に使われていて、よく知られている。

関東地方特有のシラカシは成長が早く実生で殖され、移植も根廻しをすれば容易であるので、生垣や高作り（高い生垣で地際から1～2m部分の枝を落してすかし、高さ3～5mのところで芯を止めて、スクリーン状に刈込んだもの）にして、屋敷の防風林として利用されている。関西では京都や奈良の庭園には植えられているが、全般的には不適であまり用いられず、やせ地や粘土質土壌にも耐えうるアラカシが中心である。

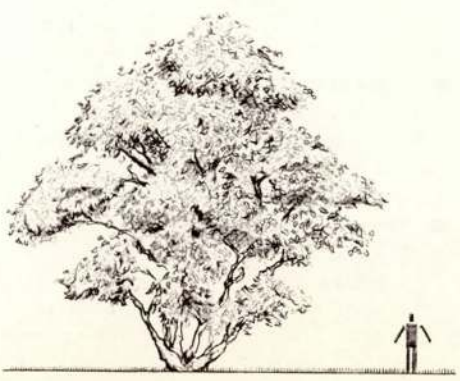
アラカシは春の芽出しが美しく、芽色も茶褐色を帯びたものから、淡い黄緑色のものまであり緑色の種類の多いことに驚く。自然樹形でもこんもりと茂り、また、丸く刈込んでも美しく、庭園や神社の境内には、アラカシの実生垣（ドングリを幅厚く条播きにして、芽の出たものを刈込んで育てる）がボーダー植栽として植えられ、日本庭園にはなくてはならないものとなっている。住宅地などでは、プライバシーを確保する為に、みどりのスクリーンとしてよく植えられている。

植付け当初は、枝葉を切り落して幹だけが株立したものを、棒カシと称して植えるので見劣りするが、数年で立派なカシの葉の壁ができあがる。関西でよく植えられるカシにウバメガシがある。これは主として生垣や刈込みに使われ、毎年刈込んでやれば早く生垣ができあがる。ただ、徒長枝が延びて見苦しくなる欠点がある。自然樹形のものでは、京都御所の外廻りの道路沿いにおおいかぶさるように茂っているのは、実に美しい。(鈴鹿記)



アラカシ葉形および果枝

アラカシ樹形



読者の頁

傾いた道しるべ

大阪府企業局建設課　鮫島　浩

「技術者にとって『ニュータウン』とは、一体何だったのか」。最近、企業局の中でいろいろと技術者としてニュータウン建設に携わってきた人達の間で議論される機会が多い。それというのも、千里ニュータウンの完成を記念して、大阪府が吹田市、豊中市と進めてきた記念事業が、いよいよ2月の吹田市の「南千里市民センター」の着工を機して、そのいくつかが具体化されることになったためである。

記念事業の事業化のために、ニュータウン建設そのものを見直す機会が多く、また、両市への管理引継といった業務の進行する中で、それは自然のなりゆきかもしれない。記念事業そのものについては別の機会に紹介するとして、ニュータウン開発事業は、技術者にとっては一体何だったのかという問いかけは、大変、私には興味深く複雑な意味をもっている。

華やかな都市開発、建設が進められる中で、「大阪府企業局」の名を全国に轟かせた、この技術者集団が「内部告発」的な表現で、現在まで進められてきた計画、建設途上の様々な工事の模様、住民の移りかわり、さらには住民の意識、生活様式の変遷といった様々な面を、あるときには誇らかに、また、あるときには反省をこめて語られるとき、この大きな技術者集団、「企業局」に比較的最近入った一技術者として、また、建築という職業を選択した人間として、技術者そのもののあり方を問い直されているような思いである。

ほんの数年前までは、開発は美徳であるといった風潮の中で、都市計画、あるいは都市建設の一端を担うために育成されてきた技術者のタマゴ達が、今日第一線の技術者として、日常のニュータウン建設業務に励んでいるわけであるが、彼らのナマの声がかなり深いタメ息をもって語られるのを、違う意味でのタメ息をまじえて聞くとき、彼らのタメ息の意味を、どのように解釈すればよいのか、一瞬戸惑うときがある。

――「ニュータウンとは、技術者にとっては一体何だったのだろう」――今、千里記念事業が着工されるに際して、物理的なまちづくりは完成を見るわけであるが、これら一連の事業の具体化は、千里ニュータウンといったビッグ・プロジェクトの終焉を意味すると同時に、「企業局」という技術者集団の「傾いた道しるべ」として私には思えるのである。

〔建築技術者への提言〕

私の建築技術者観

神戸市住宅局住宅部計画課　神吉義昭

早いもので、私がこの職場、住宅局へ配属されて約5年になろうとしています。以前の職場（税務関係）のとき、おぼろげながら技術者の多い職場というものに対し、ある種の抵抗感をもっていました。というのは、技術者イコール硬い人―で、私のようなちゃらんぽらんな人間にとって、馴みにくいものでした。

その後の経過で、このようなことは決して当っていないことが判りました。まず事務屋に比し、一般的に言えることは、①素直で誠実であること。②論理の通らないことについては納得しないこと。③つき合ってみれば、親しみあふれる人間が多いこと―などであります。特に私の場合は、建築技術者集団の中で過ごしてきたせいで、この感が強いのかも知れません。

ただ、仕事上感じることは、市内部における土木職の場合は、事務職と比較的近い仕事が多く、市内部の事情、手続き事務などに精通し、日本の都市計画事業、あるいは大開発事業などを推進してきたという自負を感じさせます。

この点、建築技術者の場合、建築物に対する取り組み方は、予算、その他の制約の多い中で一番優れたものを作ろうとする努力は、並々ならぬものがあると思われますが、その計画内容がどうしても個々の建築物とならざるを得ないことから、小じんまりとしているといった印象がぬぐいきれません。

私は、このような印象をもちつつ一緒に仕事を進めてきましたが、現在、職場にいる若い建築技術者に新しい息吹きを感じさせる人々が増えつつあります。今まで、そのあふれる能力が十分に主張できる場がなかっただけで、これから少しだけ厚かましく振舞うことが、世の中を向上させるということを申し上げて、大変雑ぱくな私の建築技術者に対する意見とさせていただきます。

施工、管理上ひとこと

斉久工業株式会社大阪支店　大谷慎次郎

1．タイル目地合わせについて

タイルとの目地合せについては神経をとがらせるところであるが、鉛管の使用が少なくなったので、竪横ともに合わすことは至難である。陶器を中心に考えていただけると好都合です。水栓芯に合ったタイル、タイル割に合った水栓芯という考えの通常化を指導していただきたい。4枚1組の隅欠きタイルでも発注していただけたら助かります。

2．掃除口の位置について

掃除口は、ほとんど壁際につけさされますが、この開閉は困難なことで、そのうえ、掃除棒を入れるとなると誠にむつかしいことになります。機能から考えると、作業のしやすいところにつけるのが施主に対するサービスだと思います。

3．排水管の45°モジュールについて

現在の排水設計をモジュールで例えると、90°モジュールに当ります（製図板上のT定規に対する90°配管図である）。これを点（排水口）と点（竪管）を直線で結ぶことが許されたら、更に枝管はY管でつなぐことができたら勾配はよくなり、管の経済、継手の経済にも影響します（主体工事の根太切りのむつかしさは残りましょう）。

4．アネモ周囲の色彩について

天井を明色で仕上げられると、アネモ周囲の汚れという問題が起こります。アネモ周囲だけでも暗濃色で快適なデザインをお願いしたい。

〔私たちのグループNo.6〕

『藤木工務店カメラクラブ』

芸術と技術の間で――無心に

例会の夜が来た。仕事を五時に切り上げ、大急ぎで作品にタイトルを貼る。集会室のヘッシャンクロスの壁に50点ばかりの四つ切りを展示する。六時過ぎには準備が終わり、投票が始まる。現場勤務のメンバーも、この日ばかりはいつもよりは早めに片付けて、三三五五集まって来る。二週間程前に行った撮影会の楽しさを、ワイワイ、ガヤガヤ想い出しながら。

作品に勝手な批評を加えているところへ、先生の登場だ。寒いのに遠いところへ御苦労様。好きこそものの……、こんなアマチュア・クラブをいくつか面倒を見ていられる。今夜もお手やわらかに。

会社に50年も勤めていて、ペス単から始めたベテランも、年末にボーナスをはたいてやっとキャノンを手に入れたばかりの新入社員も、このときばかりはうまい作品をモノにした人の勝ち。おやつに出るキツネウドンの味も作品の出来次第だ。諸君、年度賞を目指してがんばろう！

建築に従事する我々には、医者と並んでカメラ好きが多いといわれている。写真が芸術である面と、技術である面とを合わせもっていて、それが我々建築技術者を自然にひきつけるのであろうか。

ある人はメカ派であり、古今東西、ありとあらゆるカメラに精通していて、自らも一級品を自在にあやつる。ある人は暗室派であり、それこそ、血と汗でものにした秘伝の調合薬を知っていて、暗闇の中で艶然と微笑みかける美女に、至高の法悦を見出す。また、ある人は情緒派で、訪れる風景の中に、自分自身が埋没してしまい、ファインダーの中にポーズをとるモデルには必ず恋をしてしまう。

年に六回ばかりある撮影会の前の晩は、殊に一年に一度の一泊旅行の前の晩は、そわそわして、タタミの上に、手持ちのレンズやボディーやアクセサリーを全部並べて、磨いて見たり、組み立ててファインダーをのぞいて見たり、ケースに詰めこんで担いで見たり。

こんな人達が30人程集まって、毎回15人程が活動して、華々しくはなく、無心に20年以上も続けています。

文責　岡田泰次



例会中のカメラクラブ

石川寛三先生

村野　藤吾



故　**石川寛三**氏

明治21年1月23日生
昭和52年1月6日歿
享年　88才
〔略　歴〕
出身地　愛媛県
現住所　宝塚市雲雀丘山手1丁目5番1号
明治44年11月1日
　住友本社建築課に入社
昭和6年10月30日
　住友本社建築課解散のため退社。
　退社と同時に住友末家に列せらる。
昭和7年1月7日
　石川建築事務所を開設
〔公職歴〕
社団法人日本建築協会名誉正会員
社団法人日本建築家協会関西支部顧問
学校法人プール学院理事
社団法人日本建築協会元理事・評議員
社団法人大阪府建築士会元評議員

告別の日は風があって寒かった。私は旅行から帰って少しおくれて事務所に出勤して見ると、机上にメモが置いてあった。石川寛三先生1月6日夜1時御逝去、本日12時30分から川口教会で告別式が行われると書いてあった。本日とは8日のことである。メモを見るなり私は一瞬先生と私の年令とを比較して見た。間もなく式が始まるのでそれから先を考える余裕がなかった。

川口というのは曽ての大阪の海の表玄関であった。ここには聖公会の赤練瓦造りの教会があって、美しい濃いコバルト色のステンドグラスのことが、学校を出て間もない頃の記憶にまだ残っている。その教会堂は古くなり戦前に私の同窓の友人が現場監督をして今の教会堂に建てかえたものだから、その頃の美しい姿が胸をかすめた。永い先生とのおつき合いだが先生がキリスト教の信者だとはちっとも知らなかった位どこにも信者特有のにおいがなかった、心の出来た枯淡なお人柄が教会への道すがら車のなかで思ったことであった。

私は少しおくれて教会につき、走るようにして会堂に入った。堂内は薄暗くて少し高いところに白衣の神父が2、3人ミサのようなお祭りが行われ、間もなく1人の神父が先生の信仰について語られた。ところが、堂内には来会者が溢れ、席のない人は後ろの方で立っているのに気がついたのはややしばらくたってからである。来会者も見渡せないような片隅しか席がないので立ったまま黙礼した。竣工の頃の眞新しい練瓦積の美しかった頃のことを思い出しながら、今ここに先生との永い告別の席に立たされるようなえにしというものを考え、人と人とのつながりの尊さを懐いながら、此の教会の建築に精魂を込めて現場にいた友人もまた、恐らくこの会堂で告別式が行われたのではないかと思いながら神父の話に耳を傾けたのである。私はクリスチャン――――ではあるが、教会の儀式についてそのしきたりは何も知らないので、ただ人のするままそれに倣ってお祈りをしたり讃美歌に耳を傾けたりするばかりであった。私の隣に立ちながら世話をしていた婦人は多分信者であろうか、その歌声の美しいのを聞いていると次第に私も信者の一人になったような気持ちになり、告別式のふんいきになじみ頭を垂れて、故人の冥福を祈るばかりであった。やがて、献花の式次となり私もまた最後に近くなってから、霊前に進み白菊を捧げた。普通なれば、祭壇は高いところにあって故映は仰ぐところに置かれるのに、先生のお写真は今にも語りかけられるところにあった。温顔から何か話されるのではないかと思うほどの距離で親しいお人柄の良さが浮かんでいて、おなつかしい姿が今でも眼底にほうふつとしている。献花の白菊は寒さにさえて殊のほか静かな美しさが感ぜられた。どこの席でも、先生と私は交代で乾杯の音頭を取らされた。少しかん高で四国なまりの声、笑うと健康そのもののような血色に美しい白い歯の見える鍛えぬかれた建築の達人、すでに枯淡の域に達せられた貴重な存在は遂に昇天されてしまった。これからは私だけが乾杯の音頭を取る役目が残されたように思う。私とはたった三才の長であったのに。

明治44年に関西商工学校を卒業されると住友の建築課に入られた。当時の住友建築課は今日の日建同様、野口、日高、長谷部、竹腰、笹川といった優れた建築家をかかえた、関西の建築界はおろか、我国における建築的名門であった。しかしながら、それらの華やかな建築的な世界のなかにあって、その華やかな舞台には裏方がなければ、芝居の演出は役者だけでは出来ないだろう。明治の初期以来、建築的表現の裏方を受け持った人については、必ずしも多く語られたとは思わない。実は、このような裏方を受け持って表現の技術的基礎造りをして、職方に実技を教え、自らも現業とともにあって、建築の施工、材料、について身をもってそれを体得して実技を後代に傳えた役目についてあまり多く語られていないように思う。明治時代の様式主義的な定着からやがて大正、昭和と建築的自由が広められていったにせよ、それは、表面の華やかさの裏に、この変化に対応してゆるぎなき技術を傳え、職方達とともにその変化する建築に実技を対応させながら日本の建築界の支えとなった人達についてはあまりにも多くが語られ、それが如何に大切で、また大きな存在であったかについては多くが語られていないばかりか、輕視されたような傾向さえもあったのではないのか。

住友の建築課の仕事の厳格さは將にこの点にあったように私は思うし、また、吾々がまだ建築の何物かさえ知らぬ頃によく言われたことでもあった。私の知る範囲でも小笠原ますみ氏ほか幾人かの優れた工人風の達人を知っている。恐らくは石川先生もそのうちの一人として、住友の優れた建築の裏方を務めあげられて今日を築いた人であると思う。將に得難く貴重な存在であったし、その功によって退社に当たり住友の末家に列せられ、また後進の指導育成に務められ、傍ら建築界における多数の協会の役員となって斯界に尽されたことは私がここに申すまでもない。国は先生の業績に対し、勲五等双光旭日章を贈って、先生の御功労に酬いたのでも、その一端がわかると思う。ここに敢えて拙文を稿して先生を偲び、かつ先生の永年に渉る功績をたたえる所以である。

52. 1. 25

平田作太郎氏をしのんで



故 **平田作太郎**氏
明治41年4月1日生
昭和51年12月8日歿
享年 68才

毀誉褒貶にとらわれることなく、名利を追わず、只管に世のため、人のために尽くした人と問われれば、私は直ぐに平田タイル社長・故平田作太郎氏と答えるでありましょう。

その平田作太郎氏が、昨秋に病気が再発し入院されたと聞き、一日も早くご快癒を願っておりました。その矢先、旧臘八日午後6時38分忽然と、この世を去られました。残された御遺族の方々や、会社の皆様方のご悲嘆は申すに及ばず、私共も人生の先達としてまだまだ御健在で、いろいろと教えを乞いたいと思っていましたのに、遂に幽明境を異にし、その温顔に接し得なくなったことは、まことに痛惜の極みで、世の無情を嘆かざるを得ません。氏はことタイルとなると、業界の第一人者として長い間の経験と知識を基に寸暇を惜んで東奔西走し、現場へ工場にと顔を出され、かならず懇切丁寧に教えて頂き、恐縮したものです。その様子が走馬燈のように目に浮かびます。

私と平田さんとの結びつきは、昭和20年代の末頃に協会の事業委員会で委員としてご一緒になったのが始まりだったと思います。そして私が工場見学小委員会主査を担当し、タイル工場の見学企画を樹て、真先にご相談したところ早速快くお引き受け頂き、常滑の伊奈製陶を始め次々に淡路島の淡陶や、遠く九州有田タイル迄見学旅行に出掛けることが出来て、会員の皆さんに大変喜んで頂けたのも、ずい分と細かいところまで気を配って段取り手配をして頂いた賜だったことが懐かしく思い出されます。また年末の会員忘年懇親会には例年必ず実行委員として一生懸命裏方を努めて居られました。その後また住宅委員として、恒例のよろず相談住宅展には出展者の勧誘に、タイル業界やその関連業界に、そのお顔の広さの恩恵に預り、随分無理を言ったものです。最後は昭和51年春より建材委員会に委員として精励して頂き、協会の業務に多大の貢献をして頂きました。

その反面、仕事を離れても人と人との結びつきを非常に大切にされ、一昨年からゴルフを習われたり、我々とも麻雀の卓を囲むこともしばしばで、20数年来協会の役委員経験者有志で会を作り、年5～6回和気藹々とした親睦麻雀会にも率先皆のためきめ細かい心使いをされ、ずっと会長を務めて頂きました。

このように多くの人から敬愛されました故人のご遺徳についてはまだまだ書き尽くせませんが、その一端を披露し、ありし日を偲びつつ、謹しんで哀悼の誠を捧げるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げる次第です。

（竹友会常任幹事 **山本 茂**）

〔略 歴〕
出身地 石川県羽咋郡志雄町
現住所 京都市下京区綾小路通大宮東入ル丸屋町
T 14・4 平田タイル入社
S 27・4 同社専務取締役就任
S 31・4 同社代表取締役副社長
S 45・10 同社代表取締役社長
他に（株）平田エンヂニアリング社長
伊奈精機株式会社会長
伊奈関西販売株式会社社長
丸一運輸株式会社代表取締役
〔公職歴〕
社団法人日本建築協会評議員
同 上 建材委員会委員
社団法人日本建築材料協会理事
社団法人大阪陶業協会理事
全国タイル建設業協会常任理事
大阪タイル衛生陶器商工業協同組合理事
その他役員歴任

◀「建築と社会」誌バックナンバーのおしらせ

下記バックナンバーがそろっておりますので、購入ご希望の方は日本建築協会まで、電話（06－231－9648）、またはハガキにてお申し込み下さい。

昭和42年1月号～昭和47年3月号 ￥300
昭和47年4月号以降（A4変形判）￥400
昭和49年10月号以降（A4変形判）￥600

＊印欠号

	昭和46年（52集）	昭和47年（53集）	昭和48年（54集）	昭和49年（55集）	昭和50年（56集）	昭和51年（57集）	昭和52年（58集）
正月号	住宅－60年代の総括と70年代の展望	冬季オリンピックと札幌	建築教育	歴史的環境保全	図書館	証言 '76－建築デザインの動向	デザインの動向－部分と全体
2月号	都市エネルギと無公害化ビル	600号記念号	泉北ニュータウンのコミュニティ施設	明日の建築はどうなるか	東海の新建築	建築基礎構造の問題点	兵庫県－その風土と建築・建築界
3月号	建築基準法	インテリアデザイン	大阪大林ビルディング	保養所作品	＊インテリア	＊医療施設	ニュータウンの管理・60周年・660号発行記念号
4月号	都市生活とみどり	都市交通問題	レジャーと施設	既成市街地の住宅地整備の方策	PC板を使用した工業化住宅	床工法と材料	コンクリートの品質管理と行政指導の方向（予定）
5月号	企画と設計のプ＊ロセス	水利用	大阪国際ビルディング	北摂ニュータウン計画	社会・建築・法	建築防災と法	建築基準法改正法（予定）
6月号	解体工学	量産住宅の設備	老人コミュニティ	建築生産と流通機構の変容	都市の景観と施設	市街地整備	身障者施設（予定）
7月号	都市と港湾	＊一般号（桂中学）	住宅－建築家のすまい	ビルの省エネルギ化	建築とプレストレストコンクリート構造	工場建築の設備	（設備特集）
8月号	転換期のニュータウン		新用途地域制と＊環境	高層プレハブ住宅の構造設計	生活排水処理施設のあり方	鉄骨構造のジョイント	（構造特集）
9月号	軟弱地盤と震災	都市住環境への＊アプローチ	構造と施工＊	みどり	人間環境として＊のターミナル	集住体のハードとソフト	（計画特集）
10月号	変貌する建築生産	都市防災	仕上と材料＊	屋根防水工事の＊失敗例とその対策	騒音対策と防音材料	結露防止対策と断熱材料	（施工材料特集）
11月号	第18回青年技術者	第19回青年技術者	第20回青年技術者	第21回青年技術者	第22回青年技術者	第23回青年技術者	青年技術者（予定）
12月号	自然とレジャ空間	北陸の新建築	ヨーロッパのまちづくり	ビル防災に関する12章	集合住宅の設備	設備からみた建築の問題点	（設備特集）

集合住宅におけるガス設備と安全（その2）

大阪瓦斯株式会社

前回は、集合住宅におけるガス設備と安全について全般的な考え方を述べたが、今回は、当社の考え方を具体的に説明したい。

3．ガスせんの標準設置要領

各設備および機器については第2項の考え方に準じているが、ガスせんの取り付け要領については、開閉操作の容易化、誤操作の防止、ゴム管の安全使用を目的として、下記のように具体化した。

(1)ガスせんは、使用対象ガス機器のホースエンド口径と同一口径とする。

(2)ガスせんは1口型ガスせんとする。

(3)移動形ガス機器用および予備のガスせんについては、誤操作によるガスの噴出を防止するため、カチット型ガスせんとする。

(4)2個以上のガスせんを並設する場合には、誤操作を防止するためお互いに10cm以上の間隔をもたせて設置する。

(5)ガスせんは、ガスせん、ゴム管の点検、修理、取りかえが容易にできるように設置し、ホースエンドと壁面との間隔は、ゴム管の着脱に必要な間隔をとる。

(6)ガスせんは操作の容易な位置に設置する。特に機器や家具で隠れる場所には設置しない。

(7)ガスせんのつまみで開閉状態の確認ができる位置で、熱や水などの影響を受けないところに設置する。

(8)機器に接続するゴム管が過熱されたり、折れまがったりせず、また、ゴム管長さがテーブルコンロなど半固定機器では1m以下になるようにガスせんを設置する。

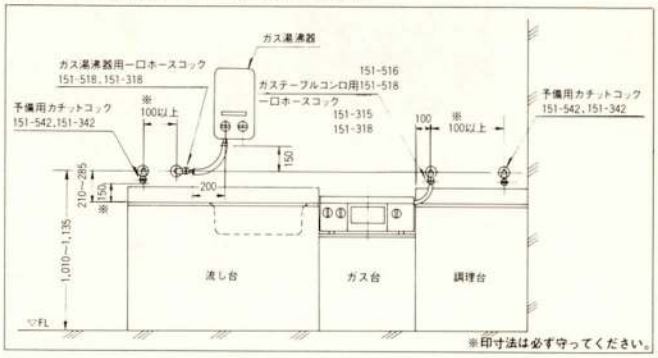
以上の考え方にもとずき、各部屋ごとに、表1に示す標準設置位置を設定した。

表1．ガスせんの標準設置位置

区分	機器	標準設置位置	
台所	テーブルコンロ	高さ	ガスせんのホースエンド先端と調理台面との間隔を150mm程度とする。
		横方向	ガスせんをコンロ台後方に取り付けることは避ける。
	小型湯沸器	高さ	湯沸器ホースエンド下端より150mm以下とする。
		横方向	湯沸器ホースエンドとガスせんのホースエンド先端の間隔を200mmとする。
		横への振り方向	コンロなどの熱を受けない側にガスせんを設置する。
浴室	バランス型外だき釜	高さ	バランス形外だき釜据え付け台より890mmとする。
		横方向	壁面より790mmとする。
屋外など	内だき釜セミ外だき釜外だき釜	高さ	風呂釜前枠の下端より100mm上方とする。
		横方向	風呂釜前枠の側端より300mm離した位置とする。
		壁との角度	ガスせんは壁と45°の角度をもたせる。また、壁から立ち上げ管までの距離は50mmとする。
居室	ストーブクリーンヒーティングなど	高さ 横方向	床面よりボックス型ガスせんの飾り枠下端まで150mmとする。ドアや家具で隠れる恐れのない位置とする。ガスクリーンヒーティング用の場合、取り付けスペースの中心より700mm右側とする。ただし、700mmのスペースがとれない場合は、ガスクリーンヒーティング右側面から150mm以上の間隔をとってボックス型ガスせんを設置する。

また、台所用ガスせんの取り付け例を図1に示したので参照されたい。

図1．台所用ガスせんの取り付け例



4．大阪ガス東豊中社宅における試み

今後の集合住宅のガス設備の安全に対する一つの提案として、当社では、東豊中実験社宅に2つのモデルを組みこんだ。その1つは、第2項、第3項で述べた考え方にもとずき、近い将来を想定したものであり、他の1つは、将来のよりよい方向を探るためのモデルである。ここでは紙面の都合で、その詳細を記述できないが、いずれもガス消費機器と換気設備との対応を重視し、同時にガス機器へのガス供給に留意したモデルである。また、万一のガスもれに対する処置についても将来の方向を探るモデルに組みこみ、テスト、モニター、解析などを行い、さらに新しい安全機器、システムの開発に取り組んでいきたいと考えている。

▶近い将来のモデル



▶将来の方向を探るモデル



おわりに

前後2回にわたり、集合住宅におけるガス設備と安全について記述させていただいた。より安全な機器を、正しく設置し、正しく使用していただくことにより、ガス設備が安全にその機能を発揮することを心から希望すると同時に、本稿を安全なガス設備についての考え方の一助にでもしていただければ望外の幸せである。

■ 写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延面積　e．構造規模　f．工期



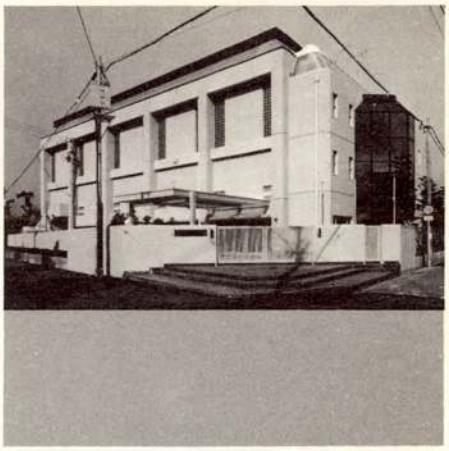
1234　サンケイ健康保険組合宝塚保養所

設計：大日本土木㈱大阪支店
施工：大日本土木㈱大阪支店
a．兵庫県西宮市塩瀬町生瀬字鎧内311
b．574.28m²
c．261.80m²
d．558.98m²
e．RC、3F
f．昭和51年2月～昭和51年8月



1235　愛知労働金庫名北支店

設計：名古屋建築設計事務所
施工：フジタ工業㈱名古屋支店
a．名古屋市北区瑞穂光町4－2－8
b．452.060m²
c．313.130m²
d．901.715m²
e．RC、3F、T_2
f．昭和50年8月～昭和51年3月



1236　帝塚山学院第二体育館

設計：㈱A・R・I建築事務所
施工：㈱鴻池組
a．大阪市住吉区帝塚山西3－17－1
b．1,757m²
c．696m²
d．1,454m²
e．RC、2F
f．昭和51年4月～昭和51年11月



1237　帝塚山学院図書館

設計：㈱A・R・I建築事務所
施工：㈱鴻池組
a．大阪府南河内郡狭山町大字今熊
b．72,794m²
c．1,279m²
d．2,172m²
e．RCラーメン構造、B1、2F
f．昭和50年11月～昭和51年6月



1238　ゴルフビルイバラギクラブハウス

設計：㈱ヤマソー建築設計事務所
施工：㈱新井組
a．大阪府茨木市大字道祖本34
b．105,000.000m²
c．402.000m²
d．386.400m²
e．S、1F
f．昭和51年9月～昭和51年11月



1239　オートバックス高槻店

設計：㈱ヤマソー建築設計事務所
施工：㈱ヤマソー
a．大阪府高槻市大塚町1－205－12
b．2,635m²
c．955.540m²
d．972.726m²
e．S、1F
f．昭和51年9月～昭和51年10月



1240　福井商事竜田寮

設計：㈱中島建築事務所
施工：㈱竹中工務店
a．奈良県生駒郡平群町字西宮224
b．996.40m²
c．375.65m²
d．1,247.12m²
e．RC、4F
f．昭和51年1月～昭和51年9月



1241　日貿信六甲山荘

設計：㈱中島建築事務所
施工：㈱山田工務店
a．神戸市灘区六甲山町北六甲4512-756
b．892.405m²
c．72.250m²
d．144.500m²
e．RC、2F
f．昭和50年8月～昭和51年4月



1242　大阪府警察本部関目別館

設計：渡辺建築事務所
施工：㈱奥村組
a．大阪府城東区古市大通り2－6－1
b．15,058.30m²
c．1,188.80m²
d．5,681.15m²
e．RC、B1、5F、P1、屋根一部S
f．昭和50年4月～昭和51年10月

フリントコート®

マスチックフローリング

耐久性のすぐれた防湿床材



飯田町紙基地センター
設計監理：国鉄東京建築工事局　施工：清水建設・熊谷組・鉄建建設共同企業体
使用場所：床　仕様番号：F－9®

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　復元性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート施工販売部

大　阪　〒532　大阪市淀川区西中島２丁目11番30号　☎(06) 303－7131
東　京　〒104　東京都中央区宝町2丁目4番地(第2ぬり彦ビル3階)　☎(03) 562－4646
名古屋　〒461　名古屋市東区東門前町3の47(日本橋ビル4階)　☎(052)931－8537
広　島　〒730　広島市東白島町１５番６号(西林ビル３階)　☎(0822)21－1224
福　岡　〒810　福岡市中央区舞鶴１－１－５(舞鶴ビル３階)　☎(092) 77－1961

建築の眼

閾をおろそかにしてはならない

団地アパートの地上住戸は侵入窃盗に弱い。人に見られずにバルコンに達しうる場合がとくに弱い。この対策としては住戸専用の庭をとり、これに背の高い視線を通す柵で画定するのがよい。さらにそれに隣接する園地は、四周の住戸が共用するエリアとして灌木・柵・門などで囲んで領域感を高め、そのバリアをあえて通過して「領域侵犯」する不審者は住民の自然な監視や誰何をうけるように仕向ける。このコストはたいしてかからない。むしろ「古めかしい設計だ」とか「本来だれにも利用されるべき公共スペースを個人や特定の集団に帰属させるのは誤り」という建築思想がその実現を大きく妨げている。

しかし、このような空間構成でもって自衛（police）しやすくすることは新石器時代からつい最近まで継承されてきたし、そのような空間構成と気構えの集合体が都市（polis）であろう。だが、現代社会は警察（police）にあまりにも頼りきり、「現代性」「公共性」というお念仏を唱えることで先祖たちの深い智恵を忘れさっている。私にはいまの中年世代ならだれもが真剣に言い聞かされたあの言葉が迷信とは思えない。「わが子よ！ 閾を踏んではいけない。けっして！」この言葉はギリシャ時代にすでに言われており、かなりの国ぐにで幾十世代にもわたって厳粛に語り継がれてきたのである。私たちが「閾」の象徴している領域画定の重要さを見失ったなら、ご先祖様にも子孫にも、そして同時代人にも申し訳がないというべきであろう。（U）

地価と町並み保存

地価急騰の時代は済んだとはいえ、大都市近郊の住宅地の地価は依然強含みの状況にあるらしい。保存関係の仕事をしているものから見れば、地価の経済論理ほど、反対者側の理論武装を助ける強力な武器はない。この理論に対抗して保存施策を推し進めることは、並大抵のことではないという感を抱かせる。

清水産寧坂地区の町並み保存に取り組んでいた昭和47年頃も、地価は年率17%（六大都市市街地）の高騰を続けていた。京都市の特別保全修景地区を受けると地価は大幅に下落するおそれがあるとの理由が、反対派の人達の大きいよりどころであった。これに対して「確かに一般商業地としての地価は下がるでしょう。しかし、他の地域にはない、この地の雰囲気を生かした特色ある観光地としての地価は上昇するはずであり、地価の大幅な下落はあり得ない。また、伝統的な町並みがこわされ中途半端な景観を呈してくるならば、それこそ地価は下落していきますよ」という意味のことを反対派の人達に言っていた。その当時、産寧坂の町並み保存が大きくマスコミに取りあげられ、観光客が急増していたこともあったりして、反対派の人達の了解をとりつけることができたのであるが、反対派の人達の「何もこの土地を売って出ていく気はないのだ」という土地への定着意志こそが、地価の経済論理を超えさせたと考えている。

昭和49年指定の祇園新橋地区の場合にあっては、より鮮明なかたちで地域のコンセンサスが得られていた。4階建ビル建設に反対され、町並み保存の運動を起された祇園元吉町の人達は、討議に討議を重ねた上、「地価が上がって高いビルが建つことは、結局、先住者の自分達が追いだされることになる。地価は下がってもよい」との結論に到達されたのである。（O）

〝建築作品ときりつめられた工事費〟

日本経済は、オイルショックのあと三年目の不況といわれて、昭和52年の春を迎えた。建設業界は、今年こそ他産業共々景気の浮揚を強く期待している。しかし、建設需要は依然として活況にとぼしく、業界はこぞって受注確保に血眼になっている現状である。そのため経済価格競争は激烈で、工事費は一寸の許容もゆるされない事態である。工事入札に際して、工事施工が可能かと思われるような低廉な落札金額が新聞紙上に発表されるのを見受ける。現場を運営される監理者や施工の当事者にとって、誠に深刻にならざるを得ない現代である。

建築工事費の価格というものは、図面、仕様書の設計図書で見積るが、グレードの解釈が多様にされるため、価格のバラツキが多い。また、設計者の意図が図面や仕様書に十分表現されてないためであろうか。仕事の程度、内容は、なかなか設計図書で表現することがむづかしい。その他、図面に表現しきれず明記がなく、当然施工上しなければならないものなども多くあり、これも工事費に含まれるという一方通行の表現も多い。見積りには見落としがあっても見過ぎはまずない。そして不可能に近いような低廉な価格で建築作品の製作が開始されるケースが、最近特に目立つ。

現代に生きる建築家は、その時代の価値ある建築作品を創り出し、次の世代に残していかねばならぬ義務があり、その作品に誇りを持たねばならない。その時代の文化の高さと芸術、技術の粋を少しでも後世に残したいものである。このような心情をもった建築家は今や稀少になったのであろうか。設計にたずさわる人、これを形作る人、価値を決め監理をする人、立場はそれぞれ違っていても、建築作品を協力一致信頼の念をもって製作し、今世紀後半に残したいものである。現代建築は、あまりにも機能本位、いやそれにも増して低価格優先になりすぎてはいないだろうか。考えさせられる問題である。（Ok）

設計するという行為

設計図と仕様書にもとづいて建築物を創り上げてゆく、その生産の過程において、建築ほど複雑多様な要素の盛りこまれるものはないと思う。景気刺激のための建設投資であるとか、社会のための福祉施設であるとか、域いは企業のための生産設備であるとか、大きく政治・社会・経済と深いかかわりあいをもつのみならず、設計するという行為そのものに目をむけてみても、これまた複雑につなぎ合わされている。

意匠・構造・設備・監理と専門分化された作業のそれぞれの中に、互いに切り離されている設計行為を、誰がどのようにしてつないでいるか。それらをつなぎとめる存在として、何を想定するか。建築家という個人なのか、建築事務所という集団なのか。更に施工図・現寸図については、通常施工請負側の技術者、または下請メーカー側の技術者によってまとめられる。そこに見られる設計という概念は、建築家もしくは建築事務所とどのようにつながるのか。

「設計する」、図面の表現に従って制作すれば、そこに巨大な建築が完成する、このしたたかな行為は、もはや建築家という個人にも、建築事務所という集団にも手に負えない存在となっており、両者には「設計する」より「計画する」という言葉がふさわしいようである。「社会」、「技術」、「資本」という、建築の首根っこを抑えている巨大な力に対抗して、「設計するという行為」のできるものは、前述の現寸図の作成までを含めた、新しい制作集団の誕生が必要なのではあるまいか。（Y）

湯川利和
奈良女子大学教授
家政学部住居学科

大西国太郎
京都市都市計画局風致課主幹

大生仁雄
鹿島建設大阪支店建築部次長

山口安男
日建設計業務部長

★1月号から6月号まで上記4氏が担当

印象、鮮やか。新しい三星シングル。

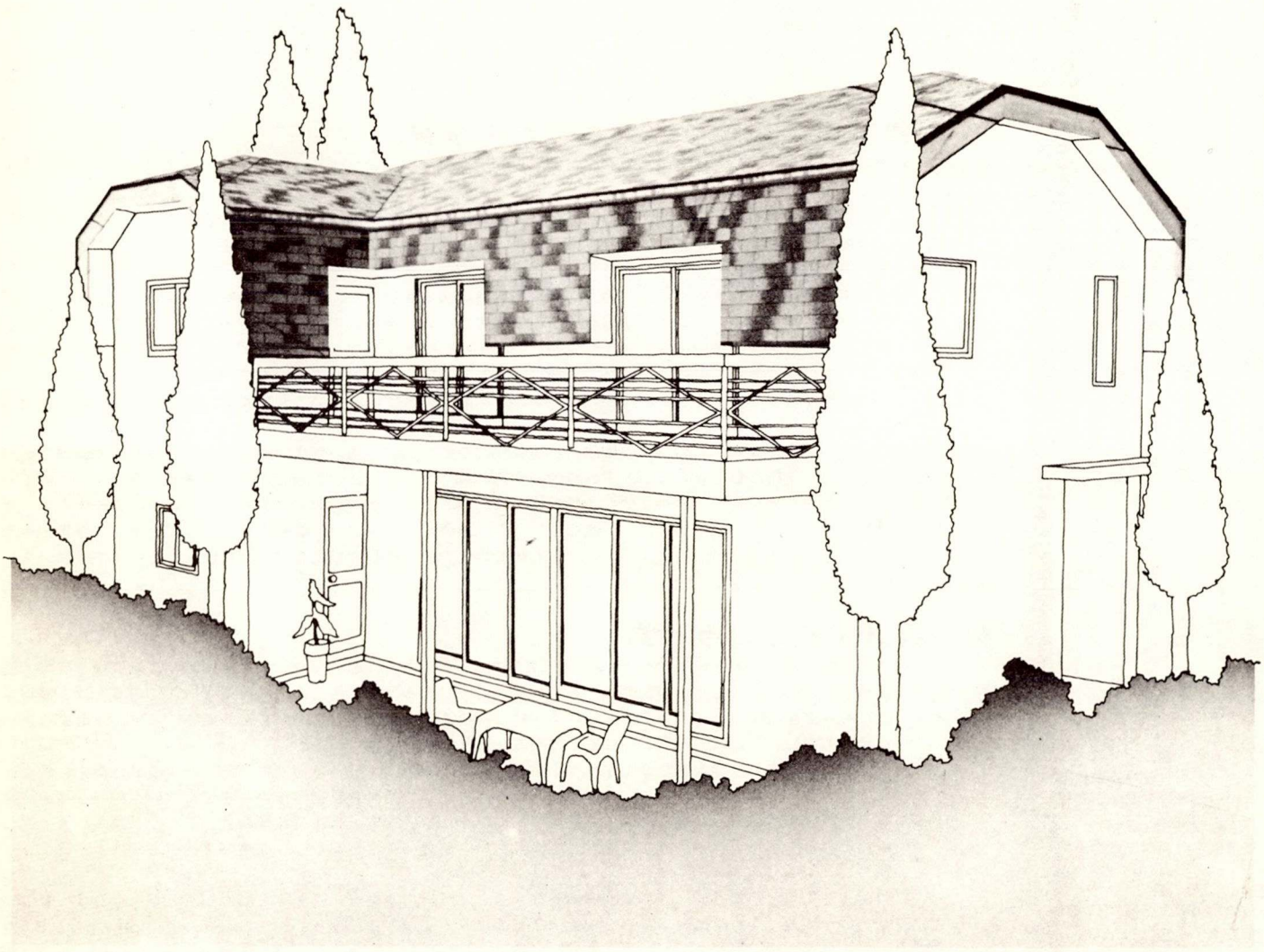
青い空間に鋭いシュプールを描く屋根…木々の緑とシックなコントラストを見せるリッチゴールド色の屋根…室生寺に見られるような、優美な曲線を描く屋根…。いま、新しい三星シングルは日本の各地で洗練された美しさを披露しています。質感、色彩、機能、耐候性。そのどれをとっても、いままでの屋根材とはっきり違います。日本の伝統的な美と時代の先端をいくモダニズム。ふたつの相異なるニーズを可能にするのも、三星シングルならではのもの。まさに、時代が要求する屋根材といえるでしょう。

● カタログをご請求ください。

日本の風土にふさわしい、屋根材

三星シングル

三星シングル会
田島ルーフィング株式会社
大　阪：大阪市西区京町堀1-10-5 電話(06)443-0431
東　京：東京都千代田区岩本町3-11-13 電話(03)862-8531



建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

©1917年創刊

第58集

660号

CONTENTS 1977 3

特集・ニュータウンの管理—千里のフォロー
60周年記念号・660号発行記念

SPECIAL FEATURES ON THE FOLLOW ON SENRI NEW TOWN

1 会告 通常総会結果報告。創立60周年記念の会開催。第7回新建築講演会のお知らせ。寄附金の受領。外壁保存の現場を見る…京都中京郵便局と同志社大学ハリス理科学館の見学…。ＡＳＴＭ研修会・芦屋浜シーサイドタウンの建設現場をたずねて。日本経済新聞社大阪本社新館新築工事の見学会。

3 60周年記念 ●日本建築協会60周年・「建築と社会」660号発行記念「日本建築協会60年・近代建築60年のあゆみ（写真）」
●在阪四大事務所作品

56 法令コーナー112 開発指導要綱等の一覧表（その2）/西尾宗晴

57 新建材紹介コーナ12 浸透性錆止塗料「ネオデラスト」/原尚弘。鉄筋コンクリート用防せい剤「ＮＲ-1900」/堀内成樹

58 建築と社会ニュース 千里ニュータウン記念事業。大阪府緑化推進構想。樹の話シリーズ30・あらかし

59 読者の頁 傾いた道しるべ/鮫島浩。私の建築技術者観/神吉義昭。施工、管理上ひとこと/大谷慎次郎、藤木工務店カメラクラブ/岡田泰次

60 追悼文 石川寛三先生/村野藤吾。平田作太郎氏をしのんで/山本茂

62 レポート 集合住宅におけるガス設備と安全（その2・最終回）/大阪瓦斯

63 スケッチブック 最近竣工した新建築9点（No.1234～1242）

65 建築の眼 閾をおろそかにしてはならない/湯川利和
地価と町並み保存/大西国太郎
建築作品ときりつめられた工事費/大生仁雄 設計するという行為/山口安男

68 作品作風 大阪テキスタイルセンター3号館 設計施工：竹中工務店
池坊 設計監理：杉山隆建築設計事務所 施工：鹿島建設

特集・ニュータウンの管理—千里のフォロー—

76 第1章 座談会
「ニュータウンの管理」
井上重幸/北村伊三美/浜田弘/島田博一/仲埜皎朔/山田俊満/近野正男

80 写真ルポ その後の千里ニュータウン
「定着する生活」「移りゆくまち」

第2章 ニュータウンの管理

84 1．公共施設・公共空間の管理上の諸問題
近野正男/阪倉嘉一/真銅裕子/杉本昇

89 2．ニュータウン管理・団地管理—住みよさを求めて—
川島繁三/五島信明

第3章 ニュータウンの動向

94 千里ニュータウン開発事業と住民運動の変遷
石東直子/船本順一

106 構造の頁33 鋼構造柱脚部の固定度—その2・根巻きコンクリートの補強効果/中島茂壽

107 設備の頁32 電波障害/赤司陽一

108 施工材料の頁33 タイルの接着工法/高島三郎

109 若い会員の集いレポート 建築と音楽—形と音と空間と/瀬戸本淳・室川康男・山崎泰孝

114 都市設計資料18 海岸—市民的利用とその景観/神戸都市設計資料研究会

116 月報 日本建築協会月間の動き（昭和52年1月分）

表紙絵・渡欧スケッチ —小泉豊（吉田建築事務所）

次号特集予告
- ■4月号特集/コンクリートの品質管理と行政指導の方向
- ■5月号特集/建築基準法改正法
- ■6月号特集/身障者施設（仮称）
- ■7月号特集/設備特集
- ■8月号特集/構造特集

編集委員会（昭和51年度）　○印副委員長 △印幹事

編集委員長	隅谷康彦		西村喜卿
中村甲一	田中弘成		石塚克彦
	中川洋一	△	藤田孝吉
編集理事	横川隆一		古荘昭憲
井上滉	若野暢三	△	西尾宗晴
岡田光正	△荒木兵一郎		松本好雄
北垣智造	石東直子	○	芝山昭
小西岬	稲垣雅彦		高羽俊治
窪田祐	五島信明		鈴木武
松村慶三	塩崎賢明		船井美彦
三浦二三男	鈴木良介		阿部坦
山田幸一	西岡康夫		上森肇
前野慶太郎	大井恭二		岡田満夫
菅谷健児	△須賀好富		桑田和明
伴一郎	中塚信		十倉毅
渡辺忠	中東達男		中野孝治
	内田昌文	○	伴一郎
	大倉良司		星忠甫
編集委員	河津隆之		松原孝史
○大辻眞喜夫	△佐々木友喜		水嶋繁樹
黒田達雄	志田康		渡辺忠

編集人	松井昭光
印刷	昭和52年3月20日
発行	昭和52年3月25日
発行人	福中定三郎
発行所	(社)日本建築協会 大阪市東区北浜3－37 電 06－231－9648 振替口座 大阪39975
印刷所	凸版印刷株式会社 関西支社 大阪市福島区海老江3－22－61 電 06－458－2251(代)
売価	600円(送料別)

大阪テキスタイルセンター3号館

設計施工　竹中工務店

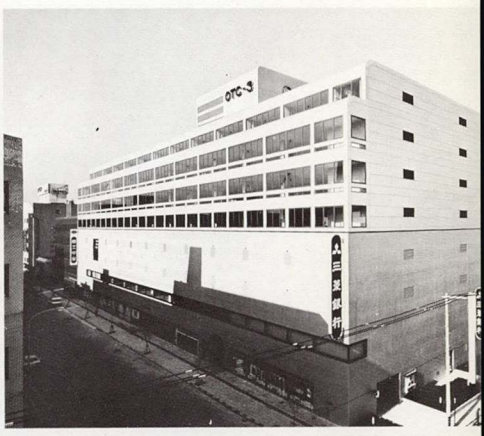


撮影　上川 征洋

所 在 地　大阪府箕面市船場東２－６－５
建築面積　2,311㎡
延床面積　18,360㎡
構造規模　SRC、８F、P３
工　　期　昭和50年９月～昭和51年12月

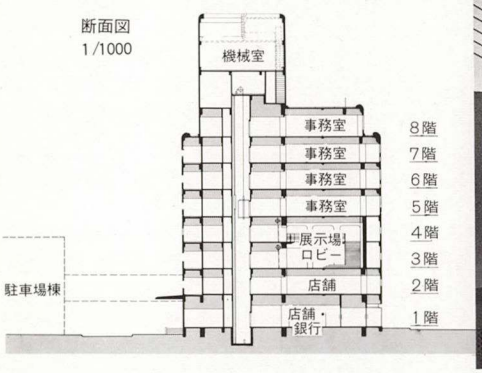
大阪テキスタイルセンター（O.T.C）３号館は、千里ニュータウンの北、箕面繊維団地のほぼ中心に位置しており、関連220社の共同施設として計画されたものである。
１・２階が銀行、飲食店、物販店、３・４階が小さなファッションショーもできる展示場とレストラン、５階以上は事務室で、将来はデザイナー、縫製技術者の養成学校も収容することになっている。
計画のポイントは、これら多岐にわたる用途をいかに有機的、効率的にまとめていくかということと、繊維関連産業の中核施設にふさわしいファッション性と楽しさを演出することであった。
外装はアルミの軽快さを生かしたカーテンウォールとシルバーホワイトの吹付タイルに赤いサッシュ、内部もこの色の組合せによって、明るくモダンな空間を意図している。
複合ビルの多様性に対応するため、当社開発の全電力無公害ヒートポンプシステム〈TACNES-MARKⅡ〉によるきめ細かい空調や、完備した防災システム等、設備的にも質の高いものとしている。　（小川清一）

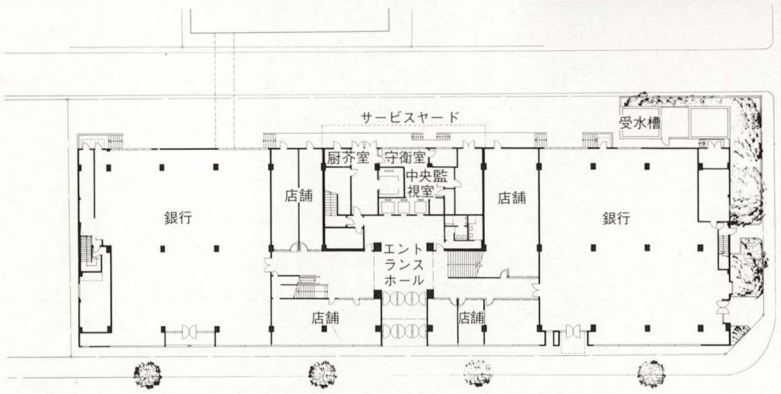




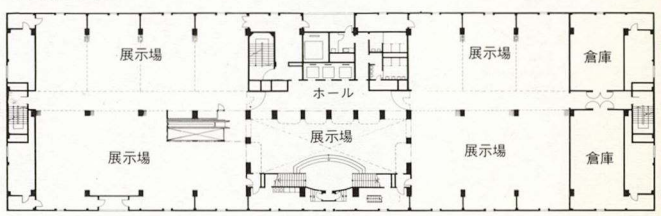


断面図
1/1000





◀１階平面図
▼３階平面図



1 | 2 | 3 / 4

１．外観（南西）
２．１階エントランスホール
３．外観（南東）
４．３階展示場ロビー



池　坊

施工　鹿島建設

設計監理　杉山隆建築設計事務所
所 在 地　京都市中京区六角通東洞院西入堂之前町235
敷地面積　4,890.21㎡
建築面積　1,114.94㎡
延床面積　12,020.94㎡
構造規模　B２･低層部 RC、B1～11F SRC、P２ S
工　　期　昭和50年２月～昭和51年11月









撮影　東出清彦

池坊といえば500年の伝統をもつわが国華道の家元であり、池坊いけばなの発祥の地としての六角堂（紫雲山頂法寺）は、聖徳太子ゆかりの寺として名高い。この境内に計画した建物で特色ある点は次のとおりである。

前提条件

１．六角堂のお堂および境内と現代の建物をいかにマッチさせるか。

２．テナントビルであってはいけない。いけ花のために使う建物でなければいけない。

配置計画

境内の西北に最高53m（塔屋とも）の建物を建て１階は必要最小限の施設以外をすべてピロティとし、境内の延長として開放し、いけばなにとって大切な光と水と緑を添えて構成された広場をつくり、人々のオアシスとしてその歴史を後世に残すことを主題とした。正面入口は六角堂側で、境内より池のある庭園をながめながら橋を渡り、ピロティの広場に入るが、烏丸通りからもこの広場に入ることができるようになっている。

建物の外観

京都の中心地に建つ伝統ある日本いけばな池坊の建物として、鮮明に印象づけできる単純な形態をスペイン産錆色御影石の重厚さと、ブロンズ色アルミを使用して追求したものである。

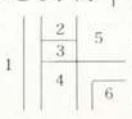
建物の内容

１階ピロティより大階段で２階玄関へ、２階がメインロビーになりエレベーターはこの階より運転される。２階より11階まで各階ともに20m強の大スパン特殊構造で約600㎡のワンルームとし、間仕切は使用目的によりいつでも変更できるようになっている。メインロビーは多目的に使用できるロビー。３階は、いにしえより池坊に伝わってきた美術品、資料などを展示する資料館で、１階から専用階段で入ることができる。滝のある屋上庭園は景色として室内にとり入れ、一隅に茶室を配した。４階より11階までは華道研究室、事務室、収蔵庫などに使用し、室内は各階とも非常にカラーフルなデザインで統一されている。

庭園

六角堂廻りの庭園の雰囲気がそのまま自然に池を通じてピロティ内に入り込むよう、また華席（既存建物）奥にある奥庭が滝と流れを通じて自然にピロティ内にとけ込むよう、境内全体の統一を考えて完成した。（今里 隆／杉山隆建築設計事務所所長）





1．正面外観（西面）
2．頂法寺境内（南西）より池のあるピロティをのぞむ
3．ピロティ（西側烏丸通入口よりみる）
4．頂法寺境内より南面を見る（右手は六角堂）
5．北東よりピロティをのぞむ
6．ピロティより２Fへの大階段（壁面は池坊門弟の署名）


非常口

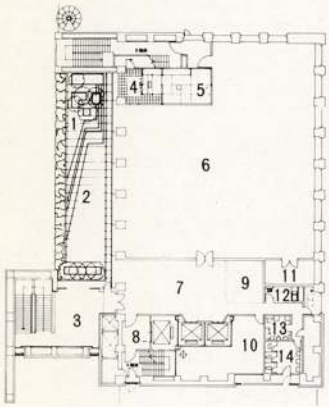


2階ロビー「てっせんの間」

池　坊

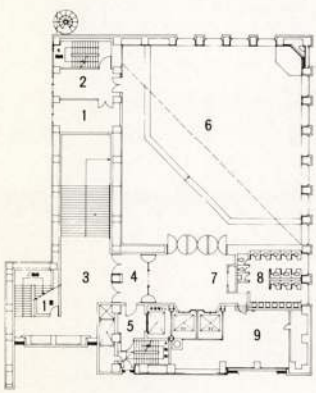
設計監理　杉山隆建築設計事務所

施　　工　鹿島建設



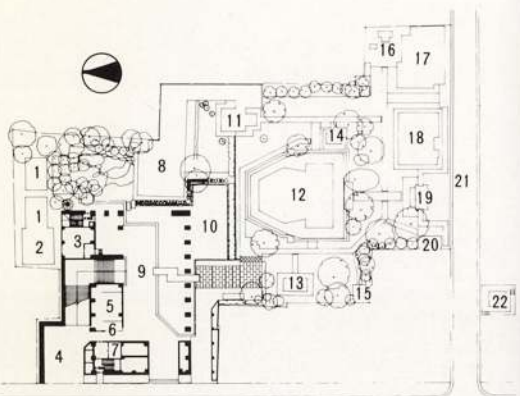
1．滝
2．池
3．ホール
4．水屋
5．茶室
6．資料館
7．EVホール
8．乗降ロビー
9．売店
10．機械室
11．倉庫
12．湯沸室
13．男子便所
14．女子便所

3階平面図



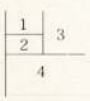
1．倉庫
2．附室
3．ホール
4．風除
5．乗降ロビー
6．ロビー
7．玄関ホール
8．女子便所
9．機械室

2階平面図



配置図

1．蔵
2．コンピュータ室
3．倉庫
4．車寄
5．中央監理室
6．受付
7．非常用EV
8．華席
9．ピロティ
10．池
11．太子堂
12．本堂
13．諸仏堂
14．御手洗
15．水掛不動
16．唐崎明神
17．事務所
18．茶所
19．正門
20．便所
21．六角通
22．鐘桜



1．VIP きくの間(10F)
2．3F展示室北側にある池と滝
3．薄暮の北西外観
4．いけばな資料館　しらかば(3F)











千里南公園にて　撮影：栗林健吾

特集
ニュータウンの管理—千里のフォロー

第 1 章

座談会「ニュータウンの管理」

井上重幸 / 北村伊三美 / 浜田弘 / 島田博一 / 仲埜皎朔 / 山田俊満 /

近野正男

写真ルポ

その後の千里ニュータウン

「定着する生活」「移りゆくまち」

第 2 章

ニュータウンの管理

1．公共施設・公共空間の管理上の諸問題

近野正男 / 阪倉嘉一 / 真銅裕子 / 杉本昇

2．ニュータウン管理・団地管理 —住みよさを求めて—

川島繁三 / 五島信明

第 3 章

ニュータウンの動向

千里ニュータウン開発事業と住民運動の変遷

石東直子 / 船本順一

本号特集幹事：近野正男 / 紙野桂人 / 多胡進 / 杉本昇 / 真銅裕子 / 石東直子 / 稲垣雅彦 / 五島信明 / 荒木兵一郎 / 船本順一 / 西岡康夫 / 鈴木良介 / 塩崎賢明

●執筆者の都合により、第3章に予定していた「コミュニティ施設の使い方・使われ方」は割愛しました。

第1章・座談会

ニュータウンの管理

出席者
井上重幸（大阪府企業局宅地計画課）
北村伊三美（豊中市企画部）
浜田弘（吹田市企画部企画課）
島田博一（大阪府千里センター）
仲埜皎朔（吹田市佐竹台住民・千里の自然を守る会連合・事務局）
山田俊満（豊中市新千里東町住民・日本住宅公団勤務）
司会
近野正男（大阪府企業局業務管理課）

と　き／昭和51年11月2日
ところ／日本建築協会会議室



近野（司会）　それではただいまから「ニュータウンの管理問題」ということで座談会を始めたいと思います。今日は開発者側といいますか、事業を実際に担当してきた人、ニュータウンの管理で日夜苦労なさっている方、あるいは地元の自治体の方、そして、住民、プランナー、それぞれいろいろの立場と経験をお持ちの方々にお集まりいただきました。

千里ニュータウンが開発されてからすでに15年、一応完成したといってからでも5年ほどたっている現在、わが国最初の大規模住宅地開発事業であった千里ニュータウンをもう一度振り返って総点検したいというのがこの特集号のねらいだったわけです。ニュータウン開発の総点検といっても、いろいろのアプローチがあると思いますが、限られた紙面ですので、総花的になるよりも、今一番問題になっている公共施設・公共空間の管理という視点から、ニュータウンの功罪を総点検したら……というのが編集子の意図だったと思います。

それでは、どなたからでも結構ですが、ニュータウンの管理で、一番問題になったこと、あるいは現在頭を悩ましているようなことがありましたら、お話しいただきたいんですが。

浜田　問題点をあまり整理しておりませんですが、吹田市域で最近一番問題になったのは、竹見台の小学校・中学校のマンモス化の問題ですね。あそこは、中層住宅を公団の高層住宅に変更したため、当初のマスタープランよりも住区の人口が大幅に増えたんですね。住宅戸数は増やしても、小・中学校の敷地はそのままだったから、非常に過密校になってしまった。

北村　豊中市の方は、公共施設の管理の引き継ぎでは、大きく分ければ二つの問題があると思うのです。一つは、いま言われた教育施設の問題です。この整備に対する費用負担ですね。もう一つは市の組織・管理体制とそれに関連する費用の問題です。

一点目の教育施設、これはすぐに引き継がなければならなかったんです。企業局の方も学校用地は住宅地の半分の価格にするとか、支払い方法については、かなり有利な条件を付けるとか、校舎は建て替え施工して、国庫補助が交付された段階で償還すればいいとか、いろいろ配慮していただいたんですが、それでも、市の財政には大きな重荷になったわけです。とくに市民税というのは、新住民の場合1年遅れで入ってくるわけで、そのギャップは意外に大きいですね。

それからもう一つの、公園・道路・上下水道の問題ですね。これについては、引き継ぎの話が企業局からあったとき、一番初めに感じたのは、いずれにしても、これだけ広大なところを管理してゆくには、予算と人員が相当必要だろうということでした。簡単には引き継げないぞという気持でしたね。しかし、当時豊中市としても問題になっていたのが水道料金です。ニュータウンの場合、旧市より50%近くも高くなっていましたから。同じ市民である以上、同じレベルにしなければいけない。どうすればいいか。旧市を値上げするか、千里を値下げするか、ずいぶん問題になりました。結局当時の市長の英断で、千里の方を下げることにしたのですが、そのためには、上水道施設の管理権を大阪府から引き継がなければならなかったわけです。これを機会に、ということで他の公共施設の引き継ぎの話も急速に進展しました。

司会　言いかえれば、上水道問題は、引き金の役をはたしたわけですね。

北村　そうですね。話の出たついでに公園について申しあげますと、千里の豊中市域だけの公園の面積と、旧市の全公園面積がほぼ同じなんですね。そうしますと、引き継ぎ後は、公園管理の人員を一挙に倍にしなければならないということになります。道路にしても、千里は丘陵地ですから、のり面が大きく、その除草費がばかにならない。街路樹の除草にしても、全市域の予算額の80%は千里に費やされているような現状です。

司会　いま両市の方から非常に悩み深い（笑）話をうかがったのですが、実際に住んでいる住民の立場からは、どんな点が問題になるでしょうか。

仲埜　道路管理、緑地管理の延長で「ニュータウンの管理」となったのでしょうが、住民側から言えば「ニュータウンでの市民・行政サービス」ですね。これが計画、建設のさい十分考慮され、その後も実施されているか、住民を満足させているかです。また「管理」となると、話が事業主体の府企業局と地元自治体の吹田、豊中市に限られ、国サイドの話が抜けることにもなると思います。団地の公共施設の整備は事業主体者と自治体の両者だけでは解決できない問題になっているのが現状ですから。話をごく簡単にすれば税負担に見合う行政サービスを受けているかですが、千里地区の場合、むしろ税収の方が多い、言いかえれば黒字になっているんじゃないでしょうか。ところが住民の要望が強い図書館とか老人センターのような施設がなかなかできない。採算のとれる商業施設は増えるが、文化、厚生的施設は増えないので不満をいだいているんじゃないですか。

北村　うちの財政部門が昭和47年にまとめた本に「変革に対応する地方財政」というのがあるんですが、これをみますと、千里地区の場合大体41年から44年度までは赤字なんです。それから45年から46年にちょっと黒字で、47年度から大幅に赤字という数字がでています。それはなぜかといいますと、47年に公園・道路の引き継ぎに伴う管理費が大きく上昇したからです。ただ、豊中の場合、まだ千里中央の業務地区が完成していませんね。あれが完成しますと、税収ものびるのではないかと期待しているんですが。

司会　山田さん、居住者のひとりとして、また、ひとりのプランナーとして、ニュータウンを見た場合、どんな感想をお持ちですか。

山田　私の場合、立場がいくつかありますが、これをいちいち明確にしてやっていると時間がかかりますので……(笑)いろいろ渾然とした立場でお話しますが、管理問題を考えていくと、どうもニュータウンを計画した人たちの意図というものが、居住者すなわち使っている人たちに理解されていない面があるんじゃないかと思うんです。また、居住者の方にも、自分が住んでいる街、ニュータウンを使いこなそう、住みこなそうという努力がまだ足らんように思うんです。ただ計画面でみた場合、千里は日本で一番最初のニュータウンですから、参考にするにも実例は外国にしかなかったわけですね。そんなところにも、人と街の対応がうまくいっていない遠因があるような気がします。いわば、未経験の中で大胆に街づくりしていったのが、いまになってみると、生き物としての街に対して影を投げかけているんだろうと思うのです。一例をあげると、幹線道路ですね。中央環状線と新御堂筋線が千里を十文字に通りぬけていて、車交通の方からは大変便利なものです。しかしそれが将来一体ど

ういう型の交通をどれだけ発生させるか、そして、それがその地区の環境にどんな影響を与えるか——いわゆる最近言うところの環境アセスメントですね、こういう考え方は当時はあまりできなかったんじゃないかと思います。外国では、幹線道路を止むを得ずニュータウンの中に持ってくる場合は、住宅地との間に、緩衝地帯、いわゆるバッファー・ゾーンを50mとか100m幅で緑地帯などとして取っているんですね。それに比べて、千里の中央環状線沿いなんかは、ひどい状況です。

浜田　確かに桃山台の駅なんて、あれは人間が電車を待つ駅と違いますね。（笑い）

司会　もっと人間を大切に……ということですね。ニュータウンの管理を一手に引き受けておられた千里センターの場合はどうですか。



島田　道路・公園は大部分すでに市に移管されていますが、まだ周辺緑地が残っていて、センターはそれを管理しております。この緑地には、住民の方ではないんだろうと思うんですが、いわゆるゴミの不法投棄、それから不法耕作ですか、それが一番問題になっています。また雑草刈りも大変で、いろいろ苦情も多いんです。

司会　開発者の立場になるんですが、井上さんの方はどんな……。

井上　私の方は、開発者から地元市への引き継ぎ事務を担当してきたのですが、その経過を振り返ってみると、46年の吹田市の水道の引き継ぎがトップで、47年に豊中の道路・公園・上下水道と、吹田の道路・公園が続きます。48年に道路の残り、49年に吹田のプレイロット61カ所の引き継ぎをやっています。さらに50年に豊中の一部の緑地、51年に吹田のいわゆる市民ホールを渡すことができました。その中では、まあいろんな問題点が出てきます。その都度、双方協議に協議を重ねて、何とか解決策や妥協点を見つけてやってきましたが、やっぱり、ニュータウンの場合、プランの段階で、実際使う段階、管理する段階などのあらゆる事態を想定して立案するのは、大変むつかしいことだと今さらながら感じています。

北村　そういう面は確かにありますね。たとえば運動施設ですね、北町に野球場があって、東町にテニスコートがあるわけですが、こういうものもやっぱり管理面からみれば1カ所にかためてほしいです。それに駐車場の問題。東町のある中層の団地ですが、公道となるべき道路の上に線引して、駐車場にしているんですが、これなんかも道路として引き継ぐ場合管理上問題になります。東町に限らず駐車場は大問題ですね。路上駐車で救急車とか清掃の車がなかなか入れませんよ。いつか大事故につながるんじゃないかとヒヤヒヤします。それから自転車置場。少しずつ整備はされてきていますが、まだまだ足りません。これなんかも時代の流れだと思うのですけれど、もっと考えておかなければならなかった施設でしょうね。

浜田　今、千里で一番大きな欠陥といいますと、駐車場問題でしょうね。車の需要をここまで予測できなかったということ……。

井上　当初計画した車の保有率と今では全然違ってきてしまっているようです。それに最近は会社の車の持ち帰りが多くなって、さらに拍車をかけていますね。大阪市内なんかだんだん駐車禁止の区域がふえていますし、やはり駐車場難ですからみんな会社の車を持ち帰っちゃう。（笑い）

山田　駐車場は、最近の公団住宅の場合、全戸数の約30%分まで設けられることになっています。10年前ぐらいに竹見台に997戸の高層住宅群をつくったとき、ちょうど私もあの計画に携わったんですが、そのとき、公団の標準としては駐車場は全戸数の7%～10%という数字だったんです。私はあそこの入居階層と家賃の関係とか、将来の道路交通の整備の予測から、かなり車の保有率が上がるだろうと考え、まあ20%という数字を、当時としてはえらい破格だったんですが、なんとか本社のほうの了解を得て設けたんですが、それがもうほどなくパンクしてしまった。まさに車優先思想を目の当たりに見た思いでしたね。私自身は車は絶対に運転しませんといって頑張っているんですが、それは一般には通りません。じゃどうするか、今からでは本当にむずかしい問題ですね。日本のニュータウンの場合リザーブド用地があまりとられていない。こういう時代の変化に対応できるようにどうしてもリザーブド用地は確保しておかなければなりません。これは千里から学ぶ大きな教訓です。

ついでに、二、三気づいたことを言いますと、たとえば老人ホームですね。これは日本全体に言えることなんですが、老人ホームのあるところというのは、昔は養老院などと呼ばれて地の果てみたいなところにあったようです。ところが、これはどうしても人間最後に行き着くところですよね。そのことを考えると、その人達が一番日常生活の中で人々からよく目が届き、それでしかも人々の中へ肉体的なハンデをこなしながら溶け込んでいけるような場所が実は良いんです。そういう点では、外国などでは街の中心部、たとえば、千里で言えば千里中央のような所にあるわけです。

それからよく言われる人の定着性の問題。最近の公団住宅の住み替わりのテンポはすごく早くなってきています。10年ほど前は、7～8年は住み続けていたのが、最近では平均3～5年ぐらいで住み替えてしまう人が多くなりました。こういう傾向になってくると、自分の住んでいる街の街づくり、言いかえれば管理という問題に対する関与の仕方、関心の持ち方もかなり違ったものになってくると思います。とくに千里のような地区では、自分の周りの環境に対して、自分達で何かしようという気持ちがどうも出にくいような気がしてしようがないんです。

司会　ニュータウンの特質というのか、居住者の特質というか、何か旧市街地とは違っているということですか。



井上　こんな話はどうかと思いますが、私自身、いまあるところの府営住宅に住んでいるんですが、そこでは毎月1回、第1日曜日の朝8時に男は全部駆り出されるんですよ、自治会に。そして自分の家の前の溝はもちろん、団地から流れていく先の水路までの溝ぶたも全部あげて掃除します。ところが千里はそうじゃないんですね。逆に自分の家の前の溝が詰まっても、掃除に来い！と言うわけです。どうも居住者の意識・感覚が他と違うような気がしますね。

仲埜　千里でもぼくの近所の府営住宅なんか、そういう共同作業がかなり行われていますね。府営入居層は職業上での地縁性が強いため定着率が高く、ほぼ同階層ということで共同体意識が強いんじゃないんですか。

浜田　おかしな言い方ですが、千里はあまりカッチリ出来過ぎているのと違いますか。自分らで手を加えていくということがあまりないんですね。旧市街地は何となく雑然としていますが、千里は、全部ネクタイをしめた街になってしまっている。早い話が、ステテコで表を歩けませんですね。ホテルに住んでいるような感じです。

司会　旧市内の住民だったらこんなこと言わないのに、ニュータウンの住民は何でも言ってくるというようなことを聞くんですが……。

浜田　そのとおりです。この前の台風のときなんか、旧市内ではかなり床下浸水になったところもあるのにあまり言ってきませんし、全部自分達でやっているようです、まあそれがいいのか悪いのかは別にしましてね。ところがニュータウンの場合は、ちょっとしたことでジャンジャン苦情がきます。

山田　しかし住民が自分達の環境について発言をする、それ自体は決して悪いことじゃないと思うんです。私も、仕事の上では、そういうことで振り回されることがよくあるんです。しかしプランナーとしては、そうした住民の要求・発言の中から、何が大切なのか、何を計画の中に取り入れていかなければならないのか、あるいは逆に、そういうことを言っているけれど、他のサイドからも考えるとそれは一部の問題だとか、大した問題ではないからそのままでよいとかという判断をしなければならない。いってみれば、どうしても今必要なことは何かをつかみ出さなければならない。今はそういう時期にきていると思うんです。千里の住人が自分達のまわりのことでよく発言する態度は、新しい住民像の芽生えではないかと思うんですが……。ただ口だけ出して、具体的行動に参加してこないのでは困りますがね。

司会　たとえばニュータウンの管理に住民がどれだけ参加できるのか、あるいは参加してゆくべきなのか、その辺の話は非常に大切だと思いま

す。そういう意味では、千里も徐々に変わってきています。たとえば、プレイロットが住民の管理になった。近隣センターの集会所が、これはいまのところ吹田市域だけですが、衣がえして市民ホールになり、管理も住民にまかされるようになってきています。いままでの、街は開発者なり、自治体がすべて管理すべきものだという考え方が、徐々にですが、街というのは、住んでいる人達のものなんだ、だから当然応分の参加なり負担なりはしてもいいんではないかという考え方に変わってきているような気もしているんですが……。その点で、吹田市さんの方には何か構想があったんですか。



浜田　まだはっきりしたものにはなっていません。ただ旧市内にある公民館の管理を地元の自治会へまかしていますので、それに準じた形でニュータウンの集会所も考えてみたのです。はっきり言ってその方が市の負担は軽くなりますし、住民の方も利用しやすくなるんじゃないかと思いましてね。しかし、それが本当に良い方にいくのかどうか、これからの問題です。

司会　豊中市さんもそういう構想はあるんですか。

北村　私の方は、旧市との関係で、吹田市さんとはちょっと状況が違います。旧市内には、そういう会館は大別して大体三種類あるんです。一つは財産区の財産処分金でつくった会館、もう一つは、旧集落の人々がつくった会館、そして、もう一つは、航空機の騒音防止法による共同利用施設という会館があります。これらの施設の管理ですが、財産区の場合は財産の積立金の利息でやっています。旧集落の方は自治会で管理運営されています。共同利用施設は騒音防止法に基づき、経費は市が負担し、管理運営は地元の運営委員会にまかせているわけです。そこで、千里の集会所の管理をどういう形にするのが良いのか、非常にむずかしい問題でして、それがはっきりしなければ、引き継げないので、現在企業局と協議をしている最中です。

関連した話で、公園の管理の問題があるんです。旧市内には公園・緑地に対する住民の愛護団体が大体自治会単位で120団体あるんです。市はこれらに年間1万円の助成金をお支払いしているんですが、これらが地区の児童遊園や公園の管理に自主的に、また、積極的に協力しているんですね。ところが千里には2団体しかできていないんです。こんなところにも、何かまだ住民意識の定着が遅れているような気もします。

山田　いまの愛護団体のお話、非常に興味を感じるんですが、それは皆さん、大なり小なりその意識持っていると思うんですよ。私が今住んでいる東町の公社住宅ですが、ここの人達は共有地のオープンスペースを業者任せにせず、自分達で草刈りをしたり、手入れしています。やろうと思ったら、皆さん自分達のものだと思うからやるわけですよ。ところが一般の公園についてはちょっとその辺が希薄になるんですが、やっぱり公共のものとしての自分達のものには違いないわけですよね。だからたとえば住区の近隣公園なんか、その周辺の自治会なり管理組合なりに、市から清掃具などに費用を補助して、自主的な管理にしていくことも可能なんじゃないですか。その方が「自分達の街」意識も高まるし、自分らで何かやろうという意識も芽生えてくるんじゃないかと思いますね。

北村　それは大切なことでしょうね。そういう自分達の街意識にも関連するんですが、これからの千里の住環境をどう守っていくかが今後の大きな課題になっているんです。着工後10数年たって、つぎつぎと新住法の10年間の制限からはずれてきています。中高層住宅は簡単には変わらないでしょうが、一戸建ての地域は、転売され、細分化されたりして、どんどん環境水準が悪化することが予想されるんです。それではどうすればよいかというと、現在では建築協定を結んで住民の総意で自分達の街の環境を守っていくというのが最も理想的なんです。ところがこれがなかなかすすまない。行政の力不足もあるんでしょうが……。

仲埜　宅地の細分化とともに医院、小店舗になるといった用途変更が今後の問題でしょうね。しかし建築協定は千里ニュータウンの場合むずかしいですね、入居当初に考えておかないと。現に入居後、何年か後に建築協定ができたのは、大阪府下では高槻市の一地区だけしかありませんね。あれは全員賛成じゃないと法律上できないですから。いま建築協定やっているのは、ほとんど分譲の際にデベロッパーと一、二の契約者との間でやっているわけです。だから企業局だけでなく、公的な事業主体も今後は当初から将来の街の管理のことを考えて、建築協定が結ばれるように図るべきですよ。

それと最近感じているのは、案外表面にあらわれていないんですが、住居形式による階層的なへだたりがだんだん大きくなってきつつあるということです。

司会　居住階層ですね。

仲埜　そうです。それが非常に大きなニュータウンの将来の問題につながるんじゃないかと感じています。というのは、戸建ての分譲住宅と府営住宅ですが、千里全体で3万7千戸のうち約1万戸は府営住宅ですが、現在の所得制限はかなり低くおさえていますので、住み替えで千里の府営住宅に入れる層というのは、若い人だったら親と同居の形式にするとか、年配者は年金生活者とか、そういう層に限られてきます。一方、戸建ての分譲住宅に買い換えで入っている層は医者とか中小企業の社長とか、大変な高額所得者ですね。だから、入居者の所得を見ると、一方では年収1,000万円を超える高額所得者が地域的にはもう何十人と並んでいるわけです。府下であれだけ高額所得者がまとまっている住宅地は、ほかではないでしょう。ところが一方では、府営住宅の方はますます低所得層と入れ替わるため、階層分離は強まるばかりです。これは将来ニュータウンでの行政、住民の連帯感のうえで相当深刻な問題になりそうです。だから、今後のニュータウンでは街の形だけでなく、住居形式による居住層の変化も考えておく必要があると思います。

浜田　むずかしい問題ですなあ。旧市内では、いろんな人達が渾然となって生活していますけど、千里の場合それがかなりはっきりしていますから。

仲埜　千里の自然を守る会連合の事務局もやっていますが、そこでも感ずるのは、住居形式によって、環境に対する感じ方がまるで違うことです。緑とか公共スペースとかに関心のあるのは、共同住宅よりも戸建て住宅入居者の方が多いですね。そして、その恩恵も内部スペースの豊かな分譲住宅入居者の方が受けていますね。

司会　共同住宅の人は、いずれそこから脱出する、すなわち今は仮住いだという意識がある。だから、自分の周辺の環境に対しては、関心がうすい。むしろほぼ永住するつもりでいる戸建て住宅居住者の方が環境を守るということに熱心だということは、よく言われるところですが、仲埜さんの話もそういうことに関係するんでしょうね。しかし、いずれにしても、居住階層という概念は今後の千里をみるときの新たな問題提起になると思います。ただその問題をいまここで論議するには、資料が不足していますので、それはまた別の機会に譲って、もう少し公共施設の管理問題について話を進めたいと思います。先ほど千里センターの島田さんのほうから、周辺緑地の管理のことが話されたのですが、それでは今後この緑地は一体どうしたらいいのですかね。

島田　やっぱり地元市のほうで引き取っていただいて、市の方で管理するか、地元の自治会の共同管理にするか、しかないんじゃないかと思いますが…。



仲埜　ぼくらの自然を守るというような運動の中からみれば、いまの幅の狭いベルト状の緑地帯というのは、自然の状態としては非常に中途半端です。緑地帯は結構全体の面積が大きく、千里全体の公園・緑地面積の半分以上占めています。ところがそれが実際どれだけ住民に利用されているかといえば、立入禁止状態になっている所が多いためほとんど利用されていない。しかもあいう二次林は常に手入れが必要です。手入れされず、利用されず、ただニュータウンと旧市内とのベルトの仕切り帯みたいなものになっているのが現状でしょう。ニュータウンの周辺の緑地が削られていることもあって、今後も緑地帯の自然状態を守るのは困難だと思います。その意味で緑地は、もっと中央にまとめて取るということが、本当に緑地を有効に生かす意味でいいんじゃないかと思うんです。

司会　周辺緑地を取ったいきさつなり、都市計画的意味は、スプロールの防止にあるとマスタープランではいっていますけれど、今になって

考えると仲埜さんの話もうなずける気がします。
話がだんだんおもしろくなってきたのですが、時間も迫ってきたのでそろそろまとめの話にしたいと思います。いままでの話の中でもわかりましたように、管理をめぐる問題は立場によって相当考え方が違います。たとえば緑地問題ひとつ取っても、あれは自治体だとか、いやあれは開発者だとか、あるいは住民が管理したほうがいいとか、キャッチボールみたいにあっちへ行ったりこっちへ行ったり、お互いに押し付けあいをしているような状況もあります。緑地以外にも地区センターのオープンスペースの管理をどうするか、公道に接していない歩道橋の管理者は誰にするのか、道路の上に建物があるからこれは公道でないから引き継げないとか、まあいまもって管理をめぐって結論が出ていない施設や空地が相当あります。だからといって、開発者というのは、いつまでも存在する組織ではないので、このままでいくと管理する者のいない宙ぶらりんな空間ができてしまいます。
こういうことを概観してみますと、管理というのはどうも日本の街づくりでは、いままであまり経験したことのない問題ごったようにも思います。公共施設とか公共空間を管理する財政の裏づけのある管理システムみたいなものが確立されていない中で、何とか新住法の建て前だけで強引にやってきた。けれどもやっぱり最後までその問題が残った。こういうことじゃないかという気がします。このことを別な言い方をすれば、将来の管理を考えないで街づくりのマスタープランをつくると大へんなことになるということです。
そこで千里から学ぶことは何か。これからも全国で多くのニュータウン開発が行われると思いますが、それらのためにも、こういうことはぜひ考えておいた方がよいというサゼスチョンがあればお話いただいて座談会の締めくくりにしたいと思います。



北村　私の方でいま一番困っているのは、千里中央なんです。あの駅前広場と道路の取り扱いです。道路法によると、地下の占用はきくんです。しかし道路の上は占用できないことになっているわけです。千里中央では道路の上に、専門店街ができていますので、この部分をどうするのかという問題。もう一つは阪急と大丸の間を結ぶ広場の下に地下商店街がありますが、その上の道路を市道に認定しますと、どちらが占用するのかという問題が生じます。こういうのは、当然予想されたことですので、今後はそういうことも十分考えてプランを立ててほしいと思います。
それからもう一つは、時代の流れによって住民のニーズが変わってくるということですね。そのときのためにもリザーブド用地を必ずとっておくことが大切なことだと思います。



山田　私が感じているのは、まず一つは、これは自分達の街だという意識を育てなければいかんということです。それにはどうするか、むずかしい課題ですが、平城ニュータウンでおもしろいことをやっているので、一つの例として紹介します。これは奈良市長のアイデアらしいんですが、緑道のわきに新しく小学一年生になった地区の子供達の記念植樹をやるんです。そしてそこへ名札をぶらさげたんです。中にはちょっといたずらされて、ときどき折られるんですが(笑い)、それはまた補植してやっているんですが、そういうことをすることによって、だれだれの、何年何月に植えた樹というのがだんだん育っていく。これは公園管理の一つの裏の面で非常に有意義な結果になってあらわれてくると期待しています。
それから二番目は、千里ニュータウンのレジャーセンタービル「セルシー」に広場がありますね。あれは商業広場としてのいろいろの評価があるんですが、私もあれができてからずっと見てまして感じることは、あそこへ青少年音楽隊だとか民間グループとか、いろいろ来て音楽やったり、盆踊りやったり、夜店を開いたりして、けっこうあれで使っているわけですね。ああいう広場での催しはやっぱり一種の住民参加のきっかけですね。ああいう住民参加をもっともっと引き出す計画と運営ができるようなニュータウンにしなければいけないと思います。
三番目は、リザーブド用地の確保です。その他、住んでいる人々へのインフォーメーション、あるいはお互いのインフォーメーションがもっとスムーズにできるようなシステムと施設が必要だと思います。
最後に管理そのものについていうならば、これは果物にできたしみみたいなもので、管理の悪い建物は急激に老朽化していきます。それはまた、中の人間の気持の荒廃につながっていくわけです。そのことは、千里についても同じことだと思います。われわれ住むほうからしますと、何とか国、府、市、住民との間で話し合いの場をつくって、その中で早急に管理体制を確立してほしいものです。それに住民というのは、見てないような顔をして、やっぱり見ているんです。ですからそれをどのようにして外へ引っ張り出してきて、一緒にやってもらうようにもっていくか、その辺が一番大事なことになるような気がします。

仲埜　管理ということは住民の生活環境につながることですから計画、建設のときから考えておくべきです。ところが、千里だけでなく日本のニュータウンは、都市での急増人口をいかに収容するかという建設の技術面だけが先走り、技術屋さんが描いたマスタープランはあっても、街の運営のマスタープランがない。ニュータウンのソフトウエアが遅れていることが問題だと思います。だからどんなに優秀な計画マンがやっても、その計画はその時代の都市計画上での最高レベルであって10年たったらまた違った住民の要望なり行政上での側面が生まれます。予測できない将来のために対応するには、当初から計画の完全性を追わずに、未利用の用地を残しておくことだと思います。
それともう一つ最後に住民として申したいことは、安易に自治会管理ということを考えるのは問題だということです。吹田市域では近隣センターの集会所が地元自治会の管理に移っていますが、これなども、財源難のなかでの自治体の一種の逃げだと思うのです。自治会管理と住民参加とは非常に都合よく混同されているようです。またこういったことが住民負担とか受益者負担に結びつきやすいですから、その辺もよく注意しながら管理をどうするか、住民参加をどうやっていくかを考えるべきだと思います。

司会　どうもいろいろ有意義なお話をありがとうございました。管理問題は本当にむずかしいと思います。しかしながら現実には徐々に意見の一致や解決策をみいだし、それなりに管理システムみたいなものができてきています。そういう成果の面でみても、千里はやはり大きな実験であったとあらためて考えさせられます。
千里の経験は今後やはり大きな成果となってあらわれてくるでしょう。そして私達はこれからも千里に注目してゆきたいと思います。どうも今日は長時間ありがとうございました。

撮影：池田幹男



写真ルポ・その後の千里ニュータウン

●定着する生活









❶千里は若夫婦と子供の街。5月の子供カーニバルでにぎわう千里南公園

❷ベランダには生活の活気があふれだす。外部空間の積極的利用

❸緑も育ち、生活にうるおいが生まれる。

❹正月行事のとんど祭もにぎやかに…

❶❷神谷 昭六
❸山本 近三
❹池田 幹男





❺朝の通勤は２本の鉄道で都心へ
❻運動会はどこでも盛ん
❼朝市―千里の物価は高いと言われた。安いものには人が集まる。
❽うれしい入学式
❾中央地区センターでのサマーカーニバル
❿千里北公園のプール
⓫万博開催時には外人宿舎として国際色にあふれた。





かつての千里は、谷あいにわずかの集落が散在し、四季とりどりの田園生活がひっそりと息づく丘陵地帯であった。そこに建設の轍がしるされてから16年。短い歳月のなかで丘陵は急激な変化をとげた。それは、日本の高度経済成長と都市化を象徴した歴史の巨大な足跡の一つであろうか。



撮影
❺❻❾❿ 神谷昭六
❼ 山本富美男
❽ 和田　勉
⓫ 大宅知治







写真ルポ・その後の千里ニュータウン

●うつり変わるまち



⑫千里ニュータウンの全景



⑬



⑮



⑭



⑯



⑰

⑬北大阪の中心として整備の進む中央地区センター　なかほどの空地には、府立豊中市営の文化センター（公民館＋図書館＋老人センター）が近く完成する。

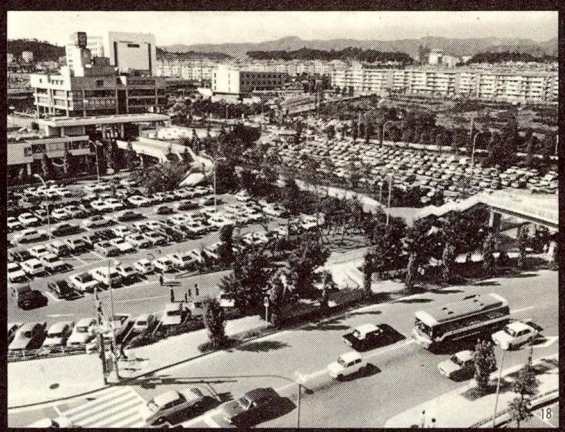
⑭昭和39年に完成した南地区センター
ここも吹田市営の文化センターが近く完成する。
当初の計画になかった救急医療センターの計画が進んでいる。

⑮千里と万博――いまはない北大阪急行万博線（下方）

⑯上新田―道路一本をへだてて連坦しているマンション群。
当初、区画整理の計画もあったが、その後放置されている。

⑰サブセンター用地が、小学校のピーク対策用の仮教室とグランドに転用された。本校に続く高い階段が見える（津雲台小学校）

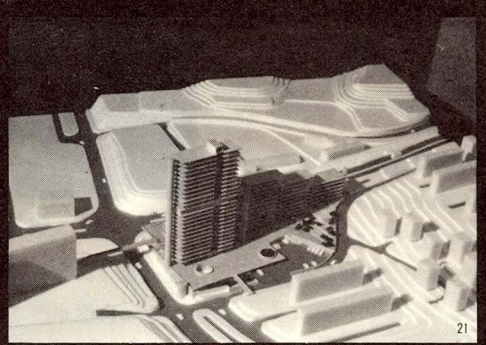
⑱あふれる自動車
恐るべきマイカー時代の到来を予測しえなかった千里では、駐車場対策にはお手あげであった。とれるところにとってはみたものの、まだまだ不足。足らぬ分は立体化での構想なのだが……
⑱山本近三





⑲開発すすむ中央業務地区
不況のあおりで売れ行き不振の業務地区用地も、建設の進展が見えはじめた。最初のマスタープランでは、ここら一帯は住宅用地であったが、昭和42年ごろ計画変更され、副都心構想が盛り込まれることになった。



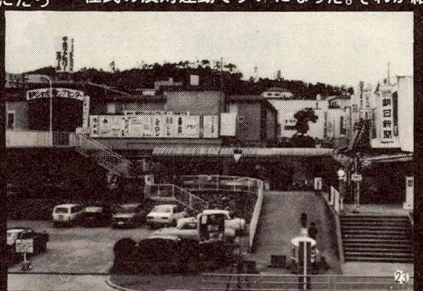




⑳北千里小学校
児童発生のピークに対応できず、全く予定外の用地にたった北千里小学校。校舎とグランドが歩道橋で連絡されている。

㉑現在のグランドに建つ予定だった住宅
住民の反対運動でダメになった。それが結果的に幸いした。

㉒幼低分離の思想のもとに建設された幼低分校　結局、その考えは、実現されぬまま、現在は幼稚園となっている。





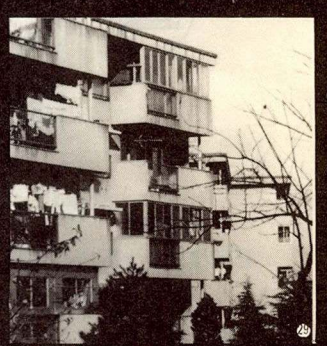


㉓近隣センターの増築は活発におこなわれた。一住区一センター、一業種一店舗など、当初は物価が高く、サービスの悪さで不評であったが、地区センターの整備などに伴い、経営基盤も拡充する中で、店舗の拡張がはじまった。
㉔歩道橋から上部が増築部分（千里西町）
㉕一歩裏へまわれば……







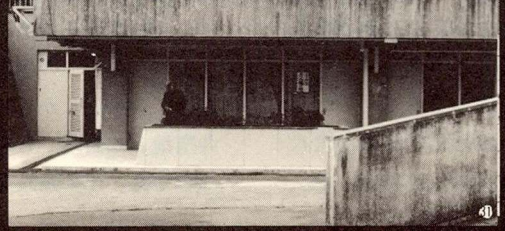


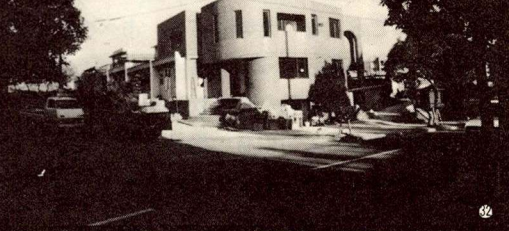
㉖㉗ できた当時話題をまいた社も、増築の影響でスミへ追いやられた。それでも祭日には賑う。

㉘東町の府営住宅
ベランダにほとんど風呂をもうけている。

㉙東町の公社住宅　アルミサッシでベランダを完全にとりこんでいる。







㉚あふれる自転車（南千里の駅）

㉛近隣センターの管理棟は手直しののち、市民ホールとして地元市に引き継がれた。（吹田市のみ）

㉜建てかえ、増築すすむ。（津雲台　診療所にて）

公共施設・公共空間の管理上の諸問題

近野正男 / 阪倉嘉一 / 真銅裕子 / 杉本昇

はじめに

管理問題を通じて、ニュータウン計画の見直しをやろうというのがこの特集号の企画であるが、本稿では、その中で、主として公共施設や公共空間がどのような管理上の問題をかかえているのか、とくに地元市への引き継ぎに際してどんなことが検討され、課題になっているのかについて明らかにしたいと思う。そして、そこから計画と管理の関係や千里ニュータウンのかかえている課題を浮きぼりにし、今後の教訓にしたい。

近隣センター・地区センターの施設とオープンスペース

千里ニュータウンではセンター施設として各住区に近隣センター、数住区ごとに地区センターが設けられた。これらのセンターには商業施設や集会施設、郵便局などの諸施設が集中的に配置されたが、建設後10数年を経て増築や施設の変更等が必要となり、管理上さまざまな問題が出てきている。

まず近隣センターでは、管理棟内の集会施設の地元市への引き継ぎ問題、センター内の通路、駐車場、植樹帯等のオープンスペースの管理および商店の増築などの問題について、その要点をあげてみる。（図1）

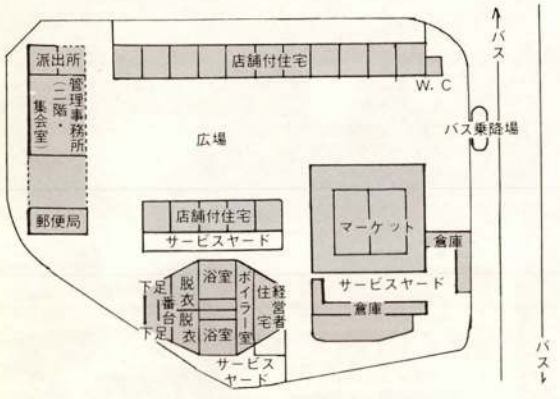


図1　近隣センターの配置図の一例

管理棟は、大阪府の外郭団体である財団法人千里センターが近隣センター内の諸施設を管理していくための事務所を、集会所、郵便局、派出所などとともに設置したものであった。しかし、千里ニュータウンの事業が完成に近づくに従い、住民から公民館的集会施設や老人憩いの家の設置の強い要望が出てきて、地元市（現段階では吹田市のみ）としても集会所等を設けることが必要となり、類似施設の重複を避けるためにも、(財)千里センター管理の集会施設を利用することになったのである。市への移管にあたり、この集会施設を市の公民館とすることも考えられたが、一般に千里ニュータウンの集会所は学習塾や各種教室としての利用がきわめて多く、それらの利用者のための代替の施設もないことから、吹田市では塾なども利用できるように新しく市民ホール条例を制定することになった。



図2　近隣センターのオープンスペース

これに基づいて、千里センター管理の管理棟集会施設は、住民の運営による住区単位の老人憩いの家を持つ公共的集会施設である市民ホールとして市へ移管されたのである。なお、5住区の管理棟内には郵便局、派出所など千里センター管理の施設があるため、市への移管に際しては市と、(財)千里センターが管理棟を区分所有する形をとっている。また管理棟はいずれも10年程度経ており、種々の補修を要し、ほかに「老人憩いの間」のための和室の改装、区分所有に伴う諸設備の系統整理、空調設備の設置、消防法改正による防災設備の設置なども行われた。これらの補修、改装工事等は市が行い、その費用については府が負担した。このように、管理棟は管理主体が変更されたために施設の手直しが必要となったり、郵便局等の施設の所管替えが済んでいないので管理も複雑になったりしたが、ともかく新しい市の公益的施設として移管され、住民がより利用しやすくなったことは評価できる。（図2）

つぎにオープンスペースについては、その維持管理の最終的な主体が明確でないことが問題となっている。当初の計画では(財)千里センターが管理することになっていたが、先に述べた近隣センター管理棟の集会施設が地元市（吹田市域のみ）へ移管されて、千里センターの経営対象がなくなった近隣センターのオープンスペースはもはや、千里センターが維持管理していく意味が失われている。実際、吹田市域南地区の5住区の近隣センターでは、オープンスペースの維持管理は商店会の自主管理に委ねられており、千里センター管理というのは名目的なものとなっている。そこで管理棟の吹田市引き継ぎを機会にオープンスペースの処理方針の変更がなされ「公益的通路」「公共空地」については、将来地元市へ引き継ぐ方針をとり、「駐車場その他」の部分は、商店経営者から増築や倉庫、車庫スペースとしての譲渡の要望も多いので、個別に漸次処分することとしている。しかし、「公益的通路」は市道扱いができないこと、「公共空地」は公園でも道路でもなく、広場の法律的な概念もないことなどから、市の施設とするには新たな法的裏付けを考えねばならな

い。また移管するにしても、維持管理費がかかりすぎるという問題が残る。したがって、これらのスペースを市有にするか商店会などの共有とするか、また維持管理は商店会などが共同でやるかなどが検討されねばならないであろう。



図3

つぎに近隣センターが建築基準法にいう一団地総合設計によって作られていることから出ている問題について考察してみる。

一般に商業施設はその地域の需要の増大や変化に伴い、営業規模の拡大などのための増改築の必要性が出てくるが、近隣センターの商業施設でも10年以上を経過して、店舗の増築や倉庫、駐車スペースなどがとれなくなるかまたは狭すぎるという問題が出てきた。今のところ、千里センター所有のオープンスペースを希望店主に部分的に譲渡することで、スペース不足を補っているが、当初のまとまりのあるデザインが失われてしまっている。（**図3**）

近隣センターの中には丘陵地の傾斜を生かして、建物とペデストリアンデッキを一体的に設置している例があるが、建物と通路の境界が不明確であるなど管理上の問題があり、通路等の地元市譲渡をむずかしくしている。（**図4**）



図4　建物とデッキが一体となっている例

諸施設の総合的計画ということで、近隣センター管理棟内に民間の店舗を設けたところが若干あり、郵便局、派出所、集会所等の施設をそれぞれの所轄へ区分移管する際、建物内の配管系統を整理しなおす必要が出てきている。

ほかに、地下埋管系統がセンター全体で考えられ、設置されているため、店舗等の施設が共同で利用している私設管が個人所有地を通っている箇所やまた逆に個人的な管が公共的スペースを通っている箇所があって、今後の管理、補修等の問題を残している。

法的な規制として、近隣センターは建築基準法第86条の「一団地の総合的設計」の適用を受けており、これを商業施設に適用しているため、集合住宅等に比べ、建設後の規制がむずかしくなっている。すなわち、店舗は時代の移り変わりや商圏の変化の影響を受けて、賃貸でない限り、個々の増改築が進み、建ぺい率、容積率に関しての調整が必要になる。具体的に述べると、近隣センターの地域は都市計画上近隣商業地域となっており、建基法では建ぺい率80%、容積率200%であるが、実際には公的な機関がオープンスペースを管理していくことを前提に、近隣センター用地の処分を65%に抑え、処分地それぞれに対しては建ぺい率100%、容積率200%までは認めながら、全体としての建ぺい率等を越えないように、府企業局が各市と協議の上指導している。しかし、65%という基準が明確にされておらず、今後、オープンスペースを65%以上処分することになって、部分的には増築不可能な人がでてきて不公平が生じるなどの問題が残っている。このような規制を今後どのようにしていくかは、地元市、各近隣センター商店会などの環境保全に対する考え方にかかっており、オープンスペースの取り扱いと合わせて考えるべき問題である。

地区センターは、近隣センターより対象地域を広くしたものであり、施設内容も豊かなものとなっている。地区センターの場合、どの施設も用地処分または千里センターの賃貸ビルであるので、近隣センターのような一団地の総合的設計による増築の規制やオープンスペースの管理の問題は起こらない。しかし、地区センター内のセンタービルで、近隣センターの管理棟と似通った管理上の問題が出てきたところがある。

千里ニュータウン事業の終盤を迎えて、南地区（吹田市）に市民センター、中央地区（豊中市）に文化センター（ともに仮称）が建されることになった。両地区とも、公民館施設、図書館施設、老人集会施設などを一体的に計画したもので、多くの機能を集中した市民センターとなる。このうち、南地区センターのセンタービルで、その3階の一部を市の公民館施設として活用することになって、（財）千里センター管理のビルを市と千里センターとが区分所有し、3階の大ホールと集会室等を市へ移管することになったのである。そのため、管理棟と同様、繁雑な補修、改装の作業が必要となっており、また市の公民館部分と千里センター部分との運営管理をどのように調整していくかも今後の課題として残されている。

以上のように千里ニュータウン事業終了後、近隣センター、地区センター内の公益的施設が移管されることになって、管理上のさまざまな問題が出てきている。一方、泉北ニュータウンでも、ほぼ千里の方式を踏襲してきたが、このような方式では地元市への移管の際、管理面で問題が出てくるため、光明池地区センター、P住区近隣センターなどでは全面的な土地売りの方式が採用されている。しかしこの方式も、管理・引き継ぎ等の問題は少ないとしても、建物の建設は個々に委ねられるため、景観上のまとまりがないとか、利用者の利便や快適さが求められないなどの問題が生じることが予想され、本来的には建設主体と管理主体が異なるところの矛盾が解決されねばならないであろう。

公園・緑地

公園は、施設をつくり植樹して形ができあがっても、それで終わりでなく、そこからが始まりとなる。公園緑地に生命を吹き込み、活力を与え、都市生活の中での潤いの場を日々市民に提供するのは、維持管理面での力によるところが大きい。どこにどれだけどのような公園を建設するかというハードウェアを、それを使いこなし育てあげるという管理のソフトウェアがうまくフォローしていく体制があってはじめて、公園は都市の中に根をおろす。千里ニュータウンでは意欲的な試みのもとに、質量ともに当時の水準を擢んでる公園緑地が建設された。しかし管理面では未だ解決されない問題をかかえ、計画面と管理面での衝突を起こしている。

千里ニュータウンの公園緑地の概要を述べると、その土地利用の中に占める公園緑地部分の面積比率は約18%であり、水路敷、法面等を含めるとその比率は20%を越える。また人口一人当たりの公園緑地面積は13.6m²/人であり、都市公園法施行令の標準6m²/人を大きく上回り、全面積は205.4haである。千里は、近隣住区の考え方をその住宅都市構成の基本にしているが、公園緑地の構成も日常生活における各段階の圏域（近隣グループ→分区→住区→地区→都市）に対応し、それぞれ、プレイロット、児童公園、近隣公園、地区公園、緑地といった、用途や機能の異なるもので系統的に構成されている。千里で特徴的なのは外縁部にとられている緑地であろう。田園都市の面影をわずかに残し、周辺部のスプロールからニュータウンの環境を保護する役割を持つべきものであったが、ニュータウンがもはや特別の街ではあり得ぬ今、とくに管理面からその役割が問われることになった。

ところで、公園緑地は管理がきわめて重要である、というものの、どれだけのコストをかければ十分な管理ができるのか、という点については、必ずしもはっきりしていない。**表1**は、ニュータウンの地元市である吹田・豊中両市、堺市、泉北ニュータウンおよび府営公園の管理コストを比較したものである。公園の配置状態や施設内容、予算項目などが異なるため単純に比較することはできないが、それでも単位面積当たりの管理コストはかなりのバラツキのあることを示している。市では吹田市が最も低く、豊中市がその2倍強、堺市は実にその3倍のコストをかけていることがわかる。また一人当たりの公園面積が広くなるに従い、管理コストが低くなる傾向が見られる。泉北ニュータウンがとくに低いのは、各市と比較して箇所数が少なく、まとまった地域に集中して配置されているために管理が比較的容易であることと、市へ移管するまでの暫定管理ということが前提となっているためと考えられる。

つぎに地元市移管の問題について考えてみる。ニュータウンの公園緑地といえども、最終的には地元市の公園緑地行政の一環として組み込まれなければ、市民の公園としての機能を十分に発揮し得ないのであるが、移管には困難が伴っている。千里の公園緑地の問題点を市の管理側からながめると、

1．公園緑地面積比が旧市街地に較べて圧倒的に高く、行政上のアンバランスを生み、行政需要が強くなる。
2．管理面積が急増する。
3．プレイロット（P·L）、周辺緑地の管理問題
4．公園内の施設、遊具等の計画、設計上の問題

などに整理される。公園緑地行政に対する地元市の積極的な姿勢があったとしても、これらの問題に伴う財政負担に耐えることは容易ではない。たとえば管理面積だけについてみても、かつて豊中市、吹田市はそれぞれ、約30ha、70haの公園を管理しているにすぎなかったが、千里の移管に伴い、それが70ha、140haとそれぞれ一挙に倍増することになった。現在の公園緑地の移管の状況を示すのが**表2**である。都市計画公園については事業終了後2年を経た昭和47年に両市とも移管を完了しているが、P.Lについては、移管を終えた吹田市でさえ、その後3年の歳月を費やし、緑地については、両市とも未だにその目途さえたっていない。

表1　S49年度予算〈ula3号より〉

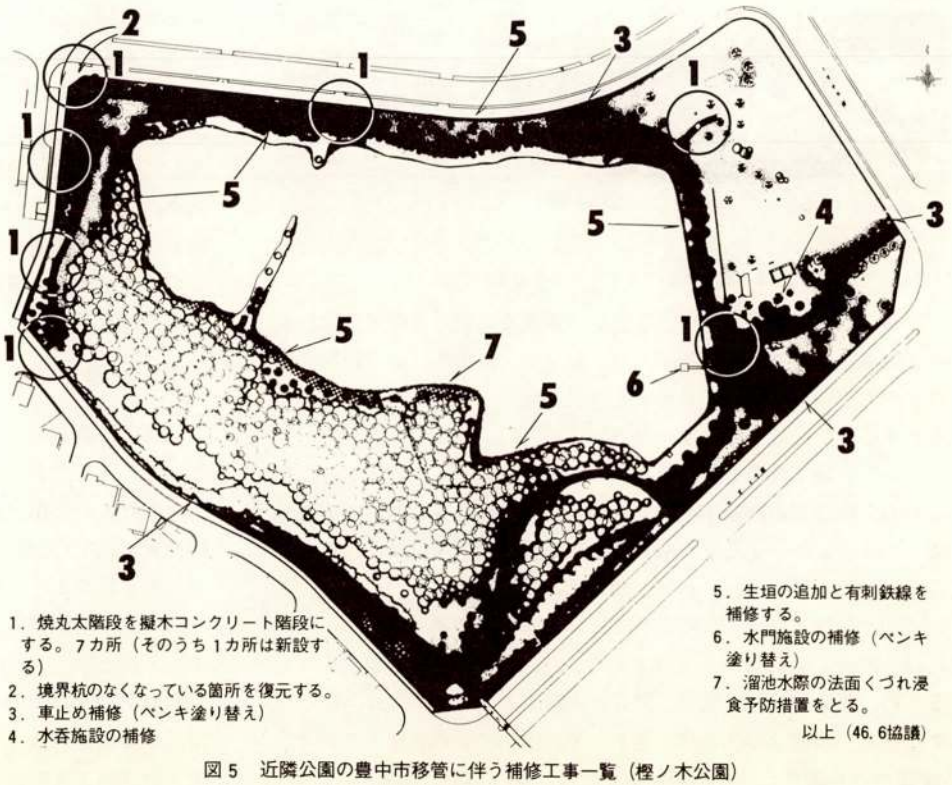
区分／調査項目	堺市	豊中市	吹田市	泉北N・T（開発センター）	府営公園
開設公園面積	73.25ha	71.00	140.28	86.84	505.48
管理経費	515円/m²	377	173	92	181
1人当り公園面積	1.19m²/人	1.87	4.95	9.62	—
管理作業の主なもの	パトロール、清掃、除草、灌水、剪定、薬剤散布	パトロール、清掃、除草、灌水、剪定、薬剤散布、プール運営費含む	パトロール清掃、除草、灌水、グランド運営費含む	パトロール、清掃、除草	清掃、除草、灌水、剪定、薬剤散布、芝刈

表2　千里N・Tにおける公園、緑地、P.Lの移管状況　〈ula号より〉

地方	名称	移管時期	数量
吹田市	公園および公園施設の譲渡	S. 47. 4. 1	27公園　705,062m²
	緑地の譲渡	未定	548,125m²
	プレイロットおよび附属施設の譲渡	S. 49. 11. 1	60カ所　41,477m²
豊中市	公園および公園施設の譲渡	S. 47. 4. 1	11公園　379,636m²
	緑地の譲渡	未定	243,767m²
	プレイロットおよび附属施設の譲渡	未定	21カ所　15,056m²

プレイロットの管理に問題を生じるのは、それが現在のところ都市計画法の適用から除外された任意の施設だという理由による。そのため自治体による取り扱いもまちまちであり、吹田市では「遊園」という名称で建築部都市計画課が所管し、豊中市では「児童遊園」と呼び土木部公園緑地課で所管している。また堺市では「ちびっ子広場」であり、保育部保育施設課が扱っている。土地所有の形態についても、公有地化が進んではいるが、民有地を地主と貸借契約を結んで整備しているところもあり、都市内の恒久的な公園緑地施設の一環としての地位は、ニュータウン内でのようには確立されていない。

現在の管理形態は、移管済みの吹田市では、市と地元自治会とで覚書が交わされ、実際の日常管理は地元自治会が受け持ち、市は一箇所年間約1万円の助成を行っている。一方、財政上の理由から移管拒否にあっている豊中市側では、府企業局と地元自治会との覚書



1．焼丸太階段を擬木コンクリート階段にする。7カ所（そのうち1カ所は新設する）
2．境界杭のなくなっている箇所を復元する。
3．車止め補修（ペンキ塗り替え）
4．水呑施設の補修
5．生垣の追加と有刺鉄線を補修する。
6．水門施設の補修（ペンキ塗り替え）
7．溜池水際の法面くづれ浸食予防措置をとる。

以上（46.6協議）

図5　近隣公園の豊中市移管に伴う補修工事一覧（樫ノ木公園）

により、吹田市側と同様、地元自治会が日常管理をすることになっているが、刈り取った草の処分ひとつにしても“府の管理地”という理由から市では受けつけない、というトラブルもあり、住民にとっては使いにくく、管理もしにくいままに置かれている。

周辺緑地は昭和38年都市計画緑地として定められた。幅30～100mの環状帯をなし、一部平坦地は野球場、テニスコートなどに利用されているが、大部分は山林斜面のまま保存されたもので、その面積は約87.8haである。管理問題としての地元市移管の最大の障害は財政負担問題であるが、この周辺緑地の位置づけにも基本的な食い違いが生じている。府は当初の計画どおり、ニュータウンの環境保持のため自然林として手を加えずに保存しようとする立場であり、一方地元市は、市民の有効な利用や管理のしやすさという面から、公園的なものとして手を加えて整備しようとする立場に立っている。現在の管理は、暫定管理を委託された(財)千里センターで行われているが、昭和50年度の管理コストは、5円/m²であり、放置されているに等しい。昭和49年末の調査によれば、植生の退行が顕著に認められ、鳥相の貧弱化が進んでいることがはっきり表れている。このような状態を脱するには、周辺緑地の位置づけを明確にし、その帰属を定め、十分な管理の手を差し伸べることが必要なのであるが、現在のところ解決の目途さえたっていない。

最後に、管理から設計、計画へどうフィードバックさせたらよいかについて、実例を参考にしながら考察してみる。**図5**は移管の条件として地元市から出されたものの改修工事例である。管理者側の設計面に対する問題意識の一端であろう。“管理面は何とかなる”ということで突き進んだニュータウン建設であったが、近年では管理面での情報が設計、計画の進め方にも強い影響を与えている。泉北のP.Lの建設を例にとれば、千里と異なって、その整備に着手するのは地元自治会の要望に基づき、自治会と府企業局との間で整備内容の協議が成立した場合だけとし、管理協定の条項には将来地元市への移管を想定し、トラブルが起こらぬよう配慮されている。設計、建設、管理を一貫した流れでとらえ、最終的に管理面で発生する問題を未然に防止するシステムの一つであろう。

道路空間の管理

千里ニュータウンの道路は当初つぎのような目的を達成するために計画された。

①発生交通（通勤・通学・各種サービス）動線の円滑な処理

②住区内には交通事故の減少をはかるため通過交通の発生の防止

そのため道路は幹線道路（都市計画道路）、住区幹線道路、住区内幹線道路、細街路（サービス道路）、歩路という段階構成がとられ、細街路がランクを飛び越して幹線道路に直接連結されるようなことのないように配慮されている。また一戸建住宅の街区には通過交通の防止、良好な住環境の維持、丘陵地への地形順応といった点からクルドサック型の道路配置が採られた。また、幹線道路には景観上の配慮から緑地帯を広くとった道路が計画された。以上がニュータウンの道路計画の特徴である。(**図6、図7**)

つぎに当初計画の中で実施にともない変更していったものに一戸建住宅街区のクルドサック型道路がある。このタイプの配置は住民にとっては住宅からスタートし職場・近隣センター・公園といった目的地への往復運動が主たる動線であるため問題ないが、ゴミ収集車・郵便その他住区への各種サービス動線や上水・ガス・電気等の供給施設には問題の多い形状であった。しかも、一戸建住宅街区については心配された通過交通量も少ないことがわかったので漸次サーキュレイション型道路配置に変更されていった。(**図8**)

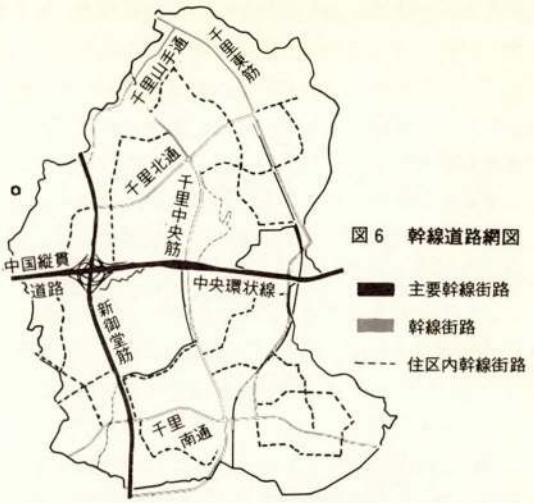


図6　幹線道路網図



図7　クルドサック型道路配置図（津雲台6丁目）


図8　サーキュレイション型道路配置図（千里南町3丁目）

その後、道路を計画・建設した企業局から最終的管理者の地元市に施設を引き継ぐ時点になっていくつかの問題が顕在化してきた。この時点で問題になった事例についてみてみるとすでに計画・建設の時点から問題になったものであるが、一般に道路とは、公物と公物を結び不特定多数が利用でき排他性のないこと、それゆえに公共財産であり、公共で維持管理されることが望ましいということになる。しかしニュータウンの道路では居住者にサービスすることが主目的であり道路の段構成上細街路についてはクルドサック型のほうが計画上は好ましい場合があるわけである。しかし一般の道路の概念でゆくとそれは私道であればよいということになる。また実際、中高層住宅街区の場合、サービス道路は賃貸について公団・公社等の貸主側が所有者として管理を行っており、分譲については居住者の共有地として居住者が共同管理している。しかし一戸建住宅街区ではサービス道路についても公有地であり、実際に居住者で維持管理が困難ということもあり公道（市道）となっている。このように中高層住宅街区のサービス道路が私道で、一戸建住宅街区のサービス道路が公道であるということは維持管理の公平負担の点で問題がある。

つぎにニュータウンでは歩車分離をはかるために積極的に歩行専用の歩路を建設してきたが、道路というものがモータリゼイションの進行にともない自動車の通行可能なものが主な道路であるという情勢の中で歩路というものの位置づけが道路行政の中で低下してしまったと言えるのではないか。

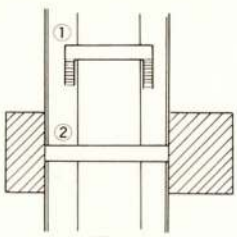


図9

具体的には歩道橋について見ても**図9**の①のように道路の附帯施設と見なせるものは公共管理が行われるが、地区センターなどの建物と建物を直接結ぶ歩道橋のようなものになると居住者に安全・利便という点よりも前述の一般道路の概念と同様、公物と公物を結んでいないということで公共管理とならず、市に引き継ぎができていない。現在は千里センターが管理を行っている。さらに地区センター等では、土地を高度に利用しかつ歩車分離を計るため、建築物の下の地下道、上空に建築物のある道路などができている。これらについても市に引き継ぐことができず、現在千里センターが管理しているが、今後、どのように管理してゆくかが問題であろう。

つぎに道路に関連した施設として駐車場、自転車置場がある。これらは現在、自家用車の普及、自転車の見直しなどの状況の中で需要が増大している。自転車置場については当初計画していなかったが、地区センター内の道路の附帯施設として、企業局で建設し市に移管した。また駐車場についても地区センター内に有料駐車場が開設されているが、千里中央などでは商店会から駐車場増設の要求が出されている状況である。しかし駐車場を平面で新設するためには広大な敷地を必要とし、駐車ビルにすると莫大な建設費がかかる。しかもニュータウンのショッピング街の場合には休日と平日の利用率に差がありすぎることなどから駐車ビルは採算にのりにくいという問題がある。そのため採算性をある程度、度外視して公的に整備するべきなのか、あるいはモータリゼイションを誘発するような対策はとるべきではないなどの議論があるが結論はでていない。

以上いくつかの問題点を列挙してみたが、全体として言えることは、他の公共空間に比較して、既成の管理体制が確立していたため企業局より府・市の道路管理者への引き継ぎはスムーズに行われたと言えよう。

道路空間の管理の今後の課題としては、一般市街地の場合にも、一般道路だけでなく道路位置指定の制度などでクルドサックの細街路などについての種々の技術基準などが作られているが、細街路（サービス道路）レベルの維持管理等について公私の区分をどのようにしてゆくかという点、また地区センターなどにみられるように都市を地区レベルで立体化した場合に生じる種々の道路空間・道路的空間をだれがどのようなシステムで維持管理してゆくかといった点であろう。さらに広大な緑地帯をもった道路などの快適で安全なニュータウンの道路は、一般市街地道路と異なり空間的にも広大な面積を必要とするが、これらは建設時には土地の売却価格のなかで吸収されてきたが、今後、半永久的に続く維持管理については、既成市街地との格差も含めて、その費用をどのように負担してゆくかなどの点が都市経営の問題としての課題であろう。

上・下水道敷設

千里ニュータウンの公共施設のなかでは、上・下水道施設は比較的スムーズに開発者から地元市に管理権の引き継ぎが行われた。もちろん、問題がなかったわけではないが、地元市としても早期に引き継がざるを得ない理由があったからである。それは、ニュータウンと旧市域との間に料金格差があったからである。というのは、ニュータウンは、府営水道から直接供給を受け、独自に算出された料金体系のため、旧市域より5割も割高になっており、豊中市を例にとると、**表3**のようになっていた。

表3　上・下水道料金格差（豊中市域）

		基本料金	超過料金
上水道	ニュータウン	10m³まで 360円	超過1m³当たり38円
	旧市域	〃 215円	〃 30円
下水道	ニュータウン	1m³当たり18円	
	旧市域	〃 10円	

この料金格差は当然住民の方から不満が出され、吹田・豊中両市とも早期に引き継ぎを受け、料金体系を一本化する必要に迫られた。このようにして、吹田市は昭和46年4月に上水道、48年3月に下水道施設を、豊中市は47年4月に上・下水道施設を正式に引き継いだ。

引き継ぎに際して問題になったのは、その施設の譲渡価格をどうするかということであった。地元市の財政を圧迫しないようにということで、宅地整備費に含められる施設については、開発者負担にするということになり、上水道については、配水管と量水器は全額開発者負担、下水道については、雨水管渠は$\frac{1}{2}$を開発者負担にし、有償譲渡する分も、支払条件を大幅に緩和した。結果的にみれば、上・下水道の建設費の過半は開発者（すなわち住民）が負担したわけである。こうして、難航していた公共施設の引き継ぎ問題も、上・下水道の引き継ぎが引金の役目をはたし、道路・公園の引き継ぎもこの時期に大きく前進することになったのである。

おわりに

以上、不十分ではあるが、主な公共施設と公共空間について検討してきた。結論として言えることは、ニュータウン開発による街づくりが成功するか否かは、最終的に、この管理問題にかかっているということである。

良い管理なくして、良い街はあり得ない——この当然のことがともすれば見失われがちであったところに問題があったのである。しかし、千里ニュータウンの管理も多くの人々の努力で徐々に進展していることも事実で、これからも幾多の変遷を重ねながら、千里は生き続けることになるであろう。その成長をわれわれもじっくりと見守っていきたいと思う。

（こんの まさお　大阪府企業局　しんどう ひろこ　大阪府企業局
さかくら よしかず　〃　すぎもと のぼる　大阪府建築部）

ニュータウン管理・団地管理—住みよさを求めて—

川島　繁三
五島　信明

千里ニュータウンも、おおよその形がついてからすでに約10年になる。しかし物理的なまちの形態は整ったとしても、人々が住むふるさとのまちとして定着していくためには、さらに何年かの歳月を要することであろう。

本稿では住宅管理あるいは団地管理という面から、「まちの使い方」の問題を述べるのであるが、これは何も千里ニュータウンのように計画的に開発されたまちに限られたことではなく、普通の自然発生的なまちについても共通のことなのである。ただ計画的に開発されたまちでは、人々の住みついた歴史も浅く、地縁的な結合などなくて、ニュータウン開発者あるいは計画者対居住者という関係で、より問題が顕在化しているということができる。

物理的な管理

千里ニュータウンの管理主体をわけてみると、まず各住宅の供給別に、公営・公社・公団・企業の社宅・民営マンション等々、賃貸と分譲、さらに戸建の建売、分譲宅地となっていて、一住区の中でこれらを適当に組み合わせた構成をとっている。

管理主体別表

管理主体	戸数
公営住宅　賃貸	10,332
公社住宅　賃貸、分譲	4,767
公団住宅　賃貸、分譲	9,636
給与住宅	6,366
個人住宅	6,922

ここで言う管理の目ざしているものは、まず建物および屋外等の共用部分の現有機能を維持していくための物理的な管理である。

たとえば公団賃貸住宅の計画修繕周期をみると、

- 3年目……建物外回り鉄部塗装、金網柵・遊戯施設等工作部鉄部塗装、高置水槽鉄部塗装、団地内舗装道路修繕、給・排水ポンプ修繕
- 6年目……建物外回り建具その他塗装、住宅・浴室・便所回り木鉄部塗装、高置水槽内部塗装
- 7年目……床モルタル補修
- 10年目……外壁吹付けその他改修、屋根・浴室等防水補修

ということになっている。

あと定常的に植栽・芝生の手入れ、清掃、排水管の清掃、受水槽等ポンプ操作、外灯・階段灯などの管理、それから入居退居時に要する事務手続に関すること、もちろん突発的な事故に対する処理なども含まれる。まず、現在のところここまでが団地管理者の仕事の範囲とされている。これに対して、与えられた物をうまく使っていく立場の居住者としては、より良い住みやすさを求め、少なくとも住みやすさの障害となるものを排除する方向に要求が出されるのは当然である。

「住みごこちのよさ」を求めて

さて、ここで「住みごこちのよさ」ということについて少々考えてみよう。これは種々の要因がからまり合って各個人の中で一つの概念ができているものである。たとえば自分の住んでいる住宅自体の間取りや家具の問題から、周辺の都市施設の利用の便とか、学校の程度、近くの商店の品質や物価のこと、また近隣住人の質、あるいは所属する地方公共団体の財政能力から住宅地としての知名度ランクづけまで含まれている。また当人の満足の度合によって住みごこちに対する評価が異なってくる。たとえば、以前の住まいに比べて家賃が割安になったとか、公害の中からやっと逃れられたとかいう意識があるときには満足の度合は高くなろう。千里ニュータウンでの住宅選択要因について調査したものがあるが、それによると、つぎの6つの要因が上位を占めている。1）自然条件（日光・空気・緑）に恵まれていること、2）分譲価格（家賃）が手頃であること、3）職場に近く通勤に便利なこと、4）信頼できる供給主体であること、5）将来、住宅地として発展するところ、6）道路・下水・公園などの施設が整っていること。

このような条件で、まず住まいをきめ、住みついてから今度は生活環境を維持していくための管理の問題へと移行していく。初めは住まいのための重要な要因であったことも、あとで事情が変わってきたり、住んでみてはじめて事情がわかってくることなどがある。生活環境を良くしていくためには、一つは「住めば都」というように、今ある環境に慣れ親しむことと、一方ではたえず居住者自身が環境向上へ気をつかい努力する必要がある。とくに高密共同住居型式では、その住まい方にあったルールとマナーが守られないと、近隣がお互いに気まずい思いの生活になってしまうことが多い。トラブルの原因としての実例は、1）騒音（上階の足音・衝撃音、ピアノ、給・排水管、トイレの水音）、2）水もれ（洗たく機からあふれて下の階へ）、3）ベランダ公害（ふとんたたき、ホコリと騒音）、4）不法駐車（駐車場不足——路上駐車、通行阻害、芝生駐車）、5）その他（子供の遊び場、プライバシー、犬・猫・小鳥などのペット、個人の花壇、清掃、ゴミ焼却、近隣のつきあい人間関係……等々……）。

これらは近隣関係の問題、すなわち居住者自らの自覚にまかせられた部分であり、管理主体あるいは役所や自治会が中に入っても、それ自体解決のつく話ではない。

しかし住宅管理者としても、入居のときに「住まいのしおり」をお渡ししてあります、という通り一遍の対応の仕方では困る。たえずいろいろな方面から使い方に慣れてもらい、また居住者からの意見も皆に伝えられるコミュニケイションあるいはP.Rの方策がほしいものである。

このように、団地管理においては、まず共同住宅生活における個人のルールとマナーを確立していくことと、管理主体の通り一遍、一律の管理体勢に、居住者の意見・要望を加えていく必要がある。とくに賃貸住宅では、いくらかの共益費を支払うことによって、まあ現状維持程度の管理はしてくれる。……結果としては、まかせっきり、われ関せず、あるいは苦情ばかり言う居住者も多くなっている。一方では、やはり団地という共同生活の場での必要性から、自治会、文化的なサークル、種々の生活要求をうちだすプレッシャーグループ、あるいは消費生活協同組合、などの活動が活発におこなわれているところでもある。こんなところからも、賃貸住宅はたとえ「仮の住まい」という気で住んでいるにしても、他人まかせでは細かい所まで気のつく管理は望めない、自分達の生活環境は結局自分達で守らなければならない、という意識は高まりつつある。

管理組合にみる自主管理への途

分譲住宅では居住者自身の管理組合で運営され、自分達のものを守っていくという一応の体勢がとられている。しかしつぎのような多くの問題をかかえ、未だに暗中模索の状態でもある。1）組合役員の問題（・ほとんどの人が役員にはなりたがらない、・役員の独断先行、・一年任期の役員では長期の管理計画がたてられない、・素人ばかりの管理ではうまくゆかない、・わからないまま業者にまかせきりが多い）、2）組合規約などの問題（・組合規約の中でも議決権の問題で、全員の同意を得られることはまず無理である、・住みかえによって住宅の所有者でない賃借の居住者（組合での議決権のない居住者）が増加してくる傾向にある、・組合の役員会で何かきめても実行できないことが多くなる）、3）共同施設などの問題（・植栽・芝生の管理、・駐車場不足、・修繕費積立金、・自転車置場、子供の遊び場不足、・集会所、ゴミ収集、共用水栓……等々）
分譲住宅団地の管理体勢の中で、自分達でできることは自分たちでやってゆこうという方向は進みつつある。これは管理経費節減ということだけではなく、居住者自らが管理に参加することによって、自分の団地に愛着を抱くことになり、種々の問題の所在を認識できるからである。なり手の少ない役員についても、廻り持ちにして皆一度は経験してもらうことにより自分達のものとしての意識が高まり、さらに少しでも住み良くするために居住者自身が考え、意見をのべる機会もできるというものである。しかしズブの素人ばかりが管理にあたっても、どうにもならない問題も多い。一般に植栽関係の手入れがいかに行き届いているかによって、その団地の管理状態が評価されるといわれ、また各団地の管理組合とも管理経費中最大のウエイトを占める予算をとって園芸関係に力を入れている。しかしやたらにものを植えてもだめであって、緑を増やすためには土壌に適した樹木をこまめに維持管理することが大切である。このためにも業者まかせにせず、専門家、コンサルタントに相談するとか、毎年交替する役員とは別に、専門の委員会とか同好会を設けて実情にあった長期計画をたて、実行していく必要がある。清掃、草とり、芝刈、施肥など自分達でできることは分担してやるとともに、時には子供達にも手つだわせることは、共同所有のものを大切にする点で「芝生立入禁止」の標識を立てるよりも効果は大きい。一方、排水管の清掃、樹木剪定、薬剤散布、受水槽・高置水槽の管理、あるいは塗装工事など自分達のできないことは、長期計画の下で組合のコントロールにより専門業者に委託しなければならない。

将来のスラム化防止策として、主に建物外壁の塗り替え、排水管のとりかえなど大修繕のための費用を積み立てているのであるが、近年のインフレによる積立金の価値の下落など不安な要素を含んでいる。さらに駐車場の問題は一番深刻な対立のもととなっている。車か緑か、環境保全か便利さかというところであるが、限りある敷地の中では事実上増設は無理であり、ある程度収容できるなら、あとは安全のため路上駐車は禁止し、取り締まりを強化していく方向にある。管理組合としては、「車庫は車を持つ人が自分で処理するのが原則である。」「団地内駐車場の目的は車所有者の救済ではなく、交通禍、公害防止、――生活環境を破壊しないための処置」という考えが大勢である。階段下は自転車があふれ、早期に自転車置場の設置が必要であり、子供の遊び場は安全であるか、集会所がほしい、あるいは使い方に不満があるとか、さらに建物自体大修繕までいかなくとも、壁の剝離とかひびわれも進んでくるなど、年を経るほどにやらなければならないことは増えてくるものである。これらのことをみてくると、同潤会アパートの現況を見るまでもなく、現在の生活環境を維持していけるか、さらに今でも狭い住宅が、今後の生活様式にうまく対応していけるか、今後起こってくる増築、改築、用途転換、設備改修など、前途多難な問題が待ち受けている。

計画・設計上の配慮

ニュータウンはまず計画者によって全体構成が組み立てられ、それに従ってそれぞれの土地利用用途別に各企業体による住宅街区が建設され、あるいは公園・センター地区など必要なものが組み込まれていく。計画者は人々の多様な生活を、ある想定の下に定量化し、計画の中に実体のものとした。すなわちニュータウン建設はとりあえず人々の「生活の容器」を形造るところから始まったのである。ここで千里ニュータウン以下、今まで造られてきたニュータウンの計画・設計上の反省、あるいは留意すべき点をあげてみよう。

1）まちの中身……居住者自身でできること

言うまでもなくまちは「生活の容器」だけではなく、その中身で

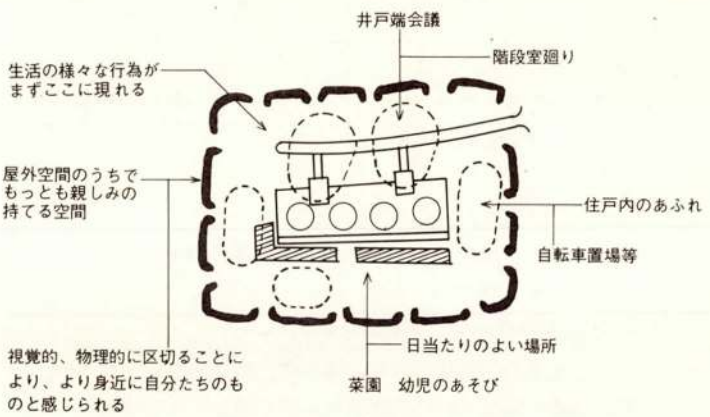


図1　住棟廻りの生活空間
――住棟廻りの環境等の維持管理は住民も参加する。



図2　私的公共空間と公共空間



私的公共空間相互の接点はもっと豊かにし、植栽でもしたい。あまり目立つ所で私的耕作などが始まると、全体の景観が乱れ雑然としてくる。



団地の生活に慣れるにしたがって、住棟廻りに花畑、菜園などが作られ、住民のコミュニケーションが生まれる。全体を乱さない範囲で居住者自身が自由にできるスペースがほしい。



日当たりがよく静かな空間は、母親の目が届く幼児の遊び場となる。



後で増設された自転車置場は住戸からの生活の〝あふれ〟だけれど、自転車は、生活必需品となっている。



まちの景観は、公共のものであるが、各々の住宅地は、公共空間をもっと演出するよう心がけなければいけないのだが……



生活様式の変化に伴い、車の保有台数は、年々増える傾向にある。



緑地か駐車場か、どちらも生活には重要な意味をもっているのだが……



ニュータウン地区と地区外との接点。道路をへだてて、異質の雰囲気である。



幹線道路沿いの景観は、公共空間としてもっと豊かなものにしたい。

ある居住者によってつくられていく。分譲住宅にかぎらず賃貸住宅においても、先に述べたように、ある部分においては居住者自身で管理できる部分を用意しておく必要がある。そのためには当初から階段室単位、棟単位で、その責任範囲がはっきりわかるような設計が望まれる。たとえば屋外清掃、植栽管理、あるいは貸花壇について、石積、擁壁、生垣などで仕切って各居住者の勢力範囲を物理的に明示し、プライバシー保護をはかるとともに、各勢力圏の中で、ある程度の自由性をもたせて責任をはたすことを習慣づける。これは居住者自身の創意工夫と協力によって生活環境の向上に努力できる部分であり、また責任範囲内の居住者間での話し合いの場となり、さらには、子供のこと、家計のこと、交通のこと、いわゆる「井戸端会議」的話題から始まって、やがては「わがまち意識」の芽ばえとなり、住民組織、自治会活動の根としての働きをする。

2）街区の接合部分の処理

各事業主体の異なる住宅街区相互間、あるいは公園・緑地・道路・センター地区等、府や市が公共施設として管理するものとの接合部については、設計上とくに気をつかった処理が要求される。公営・公社・公団など各事業主体それぞれに建設方針のちがい、建設時期のずれ、外的要因の変化等によって設計条件は異なるのであるが、お互いの敷地内だけのプランニングをまとめたのではニュータウン全体としては使いにくいものにしかならない。通勤・通学・買物・子供の遊びまわりなどの動線のつながり、まちの景観上の要請、わかりやすい街区構成等々について、全体から細部にわたって協議しながら設計をすすめる必要がある。まちの連続性については、住区単位の考え方——幹線道路などで囲まれた中で、学校・公園・センターなど都市施設を適当に配置し、それらを歩行者道で結ぶパターン——によって設定されてはいるが、住民の意識の中では、むしろ鉄道駅からのバスルート、運行頻度などの利便性、センターの内容・質、公園・緑地などよく管理され安全で快適であるか、あるいは車であれば混雑しないルート、



図3　街区のつながり（竹見台のスケッチ）
街区の計画が、個別の建設主体であるため各々住棟群が閉鎖的になって住棟群相互の関連が、明確でない。また各々のオープンスペースを住棟群に内蔵しているため歩行者路、公園等に広がりとにぎわいのとぼしいものとなっている。

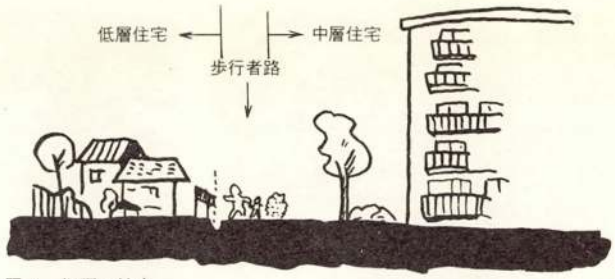


図4　街区の接点
お互いに自分の敷地をガードしあって、味気のない空間しか残らない。



図5　街区の接点
歩行路と住棟へのアクセスとがかさなっていないため、歩行者路側にどうしても、環境を損うものが配置され、豊かであるべき歩行者路が、味気のないものとなっている。





たのしみながら歩ける起伏があり、見通しのよい歩行者空間



駐車場と住棟が近接していて、ひろがりを失った歩行者空間



歩行者動線とうまくつながらないため、にぎわいのない歩行者路となっている。



低層住宅地と中層住宅地の谷間をゆく歩行者路。お互いに自分の敷地をあまりガードしすぎると、味気ない空間しか残らない。



快適な安心して歩ける歩行者空間を……

歩行であればあまり高低差がなくてしかもまわり道にならないルートを選ぶなど、計画者が図上で想定したものとだいぶちがった結果になっている場合が多い。さらに、計画された後には当然情勢の変化があるものである。まわりが新しく開発されたとか商店ができたり道路が開通したり、あるいはバスルートが変更されるとか、その変化によっては街区の入口が今までと逆になってしまうこともある。

3）時の流れに対応できる柔軟性

上に述べたように、計画的に当初から見込めなかった条件にも対応していけることが生きたまちの条件である。このためには、やはり長い時間をかけたまち造り——人々が住みついてからも不都合なところは修正していく、リザーブ用地の確保、機能の追加・変更、住民参加の管理体勢——などの考え方が重要である。しかし、部分の修正は全体計画の主旨を生かした形で行われなければならない。そのためには常にニュータウンの建設計画方針の骨子が皆に熟知され、時には、部分のエゴは排除されるようなコントロール機能を必要とする。さらに個人的な居住空間において、とくに時代の流れに応じた設備の付加、あるいは「もう一部屋よこせ」の住民運動などにみられるように、現在の中高層住宅型式における住居のフレキシビリティについては問題が多い。同じニュータウン内での「住みかえ」を円滑にすすめられるシステムを確立するとともに、増築できるところはそれをすすめ、さらに共同施設の建設とその利用システムを改善することにより、個人の住空間の狭さを補っていく工夫がなされなければならない。



建物には出入口があって、このルートは、当然必要なものなのに…



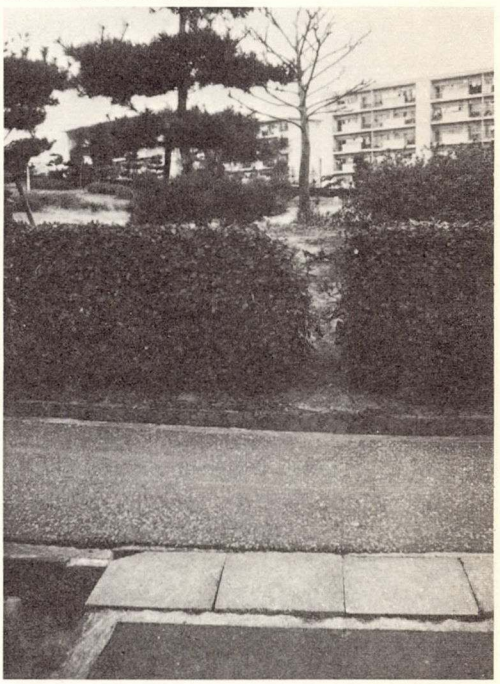
行先の目的物は、目の前に見えても通路がない…



◀わずかな遠廻りも不便なものだ。やがて芝生の中に踏み分け路ができる。

▼生垣の向こうに快適な歩行者路があるのに……いつのまにか、だれとはなしに狭いすき間をすり抜けて……これが重要な歩行者動線になっている。





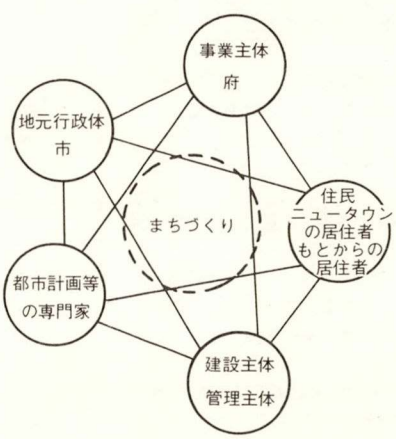


図6　まちづくりのパターン

おわりに

ニュータウンまたは団地での「住みごこちのよさ」を求めて、1）居住者自身の共同住宅型式の住まいにおけるルールとマナーの確立、2）細かいところまでゆき届いた居住者自身の参加できる余地をもつ団地管理体勢……自主管理への途、3）まちのそれぞれの特性とその連続性を配慮した計画と管理、ということについて述べてきた。「まちは人々が住みついてから造られていくものである。」といわれるように、この意味では千里ニュータウンもやっとまち造りの緒についたところといえよう。自治会、各種文化サークル、あるいは要求・反対など目的達成のための組織等々、まちを使う側の意見は問題の所在を明らかにし、集約化されつつある。現状では少しの修正についても、住民運動など相当大きなエネルギーが集中されないと改善されないし、また計画主旨を理解しない要求とか圧力は全体の整合性の中でますます混乱を深めるものである。計画・管理の側としては、まず、どう考えて計画をすすめてきたか、あるいはどういう使い方をしてほしいのかということを住民に知ってもらうP.Rをたえずすすめ、一方では居住者の立場でものを考えられる管理者がいるか、全体的な関連の中で細かいところまで気のつく意見がとり入れられ生かされているか、当初から計画的に見込めなかったこと、あるいは後の情勢の変化に柔軟に対応して不備を補い改良していける管理システムが望まれる。

（かわしま　しげぞう　日本住宅公団関西支社　計画部　住宅企画課
ごしま　のぶあき　〃　建築部　設計課）

千里ニュータウン開発事業と住民運動の変遷

石東直子
船本順一

千里ニュータウンでの住民運動を、その活動の内容について大別すると、つぎのように分けることができる。

(1) 環境保全、環境清掃のための運動
(2) 施設要求、制度要求のための運動
(3) 生活防衛のための運動
(4) 共同生活育成のための運動
(5) 特定集団による共同利益を守るための運動
(6) 社会奉仕活動など

(1)の「環境保全」については、住環境上阻害要因となる施設の建設に反対する運動に代表されるが、NT開発事業の経過とともにその活動内容（活動対象物）も変遷している。また、これはNT内居住者によるものとNT開発区域および周辺の旧来の居住者によるものとがある。とくに後者については、NT開発事業の初期の段階で現れたNT開発区域内地主の用地買収反対運動やNT周辺住民の正雀処理場反対運動に代表される。さらには、まとまって運動として現れるものは少ないが、NT居住人口が増えるに従って公共公益施設の利用に際してのサービス低下が起こり、それについての改善要求がある。これらはいずれもNT開発事業が波及した問題であり、いわゆるNT建設公害とも呼ばれるものであり、一般にNT内居住者のみの運動に目を向けられがちであるが、地域の中でNT建設をとらえていく上で注目すべきものである。

他方「環境清掃」については、子供会や自治会などが自発的に行っている自住区内の清掃や植樹、駐車マナーについての自主規制などがあり、良好な住環境を維持するために必要な活動である。

環境保全・清掃のための運動	年次	NT開発事業（●は主として住区施設）	施設・制度要求のための運動
	1957 (昭32)	⑤住宅政策の一環として千里NT開発計画の検討	
	1958 (昭33)	⑤千里NT開発の決定 ⑨下新田、佐井寺地区の用地買収交渉開始	
	1959 (昭34)	④千里NT開発計画案の公表 ⑧マスタープランの検討	
⑫上新田、下新田、佐井寺地区地主が計画区域除外請願	1960 (昭35)	③マスタープランの公表 ⑦企業局発足 ⑩マスタープラン正式決定。A.B.C.D.E住区都計(一団地の住宅経営)決定。同事業決定 ⑪未買収地の土地収用法による買収決定	
①用地買収反対同盟が知事に陳情 ②下新田地区地主が計画区域除外請願を府議会に提出 ③～⑤用買反対同盟は、現地で測量阻止大会、測量実力阻止を行う。	1961 (昭36)	①南地区公園造成着工 ③千里1号線街路築造着工 ●6佐竹台（C住区）宅造着工、●11第1期住宅建設着工 ⑦千里NT起工式 ●12高野台（B住区）宅造着工	
③正雀処理場地元民の設置反対陳情 ④～⑩正雀処理場設置反対同盟府に抗議文提出。三島町議会に押しかける。「設置場所変更請願」を府議会に提出、府庁にすわりこむ。	1962 (昭37) 居住人口 2,500人 3,300人	②山田受水場建設着工 ③正雀処理場都計決定。同事業決定 ●6津雲台（A住区）宅造着工 ⑧阪急電鉄千里線(千里山～南千里)延着工事起工 ⑨千里開発センター（任意団体）発足 ⑪財団法人として発足 ●9佐竹台―近隣センター、小学校開設、入居開始（千里NTの第1期入居)、阪急バス運転開始 ●11診療所開設 ⑪千里NT町びらき式 ⑩ゴミ焼却場用地(箕面粟生)買収交渉開始 ⑫正雀処理場建設着工 ●12古江台（H住区）宅造着工	⑪かねてから老朽校舎の補修を請願していた吹田第1中がPTA総会で移転決議（NT建設で校庭も荒廃し、運動会も中止されている）
⑤～⑥各自治会単位で自発的に建物内外の環境整備（佐竹台）	1963 (昭38)	①津雲台配水池完成 ●2佐竹台郵便局開設 ●4高野台―小・中学校開校、入居開始 ●6近隣センター開設 ●9診療所開設	②佐竹台小で給食開始（かねてより父兄が強く要請） ④NT内に善隣コミュニテイセンターを建設するための委員会が千里山生協内にで

(2)の「施設要求、制度要求」については、(1)と同様、ＮＴ開発事業の経過とともに要求対象が変化していくものであり、だんだん要求内容が高度化していく傾向にあるが、ＮＴ開発事業初期の段階では、とくに、教育・保育施設の充実を要求する運動が強い。これは、ＮＴという特殊な人口構成によるところが大きく、今後、ＮＴの人口構成の成長にともなって、壮老年齢層を対象とした施設が要求されるであろう。しかし、旧市街地との施設水準差や施設の種類の片寄りの問題などが指摘されている。

(3)の「生活防衛」については、消費生活面での物価高に対応した活動が主流となっており、〝ニュータウン物価〟といわれる一業種一店舗の施設計画からくる高物価が指摘されている。この防衛策として、生活協同組合の設立や自治会などによる共同購入、青空市の開催などがあり、これに目をつけた露店業者の進出も多く、中には、産地から直接、大々的に青果物を運び込み、千里ＮＴ全域を対象にＮＴ内数カ所で露店を出している業者もあり、住民の利用も多い。

(4)の「共同生活育成」については、自治会や自治体後援組織主催の盆踊りや運動会などの季節ごとの定例活動以外に、ＮＴ居住歴を重ねるに従って、各種の同好会が育ってきており、生活を楽しむための活動が行われており、とくに老人クラブの活動が目だっている。

(5)の「特定集団によるもの」については、商店会や医師会、カークラブなどの特定の集団が共同の利益利便を守もるための活動であり、先の「生活防衛」の居住者側の活動と対立するものもある。とくに、商店会の顧客確保のための活動は、居住者がむしろ歓迎している露店を閉め出すなど居住者の利便と相反するものがある。

(6)は、社会奉仕活動が主流であり、これは、居住者の自主的な活動以外に、商店会などが収益の一部を地元に還元するもの、自治会や自治体後援組織が主催して、地域の福祉、交通、青少年問題などに対策を講じるための活動があり、(3)、(4)の活動と区分しがたいものもある。

◇

次表は、上述のような分類に従って、千里ＮＴでの住民運動の経過をまとめたものであり、この表を作成するにあたっては、主として、開発事業については、「千里ニュータウンの建設、大阪府」、住民運動については、「千里タイムス、1962年創刊号から1976年９月末まで」を参考とした。

○内数字は月名を示し、開発事業の欄では、住区は異なるが同種の工程については、最初に着工された住区のみを記した。

(いしとう　なおこ　市浦都市開発建築コンサルタンツ)
(ふなもと　じゅんいち　大阪大学大学院生)

生活防衛のための運動	共同生活育成のための運動	特定集団のための運動	社会奉仕活動など
⑫千里タイムズの主催で入居者と語る会。電話・水道料金の高さ、バスの不便さ、速達小荷物の配達区域外であることなどに話題集中	⑪参集第１回入居者の集い(佐竹台・会議員主催) ⑫千里Ｎ．Ｔで自治会結成	⑪佐竹台ショップセンターが棟ごとに代表者を選んでもらい懇談会を準備。行商人が相当入りこんでいるため、居住者と結束が必要という理由	⑪千里丘陵小の児童が山田弘済院小にノート類寄贈
④佐竹台分譲自治会が佐竹ショップセンターと話し合い(割高、品種、サービス、牛乳業者の販売区域協定について抗議)	①佐竹台分譲で自治会結成　③千二小の児童・ＰＴＡ等を会員に千二岳士会発足 ⑤市教委の呼びかけで佐竹台自治会に婦人学級発足(自主性と補助金で批判)	①千里丘陵牛乳業者の集い伍陵会結成―第２次入居に備えて販売店舗の確保・他の業者の進出に防衛等が目的	⑦ニュータウン地区新生活婦人の会発足(270名)―千里山生協長が発起

環境保全・清掃のための運動	年次	NT開発事業（◉は主として住区施設）	施設・制度要求のための運動
⑤～⑥各自治会単位で自発的に建物内外の環境整備（佐竹台）	1963（昭38）	④藤白台（G住区）宅造着工 ⑤南地区センタービル建設着工 ⑥青山台（F住区）宅造着工 ⑧阪急南千里駅まで開通 ⑫ゴミ焼却場用地買収不調に終わる。	きる。 ⑦～⑧千里山自治会がNT建設による交通量増大に伴う施設改善の署名集め、阪急に陳情（臨時改札口存続・踏切拡張・遮断器設置など要望） ⑨公立幼稚園設立運動始まる。 9月の母親大会で4月開設を市に要請 10月に設立推進委発足、署名開始 12月に設立推進委と市長が懇談（佐竹台に設置を約束、保育所併設は無理と回答）
⑦～⑧古江台小の6年が自発的に街の清掃（一部の児童会は9月にも） ⑧津雲台小の教職員が夏休み返上し中庭整備 ⑧高野小児童会が各バス停にゴミ箱設置 ⑨吹田市焼却場建設に地元川面町四町会が猛烈に反対（反対の請願を市議会に提出、9月末には傍聴デモ） ⑩センター中央に車が出入りしないように、津雲台商店会が自力で店舗裏を舗装し、駐車場として利用	1964（昭39） 20,000人	③正雀処理場運転開始 ④津雲台――小学校開校 ⑧近隣センター開設。入居開始 ④古江台――小学校開校 ⑤近隣センター開設。入居開始 ④青山台――中学校開校 ⑤入居開始 ④高野台――私立幼稚園開園 ⑦診療所開設 ④D.E.I.J.K.L住区都計（新住）決定、同事業決定（D.E住区既都計決定廃止） ④南地区センタービル完成。同ビルに吹田市出張所開設 ⑤電電サービスステイション開設 ⑤吹田市立佐竹台幼稚園開園・阪急バス（藤白台、古江台）に乗り入れ藤白台入居開始 ⑥新千里北町（I住区）宅造着工 ⑦大和谷プール開き ⑪蓮間配水池完成 ⑫新千里東町（J住区）宅造着工	①公立幼稚園促進委が住民大会（市は「最悪の場合佐竹台小に併設も考慮」と回答） ⑤千里NT自治会協が通信関係実行委を開き、普通郵便局設置の請願を提出することを申し合わせ（当局とも交渉） ⑨高野台中で自由契約制給食開始（学校とPTAが相談し、業者と特約） ⑧かねてから協会住宅自治会が要望していた集会所が、津雲、佐竹台に建設（それに伴う出費割当が寄付金か共益費かで紛争） ● 各住区で街頭市政相談――水道料金、幼稚園、診療所、ゴミ回収等の相談多い。
②野犬対策で保健所と住民話し合い（野犬狩りの要望相次ぐ――9月と11月に一斉狩り） ③市会で中之島町に焼却炉建設することで可決――NT内にも建設の予定であることが明らかにされる（場所未定） ⑥佐竹台分譲自治会が不法投棄の車のナンバーをそろえて、市、警察に陳情。これまで住民が交替で後始末 ⑨津雲台ピーコックが9万円弱を緑化資金として、各学校へ寄贈 ⑪緑化推進協会が200本の木を中学校に寄贈 ⑪津雲台小の児童とPTAが砂場作り（PTAが資金）	1965（昭40） 33,000人 （日本一の団地規模）	①古江台――診療所開設 ③佐竹台小、高野台小、中学校を吹田市に譲渡（今までは賃貸） ③新千里西町（K住区）宅造着工 ④藤白台――小学校、近隣センター開設 ⑤幼稚園開園 ⑧診療所開設 ④青山台――小学校開校 ⑤幼稚園、近隣センター開設 ⑩診療所開設 ④金蘭会高校・短大開校・津雲台幼稚園開園 ⑥桃山台、竹見台（D、E住区）宅造着工 ⑥南地区センター専門店舗建設着工 ⑦財団法人千里保健医療センター発足 ⑦高野台ゴミ焼却場都計決定。同事業決定――⑨宅造着工 ⑫新築工事着手 ⑧メインテナンスショップ開店 ⑫南地区センター専門店開店	⑥～⑧吹田市街頭市政相談――下水道や道路の整備、池や公園の整備、眼科医、公立幼稚園の建設、ゴミ・蚊・ハエについての苦情等要望相次ぐ。 ⑩古江台自治会中心に100名ほどが市会に、北地区公立幼稚園設置の請願（1300名弱の署名） ⑫市会で各小学校より要望のあった教室増が可決される。 ⑫藤白台の代表者が国鉄、日通などと交渉し、小荷物宅配実現（青山台でも府営連合自治会などが交渉中）
①高野台からゴミ焼却炉建設反対運動（代表60人が反対同盟結成） ②3・5丁目分譲中心に反対運動―住民集会・企業局への工事中止申し入れ・市長との話し合い・2500名余りの署名（抜きうち的建設開始に反発、市長は「NT建設当初から企業局と申し合わせあり」とつっぱねる） ②旧市域（中之島町）に建設反対に反対の気配 ③住民の行政監査請求に発展――NT全域から6300名余の署名を集め、選管に提出。4月市会で反対の請願採択。 ④府は他の適地の検討始める。工事は以後何回かストップされる。 ⑤吹田地区自治連が建設促進の要望（NTのゴミは川面町で処理しないこと求める） ⑥高野台自治協が府に反対の請願出す。 ⑦旧市域から建設促進の請願が市に。 ⑦青山小PTAが校外パト（下校時の遊び場所・危険場所等の調査） ⑨企業局が自治会に「万博用地での焼却炉建設は無理」と正式回答 ⑨高野台の300人が府に陳情 ⑫企業水道建設委をめぐって陳情合戦。「反対住民からの請願は不採用。但し現予定地には焼却炉は建設しない」と結論 ⑫藤白台小や古江台小でPTA中心に植樹	1966（昭41） 50,000人	②高野台ゴミ焼却場建設工事一時中止・柿ノ木配水池完成 ③新千里病院建設着工 ④新千里東町――中・小学校開校 ⑤近隣センター開設、入居開始 ④新千里北町――小学校開校、入居開始、サブ近隣センター開設 ⑨幼稚園開園 ④豊中市出張所開設（北町近隣センターに）千里天望台一般開放 ⑤南地区センターにスーパーマーケット開店 ⑧吹田北消防署完成。南公園ボート場開設	④青山台府営連合自治会が交渉をつづけていた街路灯が設置される。 ⑦古江台で集会所設置場所について住民間で調整つく（住民の要望もあり建設されることになったが、場所について住民間に意志の不統一） ⑧住民から「古江台自治会と藤白台自治会が結束して浴場増設について府への運動を強化してほしい」と要望 ⑨市会で高野台中に屋内体育館建設が採択（PTAから請願でていた） ⑪千里ニュータウン「移動市役所」で府、市間の二重行政に関する不満相次ぐ。

生活防衛のための運動	共同生活育成のための運動	特定集団のための運動	社会奉仕活動など
⑥31名で千里ＮＴ生活共同組合発足――７月に許可申請。10月の発会式時には500名以上 ⑧佐竹台自治連が市議会に阪急との交渉を請願（千里山線延長に伴う特別区間制に抗議） ⑪千里ＮＴ生協の活動活発に（定款を改訂し活動地域拡張・マーケットと共同で２割引券発行） ⑪生協と牛乳業者間で値下げ協定成立（業者が生協の廉価販売に抗議していた）	⑦11の自治会で佐竹台自治連結成（８月には第１回団地祭り） ⑧高野台生活共同体活動始めゆ――有力メーカーとの提携、幼稚園促進運動に参加（高野台自治連結成が目的） ⑧高野・佐竹台親善野球大会 ⑨高野台初の自治会大和谷会結成 ⑩多頭集団制の運営の困難さを理由に佐竹台自治連の会長辞任 ⑪実行委主催の第１回ＮＴ地区体育祭 ⑪府営５棟で高野会結成 ⑫佐竹台の協会住宅に自治会結成	⑦高野台マーケットと住民が話し合い（マーケット側が呼びかけ） ⑦高野台マーケット・商店会結成 ⑪全店舗入居を府当局と交渉してきた高野台ＢＩマーケットが全店舗開店し、大売り出し	⑪高野台ＢＩマーケットが運動会費用を小学校に寄贈（７月にもステレオ寄贈） ⑪高野台ＢＩマーケットが勤労青少年奨学金を計画（各自治会・千里生協など協力）
①千里生協が初詣のバスツアー ・千里生協経営の保育所に正式認可 ⑫古江台自治会が古江台ショップセンターを各戸査察	②高野台が国旗掲揚台建設 ③住区の統一自治会を目ざし高野台自治会結成（全戸の½にあたる600戸で） ③高野台のこだま自治会が結成 ④８自治会が集まり高野台連絡協準備委開く（高野台自治会を含めるかが問題に） ⑥千二岳士会が月１回の歩く会始める。 ⑧各住区で自治会等の主催で盆踊り ⑩市教委が補助会を出し、市民体育祭（高野台、佐竹台） ⑩山田小川の神社の秋祭りでＮＴ内にも神輿がでる。 ⑪藤白台自治会、古江台自治会結成	⑩南地区名店街振興会結成 ⑪南センタービルの11店舗と３公庁で三日会発足 ⑪焼却炉（マーケット所有）利用に伴う費用分担で、古江台商店会とマーケットが対立	⑥佐竹台小の児童会が新潟地震に義金 ⑦吹田市新千里山出張所と開発協会の職員が友の会を結成し、駅で雨ガサの無料貸し始める（住民からも浄財）
⑤千里ＮＴ生協が牛乳の廉価販売を計画 ⑨～⑩千里山生協の再建計画進められる。（現在ＮＴ内には千里ＮＴ生協と高野台生活協同体があり、それぞれ独自の販売を実施しており、千里山生協と対立の様相） ⑪高野台で防犯協議会発足 ⑪～⑫佐竹台自治会連合会が305円の灯油を呼びかけ（２つの生協も310～350円で販売合戦中）	●老人クラブの結成――高野台（３月）・佐竹台（ダイハククラブの協力で５月）・藤白台（民生委員の正式発令を機会に12月） ⑤千二岳士会が吹田山の会と改称（月１回例会） ⑦藤白台、古江台自治会合同の団地祭り・藤白台自治会は別にも団地祭り（山田の老人クラブ参加） ⑦千里タイムズ主催の野球大会・古江台自治会の有志と山田町の有志が囲碁試合 ⑧津雲台商店会と千里タイムズ主催の盆踊り大会に延３万人参加（各地区自治会協議員） ⑨古江台自治会が1400戸になる（ＮＴ最大） ⑩市民体育祭（北三地区は合同で）・島根県人会説明会がＮＴで。 ⑪高野台体育指導委主催のソフト大会 ⑫吹田市老人クラブ連合がＮＴで第１回老人大学講座（社会福祉協共催） ⑫防犯組織の必要から津雲台公団自治会結成	①吹田市商工会議所商業部会の会合でＮＴへの積極的進出を企図 ④吹田商業振興協同組合（商工会中心）に一括売却する新システムで藤白台マーケットオープン ④千里ＮＴ私立幼稚園連盟結成（一斉入園募集を申し合わせ） ⑤三日会が例会で広告規制緩和、ゴミ処理料金割合の手直し等を開発センターに要望 ⑩青山台センター会・商人会結成（開発センターに駐車場増設要望） ⑪共通の問題解消、横の連絡を目的に、Ｎ.Ｔ商店連合会結成（古江台では露天商対策が問題となる。佐竹台では自治連合会とトラブル）	①連雲台児童会中心に救援金品集める。（昨年同地区内での火事で全焼した家族へ送る） ④ダイハククラブ総会で、地域社会への奉仕を目的として活動してゆくことを決議（39年に佐竹台の有志で結成） ⑨万博用地買収について農民集め説明会―農民側は強く反発。以後交渉続く。 ⑫津雲台商店会がヨハネ学園に餅を送る。
②津雲台公団自治会が消費者アンケート実施――地元商店利用が26%、行商利用が20% ④電鉄ストに青山台カークラブが住区の人々のために出動 ④高野台自治会が割増家賃反対を重点目標とすることを決める。 ⑧藤白台自治会が消費者アンケートをもとに地元商店会と懇談――「高い」が54%、「品種が少ない」が56% ⑩北町市場後援会が住民200人で結成（業者は仕入れ価格等を公表。住民は他の市場の価格等を提供し、適正価格を指定） ⑩佐竹台自治連が家賃値上げ反対の公聴会開く（かねてより、算定基準・使途等の公表と不正入居住宅管理の徹底を求めて府へ請願、陳情していた）	・老人クラブ結成――古江台寿楽会（３月）・青山台青寿会（７月）・北町、東町の年輪会（11月） ④千里タイムズの主催で桜祭り（各診療所が協讃）――センター、小学校等で各種催し ⑥～⑦藤白台自治会中心にボーイスカウトの結成進められる（吹田11団） ⑥～⑧北町に20余りの単一自治会発足（平均２棟で１自治会） ⑦藤白台では、今までの監視員の担当区域を単位に６つ自治会が結成 ⑧青山台公団住宅で自治会結成についてアンケート調査・北町連合自治会結成 ⑦津雲台老人クラブ（明朗会）が親睦会 ⑧古江神社再建に土地売却してもよいと、企業局が回答（６月に商店会有志が申し入れ） ⑧各住区で自治会やＰＴＡ主催で盆踊り ⑩ママサンコーラスが練習再開で会員募集 ⑩～⑪各住区で市民体育祭 ⑩古江台自治会役員の40万円使い込みが問題となる。 ⑩主将会議で野球連盟結成が発起 ⑪数店の主催でＮＴ親善野球大会	②南センター商店会が空店舗を利用して新学期用品の売り出し ②ＮＴ内で仕事をしている造園業者が「千里環境保全協力会」を結成――会員の品位と技術向上が目的。最近モグリ業者と施主にトラブル多い。 ⑥高野台温泉が値下げを決めたが隣接浴場主の横槍で中止 ⑦高野台住区にカークラブ結成 ⑧津雲台商店会が主婦招き懇談会品種・サービス面・商舗種類に不満 ⑧歯科医師会吹田支部の協力で業者が歯の健康相談 ⑨千里庭園協方会の植木展示即売会（以後毎年開く） ⑨千里ＮＴ薬剤師会結成 ⑩府医師会がＮＴを対象にアンケート（受診の実態把握のため） ⑩吹田市域の５外科医が急患に当番制実施	②吹田市教職員組合が開校式の簡素化を要請（当面の問題として藤白・青山台の小学校の開校式中止を市教委に申し入れ） ●藤白台３丁目の住民有志が「剛君を救ける運動」で献血を呼びかけ（70人余協力） ⑥津雲３・５丁目自治会が千里交通安全会結成 ⑦青山台カークラブが小学校にカサを寄贈 ⑨新千里山民生委員協が老人を招待し、催し物（古江台カークラブが協力） ⑨各住区に市会議員を送ろうとする動き ⑫吹田市ＰＴＡ協などの主催で交通戦争解消をテーマに第11回母親大会

環全保全・清掃のための運動	年次	NT開発事業（●は主として住区施設）	施設・制度要求のための運動
⑤ゴミ焼却炉建設反対の住民70人余りが近畿ブロック知事会議に陳情 ⑦要望されていた不法駐車一斉手入れ実施 ⑦高野台３丁目自治会が、万博造成工事に伴う交通・治安等の問題について要請書を市・警察に提出 ⑧青山台４丁目自治会が公園の除草 ⑨藤白台ＰＴＡの資金集めバザーに1000名余参加（41年にも） ⑪青山台３丁目の緑地内に建設予定のバス車庫に対し、住民が反対署名開始 ⑪野鳥を守る会や自治会の連名で、野鳥公園地区指定方陳情書を提出 ⑫津雲台小児童会が野鳥を守る会の協力で巣箱作り	1967 (昭42) 70,000人	②新千里病院開設 ③阪急北千里駅まで開通 ❸新千里南町（Ｌ住区）宅造着工 ❹桃山台――小学校開校　❺入居開始。近隣センター開設 ❹竹見台――小・中学校開校　❺入居開始 ④府立千里高校開校 ⑥北公園プール完成 ❼新千里西町――幼稚園開園　❾小学校開校 ⑨北地区センター駐車場開設 ⑫中央地区センター構想発表	①津雲台合同宿舎自治会総会で、サブ・センター設置・総合病院設置・公立幼稚園・保育園について推進してゆくこと決議 ①古江台自治会が公立幼稚園要求大会で、1000名余りの署名を集め市長に渡す。 ②青山温泉問題について自治会長が企業局に実状ただす。 ⑤津雲台自治会と天五商店街有志がサブセンター建設促進で懇談（７月にＯＫ） ⑤北地区公立幼稚園建設について、古江台自治会と藤白台自治会が市と懇談（７月市会で予算化される） ⑥集会所竣工（佐竹台、高野台の府営住宅では入居時から要望されていた） ⑥有志の主婦が南地区公立幼稚園設置などを市に陳情 ⑨佐竹台で第９回吹田母親大会――公立幼稚園、保育所、信号灯、歩道橋設置などの要求を採択 ⑧公立幼稚園問題で企業局が「市教委と私立幼稚園側との話し合いがつかないと売却しない」と立場を示す。
③高野会が桜30本植樹 ⑤老人クラブ明朗会が中心になりあやめ谷公園にあやめ苗500本植える（企業局が業者に委嘱） ⑤青山台３丁目有志による抗議文が知事・企業局・開発センター・千里タイムズにとどく――「新住法違反の住宅建設をなぜ許可しているか？」と抗議。夜間作業や交通妨害に施策要求（規制では２年以内に建てねばならない） ⑥北部ゴミ焼却場用地決定 ⑦駐車規制の場としての自治会結成を望む動き（北町公団） ⑧青山台公団第１・２自治会がベランダの手すりの植木鉢の撤去を申し合わせ（落下の危険性ゆえ） ⑫千里ライオンズクラブが桜200本植樹（以後恒例化）	1968 (昭43) 90,000人	❶竹見台――近隣センター開設　❹幼稚園開園　❼保育所、診療所開設 ②北地区センター専門店開店 ❷佐竹台診療所開設 ❷新千里西町――診療所開設　❸入居開始、近隣センター開設 ❹古江台幼（市立）、北千里保育園（市立）開設 ❹桃山台――幼稚園開園　❿診療所開設 ⑥中央地区センタービル着工 ❾新千里南町入居開始 ⑩吹田市議会吹田市北部ゴミ焼却場を吹田市山田別所に設置を可決 ⑪中央地区センター専門店街着工	②北地区公立幼稚園促進委が独立園舎の早期建設・入園浪人解消を市に陳情（１万人以上の署名） ②津雲台自治連合会が、天満商店会のサブセンター進出中止に関し、その理由の明確化・センター建設促進を企業局に申し入れ ③東町府営住宅自治会が電話の早期架設を申し入れ（「４月に行う」と回答） ⑤高野台自治会が府住居苦情調査――屋内にカビやヒビ（４割） ⑦津雲台青少年対策委が住区内に青少年用グランドを作るよう陳情 ⑨北地区公立幼稚園開設に対し志望者全員入園要求の住民集会（市教委は「この規模ということで私学側と調整がついた。増員は困難」と回答） ⑪市教委が定員増したことから私幼連が反発し、暗礁にのり上げる。 ⑪竹見台の30人が公立幼稚園の要望を市へ。 ⑪南町にはやくも自治会結成――医療機関、社会施設の早期建設を要求（まだ近隣センターや小学校もない） ⑫府営竹見台自治連（42年結）が公衆浴場建設・１号線の清掃を市に要望することを決定
③有志により自然に親しみ保護する会発足――３月にミノムシ駆除の会・６月に東町に600本植樹・11月にはセイタカキリン草の一掃運動 ●万博をひかえ、不法駐車・万博公害・労務者流入による防犯問題について住民に不安 ①市・警察と住民の話し合い ④～⑥千里山で交通対策請願のため署名運動 ⑥藤白台で市・警察が懇談 （不法駐車や街路灯増設に質問集中） ⑧千里山自治連から交通対策の請願 ⑨浦雲台に万博対策委発足 ⑥池畔の安全さく是否論高まる。美観情緒の点から反対の声 ⑪佐竹台に建設予定のＰＬ教会について企業と住民が話し合い　――５年経過した区域では許可されることが明らかにされる。住民に反響 ⑪ボーイスカウト15団が害虫駆除 ⑪千里ライオンズクラブが植樹 ⑪西町自治会が消防救急活動に必要な道路整備につ	1969 (昭44) 100,000人	②千里阪急百貨店着工 ③北地区センター専門店開店 ④千里阪急ホテル、大丸ピーコックストア着工 ❹新千里南町――幼稚園開園　❼小学校、近隣センター開設 ⑥豊中市北消防署。豊中市新千里出張所開設 ❼吹田市立南保育園開園	②吹田市域の小・中学校が体育館早期建設要望――ＰＴＡとの懇談で「万博開催までに完成する」と市長約束 ②地元有志が私財を提供し、用地払い下げを要請していた老人の家起工 ②公立幼稚園について市と私幼連の話し合い。「私立園児負担軽減の検討」で解決 ⑤津雲台自治連が１日２回の郵便配達要求の署名運動――７月に「無理」と回答 ⑤南千里駅移転に「乗降口が遠くなる」と反対があり、計画おくれる。 ⑦～⑧住民とＮＴ医師連会員との懇談――新千里病院は「救急指定をうけても、医師不足で処理できない」と答える。医師連が８月から当直制実施。オープンシステムについて医師側は是の立場だが、その運営に不満あり。 ⑨千里医療問題改善促進委発足――西町の産科医の再開・夜間診療・オープンシス

生活防衛のための運動	共同生活育成のだめの運動	特定集団のための運動	社会奉仕活動など
④青山台府営連合自治会が41年度活動実績報告――青山台浴場、休業中バス経営、献血、家屋補修申請、商店会との懇談、府立図書館移動文庫誘致等 ⑥佐竹台と津雲台に防犯協発足 ⑥藤白台自治会が17円で家庭納乳実施。佐竹台にも広がる（千里では先に農協牛乳が消費生協を足掛かりに低価牛乳納入実施） ⑦青山台府営住宅自治会と青山温泉の間で割引協定むすばれる。 ⑦青山府営自治会が防火演習。 ⑧藤白台自治会が簡易風呂の特約（浴場との料金交渉失敗のため）。9月には青空市場開く。 ⑩古江台自治会の青空市場に対し開発センターが空地に鉄条網（美観保持・正規の業者保護理由）	①ＮＴ人形劇を見る会の公演会　③恒例桜祭り ③高野台自治会協が中心になり、自治会長会議（吹田市域自治会連結成が論議）――代表者の運動論の違い・公団、公営、分譲での意見の違い等で難航 ④古江台自治会が新役員で再発足 ⑥青山台４丁目分譲自治会発足　⑥津雲台自治連やＰＴＡ等で津雲台にチャイム設置 ⑥老人クラブ明朗会の演芸会（津雲台自治連協力） ⑦青寿会でも集会　⑦公社藤白台団地に藤栄会結成（550戸で） ⑧各住区で盆踊り　⑧佐竹台でボーイスカウト第12団発団式 ⑧九十九交通安全地蔵祭り（明朗会とＮＴ交通安全会が企業局より土地の提供をうけ、地蔵たてる） ⑨民生委員協の敬老の催しに 400 人参加 ⑨府営桃山台自治会結成（６月入居） ⑩各住区で市民体育祭　⑩各自治会長が集まり、自治会懇談会発足 ⑪津雲台自治連主催の歩こう会	①浴場経営ゆきづまり（青山台、高野台） ②青山台温泉についてＮＴ浴場組合と府が協議（共同購入経営案は、ご破算） ④東町にもカークラブ発足 ⑤７つのカークラブが協議会結成（窓口一本化が目的） ⑧ニュータウン私立幼稚園連盟が企業局に公立幼稚園の用地払い下げをやめるよう申し入れ ⑦千里庭園協会が見学会 ⑧千里ＮＴカークラブ協や店舗共催の自動車ショーに１万人の観客 ⑪市教委、私立幼稚園連、書店等の後援をえて、主婦の友が教育講習会 ⑪南センター専門店街が電気広告板設置	④市議選にＮＴから５人当選 ④万博工事による事故増大からカークラブ中心に、「交通安全の集い」 ⑤有志20人で千里ライオンズクラブ結成 ⑤佐竹台の児童の手術に際し、ＰＴＡが献血 ⑥千里タイムズとカークラブ協が恵まれない子をドライブに。 ⑥北地区民生委員協が呼びかけ献血運動 ⑥肢体不自由児の父兄の会等の吹田市域各団体が心身障害児に関して請願署名運動一福祉年金は９月市会で可決。その他施設やホームヘルパー制等要望 ⑩千里ＮＴカークラブ協が安全講習会
①東町自治会が割増家賃問題についてアンケート調査 ②ＮＴ自治会連絡協準備委が公営住宅法改正阻止を申し合わせ（12月にも） ②主婦が殺された事件以来防犯への関心高まり、各住区で防犯ベル取り付け ③高野台２丁目自治会が市長に物価対策強化を要望 ③千里ＮＴ読売友の会が業者と特約。商品の割引購入始める。 ⑤高野台自治協が府の担当者招き割増家賃について説明会（合理的算定の検討を約束） ⑤津雲台自治連と商店会が懇談――住民はサブセンター設置を希望。商店側は規模が大きすぎると反対 ⑧青山台公団自治会が防犯ステッカー ⑨藤白台に防犯協発足 ⑨千里山生協がニュータウン南地区に進出（関大生協と業務提携） ⑩青山台・北町の分譲住民と当局が話し合い――２年で雨もり。その補修について	①老人クラブ青寿会の集い（９月にも） ④千里タイムズと自治連絡協主催の駅伝大会 ④青山台公団第９自治会が、未結成ブロックの自治会結成援助・駐車場増設・共同仕入の活発化を申し合わせ ⑤西町マーケットが企業局の承認を得てＮＴ初の神社建設（11月に祭り）　⑤津雲台自治連が入居５周年津雲台祭り ⑥佐竹台自治連恒例の自治会対抗ソフト大会 ⑤～⑦自治連合協結成をテーマに千里ＮＴ自治連合懇談会。８月の定会で賛成多数を占め、同時に交通対策・公立幼稚園対策委設置。11月に会則案決定 ⑦西町団地自治会発足（分譲では自治会不要論強く、公団だけで結成。西町は建設途中で問題多く、要望を出してゆくために結成） ⑧各地区で盆踊り　⑧老人クラブ明朗会が民謡講習会（10月と11月には句会） ⑨青山台連合自治会結成の動き ⑩各住区で市民体育祭 ⑪津雲台万歩会の歩く会　⑪ＹＭＣＡ友の会が月２回の早朝歩こう会始める。 ⑫青山台公団自治会未結成地区に結成促進委できる。 ⑫青山台Ａ自治会発足	③吹田市花き生産者協と造園協同組合が花と緑のフェアー（万博推進運動の一環。以後年２回恒例となる） ④南センターが店員教育の映画会 ④西町マーケットが岡山津山農協の協力で産地直送市 ⑦高野台商店会が家賃値下げ市場改装を開発センターと交渉（高野台にはサブセンターもあり、業績不振つづき。閉店・家賃遅滞相次ぐ。５月の会合では、要求が入れられない場合一斉不払いを行うことを決議） ⑦千里ＮＴ飲食業組合発足 ⑨吹田市域の商業関係者が市のあっせんで初会合	①佐竹台・津雲台に吹田母子会の支部結成 ③青山台府営連合自治会が市のあっせんで預血 ⑤～⑥十勝沖地震に義金（青山台公団第１、２団自治会・明朗会・青山台中他） ⑥吹田市社会福祉協が委員を選び、北地区福祉協力委結成 ⑦津雲台に青少年対策委結成――市では市内全地区に設置する意向（住民代表や校長等で構成） ⑫淀川善隣館が千里支部設立基金集めの蚤の市 ⑫自治連などの主催で津雲チャリティバザー ⑫青山台青少年対策委が青少年対策のためのアンケート
③千里山生協再建第１回総会で、ニュータウンの進出のための組織作りと乳価値上げ阻止を決議 ⑦消費モニターや市主催の教室受講者が発起し、吹田市消費者問題研究会発足 ⑧青山台公団第１・２団自治会で防犯当番制を発足 ⑪桃山台第２団地管理組合でアンケート結果まとめる。――壁のヒビ割れ、柱の傾きを70%が指摘、40%が駐車場増設希望	①千里山田囲碁連の囲碁大会（９月にも） ②津雲台・佐竹台・高野台合同句会 ②青山台に囲碁将棋クラブ結成 ③青山台公団に２つの自治会発足 ④千里ＮＴ自治連合会結成（会長制とらず代表委員制） ④自然に親しみ保護する会が月１回の山歩き始める。・老人クラブ明朗会が月１回句会（以後恒例に） ⑤オールニュータウン囲碁大会　⑤津雲公団囲碁クラブの大会　⑤佐竹台の婦人学級（43年から始まる） ⑤古江台ボーイスカウトの訓練会（３月に結成。８月にも訓練会） ⑤千里子供カーニバル（42年に津雲台に始まり今年から全住区の自治会参加） ⑥桃山台３丁目自治会と西町公社Ａ自治会結成 ⑦青山台府営連合自治会の映画会 ⑧盆踊り大会　⑧明朗会中心に津雲台交通安全地蔵祭り（恒例） ⑨佐竹台自治連の茶話会 ⑩各地区連合自治会主催の体育祭	③オーストラリア政府主催のフードフェアに数店が協力 ④第２期工事の完成した北センターで新旧合同商店会結成 ⑥～⑦各商店会が大売り出しや各種の催し（夜店や映画会） ⑧吹田市産業対策委が、企業局等を招き、建設中の桃山台市街地ビルについて計画の明示を求める。	①津雲台自治連がチャリティ受益金を竹見小に寄贈 ②青山台中等が助け合い募金 ③吹田市社会福祉協と各住区福祉協力委の主催で献血運動 ⑨北地区福祉協力委が施設見学会 ⑨佐竹台の主婦中心に吹田市肢体不自由児を守る会発足。10月には施設設置基金募集のバザー開く。 ⑪民生委員と自治会婦人部の主催で、津雲台老人センターへの資金援助のためのバザー ⑫津雲台で恒例のチャリティバザー

環境保全・清掃のための運動	年次	NT開発事業（◉は主として住区施設）	施設・制度要求のための運動
いて市に要望書提出	1969 (昭44) 100,000人		ムの是否について討議 ⑨カークラブ等の要望で津雲台公団に駐車場設置——不法駐車へらず。 ⑩豊中地区の自治会が公立幼稚園建設要求の陳情 ⑪北住区の住民が公立幼の定員増陳情 ⑪各小学校のPTA父兄負担等について市長と自治会長との懇談会（吹田市域）
③万博簡易宿泊所建設反対デモ ●万博協会が予定するオートキャンプ場に対し高野台自治協が反対 ●千里万博公害反対運動——この時期に万博によるモグリ駐車場続出 ⑤公団津雲自治会が万博公害問題に方針一本化することを申し合わせ ⑦ニュータウン万博公害対策委と警察が懇談——オートキャンプの取り締まり・不法駐車・不決建物の撤去・万博以後の対策等要望 ⑧野鳥を守る会が、苗木3000本配 ⑩⑪自然に親しみ保護する会が調査、スケッチの会（以後定期的に） ⑩豊中五中と青年会議所が九中に40本植樹	1970 (昭45)	②千里開発センターが中央地区センタービルに移転。中央地区センター地域冷暖房施設運転開始。北大阪急行江坂駅まで開通 ③中央地区センター専門店街、千里阪急百貨店、大丸ピーコックストア開店 ⑨北大阪急行千里中央駅まで延長開通	③校区変更による一部児童の第九中への転校に父兄反対（転校多すぎる。施設不十分等）。「八中の職員を九中へ。施設早期着工」という市長あっせん成立 ③～④バス路線・ダイヤ改正に各方面から不満 ●上新田地区自治会が路線変更等を陳情 ●津雲台自治連協が集会（中央へ行きにくい） ●千里サンタウン専門店が改善要望 ⑤西町A団地自治会が会報上で西町の産科医の早期再開要望（44年にも府に申し入れ） ⑦～⑨公立幼稚園問題 ⑦●地元市民が古江台幼の拡充要望 ⑧●北地区対策委と市教委との会合で46年の定員増要望 ⑨●同促進委が定員増・募集時期の操り上げを市教委に要望 ⑨吹田市保育所運動連が、公立保育所建設・共同保育所への補助など陳情。 吹田市保育所運動連が第2回大会。 青山台中PTAが教室増の請願
②周辺緑地内にハイキングコースを作ることについて各自治会と企業局話し合い（北町・青山台・西町）——住民側は緑地保全を請願 ●日照問題から高層住宅建設反対運動。青山台生活環境を守る会結成 ⑤南千里に建設予定の高層女子寮について千里の環境をよくする会（7月正式発足）と企業局話し合い—住民側は計画白紙化要求 ⑥高野台3丁目自治会が住区内緑化を申し合わせ ⑦津雲台青少年対策委が水辺に立札立てる。 ⑩佐竹台メゾネット自治会だけが、工事中の騒音を理由に最後まで女子寮建設に反対。 ⑩藤白台や春日町からサーキット族に関する苦情が相次ぐ。 ⑪女子寮問題で阪急側が計画を大幅に改め了解点みいだす。 ⑫不法の疑いある建設中の建物について、桃山台3丁目分譲自治会と関係者話し合い——今後寮にしないことで解決 ⑫千里ライオンズクラブが植樹記念碑寄贈	1971 (昭46) 120,000人	⑦桃山台、高野台運動場開設	②私立幼稚園PTAが第1回総会で知事と話し合い——補助金・中教審問題について ②豊中市長と東町住民が懇談——学校予算増額・公民分館の設置・駐車場増設・移管後の管理等について市長は保育所優先と回答 ●スポーツ愛好家70人が市にニュータウン体育施設の一元化要望 ⑦公的総合病院建設促進母体がニュータウン選出の市議中心に結成（新千里病院では事実上外来診療拒否の状態がつづく。このころ千里タイムズでもキャンペーン） ⑧南町・桃山台の住民有志が、「桃山台市街地ビル内に日用必需品・食料品のショップセンター設置」を企業局に陳情 ⑨青山小・古江台小の増築撤回について父兄と市が懇談会
●46年末に桃山台3丁目自治会中心に「グリーンベルトを守る会」発足—緑地帯にマンションが建設される動きに反発して。7月には緑地保全の請願を市へ。 ①青山台2・3丁目自治会を中心に国立循環器センター建設反対の動き——抗議集会や企業局との話し合いで緑地の用途変更に反対。2月には他の自治会にも波及。3月から4月の市との数回の話し合いでは誘致以前にもどすこと要求。5月の局長への直訴では企業局の一方的態度に批判 ④青山台生活環境を守る会が北千里小の建設について学校用地に不向きと陳情 ⑤吹田駅前再開発による代替住宅建設に、藤白台自治	1972 (昭47)	⑪千里中央に総合娯楽施設（セルシー）開業	●桃山台市街地ビルのテナント選定について南町自治会に対し企業局から回答（ドラックストアー約束） ③～④吹田市がゴミ収集に関してアンケート調査（7割が週2回希望） ⑥自治会組織のない高層住宅でダストシュート使用禁止に住民反対 ⑧公立高校の学区細分化に対し、吹田市域のPTAが反対署名や陳情（9月にはPTA協と府教委懇談） ●ある主婦が発起して、署名1万6000名集め、図書館建設を豊中市会に請願（9月

生活防衛のための運動	共同生活育成のための運動	特定集団のための運動	社会奉仕活動など
⑫津雲台公団自治会等の主催で有害食品研究会 ⑫青山台で新日本婦人の会による添加物テスト	⑪南公園でスカウト祭り　⑪吹田地区初のガールスカウト第70団発団　⑪東町子供会に豊中地区初の野球部　⑪竹見台分譲に自治会結成 ⑫第2回千里奥さまバレーボール大会（有志で運営、連盟の基礎づくりが目的） ●商店や千里タイムズの催しが年に数回	⑪千里中央センター専門店会発足（45年3月オープン）——共同事業・共同の宣伝・施設の企画、運営管理について活動することが目的。定休日申し合わせる。	
③ある酒店の半額販売に佐竹台2丁目の自治会協力 ④佐竹台府営自治連総会で、商店会との定期懇談会・万博公害対策・体育、文化施設の強化など申し合わせ ⑤千里山生協総会でニュータウン内に組合員7000人と報告 ⑫津雲台マーケット建設準備委（自治会有志）が住民経営によるマーケットへの用地払い下げを申請	④どんど祭り（市議主催）　④大阪サイクリング会の主催で早朝サイクリング始まる（数店協力） ④佐竹台集会所で恒例婦人学級（9月にも） ④桃山台自治団体協議会発足　④北町2丁目自治会結成 ⑤千里子供カーニバル ⑤桃山台第2団地管理組合が桃山台自治団体協への参加・役員報酬について討議 ⑧各住区で自治会中心に盆踊り ⑨豊中祭り　⑨吹田市東地区老人クラブ連合結成 ⑨千里山田囲碁連の大会 ⑨～⑪NT野球連盟の野球大会 ⑩有志による委員会が千里NTの歌募集（46年2月に発表） ⑪千里写真同好会の第1回写真展	●中央専門店会が活発な活動——子供の遊び場設置・数回の催し物・年数回の大売り出し（9月には大丸・阪急と合同） ④中央専門店会総会で「権利金や家賃が高い」と不満。8月には理事の割当てからもめる。 ④古江台マーケットが合理化商策・スーパー誘致を申し合わせ ⑥北センター商店会が中央センターへの対抗策協議——タクシー乗場の屋根・案内板・業務構成上不備な業種の増設等協議 ⑧3センター運営協結成 ⑩府飲食業環境衛生同業組合がニュータウン支部設立 ⑫新千里病院増築着工（府三医師会や地元開業医と協議重ねる）	③西町A団地のカークラブが救急当番制をしく。 ⑤ある店舗が東光学園を慰問 ⑨佐竹台自治連が住区の老人慰安会 ⑨ある店舗がつり銭募金 ●千里高有志がバザーの収益を若竹園へ寄付 ⑩北町1丁目分譲自治会が献血運動 ⑪心身障害児を守る会がバザーの収益を寄付
⑥津雲台公団自治会が近隣センター内の露天商についてアンケート ⑧津雲台・青山台・西町の谷団自治会が、公団家賃値上げ反対のデモ ⑧津雲台マーケット建設用地の払い下げ申請に対し拒絶回答 ⑪ジャスコと主婦が、10月の青空市場について反省会	①千里山田囲碁連の大会　①～明朗会が月1回句会 ①千里交通安全会主催でどんど祭り ②竹見台自治連の協力で老人クラブ結成 ③中央専門店会等の主催で春のカーニバル ③～⑪大阪サイクリング協会の主催で毎日曜日に早朝ランニング ④第1回千里NT少年野球大会（45年ごろから少年野球活発に） ⑤恒例千里子供カーニバル　⑤千里若人の集い主催のボーリング大会 ⑦西町自治連で花火大会　⑦千里の歌募集委が千里音頭講習会 ⑧サンタウン夏のカーニバル　⑧吹田祭り　⑧各住区で自治会中心に盆踊り ⑨千里NT野球連の大会　⑨北町剣友会の2周年大会（北町の少年や愛好家で結成） ⑩千里タイムズ主催の少年野球大会　⑩千里タイムズと開発センター共催の駅伝大会 ⑪新千里神社の秋祭り ⑪第5回NT奥さまバレーボール大会（43年ごろから奥さまバレーボール活発化）	①千里NT吹田地区商業連合会結成に際し、露店対策・共同仕入等を当面目標とすることを申し合わせ 6月、7月には企業局と話し合い（駐車増設・露天商対策・空店舗の入居業種・店員宿舎問題等について要望） ②南センター専門店会が日曜顧客吸収に関して討議 ⑤空店舗の募集方式・無料駐車券の発行・共通商品券の発行について3センター連絡会（8月にも） ⑥歯科医増設問題でニュータウンの歯科医と府歯科医師会が対立 ⑧産地直送センターについて、関係四者が話し合い（小売価格の点で難航） ⑧サンタウン運営協が買物調査 ⑪桃山台市街地ビルのテナント業種について、近隣センター業主と市が話し合い	②津雲台6丁目自治会と商店会が府議後援会設立 ●老人クラブ千竹会が無料結婚相談所を開く。 ⑥老人のために西町の主婦が部屋を提供 ⑥北町自治会北和会が老人ホーム訪問 ⑪津雲台2・4・6自治会が食料品等を老人ホームに寄贈
②南町2丁目自治会で防犯講習会 ●新田市営住宅自治会が建替え・移転に反対の旨、市に要望（市はNTに同化させてゆくためにも木造は好ましくないとしている）	●津雲台自治連の催し——1月に凧あげ大会、3月に相撲大会、10月にいも掘り大会、老人クラブ明朗会も毎月句会　①どんど祭り ②吹田市自治連合会発足の動き——5月に発足（吹田全域の自治連を組織） ②北丘公民分館主催卓球大会（昨年までは各自治会単位で行われた）　③春のカーニバル ④恒例早朝サイクリング会始まる。 ⑤恒例子供カーニバル　⑤千里野球連の大会 ⑥同好会主催の奥さまバレーボール大会（10月にも） ⑥北丘公民分館主催婦人学級 ⑦藤白台と青山台の福祉委主催キャンプ講習会	①～藤白台商店会がたびたび朝市や夜店を開く。 ⑥各商業連合会と吹田商業連がスーパー曽根店の買物バス乗り入れの禁止を企業局に要望（10月以降は許可しないと回答）	③北町自治団体連絡協が献血運動。古江台小でも福祉委中心に献血 ③中央専門店会が市へ寄付 ⑦桃山台青少年対策委が第1回研究会 ⑧公共施設の引きつぎに関して、佐竹台分譲の人々中心に、「知る権利を要求する運動」をおこす動き

環境保全・清掃のための運動	年次	NT開発事業（●は主として住区施設）	施設・制度要求のための運動
会が反対 ⑤津雲台２丁目公社で住民が個人負担で自転車置場設置 ⑤桃山台１丁目カークラブが住区に防犯灯や消火器寄贈 ⑥循環器センターの現地説明会で住民の一部から建設反対に反対の声（医療施設不足が理由、知事は「反対理由は薄弱」とのべる） ⑧青山台、桃山台の保存問題について「元にもどすことは困難」と知事回答 ⑨桃山台から千里ＮＴ緑地を守る会設立の呼びかけ――11月発足 ⑨自治会の協力を得て当局が不法駐車撲滅運動 ⑩～⑪周辺緑地の２種住専指定について説明会（住民反発）	1972 (昭47)		市会で採決決定） ⑩豊中婦人会館オープン――豊中婦人団体連絡協の発起で、45年末ごろから婦人会館建設１円募金がつづけられていた。
②～③各住区でＰＬの移管について、開発センターと住民が話し合い（自治会に管理協力を求めたことに一部住民が反発） ③藤白台から阪大薬学建設反対運動起こる（景観破壊や焼却炉建設反対が理由）。４月には２丁目自治会と市と話し合い。文部省にも直訴。５月になり、阪大が焼却炉建設中止の回答 ④高野台自治会協が児童による植栽を開発センターに訴える。 ⑤津雲台３丁目公社分譲住民が関西研修センター増設反対の陳情 ●自治会等を中心に町の清掃や草刈り――青山台府営連が毎月１回・５月に各自治会と子供会有志が ・７月から９月にかけ津雲台自治連中心にあやめ池の清掃　・８月に桃山台３丁目自治会が（２丁目自治会でも） ⑦青山台公団自治会が北千里駅前ホテル建設計画に反対 ⑨津雲台２・４・６町会が清掃職員詰所建設反対集会。マスタープラン区域外の当地区にデメリットばかり押しつけると反発 ⑨府立高校職員寮建設について自治会と当局の話し合い（北町）。住民は「将来の施設用地として残せ」と主張 ⑨～⑪桃山台のマンション建設反対運動――９月に３丁目自治会と市長が話し合い。11月に行政訴訟への協力を呼びかける。 ⑨要望のあった南町センター西側に信号機設置 ⑩津雲台自治連と山一地区自治連が、山田駅に自転車置場を設置することを市に要望 ⑫阪大薬学建設問題について、住民大会で市長の調停案を一部修正を条件に受諾（焼却炉・ボイラーの建設中止）	1973 (昭48)	❹北千里小学校開校（青山台、古江台の過大校対策として）	①吹田市高校新設連絡協が府に要望書提出（８万人以上の署名） ①～③ダストシュート廃止について市と住民が話し合い（青山台、竹見台）。一応解決 ③北千里親とよい子の映画を見る会が北千里に文化施設設置を市に要望 ④各自治会有志が保健所建設促進の会合 ⑥～⑨各住区で吹田市公聴会――図書館、文化施設等の建設・防犯灯改善・不法駐車取り締まり・食料品店舗の増設・阪急バス減便対策などの要望出る。 ⑥藤白台福祉委が老人の家として集会所開放 ⑥～⑦南町３丁目自治会の要望で建設されることになったスーパーについて、他の２つの自治会が環境破壊を理由に反対 ⑦青山台中心に各住区の自治会が医療機関要請の署名運動開始 ⑧青山台公団自治会とカークラブが駐車場増設を要望 ⑦～⑩ＮＴの医療機関と住民代表が３回の医療問題懇談会――医療の充実・オープンシステムの廃止・休日診療などテーマ ⑩医療問題改善のための「対策会議」発足。外来窓口設置・救急施設・独立保健所設置などを当面目標とする。
①桃山台３丁目の緑地内道路に住民が設けた通行止や樹木の撤去を開発センターが申し入れたことで住民と紛争 ①日照権を理由にハイツ桃山の住民が女子寮建設に反対 ③阪大薬学問題で藤白台自治会と関係当局の間で調停書調印 ●各種団体の植樹――ライオンズクラブが200本寄付（２月）・高野台自治協（３月）・桃山台３丁目自治会が400本（４月）・北町３丁目自治連が200本（12月府から苗木） ④津雲台自治連があやめ池通水式（昨年泥のかき上げ） ④桃山台３丁目自治会が樹木の手入れ（植樹した木は管理も住民が行うことについて市に誓約書） ⑥自治連合会や青年会議所の主催で草刈り ⑥全日空寮建設に対し住民が千里センターに陳情（マスタープランでは児童公園用地だと反発） ⑦高野台の住民が草刈り。８月には老人クラブ藤寿会が北公園の桜の手入れ（万博推進委の植樹後放置されたまま）	1974 (昭49)	③千里ＮＴ記念事業構想公表。国立循環器センター工事着工	●「北千里地区に保育所増設を要求する会」が市会に増設の請願――採択 ①住民の手による医療施設「千里ＮＴ老人センター」着工 ●古江台１・２・３自治会連名で、集会所の建設を市に要望 ①「豊中に府立高校を誘致する会」が署名簿をそえ府に陳情――新校建設・調整区の廃止を要望 ②千里タイムズが南千里駅前商業施設についてアンケート――診療施設（100%）・スーパー（70%）・娯楽施設は賛成反対が半々。 ②ＰＴＡ連絡協などが豊中市内一円で美術館建設のための署名運動 ⑩北町自治連絡協が医療機関開設に伴いアンケート（外科希望が50%以上） ⑪北町のＰＴＡや自治会と市長の懇談――北丘小の過大対策である２住区３小学校

生活防衛のための運動	共同生活育成のための運動	特定集団のための運動	社会奉仕活動など
⑥津雲台公団自治会が産地直送市（11月にも実施） ⑦千里桃山台第２団地組合がテレビアンテナ点検調査 ⑦北町で防犯協主催防犯講習会 ⑪交番のない南町で防犯協議会発足	⑧吹田祭り・豊中祭り　⑧各住区で盆踊り　⑧中央専門店街有志のゴルフコンペ　⑧老人センター好日荘主催老人文化展 ⑨北丘公民分館主催文化祭（北町自治団体連絡協が協力）　⑨府営佐竹台自治連が敬老会 ⑪恒例西町秋祭り　⑪恒例少年野球大会 ⑫千里ＮＴ玄武館少年剣道会主催の少年大会（ＮＴ内の４つの剣友会参加）	⑦ショップ桃山ステーションの商店会が自衛消防隊結成 ⑫千里サンタウンがアンケート調査	⑨吹田ライオンズクラブが各小・中学校前に交通安全人形の設置を計画 ⑪心身障害児を守る会が恒例のバザー ⑫各地区福祉委中心に献血運動
②各自治会・医師連など48団体が下水道移管に際し、旧市域並み料金にすることを請願。３月に200人が陳情デモ（３月市会で暫定的だが旧市域並みとなる） ③東豊中第１団地が共益費値上げに対し、公団と支出基準表を決める。 ⑥有志が集まり、千里ニュータウン下水道公正料金対策委結成。９月に市会対策のための会合 ⑦老人センター好日荘が老人診療所を企画 ⑪津雲台公団自治会が狂乱物価に対し、不買運動等討議 ⑪農協牛乳が在庫出荷しないメーカーへの抗議運動呼びかけ ⑪高野台、桃山台、佐竹台で自治会主催の防火演習 ⑫千里の主婦らが物価安定を市に要請	①どんど祭り　①津雲台自治連の凧あげ ②千里タイムズ主催第３回駅伝大会 ③恒例春のカーニバル　⑤恒例子供カーニバル ⑤千里山田囲碁連の大会（11月にも） ⑦高野台で自治会が地蔵堂作る。　⑦青山台有志による太田杯争奪ボーリング大会（10月にも） ⑦千里ＮＴテニス連主催のテニス大会　⑦千里ＮＴ将棋大会（10月にも）　⑦千里へら同好会と専門店会が北千里にフィシングコーナー設置 ⑧恒例サンタウン夏のカーニバル　⑧吹田祭り・豊中祭り　⑧各住区で盆踊り　⑧千里タイムズと桃山台自治会の主催で演芸大会 ⑨古江台や佐竹台などで自治会主催の敬老会　⑨老人センター好日荘の老人文化展 ⑪北丘公民分館主催第５回北丘地区市民体育祭 ⑪第３回千里ＮＴ少年野球大会　⑪恒例玄武館招待少年剣道大会と同小学校女子大会　⑪各住区で市民体育祭	④吹田地区小売商業連や北千里専門店街が北千里でのホテル建設計画に反対 ⑥モグリの回収業者追放のため業者が親睦会結成 ⑦新千里病院、医師連主催で移動健康相談始める。 ⑦西町センターが自力で進めていた店舗増築竣工 ⑧休日救急診療所建設計画について吹田市医師会と市懇談医師側から意志の疎通を図るよう要望でる。 ⑨済生会中津病院の豊中移転に医師会が反対。体質改善必要と主張	⑦古江台福祉委主催でバザー ⑧業者親睦会がゴミ回収車に募金箱設ける。 ⑧佐竹台地区青少年対策委がパトロール ⑧藤白台福祉委が寝たきり老人家庭奉仕員補足派遣制度を発足、ボランティア２人が協力 ⑩北千里専門店会がチャリティショー ⑪千里ライオンズクラブが自転車教室 ⑪古江台地区福祉委が乳ガン検診 ⑪ある店舗が老人200名を無料招待 ⑫青山・藤白台で福祉委中心に献血運動
①千里ＮＴ自治連絡協が、灯油不足に対する対策を当局に嘆願。——200Kl放出決定。 10月には業者・関係当局と懇談（指導価格は不当と抗議）。 12月には業者と販売価格を協定 ①千里市民の会が業者への石油はきだしの話し合いの申し入れを計画 ②物価をテーマに佐竹台で婦人学級 ③阪急ストに際し、藤白台では、カークラブが出動 ④テレビ会社主催の青空市場に各住区協力 ⑥佐竹台府営自治連と商店会が懇談（商店側も露天商歓迎）	①恒例どんど祭り　①西部アマ舞踏連主催の千里ダンスパーティ　①桃山台と竹見台の青年会「桃竹会」が凧上げ大会 ②青山台でＰＴＡや防犯協が中心となり、チャイム設置　②狂乱物価を機に竹見台Ｃ26棟自治会発足 ②青山台青少年対策委が映画会　②藤白台指導委主催山歩き会 ③千里ＮＴ将棋連の大会（６月と10月にも） ④恒例春のカーニバル　④古江台稲荷神社の春祭り ④吹田ライオンズクラブ主催市民の集い ④千里テニス連主催テニス大会　④千里タイムズ主催テニス大会 ⑤各自治会有志による恒例子供カーニバル ⑥学校開放に伴い桃山台体育振興協議会発足 ⑥青山台公団自治連がＮＴ全域を対象にフェスティバル ⑧吹田祭り・豊中祭り　⑧恒例サンタウン夏のカーニバル　⑧各住区で盆踊り　⑧南公園で子育て地蔵の初祭り　⑧千里タイムズ主催演芸大会	②セルシーや中央専門店街で無料サービス ④第15回花と緑のフェアー（吹田市花き生産者協・造園協同組合の共催で年２回恒例） ⑤中央専門店会総会でゴミ処理の問題・千里センターとの関係改善など討議 ⑦北千里専門店会が府に対し、第２期計画の早期実現を要望 ⑧商環境改善や施設充実を府、千里センターに働きかけることを目的に千里ＮＴ専門店連合協発足	①津雲台Ａ棟自治会が無料教育相談 ②市教委・吹田婦人奉仕活動促進委主催で婦人ボランティア講座 ②桃山台１丁目自治会が４千円を市に寄付 ④寝たきり老人や独居老人の世話を目的に、住民８人が社会を明るくする会結成。４月から布団の丸洗い奉仕 ⑤古江台の全自治会で血液互助会結成

環全保全・清掃のための運動	年次	NT開発事業（◉は主として住区施設）	施設・制度要求のための運動
⑧桃山台からの緑地保存の請願が不採決となる。新たに中学用地に予定 ⑨青山台４丁目自治会が循環器センターに焼却炉が建設されることに反対して市に陳情。府に善処を要望すると回答 ●高層マンション建設に対し山田小川自治会と山田下自治会が反発。――10月に市に陳情書提出。11月には市と話し合い（下水道や小学校などの公共施設が今でも不十分なのにどうするのかと反発） ⑫高野台３丁目住民を中心に自治連や野鳥を守る会が周辺緑地破壊について情報交換会 ⑫佐竹台・高野台で公聴会――野犬狩り・雑草刈り・交通対策・給食費の公費負担・集会所新設・歯科医設置等要望	1974 (昭49)		制や公民館・図書館について府と交渉中と回答 ⑩竹見台小の増築か校域拡張校舎増かについてＰＴＡと市が話し合い（48年に過大化対策を市に要請）。11月ＰＴＡ総会で校域拡張に賛成決議
①千里の自然を守る会連合発起人会（この時期には各住区で周辺開発や開発計画が相次いでいた） ②千里の自然を守る会連合（仮称）の大集会。３月には選挙立候補者に公開質問状を送る。 ②高野台３丁目自治会が山田地区の緑地保存について市と交渉懇談会 ③千里ライオンズクラブが植樹（45年以降８回目） ④～⑤吹田市自治会連合協の協力でセイタカアワダチ草刈り ⑤野鳥を守る会が1000本の植樹や探鳥会 ⑤南町の分譲住宅で周辺緑地をめぐって自治会分裂の動き――周辺緑地の一部を道路にする件で会長が独断で認めたことから会長派と反対派が対立 ⑨高野台３丁目自治会や北町・南町・西町の分譲自治会で自主規制を作るための協議が進められる。 ⑨北町自治団体協が建築協定について、北町・西町・南町の自治会役員と懇談（ＰＲを申し合わせ） ⑩吹田ライオンズクラブとボーイスカウトが中央公園の清掃 ⑩野鳥を守る会の展示パネル会 ⑪建築協定について自治会長レベルの話し合い――一部に強硬な反対のあることなどが報告される。未建築地や不正住宅の点検が検討される。 ⑫南町少年野球部が植樹	1975 (昭50)		①中央西側の空地を分譲したことに対し、千里市民の会等が抗議―― 医療施設・集会所等住民のための施設用地として使用せよと要求 ②竹見台自治連と市が竹見台中の移転問題で懇談―― 竹見台小の過密対策から住民側も同意の方向へ（市教委が説明書を全戸に配布）。３月の懇談会で住民側同意 ②千里文化センター建設が当局間で合意 （45年から新千里地区分館設置推進協を中心に住民運動） ③桃山台１丁目自治会が自力で集会所建設 ⑤藤白台で駐車場問題から自治会分裂（他の住区でも自治会とカークラブが対立） ⑤吹田ＰＴＡ協が高校増設を要望 ⑦竹見台中ＰＴＡが移転反対の要望 （設計図を見て、校地面積拡大を要求） ⑦藤白台１丁目府営の有志が「一部屋増設」運動のために住宅問題委結成 ⑩竹見台小ＰＴＡ総会で過大解消推進委を発足。市に波状陳情を予定 （12月市会で竹見台中移転は断念される） ⑩千里の自然を守る会が１万人の署名を集め、山田西地区に自然公園を作ることを要望 ⑪地元住民がダイエーのセルシー進出早期実現を通産省へ陳情
②藤白台２丁目自治会が阪大の廃水等の処理施設建設を条件付きで認める（48年以来の紛争にケリ）。 ②～⑤千里の自然を守る会連合や野鳥を守る会が観察会 ②新千里地区分譲自治会の会合で建築協定について話し合い（北町、西町のアンケートでは賛成多数と報告） ②千里ライオンズクラブが桜200本植樹 ②津雲台小の児童がタイヤで遊具作る。 ④桃山台２丁目自治会が入学祝いの植樹 ④北町で環境保全協定書議決（北和会） ④高野台でも建築協定についてアンケート（80%が賛成） ④古江台府営自治会がカークラブと駐車場増設を協定したことについて住民から批判 ⑥竹見台公団の人々が緑地帯の除草。また竹見台３丁目中層自治会では植樹 ⑦桃山台１丁目自治会が除草 ⑧新千里建築協定推進協設立を前提として会合（北和会の協定書を各自治会で検討することを申し合わせ） ⑨建築協定推進協発足 ⑨企業局が青山台に計画している分譲住宅に対し４丁目自治会が反対（住民無視、緑地保全が理由） ⑨南町３丁目自治会が周辺緑地内に道路が新設される件について市と話し合い（住民不在と反発）	1976 (昭51) (9月末まで) 6月末人口 129,660人 吹田市域 86,526人 27,618世帯 豊中市域 43,134人 13,054世帯		①桃山・竹見・津雲台の主婦有志が公立幼稚園増設促進会を結成。1500人の署名を集め陳情――３月市会で「困難」と回答 ①古江台地区連合自治会が特別会報上で、12月市会で集会所建設案件が流れたことを批判 ②北丘小ＰＴＡと竹見台の自治団体が過大校解消について市と懇談 ②ダイエーのセルシー進出早期実現のための署名１万５千名に達する。消費者連絡協結成 ③～管理棟を市民ホールとして移管する件について各住区で説明会。４月の自治連合会の会合で地元に運営を委託することに反対意見でる。 ⑦吹田高校新設連絡協が８月～12月にかけて陳情することを決める。 ⑦東町シビックセンター建設促進委が予定地の変更を要望（環境が不適当として、他の企業局所有地を指定） ⑨南丘小ＰＴＡが過大校解消の特別委設置

生活防衛のための運動	共同生活育成のための運動	特定集団のための運動	社会奉仕活動など
⑥竹見台で吹田消費者問題研究会 ⑧津雲台公団自治会が消火訓練 ⑩津雲台自治連が体育祭費集めのバザー ⑩佐竹台で自治会が毎週1回青空市 ⑪NT連合自治会等の主催で消防教室 ⑪北千里で公団値上げ反対デモ	⑧囲碁連のNT囲碁大会　⑧千里NT地区少年指導委と体育指導委主催ソフトボール大会 ⑨千里タイムズ恒例少年野球大会 ⑩北町自治団体連絡協と北丘公民分館主催、北町秋の文化祭（各種20団体参加） ⑪各住区で市民体育祭　⑪恒例同好会主催、奥さまバレーボール大会		⑧佐竹台地区青少年対策委が街頭指導 ⑩心身障害児を守る会が恒例のバザー（6回目） ⑪青山台や藤白台で福祉委の呼びかけで採血 ⑫ある商店が売上の一部を市に寄付
④津雲台公団自治会が家賃値上げ阻止を決議 ⑤津雲台公社自治会総会で毎週青空市を行うことを計画 ⑫市財政と市民生活を守る豊中市民大会（各種団体中心に実行委結成）——税制改正等について国会に陳情	①どんど祭り　①ダンス同好会のパーティ　①津雲台凧上げ大会 ●老人センター好日荘が活発な活動——毎月1回の老人講座・定期的な句会・3月には老人文化展・10月には囲碁大会や金婚祝いの会 ③南公園で奥さま新聞主催団地カーニバル ③古江台青少年指導委等の主催でハイキングや球技大会　③古江台連合自治会結成 ④古江稲荷神社の祭り　④菊花同好会が菊作り講習会 ④千里NT連のテニス大会（10月にも）　④千里バロック合奏団発団（11月に公演） ⑤千里子供カーニバル　⑤北三地区合同グリーンフェスティバル　⑤千里サツキ同好会のサツキ展（6月に講習会） ⑥～⑩各地に体育振興協発足（北丘、津雲台、古江台、西町）——津雲台では11月に歩く会 ⑦NT地区青少年委等の主催でソフトボール大会 ⑦各老人クラブ合同で講習と映画の会 ⑧吹田祭り・豊中祭り　⑧子育地蔵祭り　⑧盆踊り ⑧竹見台で地蔵入魂式（有志が自治会に呼びかけ企画） ⑨千里タイムズ主催少年野球に際し、少年野球連盟発足 ⑩奥さまバレーボール大会　⑩市民体育祭　⑩千里探史会第1回例会（月1回予定） ⑩恒例イモ掘り（市に移管のため今年で最後） ⑪囲碁連の大会　⑪南地域少年野球大会　⑪写真同好会や菊花同好会の作品展	⑤～⑥吹田地区商業組合連と千里専門店連絡協が会合。南・北センターの第2期増築計画に際し、組織一本化の動き。吹商連は増築に反対している。 ⑥阪急・大丸・近隣センター・市場業者・専門店会がダイエー進出反対協を結成。7月に豊中市へ反対の陳情 ⑨セルシー会が経営研究会 ⑩安田クリーニングが消費者参加制を採用 ⑪中央地区センター専門店協同組合が解散（資金借り入れを目的に結成されたが、目的は一応達したゆえ） ⑪歯科医師会主催よい歯を守る移動展（7月にも青山台公団自治連との共催で）	①老人センター好日荘に寄付250万円集まる（公募中） ③北町自治会で献血 200人以上協力 ③北町2丁目納税組合結成（納税を容易、確実にするための法に基づく組織） ⑤山田東の老人が老人センターに杖100本寄付 ⑦東丘小PTAや豊中人権協の主催で心身障害児問題講習会 ⑧藤白台福祉委が国民年金相談所 ⑪吹田交通遺児を守る会が北千里でチャリティバザー ⑪藤白台青少年対策委が警察などの協力を得て交通安全教育と自転車登録運動 ⑪藤白台・青山台の福祉委が献血（200名以上協力） ⑫南千里祭り実行委が売り上げを市に預託
⑤津雲台公団自治会総会で家賃値上げ阻止を運動方針として決定	●老人センター好日荘が活発な活動——老人講座・句会・老人文化展・慰安会・趣味の会は重々。 ●定期的に千里市民講座（49年に有志により始まる） ●千里探史会が毎月1回例会 ①千里交通安全会恒例のどんど祭り ●各地区青少年対策や福祉委主催のハイキング会やスポーツ大会——古江台（2月、3月）・青山台（2月）・藤白台（3月、9月） ②西丘小でボーイスカウト豊中20団発団 ④千里ライオンズクラブ主催桜祭り（老人千名招待） ④古江台稲荷祭り ⑤恒例子供カーニバル　⑤サツキ同好会展示会 ●各地区の体育振興協が各種スポーツ大会や歩く会——津雲台（4月、6月）・西町（6月）・古江台（6月、8月）・北町（10月、12月） ⑧吹田祭り・豊中祭り　⑧各住区で盆踊り　⑧北千里で3住区合同の盆踊り　⑧南地区の5住区の自治団体連合で盆踊り大会　⑧高野台と山田小川の子供会が交歓会　⑨北町文化祭 ●NT内の各種連盟の大会（今年からほとんど2回となる）——少年野球（4月、9月）・南町地域少年野球（4月、11月）・奥さまバレー（6月、10月）・硬式テニス（5月、10月）・囲碁（6月）	①南センター専門店会が南住区のガイド地図を駅前に設置 ③吹田私立保育園連盟が公立との間の料金格差是正を請願 ③吹商連が市場商店街の経営について共同体制を話し合う。 ④千里医師連が政治活動を目的に千里医師政治連盟作る。 ⑤中央専門店会総会で西町の業務地区の未完成が話題に。 ⑤フリーマーケット存廃についてセルシーとテナントが対立——6月に阪急が場所提供 ⑤千里専門店会連合協が南北センターの2期工事促進を要望 ⑥吹田歯科医師会が街頭診療 ⑧南町への万代百貨店進出について地元側と協定	①古江台の理容店が閉店に際し、小学校へ 100万円寄付 ①元会員の遺族が老人クラブに寄付 ②ある住民が弘済院に梅100本寄付 ③ショップ桃山ステーションがチャリティバザー ⑤佐竹台のある住民が人形劇の保育所巡回 ⑦北町防犯協が痴漢対策と水上安全の講習会 ⑧藤白台福祉委が国民年金相談開く。 ⑨北町の老人クラブが台風被災地へ寄金

構造の頁

33
鋼構造柱脚部の固定度
その2. 根巻きコンクリートの補強効果

中島　茂壽

鋼構造柱脚部の実状について前稿で述べたが、高い固定度を確保するためには、上部接合部と比べ、かなり困難である。通常、柱脚部はB・Plの露出形式とコンクリートによる被覆形式とに分けることができる。前者の場合、固定とするためには、A・Btの埋込み精度とB・Pl下面の仕上に留意し、A・Btは計算値より太径を使用し、B・Plも厚めのものを使用するか、あるいはリブで補強し、A・Btに初張力を導入するなどの対策が必要である。そこで比較的、信頼性が高くて、施工上にもあまり問題のない方法として後者が考えられる。これは**図1**に示すような根巻き形式と埋込み形式とがあるが、本稿では筆者らがおこなった実験[1)2)]により、柱脚部を鉄筋コンクリートで根巻きした場合について述べる。

■ 実験と結果の概要について

図2に示すような、実大の1/2～1/3程度にモデル化した供試体を、軸力0で単調ならびに繰返し水平載荷した。素材は、鉄骨柱、A・BtをSS41、せん断補強筋をSR24、補強用主筋、その他をSD40とした。コンクリートはF_c＝200 kg／cm²であった。実験計画については**表1**に示す。実験変数として、根巻き高さ、せん断補強筋間隔、主筋量を選び、B・Plの形状をA・Bt 4本の固定形式と2本のピン形式とにした。A・Btの埋込み深さは軸径の20倍とし、定着板をとりつけ、ナットの締付けは鋼柱がぐらつかない程度の手締めとした。載荷は油圧ジャッキでおこなった。柱の変位、主筋とA・Btの歪みなどについて測定した。柱の変位は基礎ばりを固定端とみなし相対変位量を測定した。**図3**は柱脚モーメント（M）とB・Pl下端から75cm上の柱の変位量（δ）との関係について、繰返し載荷の履歴曲線の包絡線による比較を示す。a）は根巻き高さを変数とした場合である。高さが増すに従い露出形式と比べ、固定度[3)]ならびに終局耐力はかなり増大する。図中の点線は3FRⅡ2の周辺の根巻き幅を2cm程度増した場合につき、文献1）より推定した曲線であるが、あまり変わらず、根巻き幅増大の効果は比較的少ない。b)はせん断補強筋間隔を変数としたとき主筋3本についての$M-\delta$関係を示す。根巻き上面の亀裂発生荷重（約2t）までの初期剛性はほとんど違いはないが、それ以上で間隔の大なるものは徐々に変位量は増大する。6本の場合も同じ傾向である。c)は固定、ピン形式との比較である。B・Plの形状がピン形式であっても、根巻き高さを柱せいの3倍程度とすれば、最大耐力は固定形式に比べ、約2割の低下はあるが、初期剛性面ではあまり変わらない。各供試体の終局耐力につき表1に示す。計算値は、※露出形式ではB・Plの大きさ、根巻き形式では根巻きコンクリートの大きさを断面とするR・C曲げ終局式により算定した。前者は実験値と計算値はよく一致したが、後者は主筋3本、根巻き3段以上では値は近いが、6本の場合1、2段程度では主筋の降伏前にコンクリートの破壊がおこり、実験値は計算値をかなり下まわる。露出形式では、B・Pl直下のA・Btの歪み（ε）はR・C弾性理論式による計算値とよく一致した。根巻き形式では、引張側主筋、A・Btの$M-\varepsilon$関係の初期勾配は計算値と一致したが、根巻き1、2段ではコンクリートに亀裂が入り主筋の定着不足の段階から、主筋は計算値より応力負担が減少し、同時にA・Btの応力負担は増大した。

■ まとめ

●柱脚部の根巻き補強は、固定度を高めるとともに終局耐力を増大させ、耐力の増加はほぼ根巻き高さに比例する。　●柱脚部の固定度に対しては、根巻きの被覆厚さよりも根巻き高さが大きく寄与する。　●せん断補強を適切におこなうことによりかなりの補強効果がある。●根巻きを柱せいの3倍程度とすれば、B・Pl直下のA・Bt、補強用主筋の歪みはR・C式の計算値とよく一致する。なお、埋込み形式の場合、露出形式でA・Btに初張力を導入した場合などの固定度についても実験をおこなっているので別の機会にご紹介したい。

1）鈴木・中島ほか　鋼構造柱脚部における根巻きコンクリートの補強効果について　建築学会大会梗概集　1972. 10　pp. 1403～1404
2）鈴木・中島ほか　鋼構造柱脚部における根巻きコンクリートの補強効果について　第Ⅱ報　その1、2　建築学会大会梗概集　1976. 10　pp. 1223～1226
3）図3による固定度はあくまで見かけの固定度であるが、固定度の傾向はわかる。

（なかしま　しげとし　大阪工業大学建築学科講師）

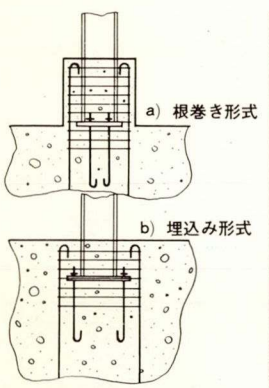


図1　被覆形式の柱脚部

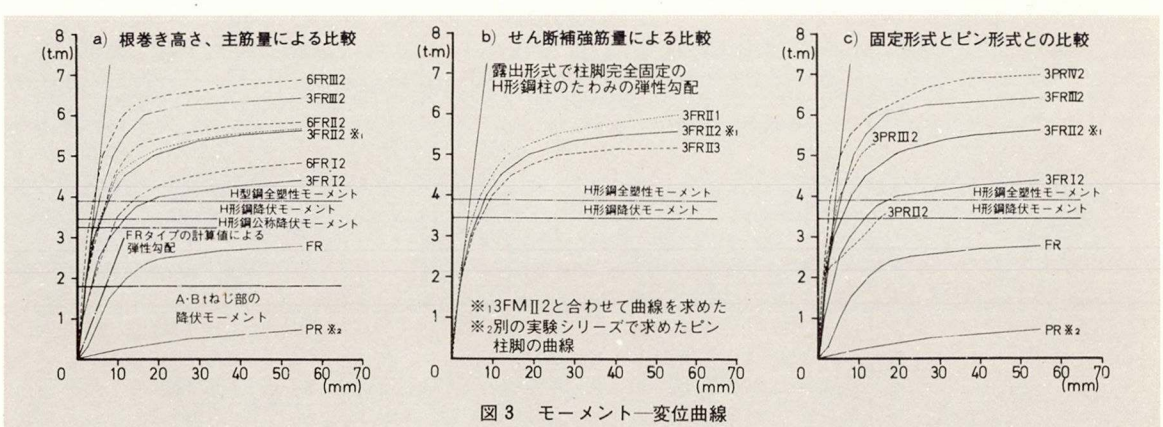


図3　モーメント―変位曲線

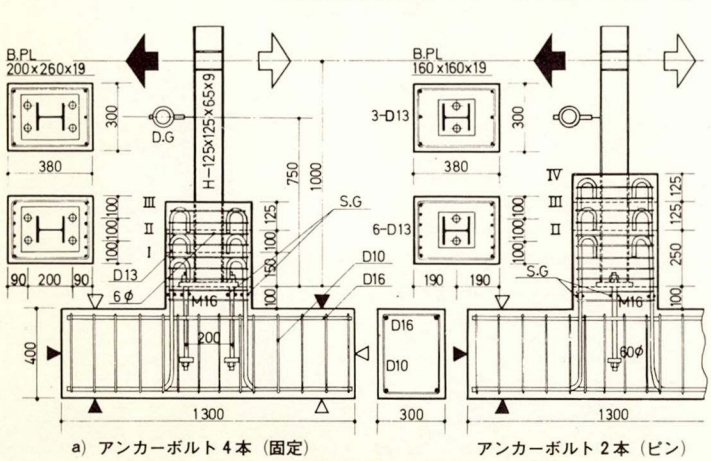


図2　供試体の形状、寸法ならびに配筋

表1　実験計画と終局耐力　※実際には鋼中の破壊荷重より大なるものはその荷重で制限される。

形式	記号	ベースプレート 幅×長さ×厚さ (mm)	基礎主筋 本数(径)	基礎主筋 Pt (%)	根巻き高さ 高さ (cm)	根巻き高さ 高さ/柱せい	せん断補強筋 間隔 (cm)	せん断補強筋 Pw (%)	終局耐力(t) 実験値	終局耐力(t) ※計算値	実/計	載荷方法
露出形式	FM	200×260×19	(6)	—	—	—	—	—	3.00	3.03	0.99	単調載荷
露出形式	FR	〃	(6)	—	—	—	—	—	3.06	3.03	1.01	繰返載荷
根巻き形式 アンカーボルト4本	3FMⅡ2	200×260×19	6	0.33	25.0	2	5.0	0.38	5.80	7.28	0.80	単調載荷
根巻き形式 アンカーボルト4本	6FMⅡ2	〃	12	0.67	25.0	2	5.0	0.38	5.90	12.30	0.48	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	3FRⅡ1	〃	6	0.33	25.0	2	2.5	0.75	6.10	7.28	0.84	繰返載荷
根巻き形式 アンカーボルト4本	3FRⅡ2	〃	6	0.33	25.0	2	5.0	0.38	4.80	7.28	0.66	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	3FRⅡ3	〃	6	0.33	25.0	2	10.0	0.19	5.00	7.28	0.69	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	3FRI2	〃	6	0.33	15.0	1.2	5.0	0.38	4.23	7.28	0.58	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	3FRⅢ2	〃	6	0.33	37.5	3	5.0	0.38	6.56	7.28	0.90	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	6FRⅡ1	〃	12	0.67	25.0	2	2.5	0.75	6.52	12.30	0.53	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	6FRⅡ2	〃	12	0.67	25.0	2	5.0	0.38	6.30	12.30	0.51	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	6FRⅡ3	〃	12	0.67	25.0	2	10.0	0.75	5.40	12.30	0.44	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	6FRI2	〃	12	0.67	15.0	1.2	5.0	0.38	4.70	12.30	0.38	〃
根巻き形式 アンカーボルト4本	6FRⅢ2	〃	12	0.67	37.5	3	5.0	0.38	7.30	12.30	0.59	〃
根巻き形式 アンカーボルト2本	3PRⅡ2	160×160×19	6	0.33	25.0	2	5.0	0.38	3.55	6.26	0.57	繰返載荷
根巻き形式 アンカーボルト2本	3PRⅢ2	〃	6	0.33	37.5	3	5.0	0.38	5.35	6.26	0.86	〃
根巻き形式 アンカーボルト2本	3PRⅣ2	〃	6	0.33	50.0	4	5.0	0.38	7.00	6.26	1.12	〃
根巻き形式 アンカーボルト2本	6PRⅡ2	〃	12	0.67	25.0	2	5.0	0.38	4.00	11.36	0.35	〃

設備の頁

32 電波障害

赤司　陽一

建築のもたらす社会的な効用は近代国家の基盤となるもので、その成果は計りしれずわれわれの生活に恩恵をもたらしている。また同様に近代生活には情報文化も必需なものとなってくる。この情報は音や映像で感知するわけであるが、遠く離れた所に伝えるには、初期は有線に頼ったものであったが、電子工業の飛躍的な発達により、現在では電波による無線伝送が多岐にわたり主要な地位をしめている。電波を伝送の媒体として利用するのに最も適しているものに、移動物からの伝送と広範囲の不特定多数に伝送する場合がある。後者の不特定多数に伝送しているものの最も生活に密着した利用がテレビ放送ということになる。

1．建造物とテレビ電波障害

従来から建造部が公共用の無線中継回線を遮ぎる場合などに中継局の移設ができないと建設ができないなど、建造物が電波を遮蔽することは一般にも認識されていたが、近代建築の高層ビルの誕生とともに生活に密着したテレビの電波を壁面が反射して非常に広範囲に障害を及ぼすことが判明して社会問題化した。この問題について考察を進めてみたいと思う。

電波とは光に似て直進する性質のものである。テレビの放送に使用されている周波数はＶＨＦ帯とＵＨＦ帯であり、超短波、極超短波の非常に高い周波数である。光の傾向は周波数が高くなるほどその傾向は強くなり、直進性を持ち、庶蔽域に大きな減衰をもたらす。また建造物の壁面などは、ちょうど反射板と同じ働きとなり、金属反射板の1／2から1／8程度の強さで反射されることが判明している。

図１において送受信点が見透せる地点の電波は直接波E_1と反射波E_2の合成となる。受信点の電界強度はつぎの式で求められる。

$$E = 2E_o \sin\frac{2\pi h_1 h_2}{\lambda d} \quad (\mathrm{v/m})$$

ただし、E_o：自由空間の電界$(7\sqrt{P}/d)$、λ：波長（m）、d：送受信点間距離(m)、h_1、h_2：送受信アンテナ高（m）、P：実効放射電力（W）

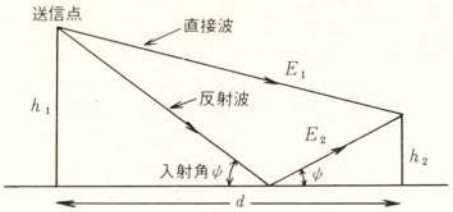


図１　直接波と反射波

上式はＶＨＦ帯の送信点近傍を除き、次式で表せる。

$$E = \frac{88h_1h_2\sqrt{P}}{\lambda d^2} \quad (\mathrm{V/m})$$

この式より判るように電界強度は距離の２乗に反比例し、高さに比例するのである。

したがってテレビ送信アンテナに較べて高さが低い場合はさして問題ではなかったが、超高層ビルが都心の送信アンテナの近くに建設されると陰となる部分の減衰範囲も広くなるが、上層階に当たる距離が近いため、強力で、また高さが高いために非常に強い電波が反射板で再送信するかのような反射波を発生する。(図２)

したがって希望する電波に、経路差の長い反射波が混入して受信されると、希望画像に対して経路差の分だけ右側にずれた画像が重なって現れる二重画像のゴースト障害となる。

このゴースト障害はテレビ受像機に入るテレビ電波信号の中に、希望波と妨害する反射波がどのような割合で混入しているかによって目立ったり、目立たなかったりする。その限度は希望波に対して10％くらいが我慢の限度とされている。また希望画像と妨害する画像が近接していると目立ちにくく、離れていると目立ちやすいとか、放送番組の内容によって、とくにニュースの字幕や時報の時計などは目立ちやすいといった性質がある。いずれにしても画像を主観で見て判定するため非常にやっかいなものとなるわけである。

2．建造物側の対策

陰の部分の遮蔽減衰域は致し方ないとして、反射障害を建物側で対策する方法としては、建物の壁面に電波の吸収体を張り付けることが考えられる。電波を吸収するフエライトをタイルにして張るもので、電波を吸収させる性能を持つ材料はすでに所要性能のものがある。しかし重量が重いことと、何よりも高価過ぎて実用に乏しい。今後の研究課題のようである。

つぎに建造物の電波到来方向に対する角度を考えて比較的影響の少ない方向に反射波を発生するように建てること、および建造物の壁面の構造を適当な形に湾曲させて反射波を拡散させることは、すでに実用されている軽減策と言える。

3．受信側での障害対策

陰になる部分と建造物近傍の反射波の障害に対しては、有線によるテレビ共同受信方式が広く採用されている。建造物の屋上等の良質の画像の得られる所に受信アンテナを設置して同軸ケーブルで伝送するもので、ケーブルの減衰損失を補償するため増幅器を用い各家庭へ分配器を介して伝送するもので、数十戸から数千戸まで分配する施設が実用されている。しかしながら維持管理が必要となり放送波の直接受信とは異なった問題があり、これを運営するためそれぞれの地域に密着した自主番組をテレビ電波以外に加えて伝送するＣＡＴＶが考慮されている。

広域に影響を及ぼす反射波の対策としては、受信側で何らかの対策が必要となる。元来、直接波だけを受信するアンテナがあれば解決するのであるが、受信アンテナの指向性にも限度があり単体のアンテナでは除去するのは難しい。そこで２台のアンテナを組み合わせ合成した特性で反射波を除去する「ゴーストキッカー」と称する組み合わせアンテナが実用化された。これは２台のアンテナを一定間隔に並べて立てて妨害波をベクトル合成で打ち消して希望波だけを受信しようとするものであり、到来反射波の条件さえ合えば実用上かなりの成果が得られる。（**写真１**）

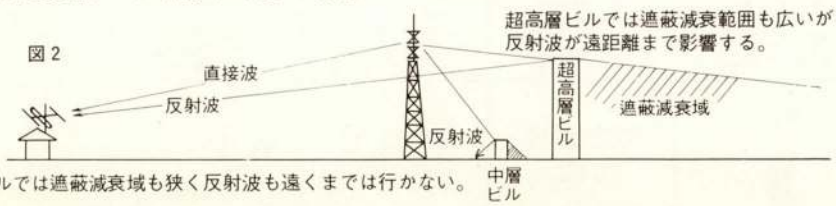
将来的にはさらに周波数の高いＳＨＦ電波を利用した少範囲の障害地域向けの放送をビルの屋上から行う構想の実験も始められており、実用の目途はついているが現在のところは非常に高価であり、運用に入るには時日を要するように思われる。今後とも研究開発に努力して障害除去の容易な解決策の解明を念ずる次第である。



①「ゴーストキッカー」ゴースト対策用組み合わせアンテナ下方左に見えるのは従来のアンテナ
②従来アンテナで受信した「ゴースト画像」
③「ゴーストキッカー」で受信した「ゴーストを除去した画像」

（あかし　よういち　八木アンテナKK技術部商品技術課長）

図２



施工材料の頁

33
タイルの接着工法

高島　三郎

わが国では、建築の外装・内装仕上げとしての陶磁器質タイル張りは、古くから非常に多く使用されている。

最近、施工の省力化が図られ、さらにセメントの品質改良、保水剤の開発に加えて、タイル自体の製造方法の変遷、技術改良は顕著なものがある。反面、欠点もクレームに発展してきている。これらの観点からタイルの接着工法について述べる。

タイルの張り付け工法としては圧着工法が一時多く採用されたが、剝離事故が多発したため、その後、各種の改良工法が開発されている。

図－1に示すように、改良工法が種々開発されているが、いまだに決定的な工法には至っていない。タイル打込みによるPC版、現場打込み工法等は信頼性の高い工法であるが、一般に広く採用されてはいない。

タイルの施工は、一般に、モルタルによるタイル張りが行われてきたが、最近では省力化、高品質化の面から、セメント系、合成ゴム系、エポキシ樹脂等の接着剤がモルタルに代わるものとして建物内部で使用され始めている。これらの接着剤によるタイル張り工法は、くし目をつけて接着剤を塗りタイルを張るもので、図－1の、接着剤張り、樹脂モルタル張りが、これらに該当すると、考えられる。

しかしこれらの工法は、米国では10年くらい前よりすでに施工されており、現在ではむしろ標準的な工法として、普及している。参考になる点も多いので、これらを紹介する。

- シンセット工法
  - ドライセットモルタル工法 ……内部の壁および床
  - ラテックスセメントモルタル工法 ……一部の外壁
  - 有機質マスチック工法
    - ラテックス型……内部の壁および床
    - 溶剤型……内部の壁，床および一部の外壁
  - エポキシモルタル工法…
  - エポキシ接着剤工法……　} 特殊用途
  - フランモンタル工法……

ドライセットモルタル工法　ドライセットモルタルはセメント系の接着剤である。材料はポルトランドセメントと粒度調整されたケイ砂を主体とし、硬化遅延剤、接着補助剤、消泡剤等の添加剤および微量のアスベストを予備混合した粉体で、現場で水を加えて使用する。下地はコンクリート、モルタル系に適し、1回で比較的塗厚が得られる。塗る要領は、こての平滑なエッジで押さえ込むように下地に付け送り、つぎにくし目の刃先が下地に接する状態で数回しごいて、所要塗布量、厚さを得る。オープンタイムは天候その他の影響を受けるが、一般には20分ほどで、この間にタイルを張り付けることになる。くし目を入れる理由は、機械的に所要の塗布量、厚さが得られることのほか、タイルをセットしたとき、接着剤が均等に広がり、かつ目地部からタイル表面ににじみ出ないように調整するためである。

ラテックスセメントモルタル工法　ラテックスセメントモルタルはポルトランドセメントと砂に特殊ゴムラテックスを混入して現場で作られる接着剤で、防水性に優れる。これらは陶磁器タイル、テラゾータイル、ガラスモザイク等の内外装用接着剤として、とくに水回りおよび氷結または高熱を受ける所に使用される。施工はドライセットモルタルと同様である。

マスチック工法　マスチック工法は主として有機質接着剤でタイルを張り付ける工法で、接着剤には有機溶剤型のものとラテックス型（エマルション型）の2タイプがある。

有機溶剤型には外部用と内部用とがあり、外部用の特徴は、耐水性、耐老化性が優れている材料という点である。ラテックス型の方は主に内部用である。また、有機溶剤型は、床用と壁用とに分けられていて、床用はフレキシビリティはないが初期強度が早く出て、強度も比較的大きい。壁用は接着強度は低いが下地の挙動に追従できるようなフレキシビリティの大きい、しかも壁に塗布した場合、だれを生じないような材料で構成されている。とくに下地が木造の場合には収縮率、変形量等がコンクリート下地に比して大きい場合が多いので、床、壁ともにフレキシビリティの大きなマスチック材を使用している。

マスチック工法は、これらの特性を生かし、コンクリート、モルタル、プラスターボード、フレキシブルボード、合板、その他プラスチック下地等に施工が可能である。施工の順序と方法は、接着剤を適当量とり出し、マスチック用の特殊こてを用いて下地にしま模様の目をつけて十分にぬれを良くした後、タイルを張りつける。

その他、施工の要領はドライセットモルタル工法とほぼ同じであるが、下地が平滑でないと仕上がり精度が高くならない点が特徴であり、一般にはモルタル下地よりもボード面への施工が多い。

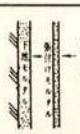
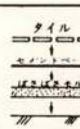
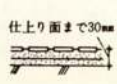
◇

全体を要約すると、米国でのタイル張り工法のうち、外壁タイル張りは剝離防止の点から樹脂モルタル張りに、また、内装タイル張りは性能および作業能率の点から、ドライセットモルタル張りおよび接着剤張りに大きなメリットが認められている。タイルの張り付け工法のうち、接着工法は今後さらに発展の余地があり、クレームのない工法の主流になるものと考えられる。

（たかしま　さぶろう　鹿島建設K.K.建築部技術課長）

図－1　工法の種類および説明※

※ 工法の呼び方、分類の仕方等は正式に決められたものではない。

適用部位	壁			床		壁・床	
工法の種類	圧着張り	改良圧着張り	モザイクタイルユニット張り	ばさばさモルタル張り	モルタル張り	接着剤張り	樹脂モルタル張り
工法の説明	平坦にならした下地モルタル面に張付けモルタルを塗り、その上にタイルを1枚ずつ押込むようにして上部より張る。	平坦にならした下地モルタル面に張付けモルタルを塗り、さらに1枚ずつタイル裏面にも同一張付けモルタルを塗り押込むようにして上部より張る。	平坦にならした下地モルタル面に張付けモルタルまたはセメントのろを塗り、その上に表紙張りしたタイルユニットを叩いてはっていく。壁の上部から下部に向かって張り進める。	清掃した下地にばさばさモルタルをたたきならす。その上に2㎜程度セメントペーストを塗り、タイルを敷きならべ軽くたたき平滑に張付ける。	平坦にならした下地モルタル面あるいはモノリシック下地面に張付けモルタルを塗り、タイルを1枚ずつ不陸の調整に注意して押込むように張る。	平坦にならした下地モルタル面あるいはボード面に、接着剤を塗り付け、くし目引きとし、タイルを1枚ずつ張る。	平坦にならした下地モルタル面に、樹脂分を混入した張付けモルタルを塗り付けくし目引きとし、タイルを1枚ずつ押込むようにして張る。
施工順序							
施工完了図							

ヤニス・クセナキス 講演会＋演奏会

建築と音楽

形と音と空間と

ヤニス・クセナキス 仏 作曲家 建築家
吉阪隆正 建築家 早稲田大学教授
高橋悠治 ピアニスト 作曲家



11.15 MON. **6:30** 開場6:00
関電ホール 大阪市北区中之島3-5 地下ホール
地下鉄肥後橋（TEL.)441-8971 代

主催 日本建築協会
企画協力 グループ"M²" 日本ゼネラルアーツ
共催 大阪楽友協会研究所
後援 朝日新聞社
協賛 サントリー株式会社 松下電器産業
竹中工務店 コラム・デザイン・センター

チケット 前売¥1,200 当日¥1,500 会員¥1,000
日本建築協会 大阪楽友協会
（大阪）阪急 心斎橋マツバ（神戸）サンチカ（京都）京都書院 各プレイガイド

問合せ先 日本建築協会 (TEL)(06)231-9640

1976

クセナキス氏のこと

もう四半世紀前のこと、ル・コルビュジェの所でクセナキスと一緒に仕事をしていた頃、若者同士の人生論、文明論などをよくたたかわしたものだ。ギリシャ生れの彼が古代から直結した弁証法を受けつぎ、技術者らしい唯物論を進めるのに、仏教的日本的論法で対した私と平行線だったことは多かった。だのに今でも、音楽の解らないお前が、何で音楽の講演に出て来るのだといってくれる仲が続いている。

——吉阪隆正

東京に音楽会議のためにやってきた彼と1961年に知り合って以来、もう15年にもなった。1963年にベルリンで1年間生徒になったが、それはまったく自由なつき合いだった。森の中を足早に歩きながら、古代ギリシャ哲学史を初めからしゃべってくれたことをよく覚えている。他にはお互いの作品を見せ合ったり、何よりも彼の禁欲的な仕事ぶりをながめていて、そういうことに影響された。（しかし、この苦行のやり方は結局は身につかなかった。）以後10年間ほど、彼の音楽思想の延長上で仕事をしてきたが、それが僕の修業時代というわけだ。考え方がすこしちがってきた現在でも彼の新しい仕事はいつも僕を驚かせる何かをもっている。

——高橋悠治

■プロフィール

ヤニス・クセナキスは1922年ブライラ（ルーマニア）に生まれた。1932年に両親の祖国ギリシャにかえり、スペツァイ島のギリシャ・イギリス学園にはいる。12才のとき音楽をこころざす。1940年アテネ工科大学に入り、同時に抵抗運動に加わる。1945年1月、イギリス戦車隊に対する戦闘で重傷をおう。学校とカンゴク、収容所のあいだを往復する。1947年に卒業するが、死刑を宣告され、フランスに亡命する。ギリシャは戦前から独裁制であった。かれは禁書であったプラトンをひそかに読んでいた。戦争がはじまると、それはマルクスとレーニンにかわった。（「マルクスは部分的にはプラトンだが、ずっと現実的だ。しかし、かれも思想家にすぎなかった。レーニンは同時に哲学者、社会学者、宣伝家、美学者、法律家をかね、全体として比類ない政治的人間だった。二人といないモデルだ。」）

ギリシャの抵抗運動の対象はまずイタリー、つぎにドイツ、それからイギリス（チャーチルはアクロポリスの丘からアテネの町を砲撃するという、ナチ以上の野蛮な行為をあえてした。）、最後にアメリカにかわり、1949年にチトーがユーゴ国境をこえたパルチザンをアメリカ側に売りわたすことで終止符をうつ。

そして、収容所での拷問、大量処刑、「再教育」の長い夜がはじまった。1967年の合唱曲「夜」はヨーロッパの政治囚にささげられる。

「1944年12月、アテネのさむい夜、街路での巨大なデモンストレーション、時々の、えたいのしれない、致命的なノイズ。ここから集団という発想、確率音楽が生まれた。」〔中略〕

「どんな運命にみちびかれているのか、わたしにはわからない。わかっているのはただ、もうすこしで生命をうしなうところだったこと、何もなしとげることなしにおわったかもしれなかったこと、これらの試練によってきたえられたこと、すべてはこれでよかったのだ。ギリシャ人はこうなのだ。自分が何者かを知ろうとし、あらゆる種類のすばやく、暴力的な、時には致命的で、そのはてに死がまつような行動に身を投ずる用意がいつもできているのだ。」

1947年、政治の殉教者となるかわりに、かれは音楽のために生きのびる決心をした。ルーマニアとギリシャの民族音楽、ビザンチン教会音楽にかこまれてすごした少年時代から長い空白のあと、25才をすぎてやりなおすことができようか？最初にたずねた教師に、すくなくとも5年間は対位法を勉強しなさい、と忠告されるが、それはまったく時間のむだのようにおもわれた。つぎ

にオネゲルの教授をうける。オネゲルは音楽に絶望していた。どんな生徒にも、音楽などやめろ、と忠告するのだった。

1950年、メシアンにあう。伝統的技術の勉強が必要だとおもうか、という質問にこたえて、メシアンは言う——あなたの場合に、それが必要とはおもわない。あなたは数学をしっているではないか。なぜそれを利用しようとかんがえないのか？

ル・コルビュジェのために、かれは建築の構造計算をうけもって、生活していた。気のすすまなかったこのしごとは、おもいがけなく音楽のあたらしい方法の成立をたすけることになる。後には、音楽でこころみた方法は逆に建築につかわれ、また光による作品の基礎ともなるだろう。（後略）

—高橋悠治「音楽のおしえ」(晶文社)より—

■講演会＋演奏会の企画

昨年11月14日に、日生劇場で行われたアイスキュロス作、クセナキス作曲の文化庁芸術祭参加による、合唱による叙事詩的演劇「オレステイア」(指揮　高橋悠治) の監修のため、ヤニス・クセナキス氏が来日した。これを機に、建築家には現代音楽を、音楽家には建築についての理解を深めていただくとともに、建築も音楽も一度原点にたちかえって考え、それが明日への手がかりになれば、という意図でこの講演会＋演奏会を企画することになった。

■クセナキス、高橋悠治、吉阪隆正



1976年11月15日、大阪の関電ホールは700名もの人たちであふれんばかりだった。森下氏の開催主旨説明とあいさつの後、司会の大久保氏から、長身に黒のスラックスとブルーのシャツをラフに着こなしたセイカンな顔つきのクセナキス氏が紹介され、やわらかなフランス語で話しはじめる。そのあとを吉阪氏が訳す。

「建築家の方々、音楽家の方々の前で今日、こうやって話をする機会をもてましたことは非常に喜ばしいことと思っています。また古い友人の吉阪隆正氏、高橋悠治氏といっしょに、ここにこうしているのも大変うれしいことです。タカ（吉阪隆正）とは25年前に、いっしょにフランスをエンジン付の自転車で走りまわって旅行しました。わたしのよりもタカの自転車のほうが調子がよくて、わたしはいつもよけいに努力しなければならなかったことなどが思いだされます。」



それぞれ大きく違っているパーソナリティをもつこの3人が、建築と音楽というテーマでいまここに同席し、吉阪氏、高橋氏を通じて彼の主張がまさに写しだされようとしている。2人ともクセナキスとともに生活をした経験から単にことばのうえだけではなく、異なる世界のどこかでつながっているのだろう。クセナキスは論理数学をあつかうクールなイメージとは違った、温厚で、やさしい、まじめな人柄であった。

「建築と音楽について、短い時間で話をするのは、なかなかむつかしいことで、あるいはそのためにとびとびの話になると思いますが、わたしの経験したことを例にとってお話ししたいと思います。」

■全体と部分

「最初に、非常に根底的な問題として、どのような考え方をするか。建築とか都市計画の分野ですと、考え方は全体の問題から徐々に細部の問題におりてくるのが普通です。これに対して音楽はむしろ反対で、小さいものの積み重ねが全体になっていく考え方が多いと思います。この全体から部分、部分から全体と、それの両方の統合ということ、人間がものを考えてゆくとき、その相互作用が根底的に必要だとわたしは考えています。ですから音楽の場合でも、全体からはじめて部分にいたる方法は考えられないことではないのです。今夜はそれについてお聞かせしたいと思います。もちろん、全体からはじまって部分にいたるという技法をとった作品が、結果として美学的であるとか、哲学的であるとかという問題は、やはりその作品のできばえいかんということになるのでしょう。ここでは個人的なわたしなりの哲学的アプローチはぬきにして技法について語りたいと思います。」



■音群の操作

「音というものは多次元的なものであって、その中にはもちろん音の高さ、長さ、強さ、内部構造、それから秩序か無秩序か、音色、そういうものが全部含まれ、さらにまだ十分に記述できないような要素も含まれているわけですけれども、ここでまず扱うのは、一番伝統的なもの、つまり高さと時間の関係の記譜法です。

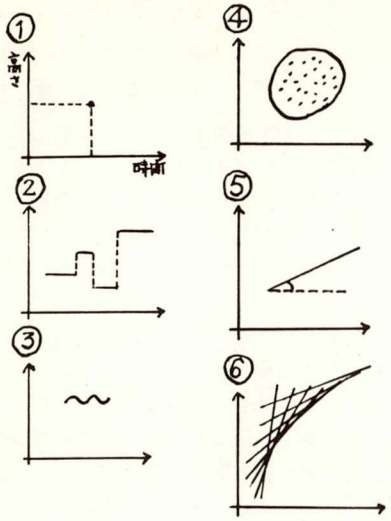
図1は音の内部構造からして非常に自然な記譜法ですが、この場合、ピッチ、つまり音の高さといっているのは、周波数というよりは、人間の耳がある物理的な刺激に反応する、その度合のことです。縦軸が音の高さ、横軸が時間です。その軸の上にある点をとれば、その座標が音の高さ、そしてどこで音が発生するかということを示すわけです。

メロディというものは図2のように短い線がある時間持続して、それから次の位置に飛んで、それがまた持続する、というものとして描けるわけです。たとえば琴のような楽器であれば、それは一つの位置をとって、それから図3のようにぐにゃぐにゃと変わるわけです。それからポリフォニー（多声法）の場合は、調的であろうと、十二音であろうと、そういう線の複合体としてあらわされる。

そこで、いま、短い音がたくさん発生して、その全体の形というものはメロディとしてとらえるわけにいかない、そういう形を考えてみます。(図4) これが、大量の音を扱う概念の始まりになります。

この曲の表示が非常に正確であり、しかも自由だというのは、平面上のどんな位置でも連続的に使うことができて、だから、伝統的な記譜法の持っているようなある種の制限された音の高さとか、そういうものがないからです。点は極端な場合ですけれども、もちろん線を使うことができて、その場合は、音はある長さをもって持続している、そういう場合ですね。だから、点と線を使っていままでになかったようないろいろな音楽的な形をつくることができるし、そういうふうにする必然もあるわけです。

直線を使う場合、直線というのはどのような角度でもとれるわけですから、そうすると、普通の、つまりある音の高さが持続するのは、音の高さがその間変わらないという非常に特殊な場合にです。一般の場合は、音の高さが時間に対してどのように変



わっていくかという傾斜角が問題になるわけです。(図5)

これからやる音楽は「メタスタシス」と呼ばれていますけれども、スタシスというのはある状態ですね、静止したもの、それからメタというのはその後というような意味です。それでメタスタシスは変化とか、変換というような意味になるわけです。もちろんこれは運動と静止状態との間の弁証法的な対立関係なんですけれども、そこには哲学的な思想もあり、それから運動についての古代の逆説（ゼノン）のようなものもあったし、近代では運動の問題というのは、微分学とか、最近では統計学のようなもので扱われるわけです。

ある音楽的な形の突然の変化、あるいは非常にゆっくりした変化、そういう速度の違い、これは音楽だけではなくて、時間に関するすべての芸術、たとえば映画とか、演劇とか、ダンスとかにあって、最も根本的な要素の一つです。

スライドを見て下さい。これが「メタスタシス」のもとの記譜法です。これは、後でオーケストラのために音楽の記譜法に直されたわけです。音楽学校ではほかの記譜法は習わないわけですから。

聴けばわかりますが、このように最初に一つの音から始まり、それからだんだんと枝分かれしていきます。そして真中の部分では、一つの動かない音の群が聴かれるわけです。その後でまたばらばらに分かれていくつかの音に収斂していく、そういうものが聴かれるわけです。

図6では直線の束の結果として一つの曲線が見える。一つ一つの楽器はグリサンド、それは直線なわけです。だけど、耳が聴くのは結果としての曲線なんですね。そういう形です。

これは前の図(6)で導入された新しい要素です。つまり曲線を直線であらわすという、それを組み合わせたものです。それでこの組み合わせという方法は音楽だけではなくて、絵とか、建築とかの場合にも基本的な創作方法なんです。つまり一つの要素をまずつくって、それ自体と組み合わせることによって新しい構成を、つまり単純なものから複雑なものへと次第につくり上げていくということです。

—テープ音楽〔メタスタシス〕—

■フィリップス館

「3年後、このメタスタシスはフィリップス館の構想をあたえることになりました。ル・コルビュジェは『展示館ではなく、電子詩とそれを入れるビンを作りましょう。光、色、映像、リズム、音が大衆に理解できるような有機的総合体にまとめられ、フィリップス製品の資源を示すことにもなるでしょう。』といって設計をわたしに依頼しました。

映画の映写には垂直平面が要求され、また空間効果のために投射された映像が展示館の上方に次第に消えていくような、空中のボトルネックが要求されたのです。

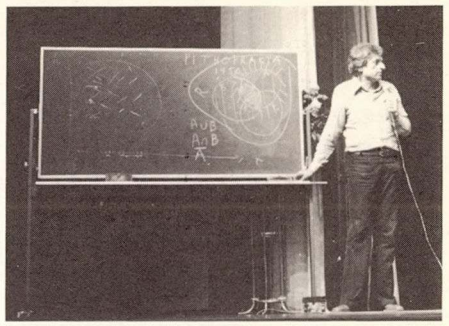
ル・コルビュジェのスケッチをできるだけ尊重しながら、わたしは、大体それに基づくいくつかの試みを重ねました。観衆の出入りする床面、電子音響音楽堂、色彩光投影、建設技術、この最後の点がわたしに解決のカギをあたえ、他の問題にも答えることができたのです。

時間の関数としても連続変化する音についてのわたし自身の音楽上の探究からわたしは直線に基づく幾何学的構造を好んでいました。線織面、放物面とからコノイドです。わたしはル・コルビュジェにスケッチを提出し、この設計を提案しました。かれはそれを無条件に受け入れ、立体モデルを作るようにわたしに依頼したのです。」 スライドで説明しながら、「わたしたちはこの展示館を建てるために独創的な方法を考えつきました。大きなP.H.を約1M×1Mの大きさに分解し、砂の型に流し込んでから足場の上に積み重ねて、ケーブルで押さえ、交点や土台のまわりをしっかりととめていくわけです。

フィリップス館は、造形的に新しいばかりでなく、これらの実現するのに困難な表面を、枠組みによらずに構築するといった独創的でしかも一般的な方法を見い出すことに成功したと思います。」

■確率音楽

「次にまた音楽にもどって確率音楽についてお話ししましょう。メタスタシスの場合は、確かに大量の音を扱っているけれども、一つの秩序の中にあるわけですね。だから、最初の音が広がっていく、それも一つの全体の形の中である秩序をもって変わっていくということです。もしこれが無秩序である場合はどうなるか。そういう場合には、これを扱う方法としての確率論が導入されるわけです。

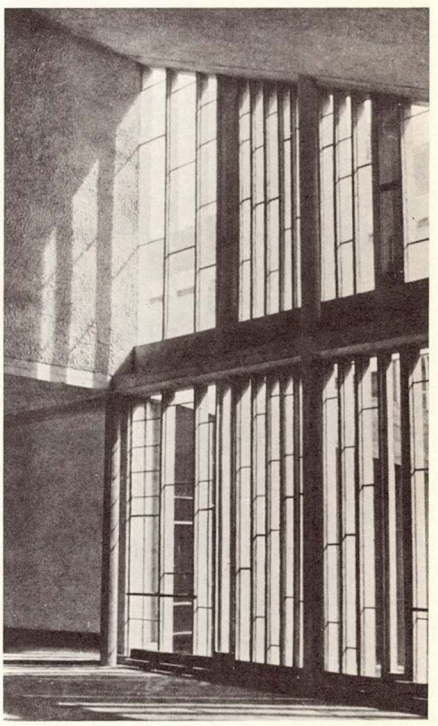


確率は時間の上で音の点をえらび、その長さ、高さを与えるのです。またグリサンドの角度も確率論的に分布させることができるわけです。

1956年に作曲しました弦楽合奏のための「ピソプラクタ」はこの確率論によるもので、全体としてはガウス分布にしたがっています。若かりしころの情熱にほだされてこれを作曲していました。」（この部分を吉阪さんにとくに訳してくれとたのむ。）（笑い）

—スライドでピソプラクタのグリサンドを説明—　—テープ音楽〔ピソプラクタ〕

■ラ・トゥーレットの僧院



ラ・トゥーレットの僧院の部分

「さらに第3番目の問題に入りましょう。いろいろなグループの中で組織だての方法として、いままで秩序だったものが順次くずれていったわけですが、その秩序と無秩序との境界あたりのところを、スライドで説明してゆきたいのですが、ル・コルビュジェのやったラ・トゥーレットの僧院のときの研究を通してお目にかけたいと思います。」

スライドは、その設計過程を示すものであった。窓の格子の配置に確率分布の手法を用いたこと、日本の拍子木のうちかたにも似た連続性、黄金比、モデュロール等を

用いながら、各部の設計のなりたちをル・コルビュジェの意見も交えながら説明してゆく。

過去の手法から脱却して、もっと自由に、さらに自由に、多様なものからさらに多様なものに、遊びから遊びに、光から光へ、彼の音楽と建築は、わたしたちの心を打つ魅力の空間となっている。エレメントの記号化とか論理演算などの新しい方法で、いままで限定されていた音、空間の表現の世界から自由に自分のイメージを描けるようになったともいえる。つまり彼はもっとも有効な方法で自己の内面的なものを表現し、さらに人間と宇宙を一体なものと考えれば、まさに世界観を表現しているのではないだろうか。そして音楽でも建築でも、その対象を組織づけ、秩序づけてゆく中で、自からの手法から超越したところに、その作品が円熟してゆく真の秘密がありそうだ。建築は歌うものでなければならないとル・コルビュジェがいうように、彼の手にかけられた作品はまさに逍遥しているかのようだった。

■クリュニーのポリトープ

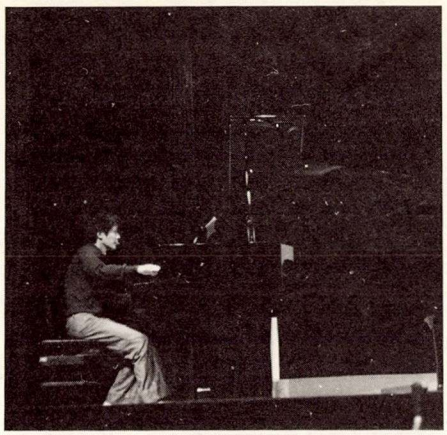
音の空間化に対応して、光の時間化なされた作品が紹介された。モントリオールのポリトープ（1967年）ローマ時代の浴場の遺跡で行われたクリュニーのポリトープである。

「巨視的に見ればメロディカーブであるし、微視的に見れば音の音圧の微妙な変化をあらわすもの、それの一般化として、ランダムウォークという概念があります。コンピュータで音や光を作り、それを操作する場合に、そのランダムウォークを利用して実現するわけです。

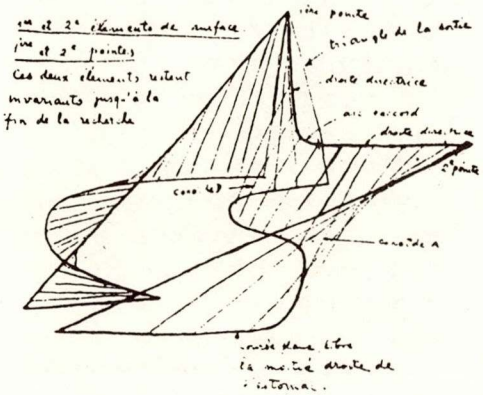
クリュニーのポリトープの場合、7トラックのテープと、3つのレーザー、600の電球が、コンピュータで計算されたディジタル・テープでコントロールされます。電球といってもフラッシュですけれども、25分の1秒で点滅します。一つの電球がついて次のが25分の1秒後につく、そういうことが起これば、あたかも光が動いているような錯覚が起こるわけです。いろんなスピードが使われます。電球は天井にありますが、天井をいろんな領域に分けてそこで一つのリズムをつくり出すわけです。」

これらは純粋に抽象的である。彼も自らいうように、それは透き通った彫刻と呼べよう。視覚的なものと音響的なものを同時に展開してゆく可能性をこのように示されるにつけ、わたしたちが過去を前にして感じるコンプレックスのようなものから解放されるような気がした。スライドをながめるだけであっても、それはわたしたちを夢中にする空間であるに違いないと思った。

■ピアノ演奏、高橋悠治



第Ⅱ部では、集合論、群論、記号論理学的手法を用いて作曲されたピアノ曲「ヘルマ」と「エブリアリ」を高橋悠治氏が演奏した。「ヘルマ」は高橋悠治氏にささげられたもので、彼はこれを暗譜で自己の限界をつき破るようないきおいをもって弾いた。それは彼のクセナキス氏への親密な劇的表現とも受けとれ、その姿はほんとうに美しいものであった。



■おわび

わたしども企画側の不手際で、当日ずっと立ったままで耳をかたむけておられました方々、そして満員で入場できず、やむなく帰らざるを得なかった方々に対しまして、ここにつつしんで深くおわびを申し上げます。

また、用意しましたオーディオ装置が、クセナキス氏のテープ音楽を十分に表現できる能力をもたず、彼にも、また皆様にもご迷惑をおかけしましたことや、吉阪隆正氏、高橋悠治氏にも、いろんなご意見などを聞く時間をもてなかったことなど、その他の数々の反省事項は、これからの企画に大いに生かしてゆく所存です。どうかご容赦下さいますようお願い申し上げます。

上記のレポートについては、ヤニス・クセナキス著、高橋悠治訳「音楽と建築」（全音楽譜出版社）、音楽芸術、1977年1月号、ヤニス・クセナキス「わが技法について」（音楽之友社）を参考にし、一部抜萃しながら、当日の録音テープを中心にまとめたものです。（瀬戸本　淳　記）

新しい音楽空間の体験

室　川　康　男

音楽にいささか興味を持ち、建築設計に携わっている私にとって、また、たまたま「音楽と建築」を読んで、これまで親しみの薄かった確率論や集合論を駆使して作曲された音楽に対して、好奇心を駆り立てられていた私にとって、今回の企画を知った時、演奏も聴けるとあって、胸の高鳴りを押さえることができなかった。

近頃とくに感ずることなのだが、音とは何と不思議なものなのか。なかでも音楽的に把握できる音の響きが心の中に起こす波紋は、一大シンフォニーにも匹敵するだけの価値があるように思えてならない。たとえばピアノのキーを無雑作に叩く。一つの和音が静寂の中に拡がってゆく。ある時は明るい輝き、ある時は暗い悲しみ、またある時はブラームスのシンフォニーから喚起される熱情の中に身を沈めることができる。この音自身が音楽であり、またある意図のもとに組み合わされて、異なった音の空間を生み、聴衆の心の世界と共鳴し合い、反撥し合いながら音楽として存在してゆくのだと思う。

実のところ、今まで私は現代音楽に接する機会が余りなかった。いわゆるクラシック音楽のみで充分満たされていたのである。しかし今回現代音楽の中での特異な存在であるクセナキス氏の音楽理論と、その作品を体験できて、音の響きに対する興味も相まって、氏の世界をより身近に感じ取ることができたように思える。作品も電子音ではなく、従来の楽器（弦・ピアノ）による演奏形態が採られていたため、既存の音楽との比較も容易で、新しい音楽空間の一例を具体的に体験できた。

音楽芸術の特異性と言えると思うが、指揮者や演奏者による解釈の違いにより同じ作品からいく通りもの音楽が生れ、今日まで立派に芸術として存在している。演奏者の存在が作品に永遠の命を与える重要な要素となっている。この点に関してクセナキス氏の音楽の場合、演奏者の個性が彼の構想に対してどの程度の重要性があるのかという疑問が起こった。たぶん演奏者の個性を超越して、一つの現象を音により表現し、構成すること自体が重要なのであり、その可能性の追求による新しい音楽芸術の開拓が彼にとって「音楽する」ことなのでないかという印象を受けた。演奏者の個性不在の音楽は私にとっては寂しいものであるが、これを機会に既成概念を捨てて、音の織り成す新しい世界を楽しんでゆきたいと思っている。

（㈱大林組本社建築本部　設計部）

建築＋音楽
ヤニス・クセナキスを聴く

山崎　泰孝

クセナキスの講演会を聞いて、久し振りに充実感を味わった。彼のことはコルビュジェの作品を研究するにも欠かせない存在だし、また一方私の好きな現代音楽の世界でも彼の作品は繊細ながらダイナミックな音の世界を示してくれる。

クセナキスは、建築家としても、音楽家としてもそうポピュラーな存在ではないようだ。ブラッセル万博のフィリップス館や、EXPO'70での音楽など比較的一般的な場に登場してはいるが、そういった音楽や、建築の仕事を通じて知られるクセナキスと、また一方、レジスタンス運動の闘士として人生を力強く生き抜いてきた筋金入りの芸術家、実践者として知る人ぞ知るの人物である。

私がクセナキスの仕事に興味を覚えるのは、彼のそういった生き方が、単に建築、あるいは音楽といった一つの分野の表現に終わらず、〈環境〉として、広く音楽も光も空間もすべて一体化されたものとして創造され、具体的に実践していることである。

環境としての芸術ということは、よくいわれることである。が、それは往々にして理屈上の一体化であったり、あるいは作品として意図しても、一体化したことの良さ、おもしろさを優れた作品にまではつくりきれず、中途半端な混合作品に終わってしまっている場合が大部分である。環境芸術として、真にその存在の意味が評価され得るためには、建築そのものとしても、また、音楽なら音楽そのものとしても、個々が質の高い内容を持っていなければならないし、その上、総合された結果としてもさらにいい作品でなければならないのである。

クセナキスの作品は、そういった意味で、優れた内容を持ってわれわれに迫ってくる。とりわけ、今回のコンサートでは、彼の音楽と建築が何故一体化し得ているのか、「創る」ということは建築も音楽もその原点は全く同じであるということを非常に明快に示してくれた。これは参加者にとって大きな収穫であったと思う。

私自身は、現代音楽についてはそう詳しいわけではなく、むしろ単なる愛好者にすぎないが、現代音楽がいわゆるクラッシック音楽の領域を超えた、もっと自由で、ある意味で空間的な点で、想像力を刺激されてきた。

今回は、スライドによってその創作のプロセスが展開されながら、同時に音を実体験するという方法がとられたので、彼の創りだしている世界が理屈ではなく現実としてわれわれの前に繰り広げられていったのはさらに良かった。また、遺跡の内部で行われたレーザー光線と音楽によるイベントも興味のあるものであった。このような歴史の重みのある空間が、音と光によって再生され、その歴史の重みがかえって現代における空間として生きてくる試みはさすがである。クセナキスがさまざまな場で、狭い分野にこだわらず、自己の世界を表現することに積極的な姿勢をとっていることを強く感じた。平生、建築は建築、音楽は音楽といった狭い分野でしか評価されない日本の状況を思うと大いに勇気づけられた。彼が幅広い創作活動の中で必然的に数学的な発想やシステムを創作方法として創り出していることは大変よくわかるし、だからこそ、彼のダイナミックな世界が具現できるのである。

一般的には、とくに建築界では、とにかく、システムをつくり出すと、それに振り回されて、つまらない作品になってしまう。モデュールを作ると、そのモデュールの概念に束縛されて、それから自由になりきれないし、創られたものも、モデュールの存在がありありと見えて、つまらないものになってしまう。クセナキスの作品が、優れた芸術の世界にまで高められているのは、そうした彼自身が創作のシステムを持ちながら、それ自身から解放されたところで創っているからである。これはライトがグリッドを使い、コルビュジェがモデュールを使いながらも自由な造形をやっているのと同じことである。

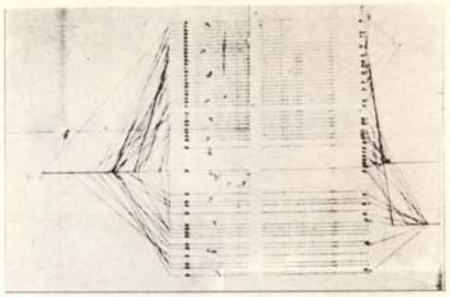
クセナキスの話にばかりになってしまったが、今回の催しの魅力のもう一つのポイントは、クセナキスとは古い知己で、日本では幅広く活躍しておられる吉阪先生とクセナキスの音楽作品でのよき表現者である高橋悠治氏の2人に参加していただいたことである。お二人ともさすがに古くからのお付き合いらしく、単なる通訳や、演奏者に終わらず、人間的な交流を感じさせてくれたのはさらに嬉しかった。時間がなくて、十分に3人の意見交換が聞けなかったことのみが残念に思われた。

適当なお話でお茶を濁してしまうような講演会が少なくないときに、この催しは本当に熱意のこもった誠実な内容を持つものであったことを嬉しく思う。

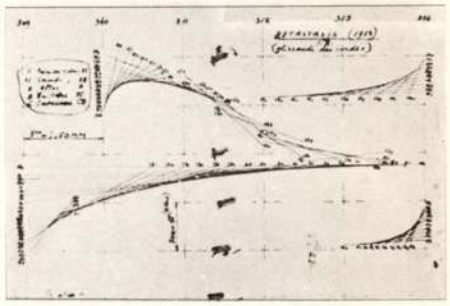
最後に、この催しを実現するにあたって、高橋さん自身、および吉阪先生の大変なご協力があり、協会の若いメンバーや、大阪大学の中嶋鴻毅氏の熱心な努力を高く評価したい。

今後も建築協会としては、東京ではやらないような、このような幅広い活動をしておられる方々の講演を企画して下さるよう期待しています。

（AZ Institute 環境計画研究所所長）



「メタスタシス(変化)」の音譜（アサヒグラフ12・3号より）



同　上

この催しが若い会員の集い小委員会の昭和51年度の企画として議題に取りあげられたのは1976年4月でした。建築協会としては初めての試みで、何をどういう風に進めてゆけばよいのか、雲をつかむようなことで、言葉のわからないクセナキス氏との交渉、また来日される確証やはっきりとした月日もわからず、実現できるのかどうか不安な心ぼそい空白の2カ月間が過ぎ、6月にグループM² の中嶋氏の紹介で初めてピアニストの高橋悠治氏にお目にかかり、強引なぐらいにクセナキス氏の来阪をお願いして、内諾を得ることができました。これがきっかけとなって、それ以後の企画打ち合わせについては、日本ゼネラルアーツ、劇団〝四季〟広報課の高橋貞一氏に多大のご尽力をいただいたのを初めとし、9月に入りこの催しについての主旨を説明してお願いしたところの協賛会社や後援の朝日新聞社の方がたがみんな大へんご協力下さったことが担当委員へのはげましと喜びへとつながり、非常な努力の結晶のみのりとなったと思います。またさらに早稲田大学の吉阪教授のご快諾を得て高橋悠治氏とともに通訳をお引き受け下さることが決まり、委員はますます張り切って準備を進めることができました。

しかし軌道に乗ってからも、紆余曲折、悲観したり、喜んだりの連続で、会誌の掲載、チラシ・入場券の作成、ポスターの出来上がり、プログラムの完成とだんだん開催日（11月15日……これもギリギリまで決まらずに大慌てでしたが……）が近づいてきてもなにか実感が湧いて来ず、やっとクセナキス氏のお顔を拝見して「さあ始まるのだぞ」と初めて出発点に戻った記憶があります。

このレポートをご覧いただいて、もう一度それぞれのご感想などをお寄せ下されば幸いです。

また参加された方からも当日の会場、マイク調整の不備など二・三のお叱りを受け恐縮しておりますが、今後の企画活動の貴重なるご意見として、反省いたしております。

最後にこの催しに多大のご協力を賜わった吉阪先生、高橋悠治氏をはじめとし、下記の方々に誌上より感謝とともに厚くお礼申しあげます。

企画協力　グループM²　中嶋鴻毅殿
日本ゼネラルアーツ、高橋貞一殿
共　催　大阪楽友協会音楽研究所殿
後　援　朝日新聞社殿
協　賛　サントリー株式会社殿
(株)竹中工務店殿
松下電器産業株式会社殿
コラムデザインセンター殿
賛助協力　(株)環境開発研究所　小川　正殿

都市設計資料—18—

《海　　岸》

——市民的利用とその景観——

神戸都市設計資料研究会

自然海岸、人工海岸を含めて海岸のもつ機能をまとめると、**表－1**のようになるだろう。つい最近までは、防災の対象および生産活動の場としてのとらえ方が主流をなし、環境保全機能面、親水レクリエーション機能面でのとらえ方は弱かった。産業用に埋め立てられ、巨大な工作物が設けられることにより、海辺に近づく機会を奪われ、そこに行って楽しむ環境も損われている。

まず、防災機能を基本条件としながらも、護岸、堤防の天端高低減、形態の工夫、材料の検討など、利用面、景観面についての配慮が強く求められている。　（佐野正明）

表－1　海岸の機能—人との関わりあい—

機　能	内　容	備　考
防災機能（国土保全）	波エネルギーの制御	高潮対策 侵食対策
生産空間機能	工業 流通活動	臨海工業地帯 港湾
	漁業（漁労、養殖）	漁港、養殖場
環境保全機能	自然の循環系・生態系（熱エネルギー、海中の光合成、生物バランス、その他） 自然景観	水、空気（オゾン）熱、生物
親水レクリエーション機能	レクリエーション空間 アメニティ空間	海水浴、釣、潮干刈、散策、ボート、ヨット

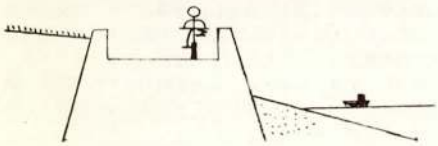
■　利用面での工夫

1．護岸の遊歩道化—浜の静歩道（明石）

明石海狭の潮騒をのぞむ海岸沿いには、6kmにわたって遊歩道・サイクルロードとして「浜の散歩道」が整備され市民に親しまれている。



「兵庫の自然歩道」より



2．水際線の公園化——神戸港ポートアイランド北公園（写真Ⓐ）横浜港山下公園（写真Ⓑ）

都市部の水際線の市民的利用は、とりわけ潤いと安らぎを与える場として重要視されねばならない。両公園は都市部に近接した貴重なものであり、〝みなと〟を借景として市民に親しまれている。この場合、ポイントとなるのは防波堤により波の影響を受けない港内のような場所で、護岸天端高をできる限り下げ、水面を近づけることである。



Ⓐ



Ⓑ

3．護岸背後を階段化・スロープ化する—ストックホルム・シティーホール対岸

水面越しにシティーホールをのぞむビューポイントとして、護岸天端高を下げ、広い背後地を確保し、スロープ階段で処理することによりヴィスタを広げている。市民はベンチにすわり、広々とした豊かな景観を楽しみながら日光浴をしている。



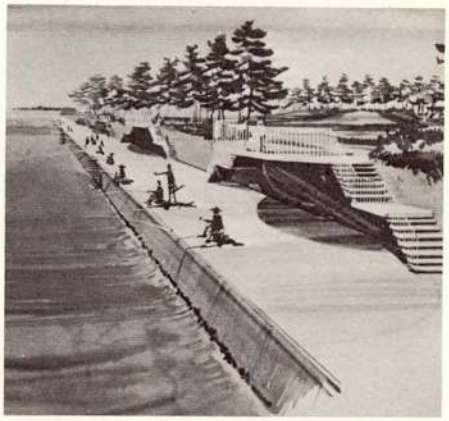
4．護岸に手すりや階段を設ける-神戸市垂水海岸

国道2号線に沿った、この海岸では護岸上に粋な手すりを設け、護岸コンクリート面の白々しさをカバーし、また、歩行可能に整備した被ふく石上に降りられるよう階段を設けている。



5．防波堤を釣場とする—大阪南港フィッシングパーク構想

防波堤を二段状にし前面天端を釣場にするとともに、人の歩行を可能にし、防波堤の要所々々にはくず箱、救命具などを備えた休憩所を配置する。また、背後の公園には土手を設け、潮風に強いクロマツを主とする植栽の計画もある。

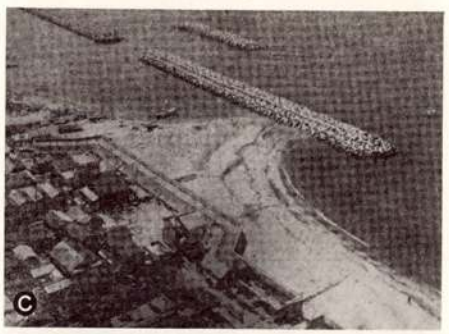


表－2　潮風に強い樹種一覧表

高　木	中　木	低　木
クロマツ（常緑） ヤマモモ（常緑） マテバシイ（常緑）	カイズカイブキ（常緑） ヤブツバキ（常緑） サンゴジュ（常緑） イヌノキ（常緑）	トベラ（常緑） シャリンバイ（常緑） ハマヒサカキ（常緑） ハマゴウ（落葉）

6．離岸堤により砂浜を呼び戻す—神戸市舞子海岸（写真Ⓒ）

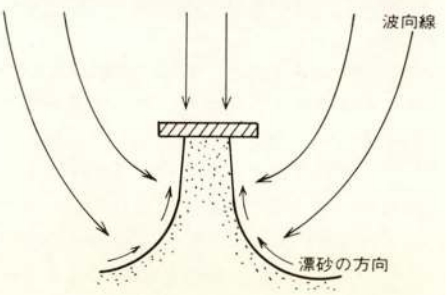
侵食対策として設置された離岸堤はトンボロ現象を起こす。戻った砂浜には、アサリ、ハマグリなどの貝類が棲息しはじめ、潮干刈りや海水浴ができるようになった。ほかに皆生海岸（**写真Ⓓ**）など建設省直轄事業として9海岸、補助事業として約100海岸ある。



Ⓒ



Ⓓ



トンボロ現象

7．公有水面を私物化した悪例―兵庫県高砂海岸

テトラポット上は、危険を伴いながらも、釣場として利用されている。しかし、一部企業は埋め立てにより、謡曲「高砂」で知られる遠浅の豊かな海岸を奪っただけでなく、こうしたささやかな市民の願いさえも踏みにじっている。ここから市民の手に豊かな海岸を取り戻す入浜権運動が発生している。





8．積極的なレクリエーション開発事業―ラルボット海岸（モンテカルロ）の養浜事業

延長520m、幅30mの砂浜を造成し、海浜沿いにショッピング・プロムナードを設け、周辺の都市計画とあわせて、最上級のリゾート・ビーチを形成している。



自然海岸のとき「海外の建設No.18」より



人工海浜完成後「海外の建設No.18」より

■ 景観上の工夫

1．石積み防潮堤―神戸市須磨海岸

国鉄山陽本線に沿って、この海岸では間知石積みを施してあり、波返しのために設けてスロープとあわせ、城の石垣を思わせる優美さを醸している。



「土木計画写真集」より

2．階段式護岸―広島県厳島海岸

自然石張り階段式護岸により、海岸へのアプローチが自由であり、周囲の景観もこわさないでいる。



3．突堤に植栽する―兵庫県高砂海岸

この例は導流堤（河口埋塞を防ぐ機能をもつ突堤）であるが、海の青さと木々の緑がよく調和し、構造物の味けなさをカバーしてなお余りある。



4．コンクリート斜面海岸―神戸塩屋漁港

漁港としての利用面から船上げ斜面としてコンクリートで被われ、その上に砂が運ばれ、自然海浜に近い景観を保っている。



5．自然景観を破壊する埋め立て護岸線―北九州田野浦

瀬戸内海国立公園内にある関門海峡に隣接した田野浦地区の直線的埋め立て護岸線は、採石現場の山の地肌の露出とあわせて、景観（遠望）を著しく破壊している。



神戸都市設計資料研究会

赤松　勉（神戸市土木局公園緑地部施設課・造園）
稲毛　政信（神戸市住宅局住宅部建設課・建築）
角本　直樹（神戸市都市計画局計画部工務課・土木）
笹原和喜男（神戸市都市計画局計画部計画課・建築）
佐野　正明（神戸市開発局計画課・土木）
西川　攻（神戸市都市計画局計画部・建築）
福井　直樹（神戸市土木局公園緑地部施設課・造園）
増渕　昌利（神戸市住宅局住宅部建設課・建築）
村主　清家（神戸市都市計画局計画部計画課・土木）

日本建築協会

月間の動き

昭和52年 1月分

理事会

19日　4時～5時　於会館集会室
出席者　井上漠理事ほか　13理事、海上監事、中村編集委員長　薮本、栂野和歌山正副支部長
議事　(1)通常総会開催の件
(2)本会創立60周年記念日の祝賀行事の件
(3)寄附金受領の件
(4)財団法人大阪住宅センター理事就任承認の件
(5)入退会者承認の件
(6)報告事項

技術部門評議員懇談会

26日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　野々村評議員会議長ほか6名
議事　技術部門選出評議員候補者6名推せんの件

事業委員会

若い会員の集い小委員会
11日　6時～9時　於会館集会室
出席者　森下副委員長、印藤・瀬戸本・千葉各幹事ほか9名
議事　(1)第8回「建築と音楽」の実施報告
(2)第9回、第10回の企画について
(3)次年度委員構成について

広報小委員会
12日　6時～8時　於会館集会室
出席者　南副委員長，佐藤幹事ほか7名
議事　(1)PR・研修・親睦各分科会の事業報告及び事業企画について
(2)次年度委員構成について

見学会小委員会
13日　6時～8時　於会館集会室
出席者　堀田副委員長，水谷幹事ほか5名
議事　(1)11月、12月の見学会実施報告
(2)1月の企画報告及び担当委員の選定
(3)2月以降の企画について
(4)次年度委員構成について

委員会
20日　6時～8時　於会館集会室
出席者　窪田委員長，大橋・小泉・堀田・南・森下各副委員長ほか2名
議事　(1)各小委員会の事業報告及び事業企画
(2)次年度委員構成について
(3)創立60周年記念日の祝賀行事

編集委員会

4月号施工材料特集編集幹事会
12日　4時～6時半　於会館3階会議室
出席者　坂本良高、柳生研太郎、野井正晴各特別幹事、藤田幹事
議事　(1)4月号施工材料特集の企画
(2)「施工材料の頁」の企画

編集委員会・広告企画小委員会合同委員会
14日　4時～6時　於会館集会室
出席者　中村委員長、伴副委員長（代理永沢）ほか9名
議事　(1)2月号「兵庫県特集—兵庫の風土と建築・建築界」特集経過報告
(2)3月号「ニュータウンの管理」および「60周年記念号」特集報告
(3)4月号施工材料特集・5月号法令特集・6月号計画特集の企画について
(4)収支および広告企画について
(5)委員交代の件

5月号法令特集編集幹事会
17日　4時～6時　於会館集会室
出席者　西尾編集委員、梶原法規委員ほか2名
議事　5月号法令特集企画

6月号計画特集編集幹事会
28日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　荒木幹事、藤本尚久・田中直人特別幹事ほか3名
議事　6月号計画特集企画

建築データシート委員会

企画分科会
18日　正午～2時　於会館3階会議室
出席者　井上委員長、酒井幹事ほか2名
議事　(1)建築データシート製本版（仮称）発行計画について
(2)そのほか

委員会
19日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　井上・真塚正副委員長、岡本・羽入樋口各幹事ほか9名
議事　(1)No.58号（5月発行）の掲載予定シートについて
(2)建築データシート製本版(仮称)発行計画について
(3)そのほか

住宅委員会

委員会
18日　5時50分～7時30分　於会館集会室
出席者　小西委員会ほか12名
議事　(1)住宅委員会の活動について
(2)ビワコローズタウン住宅コンクール審査協力に関する件

建材委員会

委員見学会（大同鋼板(株)本社工場）
28日　1時半～8時
見学会終了後、宝塚対嵐荘において次年度の委員構成、新建材紹介など審議の後、懇親会開催。
参加者　15名

見学会

生田署庁舎・兵庫県警察生田独身寮建築工事の見学会
24日　2時～4時
参加者　29名
設計監理　兵庫県建築部営繕課
施工　株式会社竹中工務店

清酒大関本社工場の見学
28日　2時～5時
参加者　46名

建築6団体合同新年交礼会

4日　1時半～2時半
於大阪コクサイホテル
参加者　名

建築クラブ朝食会

18日　8時半～9時半
於大阪グランドホテル
出席者　72名
当日は大阪大学名誉教授大養孝氏より万葉の心についてお話を伺った。

1月の入会者（敬称略）

〔団体会員1社〕
(株)　新日本技術コンサルタント
〔個人会員12名〕

近藤　浩司	塩田　孝二	白石　静二
勢川　和則	千種　光雄	中馬　宗武
濱田　正雄	福田　博司	松本　孝夫
百野　初男	守口　研二	渡辺　功一

構造設計者募集

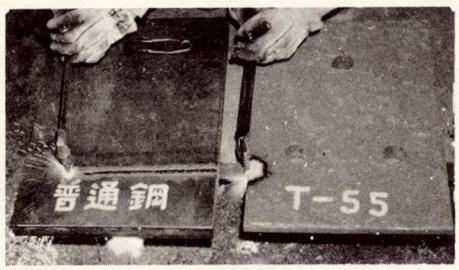
■資格　建築専門学校卒業以上・30才前後の方
■面接　随時（履歴書ご持参でお越し下さい）

株式会社　岩崎建築設計事務所
代表取締役　岩崎仁司
大阪市淀川区西中島4丁目3番21号
シャンポールビジネス新大阪1010号室
TEL　大阪（305）4077
※　地下鉄西中島南方下車徒歩3分

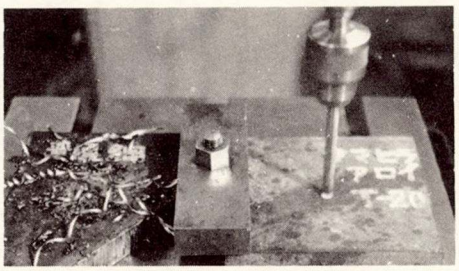
良い品を全国へ―― クマヒラ

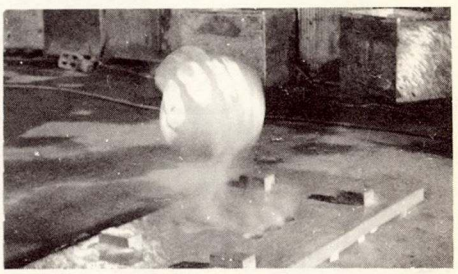
金庫扉の生命をご紹介しましょう

金庫扉の生命は何と言っても扉の内部に挿入された超防盗合金―クマヒラアロイです。クマヒラアロイは、3500°Cにも達する酸素アセチレンガスでも焼き切れず、超硬チップ付きの電気ドリルでも穿孔出来ません、又、高所より 650kgもの鋼球を落下させても割れないまったく理想的な特殊合金です。クマヒラの金庫扉には、すべて、このクマヒラアロイが挿入されてあります。



1. 耐溶断テスト


2. 耐工具テスト


3. 鋼球落下テスト

クマヒラ
株式会社 大阪熊平金庫店

本社／大阪市南区順慶町通２丁目４９番地 ☎262-２２２１
京都営業所／075-361-5411 和歌山営業所／0734-23-4768
神戸営業所／078-331-5404 姫路 営業所／0792-22-0863
北陸営業所／0762-62-0701 堺 営業所／0722-21-6929

八幡

高炉セメント

A種・B種・C種

エスファイバー®

ロックウール製品・法定不燃材 不燃第1022号

新日本製鉄化学工業株式会社

本 社：東京都中央区銀座6-17-2(木挽館) 03(542)1321
名古屋営業所：名古屋市中区栄4-1-1(中部日本ビル) 052(261)8216
大阪営業所：大阪市北区中之島3-3(朝日新聞大阪本社ビル) 06(202)5251
高松営業所：高松市亀井町5-1(114銀行ビル) 0878(61)4320
広島営業所：広島市基町13-7(朝日ビル) 0822(28)1875
福岡営業所：福岡市博多駅3-2-1(日本生命ビル) 092(441)2401～3

＊近代建築様式に適した特殊ルーフィング
＊東亜アス防水工事ハイボンデル工法

東亜印ルーフィング

東亜工業株式会社

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4－27　TEL 0729－94－5682
営業所　東京・名古屋　　工　場　大阪・東京・和歌山

建設省計振発第55号認可

東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4－27　TEL 0729－94－5682

無汚染性・内装用シーリング材

SE5011

シリコーン・シーラントの特性に防かび性を加えました。

洗面所、浴室など湿度の高いところでのシーリング材にはかびがつきもの。ホテル、旅館、レストランなど美観を大切にする場所では悩みのタネです。SE5011は、かびを寄せつけず、いつまでも純白さを保つので、安心してお使い頂けるシリコーン・シーラントです。是非お試し下さい。



いつまでも白さが映えるシーラント

トーレ・シリコーン株式会社

本店・東京営業所　TEL (03)243-1551(代)　〒103　東京都中央区日本橋室町2-8(三井ビル6号館)
大阪営業所　TEL (06)373-6801(代)　〒530　大阪市北区小深町3-1(阪急ターミナルビル9階)
名古屋営業所　TEL (052)563-3951(代)　〒450　名古屋市中村区堀内町2-32(堀内ビル4階)
九州営業所　TEL (092)712-6158(代)　〒810　福岡市中央区天神2-13-7(福岡長銀ビル5階)
仙台営業所　TEL (0822)27-9528(代)　〒980　仙台市一番町2-3-20(第3日本オフィスビル9階)
広島営業所　TEL (0222)49-7811(代)　〒730　広島市大手町2－7－15(広島三井ビル6階)
北陸営業所　TEL (0762)23-1585(代)　〒920　金沢市片町2－2－15(北国ビル3階)
千葉営業所　TEL (0436)22-5743(代)　〒299－01 市原市千種海岸2－2

ニチアスの不燃建材

○トムウエット……鉄骨耐火被覆工事(湿式吹付岩綿)
○キャスライト……鉄骨耐火被覆工事(成型耐火被覆材)
○スプレークラフト……鉄骨耐火被覆工事(吹付ロックウール)
（トムレックス—R)
○ニチアスラックス耐火間仕切壁
○ニチアスフロア……フリアクセスフロア
○ロックウール浮き床工法……集合住宅の床衝撃音防止

N.A.K.
ニチアス
日本アスベスト株式会社

本　社　〒105　東京都港区芝大門１－１－26　☎03（433）７２４１（大代表）
東京支店　〒104　東京都中央区銀座６－６－５　☎03（572）０３２１（大代表）
大阪支店　〒542　大阪市南区塩町通り４－25　☎06（252）１３７１（代　表）
建材工事 06（245）3391(代表)　建材販売 06（245）3395(代表)
出張所　岡山・広島・姫路・四国



日鐵サッシ
公共住宅用

BL—KJ
KJ　AL—007
BL　BO—034
スチールドア　P—003

新日鐵グループ
㊎日鐵サッシ販売株式会社
㊎日鐵カーテンオール株式会社

本　社　東京都千代田区神田錦町１－８　☎03—295—4511
大阪支店　大阪市北区伊勢町30伊勢町東洋ビル　☎06—364—1171
支　店　東京・大阪・名古屋・仙台・広島・高松

ハーフ・ビルディング・エレメント方式

ダイアパーティション-80

●特長

- ハーフ・ビルディング・エレメント方式による「やとい実」構造。
  解体、再組立の際、どこからでも取りはずしが可能です。片面を組立てた段階でパネル中空部に配線、配管ができ、ジョイント部分も柱など表面に出ないのでスッキリした仕上りとなります。
- 遮音性は標準パネル（角波裏打）で250～2000Hz平均36.5dB。平均42.7dBの石膏ボード裏打の高遮音パネルも用意しています。
- すぐれた防火性能　不燃(個)第1257号　表面は塩ビ鋼板〈ヒシメタル〉使用。
- 部材規格　パネル規格寸法　W＝900、1200（目地芯々）厚さ80㎜　高3100㎜以下。
  〃　規格色　ライトグレー、ベージュ、木目（チーク柾目）。

ダイアパーティション-50

- フル・ビルディング・エレメント方式。パネル厚み50㎜。レディメード方式　上下左右方向ともアジャスト可能。防火性能　不燃(個)第1257号

準不燃、アルミスタッド式―新時代のフリーパーティション

クレープウォール®Ⅲ

三菱樹脂

- PPタイプ・Pタイプ、天井から床まで遮断するエアータイト式。
- Sタイプ、上下に空間のあるスクリーン式。
  上記のほかに各種タイプを用意しています。

本　社　東京都千代田区丸の内2－5－2　三菱ビル　〒100
☎ 03（283）4105
大阪支店　大阪市東区伏見町5－1　大阪明治生命館　〒541
☎ 06（203）2301
支　店　東京 03(283)4385　大阪 06(203)2301
名古屋 052(561)5591　福岡 092(281)8281

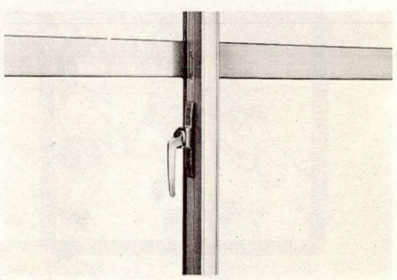


音を入れない。音を出さない。

近頃、不思議に静かだなあ。

不二の防音サッシはワンタッチ。

静かさ5倍のサッシと、いま注目を集めている不二サッシの住宅用防音サッシ「FK-防音」。不二サッシ独自の"召合せ締り機構"の採用で、窓を二重にすることなくすぐれた遮音性能を発揮します。ワンタッチのハンドル操作でピタリと遮音。もちろん二重の窓にくらべ開閉の操作も楽にでき、しかもお値段も経済的です。静かで快適な暮らしの実現に、ぜひ不二のホームサッシ「FK-防音」をお役立てください。



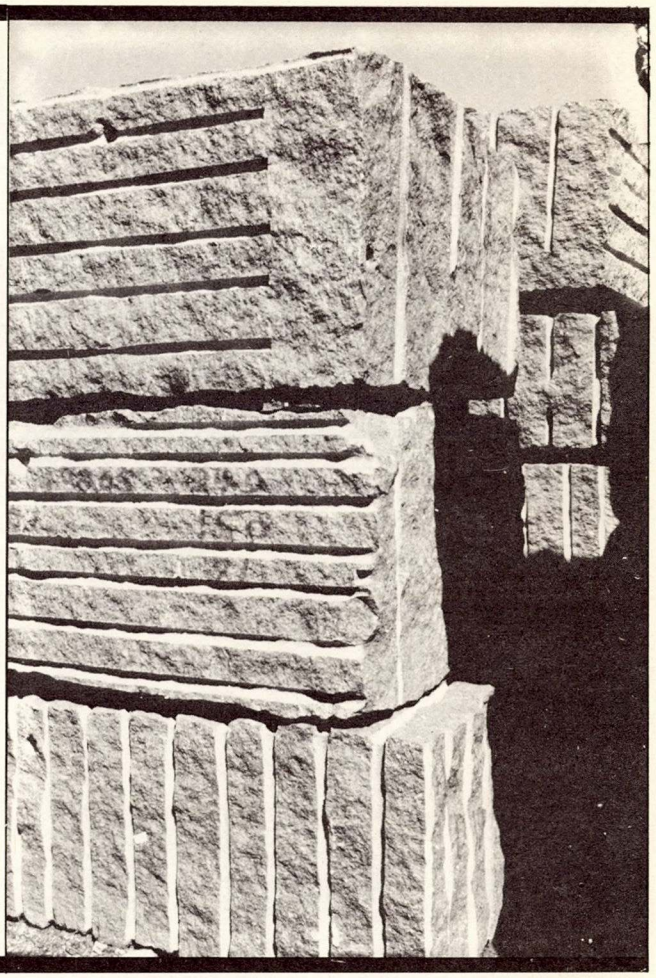
●一般住宅用サッシに比べ5倍の優れた遮音性能です。●ＪＩＳ防音サッシ規格に合致するわが国初の住宅用防音サッシです。●抜群の強度を誇り、防風雨、防塵、防雪に威力を発揮します。●掃除がしやすく、水密性のよい階段式下枠を採用しています。●色は、シルバーと好評のニューゴールドカラーを用意しています。●独特の5点召合せ締り機構を採用（実用新案申請中）

不二のホームサッシ
FK-防音

不二サッシ　東京都中央区日本橋室町1-3(日本橋大栄ビル)　〒103 TEL.(03)279－1611(大代表)

歴史は石が伝え
建築史は大理石が
伝えました。

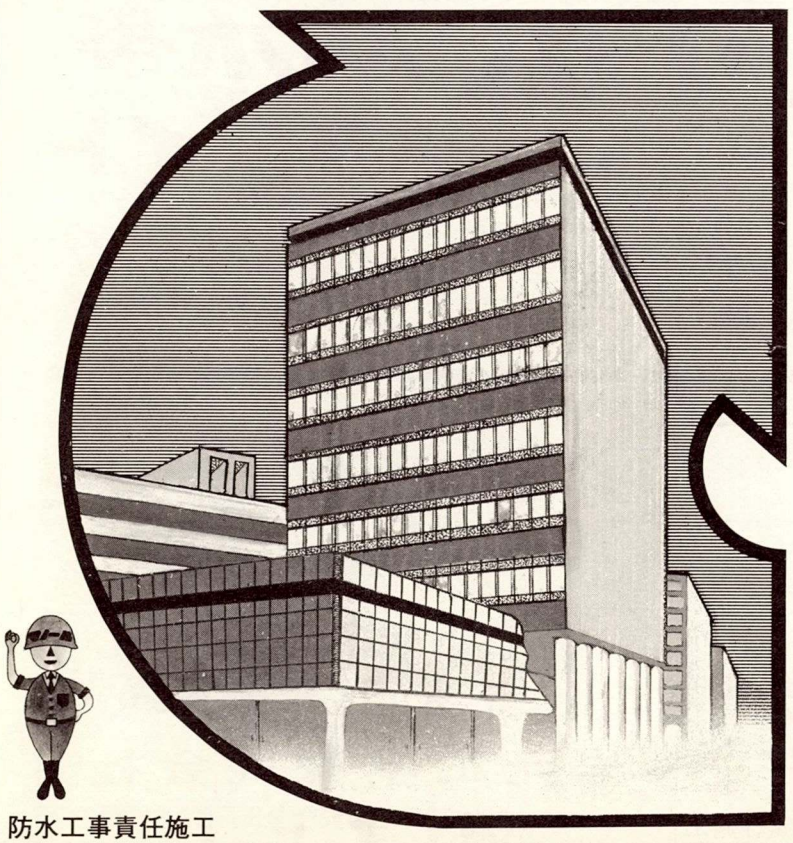
これからの建築は、大理石カーテンウォール
“MAPCON” と **“PLMARB”** が主役です。



株式会社 矢橋大理石商店

本　　社　503－22－岐阜県大垣市赤坂町273番地　TEL　大垣（0584）71－1211（代表）
大阪支店　541－大阪市東区高麗橋２－９野村ビル５階　TEL　大阪（06）202－4905（代表）
東京支店　TEL　東京（03）214－3561（代表）　広島営業所　TEL　広島（0822）9i－１８６３
名古屋支店　TEL　名古屋（052）561－3441（代表）　札幌営業所　TEL　札幌（011）241－４７７６
福岡営業所　TEL　福岡（092）721－0384（代表）　北陸事務所　TEL　金沢（0762）42－４９０１

現場の信頼に応える



防水工事責任施工

マノール 製品

セメント防水・防湿用	防水剤
セメント急硬・止水用	急結剤
セメント硬化促進用	早強剤
セメント耐寒・防凍用	防凍剤
コンクリート型枠脱型用	剝離剤
ノロ湿潤型モルタル密着用	接着剤
塗布型モルタル密着用	カプラー
非加硫ゴムシート防水用	ラバーシート
ウレタン弾性塗膜防水用	ウレタン
化学反応タイプ離型用	リケーダー
セメント起泡・軽量・裏込用	エスコート
場所打抗モルタル混和用	エアコール

— セメント混和剤・助材綜合メーカー —

株式会社 油脂化工社

東京都品川区二葉1－18－8　☎東京（787）1131代表
東北支店　福島市下野寺字遠原3－2　☎0245（91）1131(代)
関東営業所　茨城県土浦市大町14－3　☎0298（23）1131(代)
盛岡営業所　岩手県盛岡市月ケ丘3－39　☎0196（45）1331(代)
大　　阪　大阪市東成区東中本2-17-26　☎　06（974）1131

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

シート防水・ウレタン防水・シングル葺工事

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　TEL 06-364-0206 代表

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5(電話221 2923)

OKUYAMA KAKOGYO WATER-PROOF OAM

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

新工法！
プレノテクト吹付工法

8対2の防水(冷工法) デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

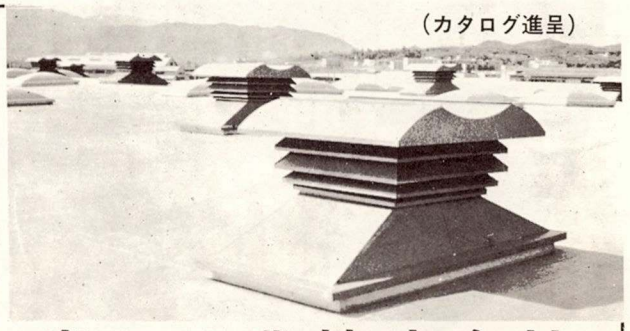
奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8－4－11	電話 03(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所	大阪市都島区都島中通り2-3-1	電話 06(921)2497・(922)7280
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話 052(811)3660・3104
札幌出張所	札幌市中央区北三条東四丁目	電話 011(231)7　5　1　1

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強　制　換　気　扇　付）
新型　換気塔 SFスーパー　(特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する)
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

(カタログ進呈)



岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981) 0615～0618

電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区高垣町16 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

電気設備 (ε) 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本 社 大阪市北区中之島3－3 朝日ビル
TEL 大阪06（385）1361（代）
本社営業所 吹田市垂水町3－34－6
TEL 大阪06（385）1361（代）
京都営業所 京都市右京区西京極葛野町21
TEL 京都 075（311）1185（代）
福岡出張所 福岡市中央区薬院1－14－8
TEL 福岡 092（771）6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 林 敏夫

本 社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電 話（361）3671（代）
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電 話（671）1478（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大 阪 支 社

常務取締役支社長 姉 川 正 男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪（202）0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市20ヶ所

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル3階）
電 話（364）1471（代）
支 店 東京都港区新橋2－16（ニュー新橋ビル7階）
電 話（504）0231
支 店 名古屋市北区城見通2丁目20番地
電 話（991）5131（代）
営業所 神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

電気工事 (中) 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中 本 正 明

本 社 大阪市城東区成育三丁目五番十七号
電 話 大阪（931）代表7341～5
資材倉庫 大阪市城東区成育三丁目十七番一号 電話大阪（932）2869
奈良営業所 奈良県御所市御国通360 電話御所（2）0122
枚方営業所 枚方市山之上西町1の1 電話枚方（43）8659・（44）9232
神戸営業所 神戸市葺合区若菜通六丁目六番五号 電話神戸（241）5969

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役社長 小 林 四 郎

本 社 大阪市福島区福島7－22－8
TEL（06）452－1151（代）
電力工事本部 大阪市此花区島屋1－1－27
TEL（06）462－1301（代）

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長 池 内 文 夫

本 社 大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電 話 大阪（472）代表1101－7
支 店 東京都品川区西五反田6丁目25番11号（福島ビル）
電 話 東京（491）1746（492）0182・0350
営業所 北九州市小倉区鋳物師町23番地
電 話 小倉（56）5665・5818
出張所 群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気設備設計施工

高千穂電機株式会社

取締役社長 岩 崎 久 雄

本 社 大阪市都島区中野町4丁目8－10
電 話 大阪（06）358－1171大代表
営業所 東京・神戸・九州

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本 社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪（538）1171代表
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長 今 村 勝
取締役社長 平 木 寛

本 社 大阪市北区梅ヶ枝町56番地
電 話 大阪 大代表（312）8881
支 店 東京・名古屋・四日市・神戸
営業所 松山

電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西堀川町15 TEL06－364－3056（代）
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝松町1-25-7　電話（434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話（352)1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話（667)3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区富田町16番地　電話 06－363－1371
支　店　名古屋市中村区下笹島町11－2　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
出張所　横浜・福井・京都・神戸・松江・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

本　社　大阪市西区江戸堀1-60〒550電話(441)8231代表
支　店　大阪・東京・名古屋・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　札幌・新潟・岡山・高松・熊本
出張所　盛岡・秋田・横浜・静岡・富山・福井・豊田・京都・神戸・鹿児島・那覇

――冷・暖房、衛生、機器配管、設計施工――

株式会社 清水工業所

本　社　大阪市大淀区南浜町3丁目14番地
〒531　電話 大阪（372)2851(代表)
東京支店　東京都中央区八丁堀4丁目11番7号（神谷ビル）
〒104　電話 東京（551)8041(代表)
出張所　鳥取・群馬・宇都宮・君津
島根・福岡・松山・高松

空気調和設備
給排水衛生設備 設計施工
各種プラント設備
各種送風機・風力輸送装置
空調機器類・公害防止装置　設計製作

株式会社 カンダン

本　社　大阪市住吉区万代東6丁目3　TEL（672)1281(大代)
営業所　東京・名古屋・京都・広島・福岡　工場　和泉・名古屋
テレックス：本社 No. 562－7688　和泉工場 No 538－5898

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話（06）344－6031（代）
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279－5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備
■その他管工事一切の設計・施工

（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区常安町11　電話 06－443－5041代
東京本社　東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビルディング)
電話 03－270－7411代
営業所　札幌・仙台・千葉・名古屋・金沢・高松・岡山・福岡
出張所　福井・倉敷・広島・苫小牧

空気調和　衛生設備／設計施工

須賀工業

大阪市西区土佐堀通1-14　TEL 06-441-5171
支　店　東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所　札幌・千葉・横浜・静岡・高松・広島
出張所　金沢

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　各務節
取締役支店長　藤田初藏
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話　大阪（202）代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、北陸
出張所　横浜、高松、静岡、豊田、岡山、金沢

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031番
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262－3241～4番

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備 給排水衛生設備 塗装設備 公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店 東京都新宿区西新宿2-6-1 ☎03-344-1851(大代) 大阪支店 ☎06-203-3721(大代) 名古屋支店 ☎052-211-1535(代) 九州支店 ☎092-431-2147 営業所：札幌・仙台・横浜・広島・神戸 出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・京都・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通４丁目11 **電話大阪(458)3531番**
営業所 京都・広島・天理・福岡

温・湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町３０ 電話（364）６６６１（代）
本社 東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話（211）８５１１・８５６１(代)
仙台支店 仙台市新伝馬町６０
電話（21）４４９１
名古屋支店 名古屋市東区東門前町３－６
電話（971）３６２１

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店 京都市南区西九条豊田町２０番地の１
電話(681) ５１０１～５・夜間専用(691) 1045
大阪支店 大阪市北区天満橋筋１－37(天満橋北詰)
電話 (352) **３５０１～３**
四日市支店 四日市市浜田西末広町 電話㊲7431～3
滋賀営業所 大津市打出浜13－15 電話 ㉒９７３８
津営業所 津市栄町２－１１１ 電話 0592 ㉖３６１０

一般空調設備・恒温恒湿設備・冷凍冷蔵設備
冷却乾燥設備・環境改善設備その他上記に附
帯する衛生、電気等一切の工事の設計・施工

ダイキンプラント株式会社

取締役社長 北川一郎
本社 大阪市大淀区中津本通１丁目２番地 ホーコクビル
〒531 電話 大阪(06)372－5171(代表)
支店 東京都中央区日本橋本町３の１ 共同ビル
〒103 電話 東京(03)242－5521(代表)
営業所 福岡・名古屋・広島・札幌・仙台

Carrier
冷暖房はCARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所 吹田市豊津町40番38号
電話大阪 (384)1201～7

空気調和・衛生設備
ガス設備・ガス住宅設備
設計・施工
大阪ガス指定工事会社
大阪ガス設備機器特約店

大晃設備株式会社
（旧三晃空調瓦斯工事部）

本社 大阪市北区木幡町３４－２ 電話 06－313－1846
ガス工事部 大阪営業所 大阪市北区木幡町３４－２ 電話 06－313－1846
ガス工事部 枚方営業所 枚方市甲斐田東町９番３号 電話0720－49－2128
設備部 大阪市北区木幡町３４－２ 電話 06－313－1846
設備施工部 京都営業所 枚方市甲斐田東町９番３号 電話0720－49－2128

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備・設計・施工

大阪市西区江戸堀通２の２ TEL(441)㈹1994・(443)㈹0331

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店 大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル９階)
電話 大阪（372）２５１１ （代表）
本社 東京都千代田区神田駿河台４丁目２番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生 設備 設計施工

不二熱學工業株式會社

本店 大阪市南区順慶町２－５０ 電話 261－2436㈹
東京支店 東京都大田区西馬込１－２－１ 電話 773－1231㈹
営業所 銀座・浜松・京都・神戸・福岡

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀４丁目 TEL(433) ８０７１
本社 東京都中央区京橋２丁目９ TEL(562) １３５１
支店 名古屋・福岡

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工

山田工業株式会社

本社及管工事事業部 大阪市西区京町堀１－６－８ 電話06(443)8161(大代表)
環境装置事業部 大阪市淀川区三津屋南１－１－35 電話 06(308)1491(代表)
東京支店 東京都港区北青山3-6-18(共同ビル青山) 電話 03(409)8905・8973
名古屋支店 名古屋市中区栄２－16－13(京極ビル) 電話 052(202)0077(代表)
出張所 神戸・福岡・松山

青写真とマイクロフィルム
株式会社
ナイガイ
製図・トレース・複写写真
本　　社　大阪市北区堂島北町16　TEL（345）9055(代表)
御堂営業所　大阪市東区本町4－27御堂ビル　TEL（252）3906
横堀営業所　大阪市東区横堀2－36　TEL（202）5260

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売…古代土器調高温〆タイル……大仏古代タイル
株式会社　大仏
本　　社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　075(541)3344(代)
東京営業所　東京都新宿区西早稲田3丁目23番8号　03（202）7801(代)
早稲田セントラルビル1F
工　　場　京都清水・山城・瀬戸

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目七四一電話641五〇六九
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

奉仕感謝の店
タイル工事施工
株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区西本町1丁目13番33号
（靱本町1丁目バス停前）
電話　大阪 06（532）0461

Standard
3＋7=
Board&Slate
フタバ黒板
〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858代

営業品目　建設省認定の防火材料
セメント系吹付材　ソリジットスタイン　基材同等　0003号
特殊リシン吹付材　エバウォール　基材同等　0003号
アクリル系吹付材　エバーサンド　基材同等　0004号
ヒル石吹付材　エバテックス　基材同等　0004号
合同特許建材工業株式会社
本　　社　大阪市東住吉区駒川町3－54　電話（06）702－7814～7
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。
株式会社 吉田芳雄商店
本　　店　大阪市北区旅篭町18　電話(361)3450・(364)2345
源八橋店　大阪市北区天満橋筋4－78　電話(358)1790・1838

内外装ホーロー建材及スパンドレル（ヨドウォル・ヨドスパン）
屋根折版（ヨドルーフ）販売及責任施工
サクラ建産株式会社
大阪市都島区都島中通2丁目17番4号
電話　大阪(922)　代表4421～3

株式会社矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋2丁目9　野村ビル5階　電話 大阪(202)4905

FUTABAYA　DECORATORS,LTD


建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式/設計施工
（創業大正7年）
二葉屋装備工業株式会社
取締役会長　若林繁吉
大阪府摂津市東別府3丁目7番8号
電話　大阪（06）349－9193代表
大阪府知事建築業者許可(般－51)第12064号

日進式 簡易間仕切 ディオ

オフィスでは人員の増減やシステムの改善等で，オフィスレイアウトも流動的です。取付，取はずしが簡単なディオは時代の要求にマッチした新しい簡易間仕切です。軽くて，剛性のあるディオパネル(イソバンド36)の表面は0.5%の塩ビ鋼板で構成され，美しい室内感覚を出しています。
(PAT.6件)

奥村重兵衛株式会社

本　社　大阪市北区伊勢町22番地　〒530 電話(06) 312－4131(代)
東　京　東京都港区新橋4－2 第29森ビル　〒105 電話(03) 437－3361(代)
福　岡　福岡市博多区住吉2丁目16番27号　〒812 電話(092)291－0459(代)
名古屋　名古屋市西区倹町2丁目1番6号　〒451 電話(052)522－5436(代)

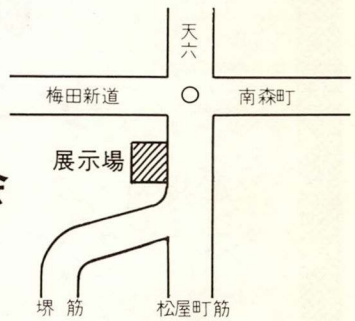
年中見ていただける　皆様の見本室

タイル 常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会

大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館2 F
TEL (06)364－2059



好評発売中!!

新刊 配筋読本

井上博・北小路宏共著　B5版・本文162頁・¥3,200(送料¥200)
鉄筋コンクリート工事の配筋方法には，大まかな規定しかないうえ，規定そのものが現場に合わない面が多い。これらの問題点を突いて「配筋方法」にたいする合理的な考え方の根拠をわかりやすく解説している。

新版 建築工事検査の実際

亀田泰弘監修
現場に即した試験・検査の技術を懇切ていねいに解説した初の工事検査方法指導書で，技術の急速な進歩に伴い全篇にわたって新しく書き改められ，一層充実した内容のものとなっている。
■上巻　B5判・453頁　¥6,000・送料¥250
■下巻　B5判・534頁　¥7,000・送料¥250
上下揃　都内送料　¥350　地方送料　¥500

各種建築構造の計画・設計に役立つ実用便覧

建築構造計算資料集

中川　淳編著　全8巻
1 鉄筋コンクリート構造編①　B5判・188頁・¥2,500(送料¥200)
2 鉄筋コンクリート構造編②　B5判・212頁・¥3,000(送料¥200)
3 鋼構造編①　B5判・225頁・¥3,200(送料¥200)
4 鋼構造編②　近刊

増補改訂版　生活環境造りに好個の設計資料

住宅団地の造園施設

冲中　健著　B5判・本文114頁・¥1,600(送料¥200)

快適な住環境を造成する為の技術資料

住宅団地の土木設計

小池正次著　B5判・本文113頁・¥1,600(送料¥200)

コンクリート技術に関する好適の実務書

実用コンクリート技術

森茂二郎編　上巻B5判・360頁・¥3,200(送料¥200)　下巻B5判・414頁・¥3,600(送料¥250)

設計・施工に必要な接着工法の決定版

建築の接着工法

西　忠雄監修　B5判・505頁・¥3,000(送料¥280)

月刊 建築技術

建設省建築研究所監修
年間購読料　¥8,400(送料含む)

〔3　月　号〕　定価　¥700

●池坊会館“ロングスパンチューブ状骨組の設計と施工”……今里隆他
●鉄筋接合方法のいろいろ……袴田定雄
●基礎のプレハブ化と経済性……森　仁
●鉄筋コンクリート工事の品質向上と合理化施工…森一他
●湿式吹付けロックウール耐火被覆の問題点……横山　明
●コンクリート廃棄物の有効利用……小野竹之助
●木材の使われ方から見た木造住宅の地域性……内田京治
●設備ユニットの問題点と今後の動向……須貝　高
●環境建築の思想……瀬尾文彰
●構造計算データシート……構建設計研究所

〔特集号案内〕
●軟弱地盤と建築/49年6月・特価¥1,000
●中小規模の鉄骨建築・配筋の要点/51年1月・特価¥780
●躯体生産技術の向上をめざして/51年4月・特価¥780
●建築と接合/51年7月・特価 ¥1,300
●住宅部品システムの普及/51年11月・特価1,400

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1中島ビル8F
☎03 〈363〉4211(代)　振替口座 東京0-72417番
有限会社 建築技術

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)65－5135～6
神戸営業所 神戸市長田区大橋8-4-7 電話神戸(078市外局番)611－7971
631－2021

腐らない・燃えない・軽い

ケミカラーオーシマメタル

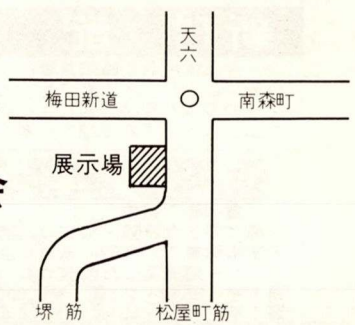
屋根材・壁 材・谷樋棟包水切りに
スタンダードメタルの 大島応用化学 東大阪市新庄 (745)5121～5

年中見ていただける 皆様の見本室

タイル
常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会
大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館2F
TEL (06)364－2059



防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社：大阪市東区両替町1－12 日生ビル ☎ (943)6571代表
東京・横浜・盛岡・郡山・水戸・浜松・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・堺・神戸・広島・福岡他全国主要都市

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

品種　オリエンタルメタル(O.P.M)
オリエンタルスーパーメタル(S.P.M)
オリエンタルカラードメタル(C.P.M)
カラースーパーオリエンタルメタル(C.S.P.M)

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター

カタログ御請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

本社　兵庫県尼崎市昭和南通り3－26松本ビル　電話　大阪(412) 5131代表
東京支社及工場　埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号　電話　蕨　(42) 3115～8
大阪支社及工場　兵庫県尼崎市長洲稲川新田44　電話　大阪(488) 1081代表
九州支店及工場　福岡県遠賀郡水巻町頃末　電話　八幡(69) 2831～4
名古屋支店及工場　名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル　電話　名古屋(581)2781～4

全国で好評の……新興の内外装壁材を!

インテリヤ…カラーストーン…研出し仕上!
(旭化成ミュールコート・セット品)

シンコーストーン

いつも美しい　ワンタッチ…洗出し仕上…

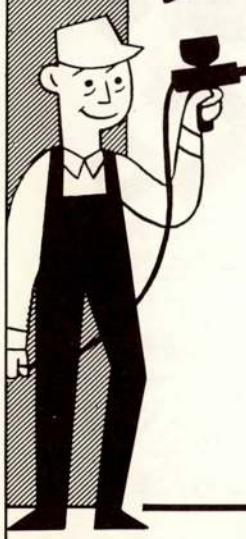
ミュールストーン

(旭化成ミュールコート・セット品)

純日本壁の最高峰

ヤマト緊楽

吹付…に
塗付…に
完全耐火
主材 石綿





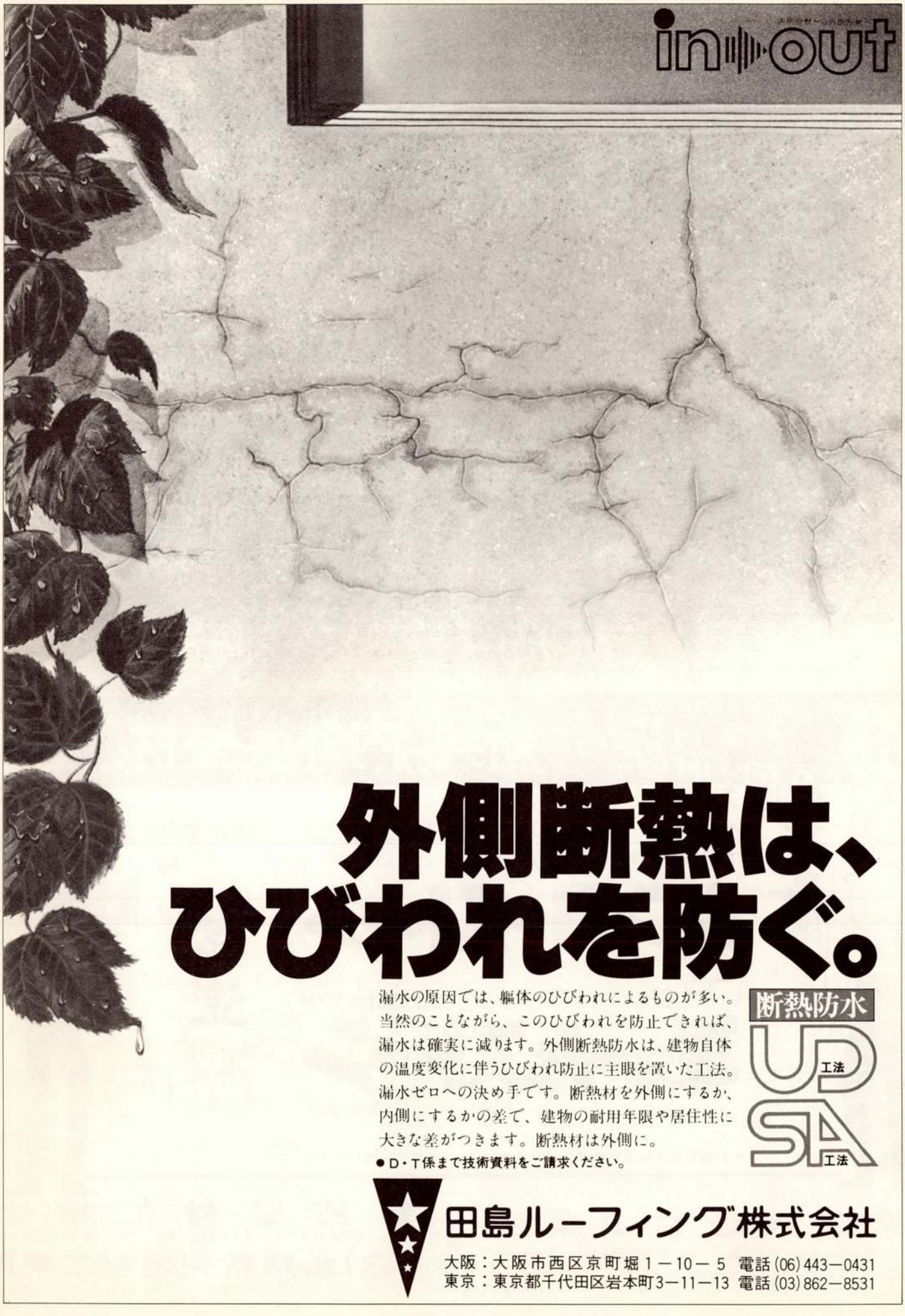
●全国有名建材店へ御問合せ下さい　●カタログお送りします

(株)新興建材工業所
大阪市西区南堀江通6丁目39番地　TEL大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町4丁目26番地　TEL 大阪 (672) 1661～3

(株)九州新興建材工業所
福岡市博多区上牟田八田町26の1　TEL 福岡 (41) 5225～6



外側断熱は、ひびわれを防ぐ。

漏水の原因では、躯体のひびわれによるものが多い。当然のことながら、このひびわれを防止できれば、漏水は確実に減ります。外側断熱防水は、建物自体の温度変化に伴うひびわれ防止に主眼を置いた工法。漏水ゼロへの決め手です。断熱材を外側にするか、内側にするかの差で、建物の耐用年限や居住性に大きな差がつきます。断熱材は外側に。

● D・T係まで技術資料をご請求ください。

断熱防水

UD工法

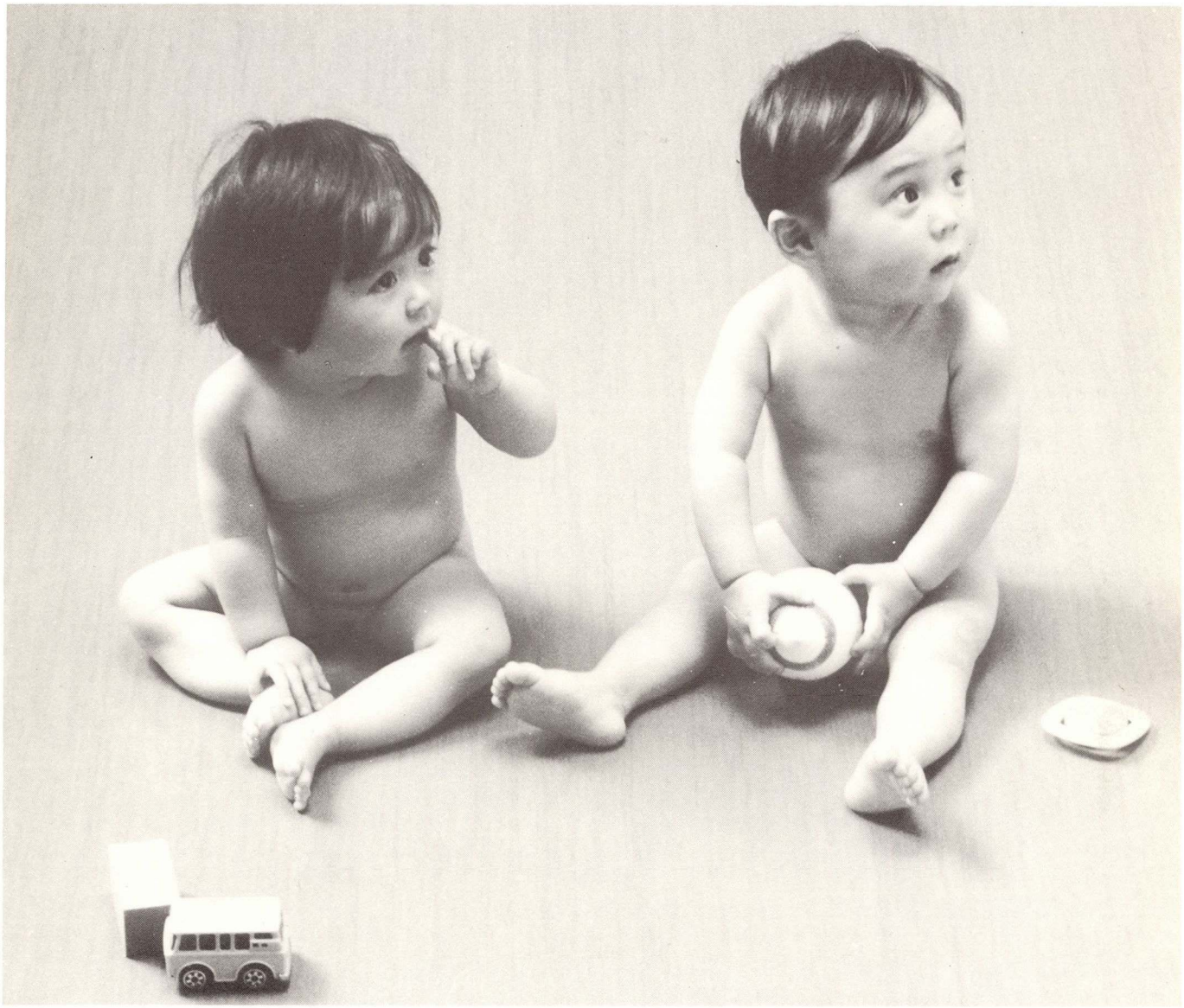
SA工法

田島ルーフィング株式会社

大阪：大阪市西区京町堀１－10－５　電話(06)443－0431
東京：東京都千代田区岩本町3－11－13　電話(03)862－8531

新しい“ヒューマン床材”シリーズ誕生。

三星アコスティカルフロアーズと名づけました。



福祉の国スウェーデンからやってきたアコスチフロア。このたび，田島のすぐれた技術で国産化に成功しました。これを機会に，これまでの「アコスチ」「ジム」を用途別に分け，新しい仲間を加わえて，アコスティカルフロアーズと名づけました。待望！ヒューマン床材シリーズの誕生です。

この床材は，これまでの発泡層のない単一層のベーシックタイプの床材，クッションタイプの床材とは，まったく異質の床材で，衝撃吸収性にすぐれた性能をもっています。その秘密は，厚い発泡層をサンドイッチした複合構造にあります。つまり，発泡層が，従来のクッションフロアのようなケミカル発泡とちがい，メカニカルにつくられた緻密な連続気泡で構成されているからです。しかも，表層には，リップル（さざ波）状のすべりどめ加工もしてあります。また，衝撃音遮断性，保温性，耐久性，防水性，耐薬品性にも，すぐれており，清潔な床面をつくります。

アコスティカルフロアーズは，責任ある施工システムとともに，今，床材に求められているあらゆる条件を完備した長尺床材です。

ヒューマンスペースを創造する

三星
アコスティカルフロアーズ
Acoustical Floors

学校・一般用	病院・福祉用	体育館用
ACフロア28	**ACフロア35**（アコスチ）	**ACフロア55**（ジム）
新製品		
2.8mm×184cm×18m・15色	3.5mm×184cm×25m・7色	5.5mm×184cm×21m・1色
3,600円／m²（材工共）	4,800円／m²（材工共）	9,200円／m²（材工共）

三星Pタイル
田島応用
TAJIMA OYO KAKO CO.,LTD.

責任施工 三星テラリフ
東・西床協組

東京営業所●東京都千代田区岩本町3-11-13〒101☎03(866)6101(代)　大阪営業所●大阪市西区京町堀1-10-5〒550☎06(441)5951(代)
札幌：☎011(231)8261／仙台：☎0222(22)6413／宇都宮：☎0286(22)8264／新潟：☎0252(45)0816／横浜：☎045(681)4835／静岡：☎0542(81)5849
名古屋：☎052(571)6361／金沢：☎0762(31)5741／広島：☎0822(46)9436／高松：☎0878(62)5285／福岡：☎092(712)9141

＊詳しい資料をご請求ください。

ムダをはぶいた新しい給湯暖房システム

●給湯はシャワーと洗面所、お台所に。給湯能力は8号相当（ご家庭の小型ガス湯沸器の約2倍の能力）です。

●暖房は6室まで。ボイラーと放熱器を直接結びつける配管方式ですから、あとからでも暖房する部屋をふやしていけます。

●暖房配管には細く曲げの自由なアングルチューブを使用。取りつけ工事がいちだんと簡単になりました。

●ボイラーは屋外、屋内設置の2タイプ。いずれもコンパクトで耐久性を重視した設計です。

●『エックス』はプランやご予算にあわせて選べるパック販売をいたします。

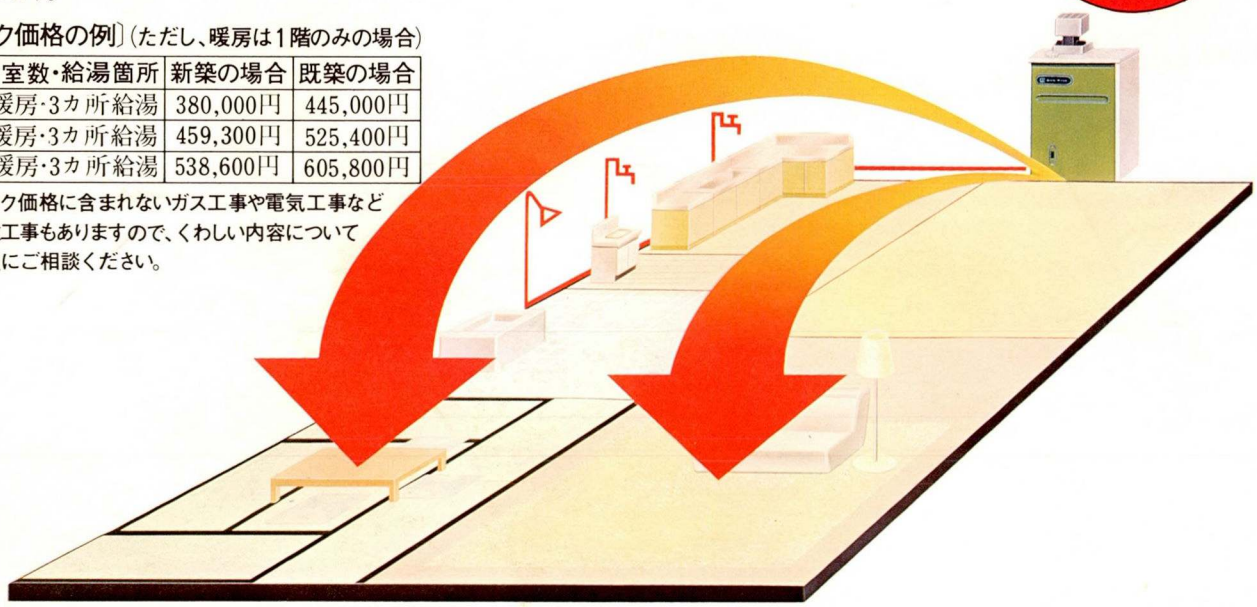
価格は工事費も含めて、従来のセントラルヒーティングの約半分です。（新築、1階暖房の場合）

2室暖房 3カ所給湯設備 38万円

〔パック価格の例〕（ただし、暖房は1階のみの場合）

暖房室数・給湯箇所	新築の場合	既築の場合
2室暖房・3カ所給湯	380,000円	445,000円
3室暖房・3カ所給湯	459,300円	525,400円
4室暖房・3カ所給湯	538,600円	605,800円

※パック価格に含まれないガス工事や電気工事などの別途工事もありますので、くわしい内容については係員にご相談ください。





給湯&暖房 ガス&シンプルシステム エックス

大阪ガス

建築と社会 ARCHITECTURE & SOCIETY 第59輯第5号

昭和52年3月25日発行（毎月1回25日発行） 昭和24年3月19日第3種郵便物認可

社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3-3 電話大阪06(231)9648・9649・9640 振替口座大阪三九九七五番

（表紙絵・小泉譽渡欧スケッチ） 定価六百円